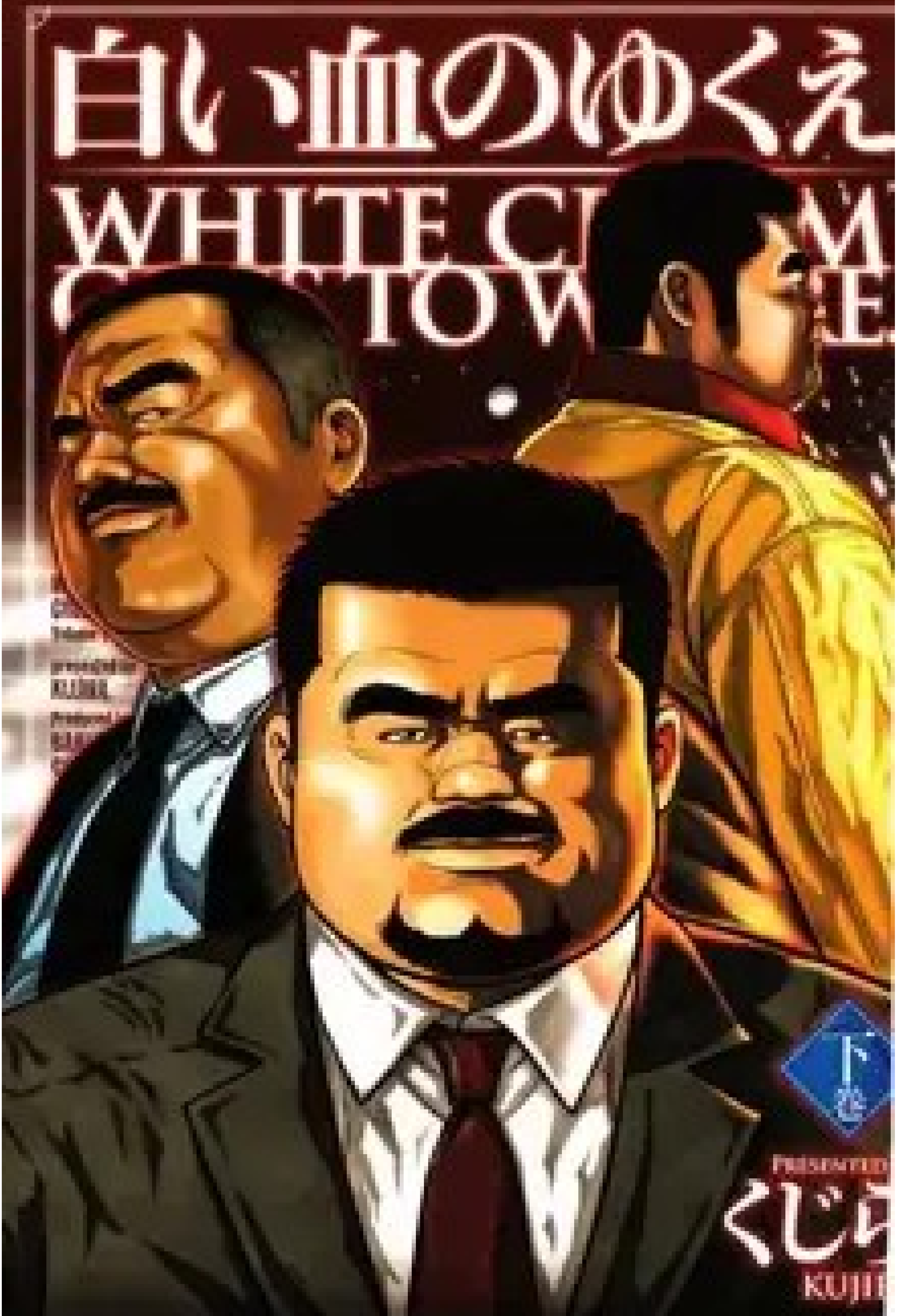
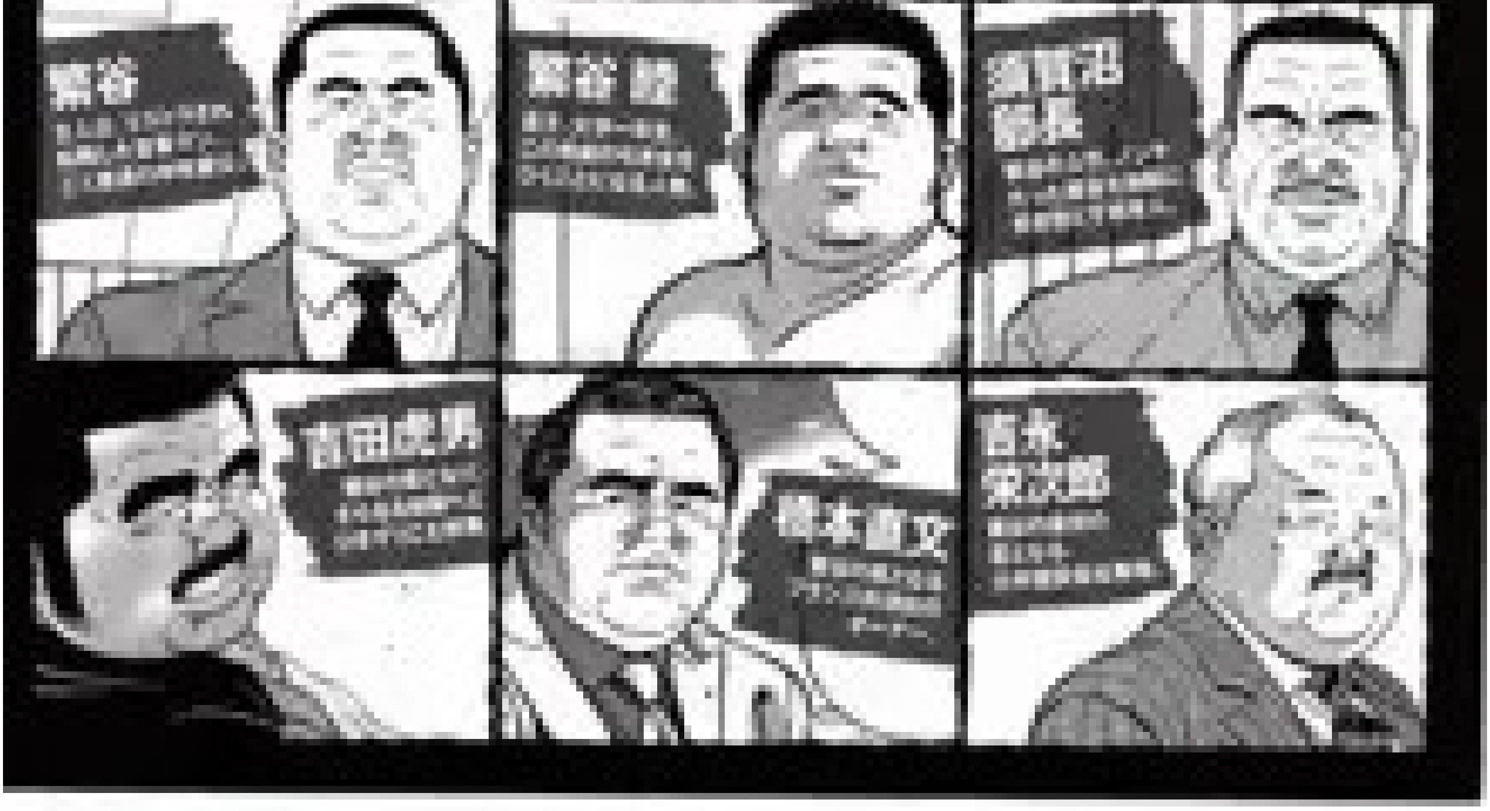

白い血のゆくえ
WHITE CL M
O TO W HE
下
PRESENTED
くじ
KUJI

白い血のゆくえ

VOLUME 002

INDEX

[illegible] 第十七話 The 17th story
[illegible] 第十八話 The 18th story
[illegible] 第十九話
[illegible]
[illegible] 第二十六話 The 26th story
[illegible] 第二十七話 The 27th story
[illegible] 第二十八話 The 28th story
[illegible] 第二十九話
[illegible]



白い血のゆくえ

WHITE CREAM GOES TO WHERE

下

VOLUME. 002

WHITE CREAM GOES TO WHERE.
Volume 002

presented by
KUJIRA

Produced by
BAKUDAN COMICS

Fundamashiong inc. Japan

[illegible]

PRESENTED BY
くじら
KUJIRA

白い血のゆくえ

「ストーリーダイジェスト」

◆禁断の営業

01

[illegible]

02

[illegible]

03

[illegible]

04

[illegible]

[illegible]

◆男との快楽に堕ちていく

05

[illegible]

06

[illegible]

07

プライベートでもハッテン場に[illegible]

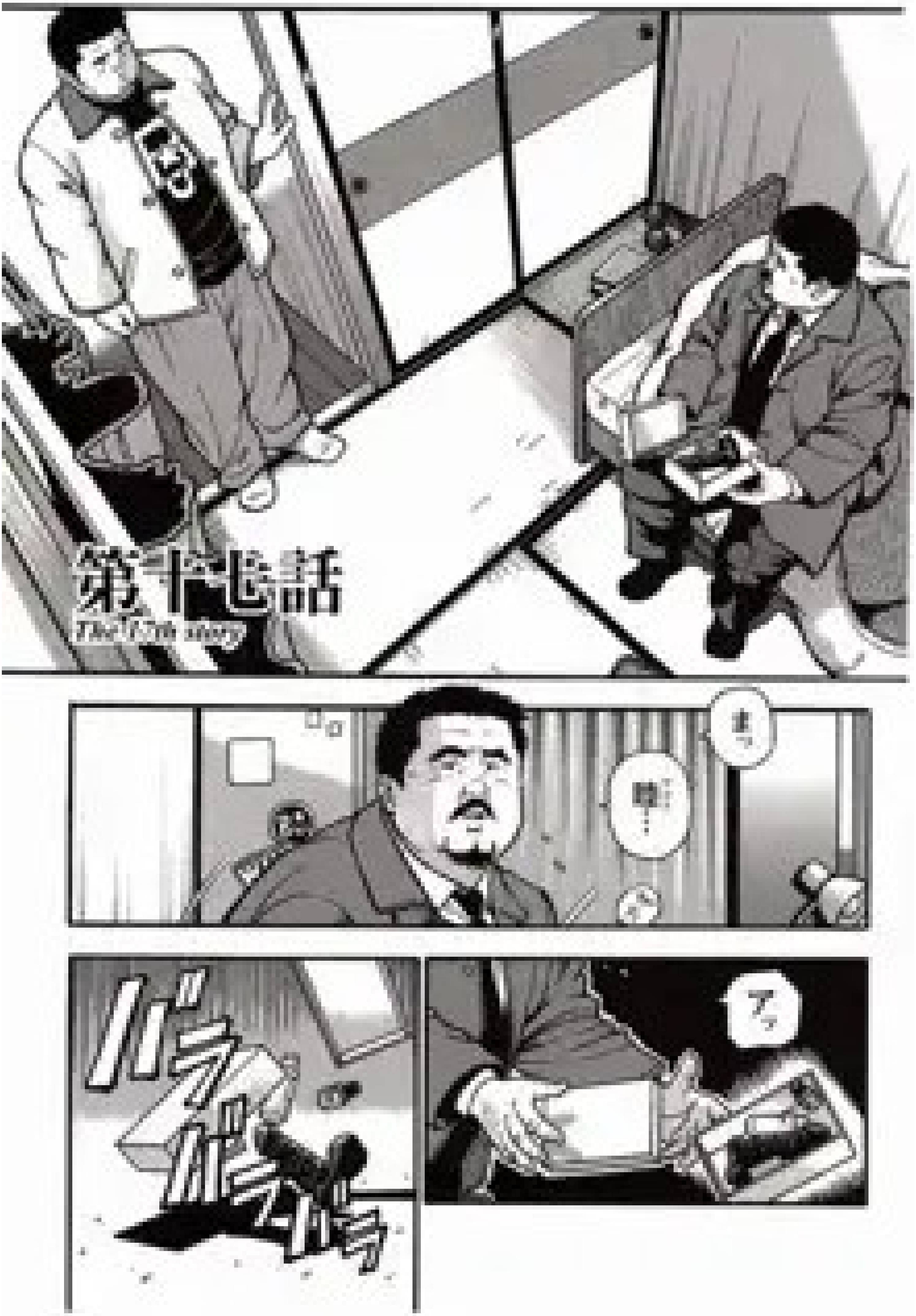
08

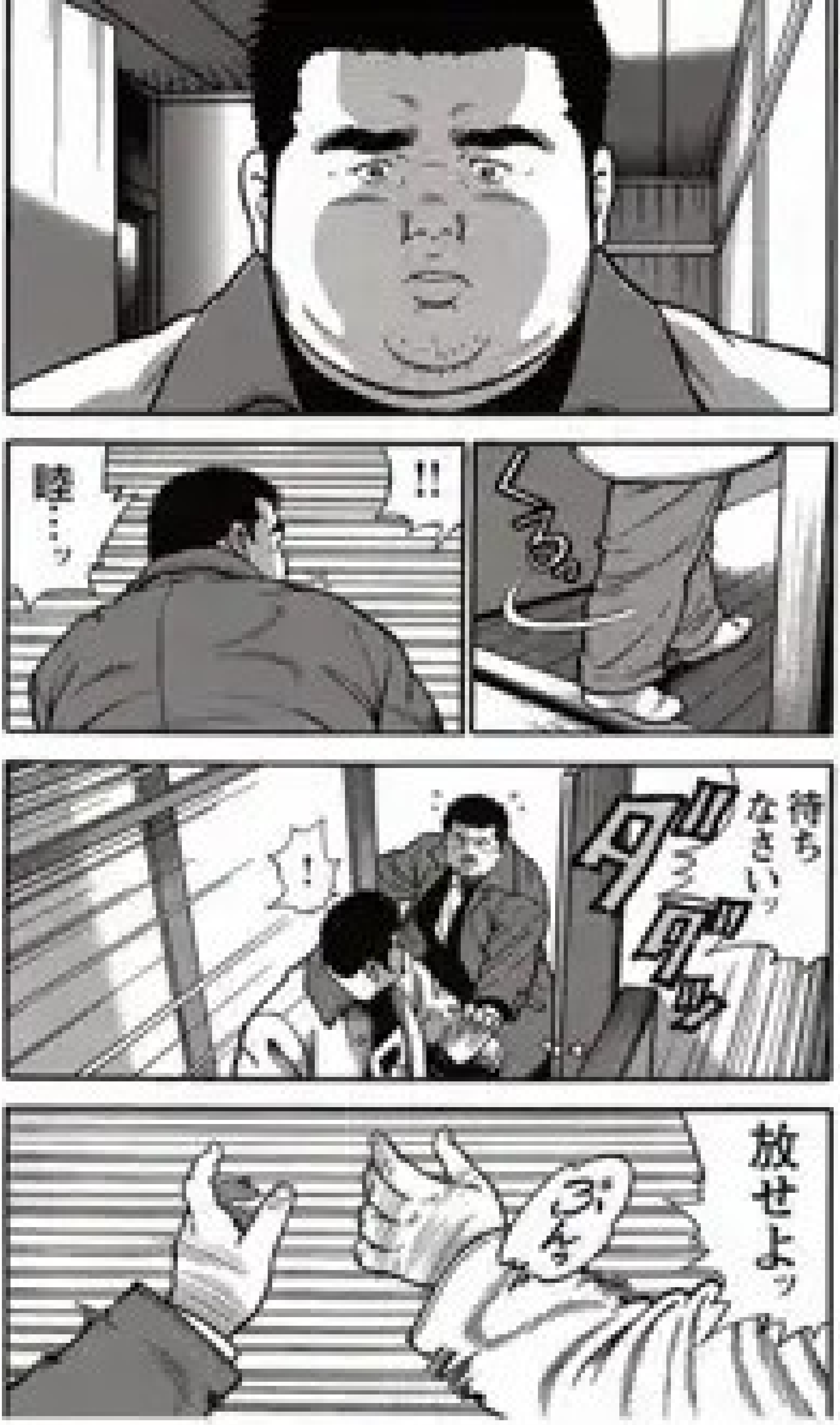
ある日、[illegible]

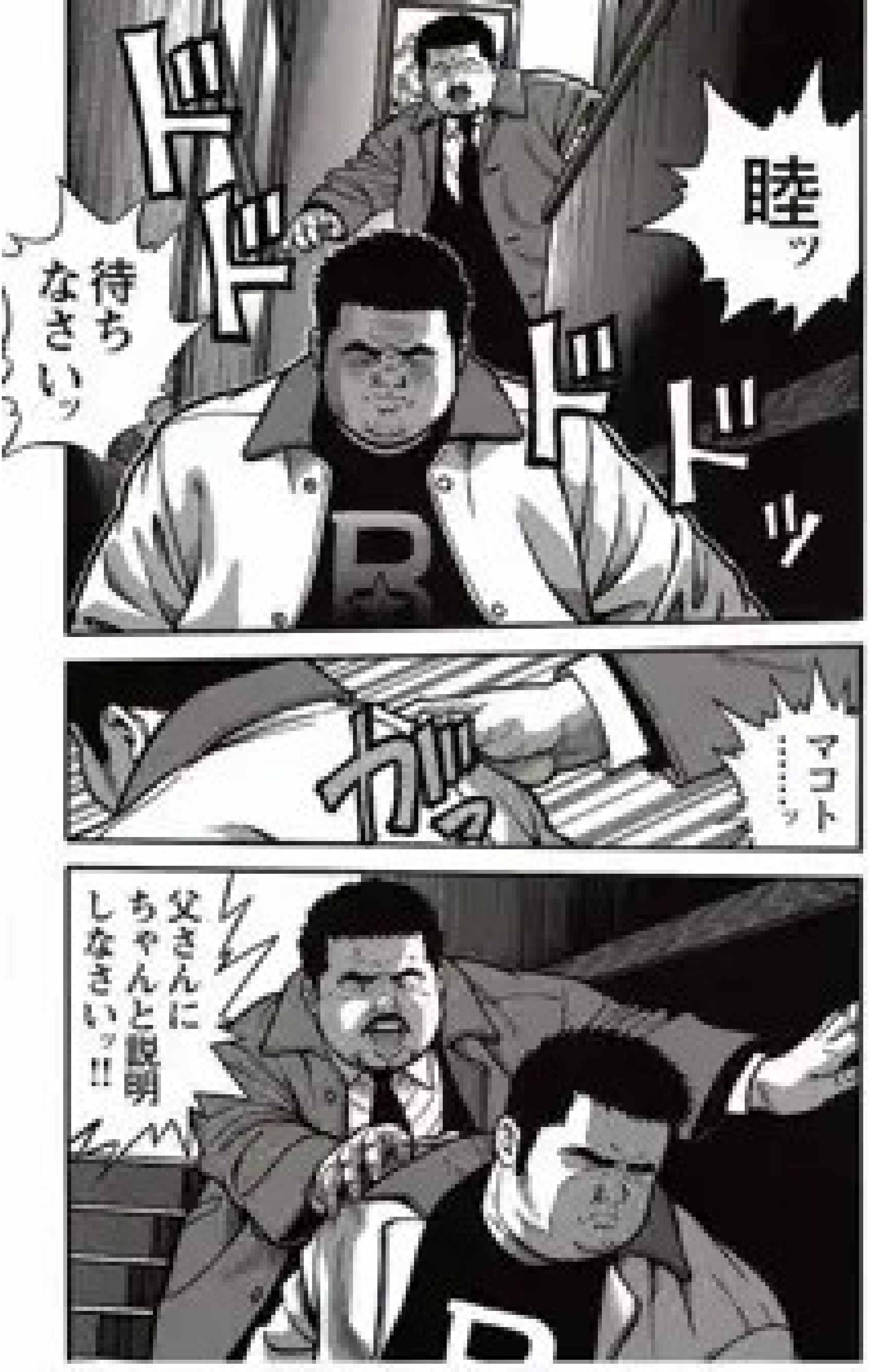
[illegible]

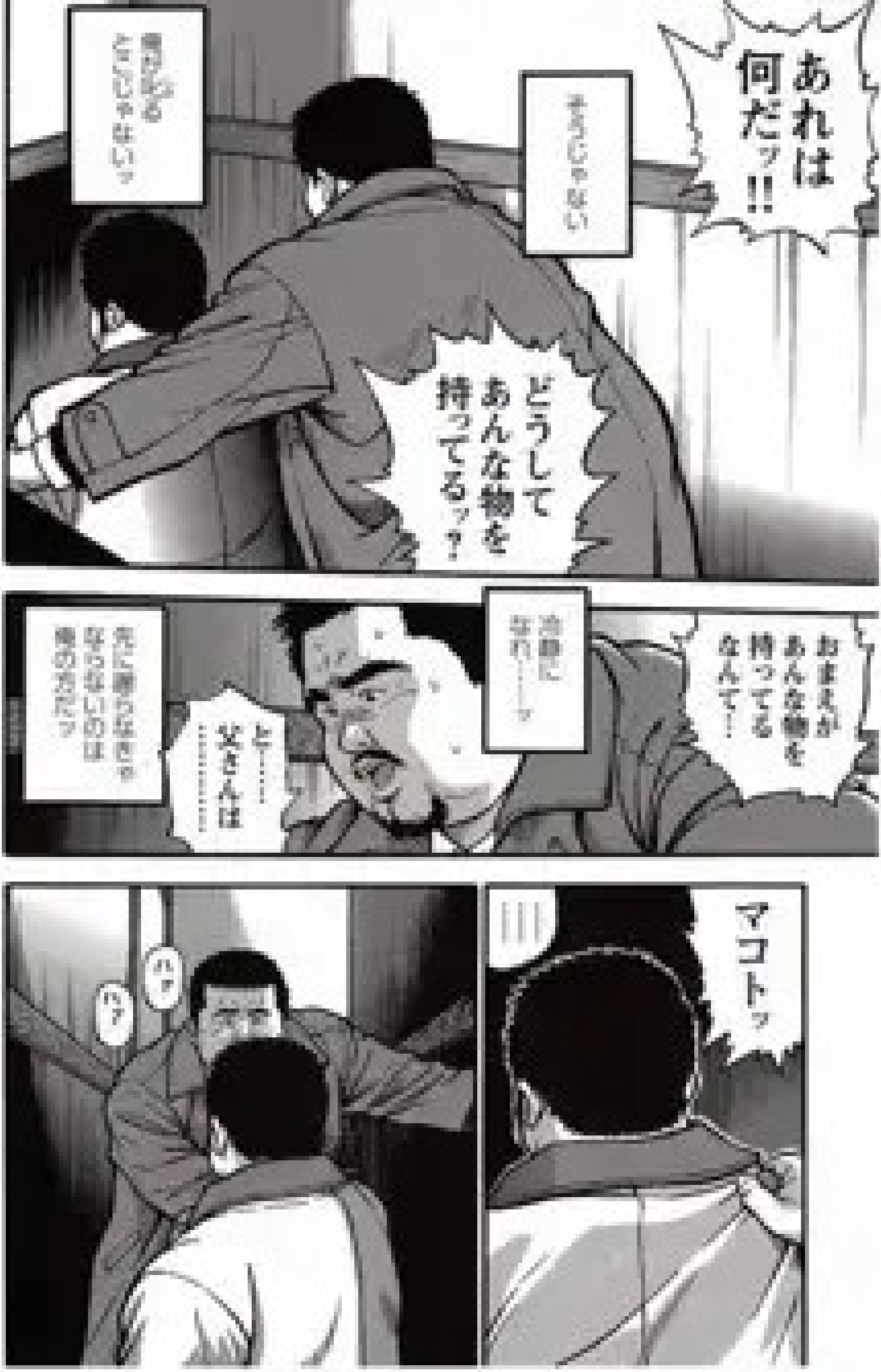
第十七話

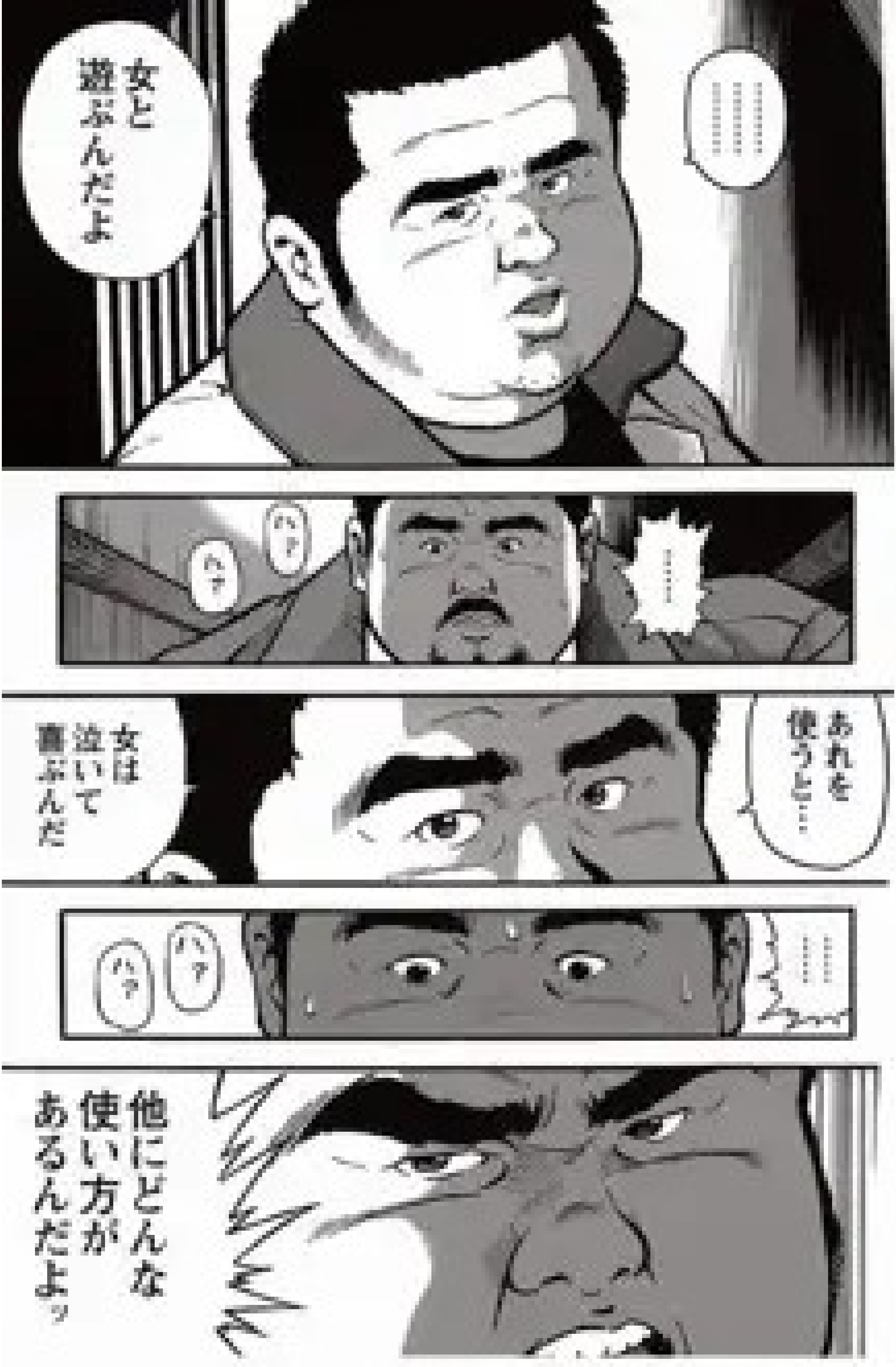
The 17th story

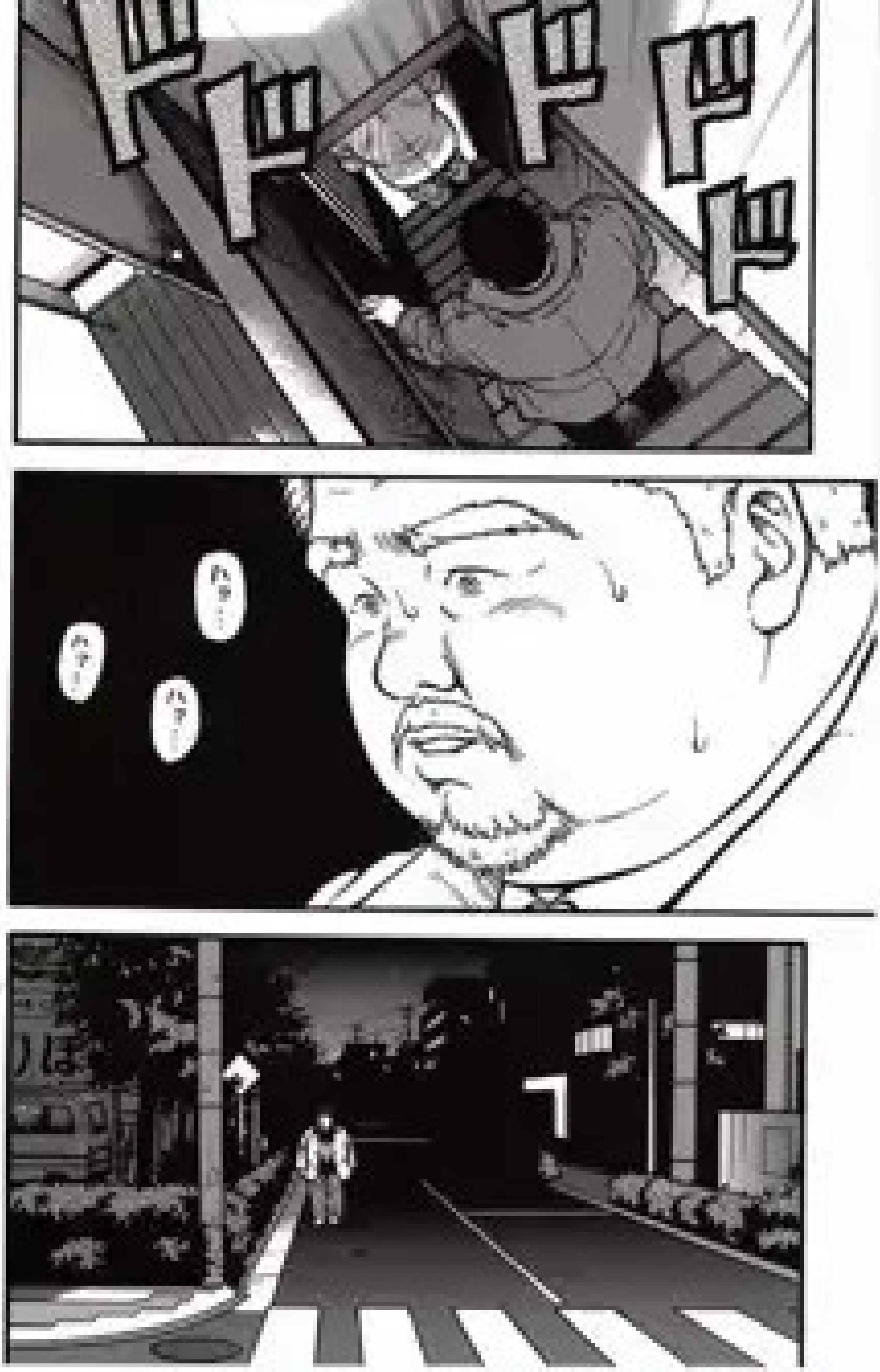

まっ
時…!?
バラバラバラ
アッ

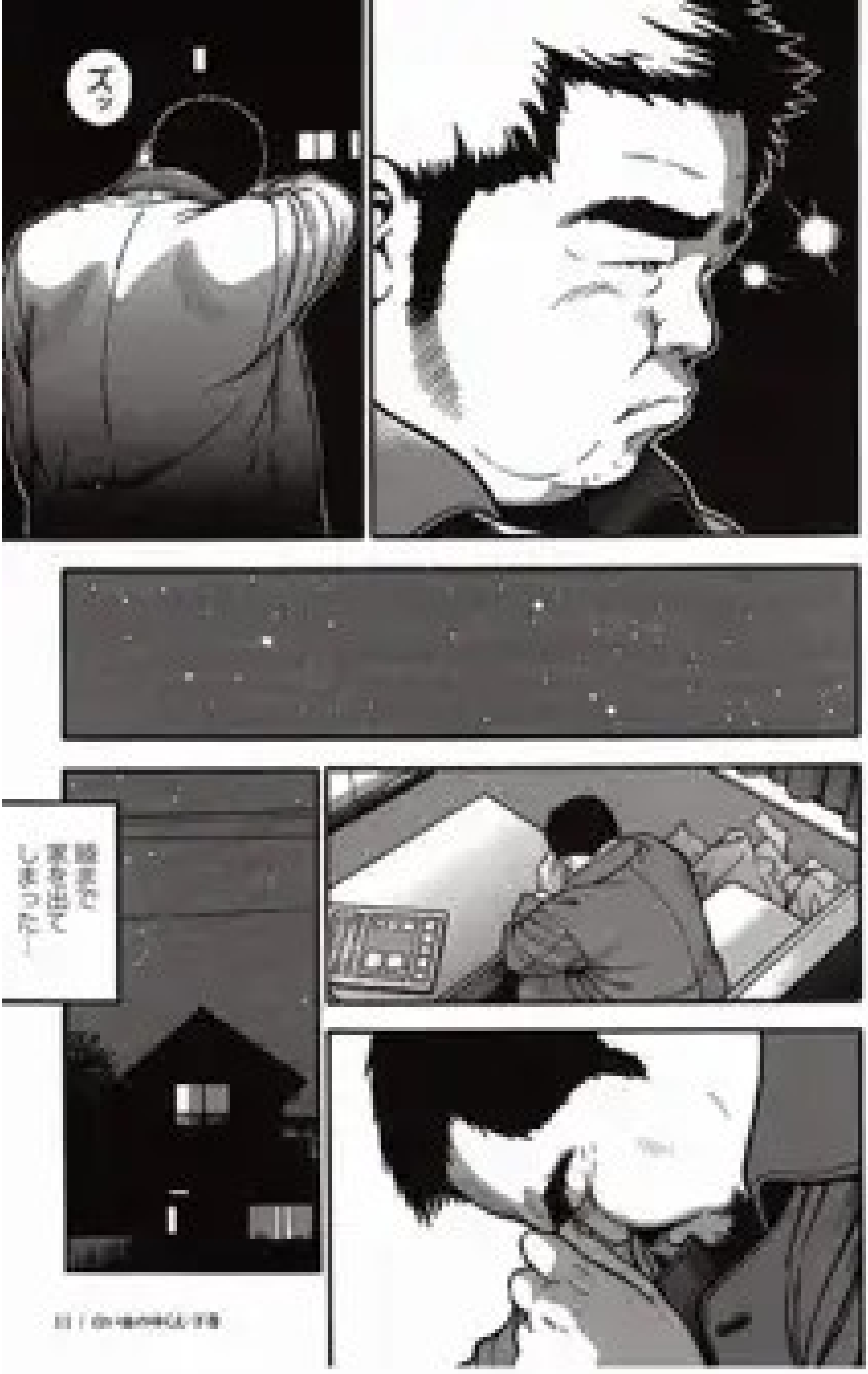

!!
睦…ッ
しゅるっ
待ちなさいッ
ダッダダッ
!
放せよッ
ぶおッ

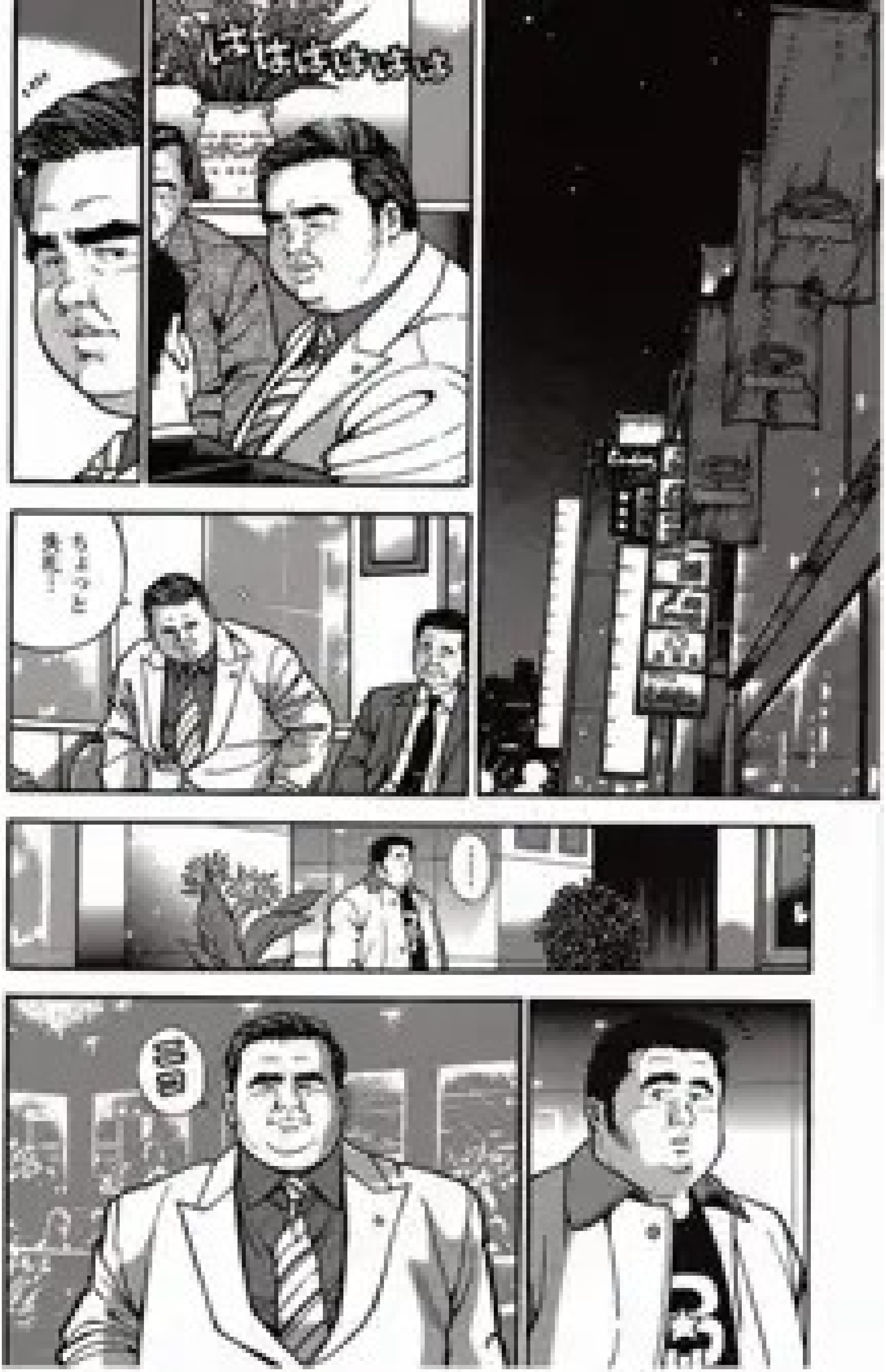

睦ッ
ドドドドッ
待ちなさいッ
マコト……ッ
ガッ
父さんにちゃんと説明しなさいッ!!

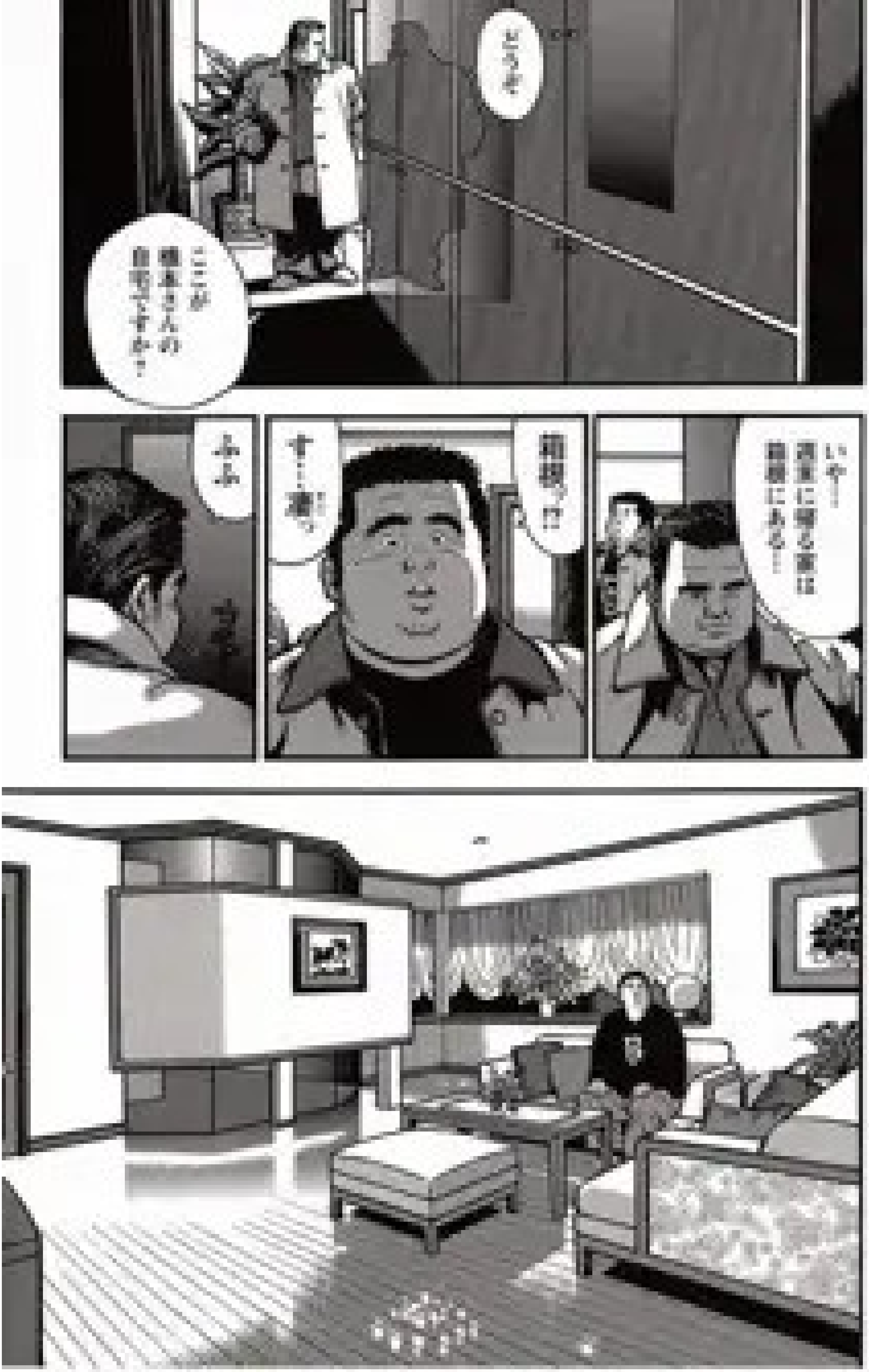

あれは何だッ!!
そうじゃない
責められることじゃないッ
どうしてあんな物を持ってるッ？
おまえがあんな物を持ってるなんて…！
冷静になれ……ッ
と……父さんは……
先に謝らなきゃならないのは俺の方だッ
マコトッ
……
ハァ
ハァ

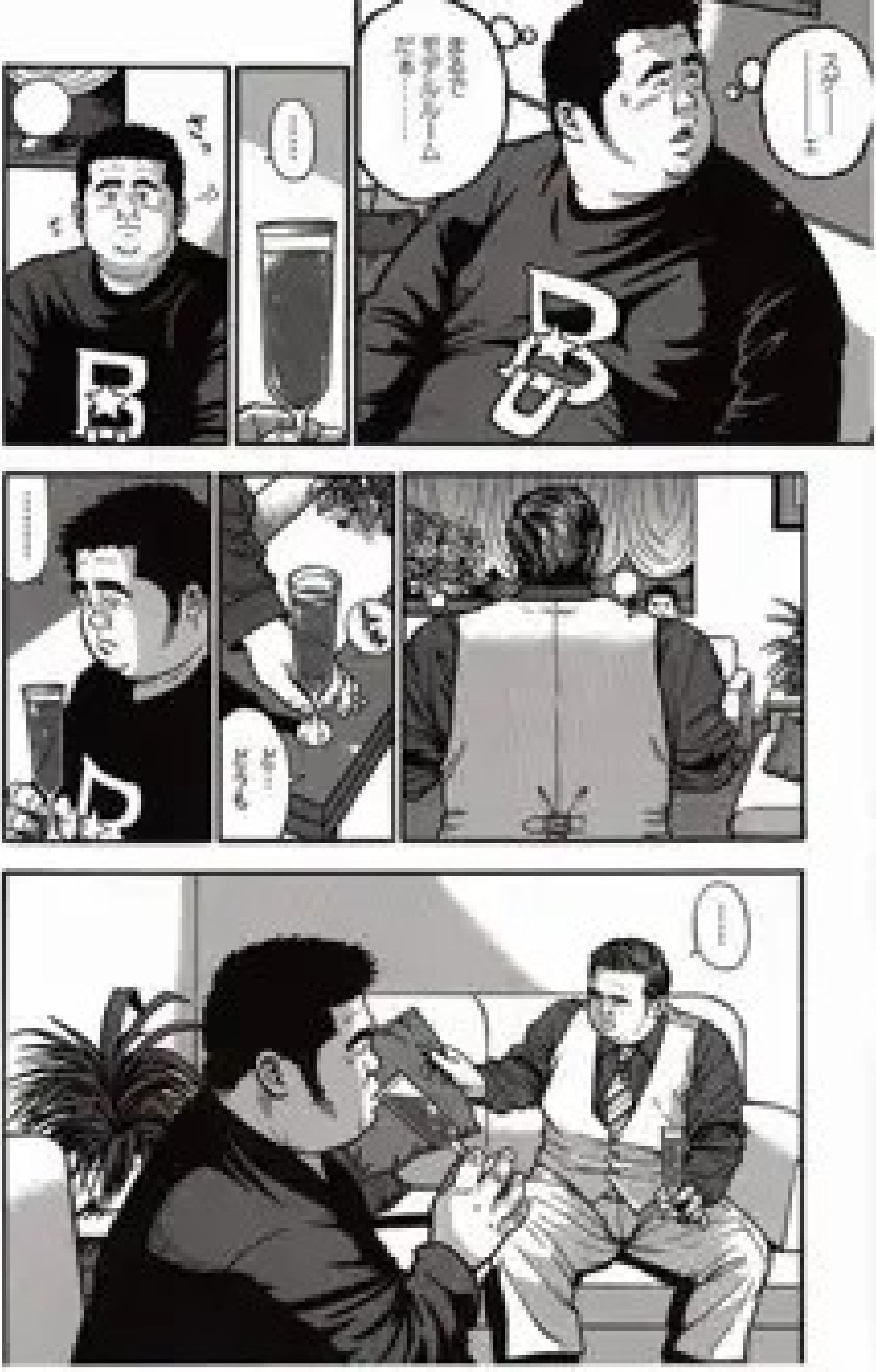

…………
女と遊ぶんだよ
……
ハァ
ハァ
あれを使うと…
女は泣いて喜ぶんだ
……
ハァ
ハァ
他にどんな使い方があるんだよッ

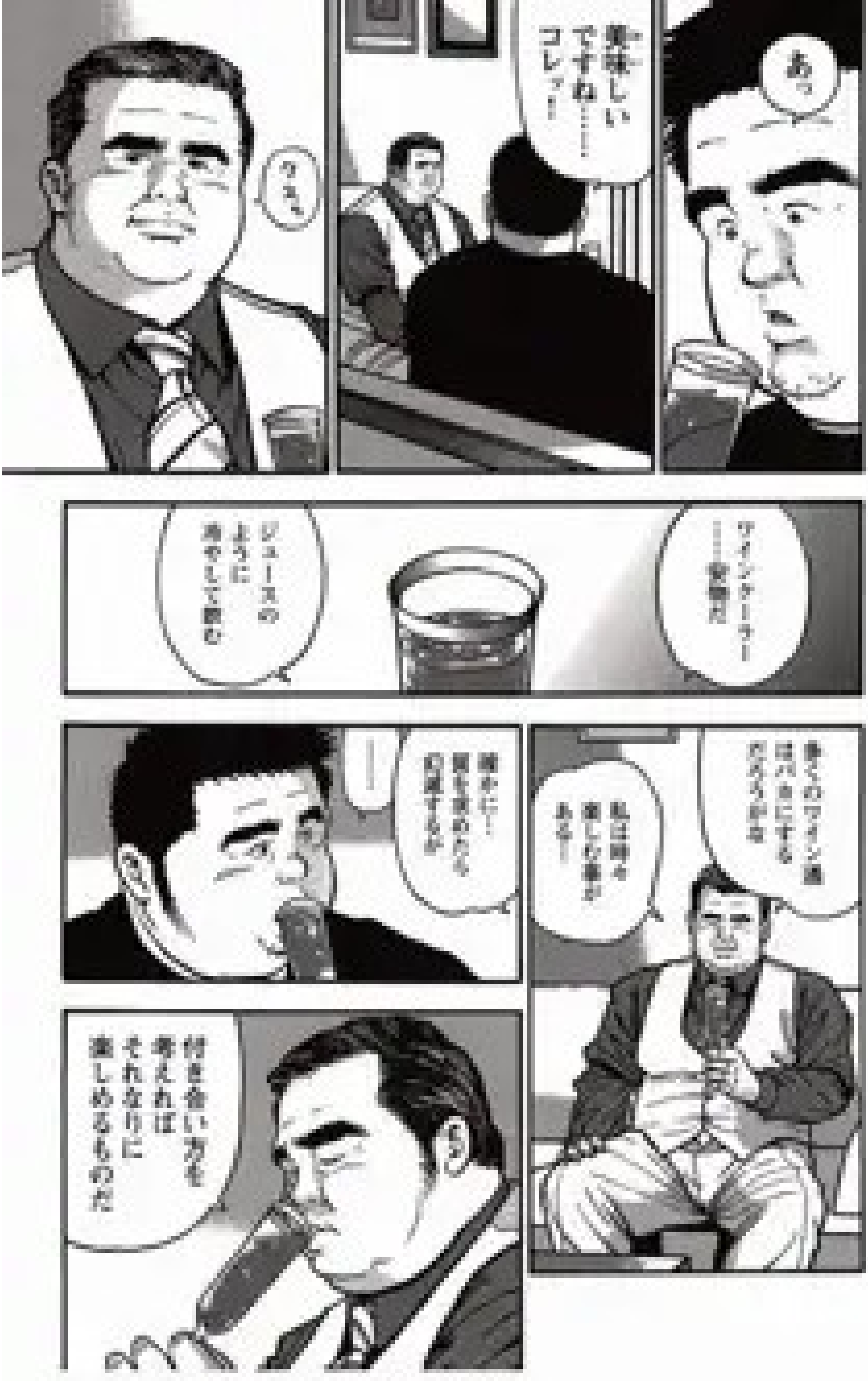

ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ハァ…
ハァ…
ハァ…
りぼ

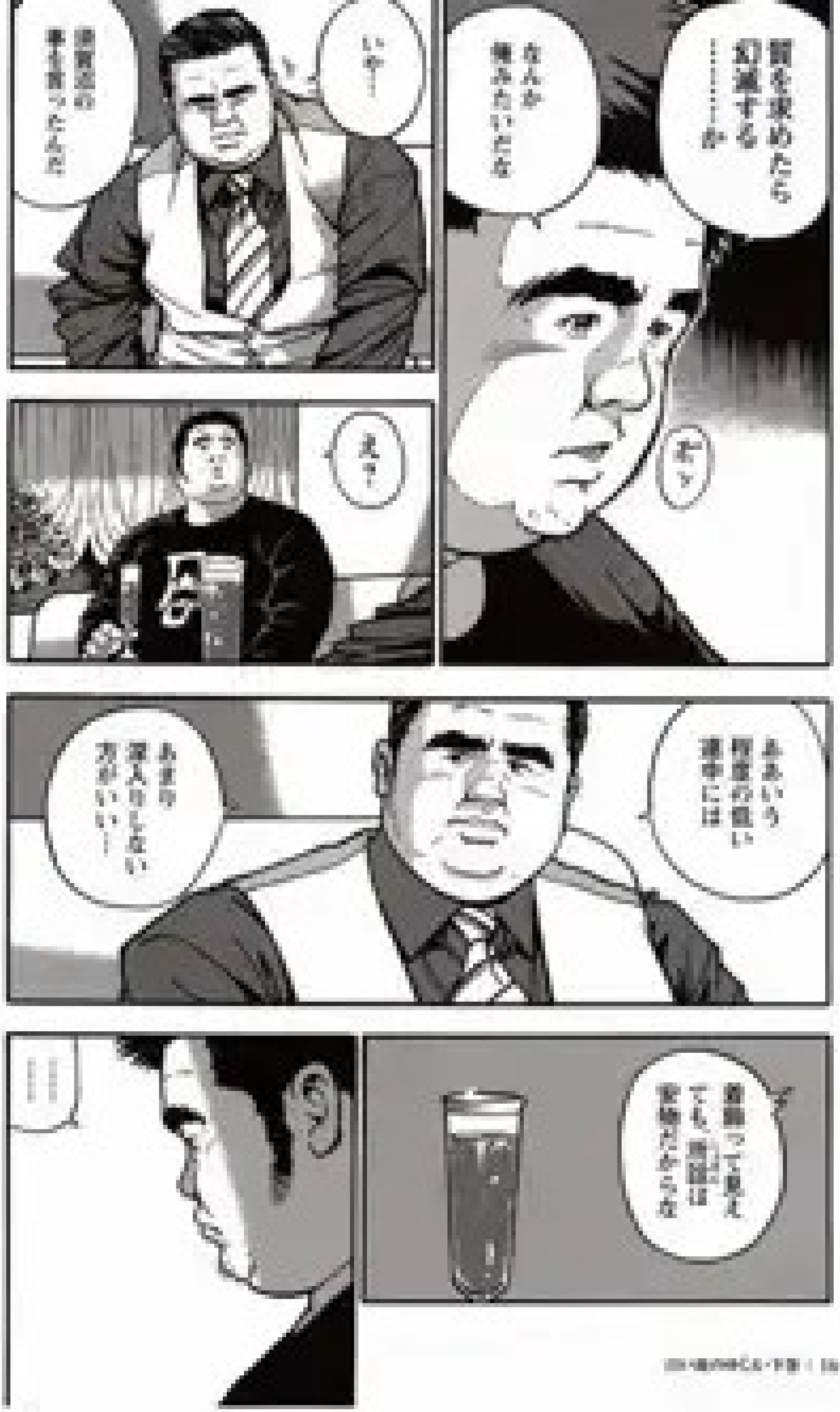

ズッ
黙って
家を出て
しまった―

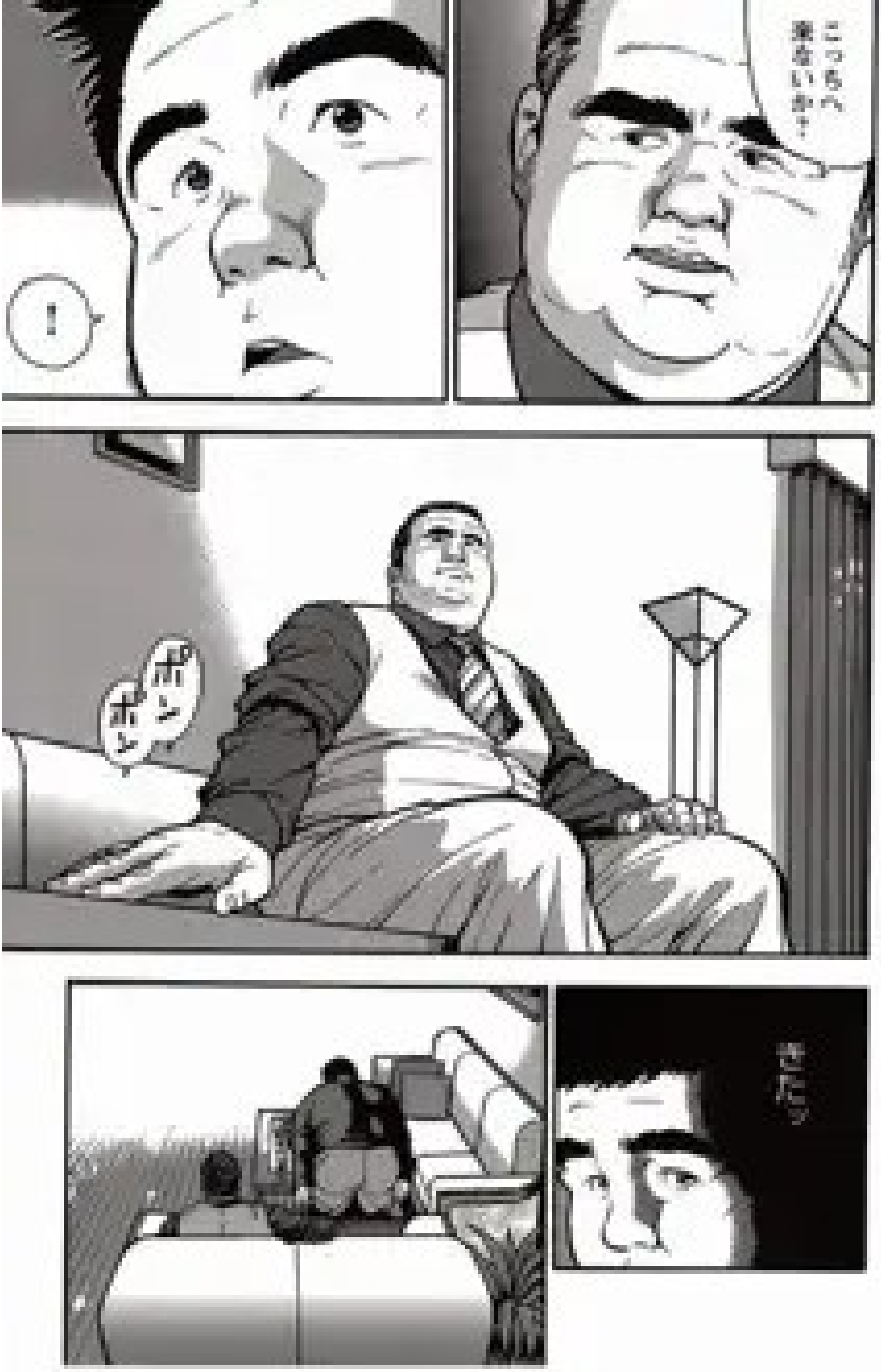

はははははっ
ちょっと失礼！
！

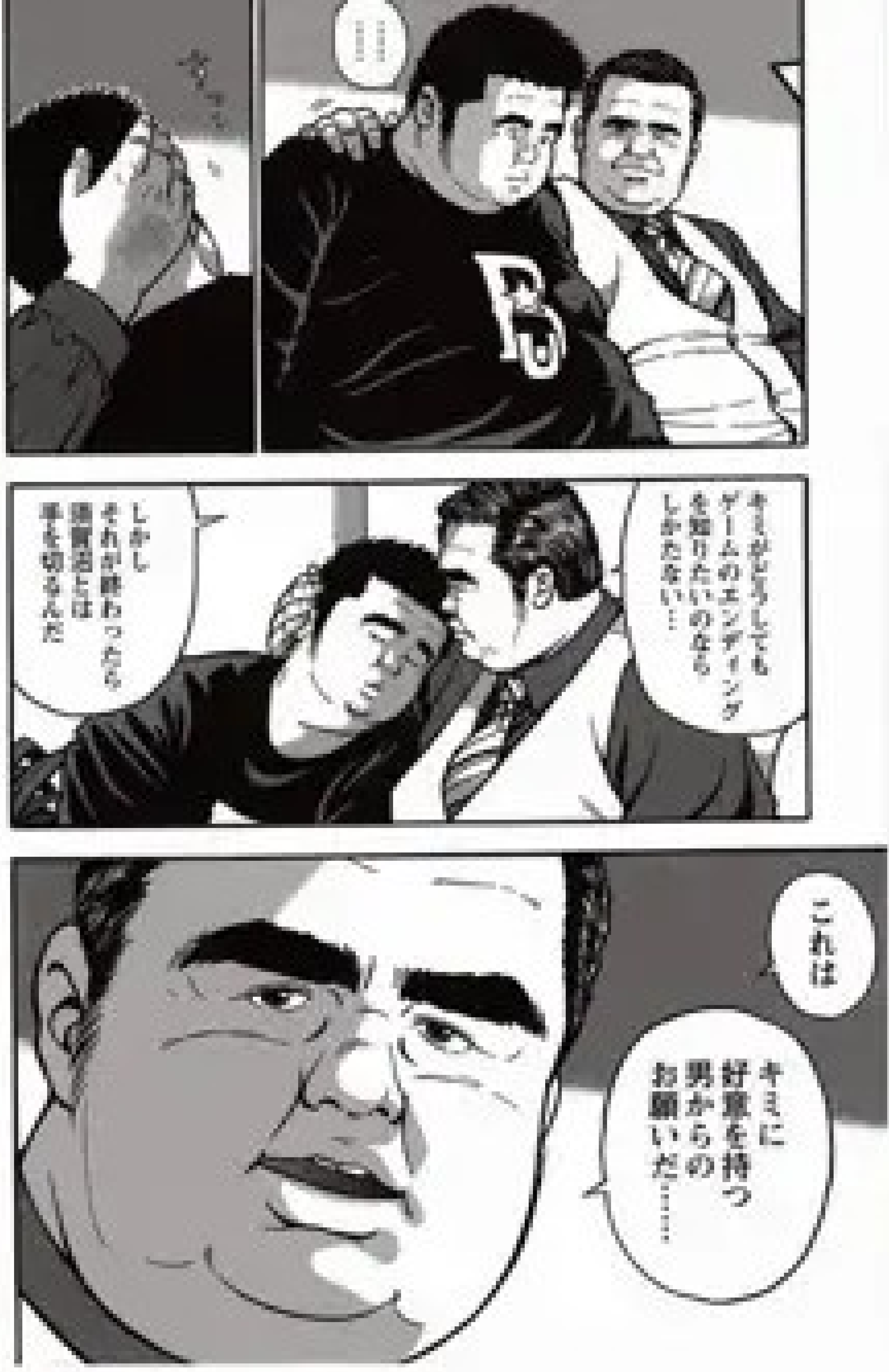

どうぞ
ここが
橋本さんの
自宅ですか？
いや…
週末に帰る家は
箱根にある…
箱根ッ!?
す…凄ッ
ふふ

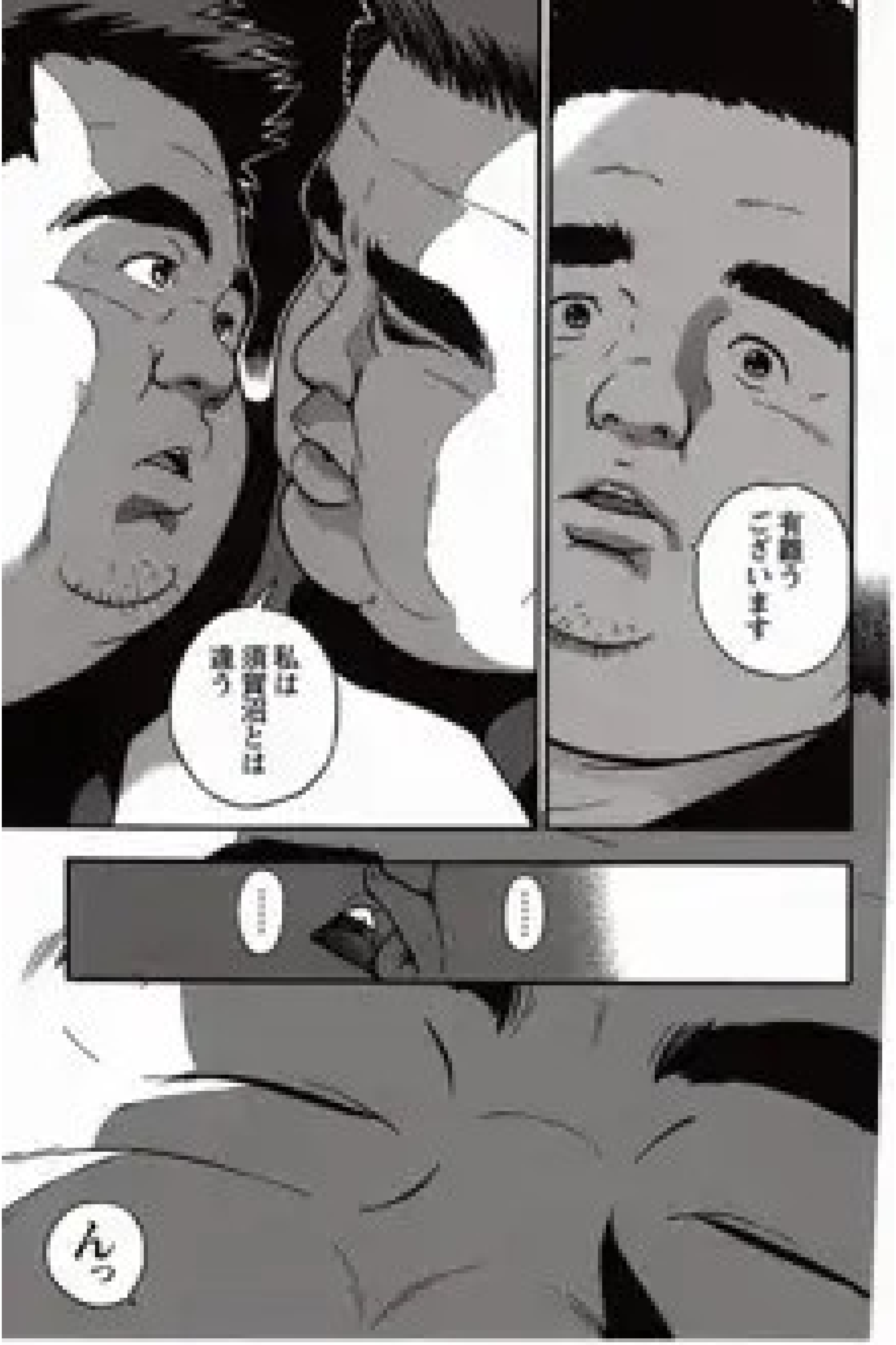

ふー…！
まるで
取調ルーム
的な…
……
……
……

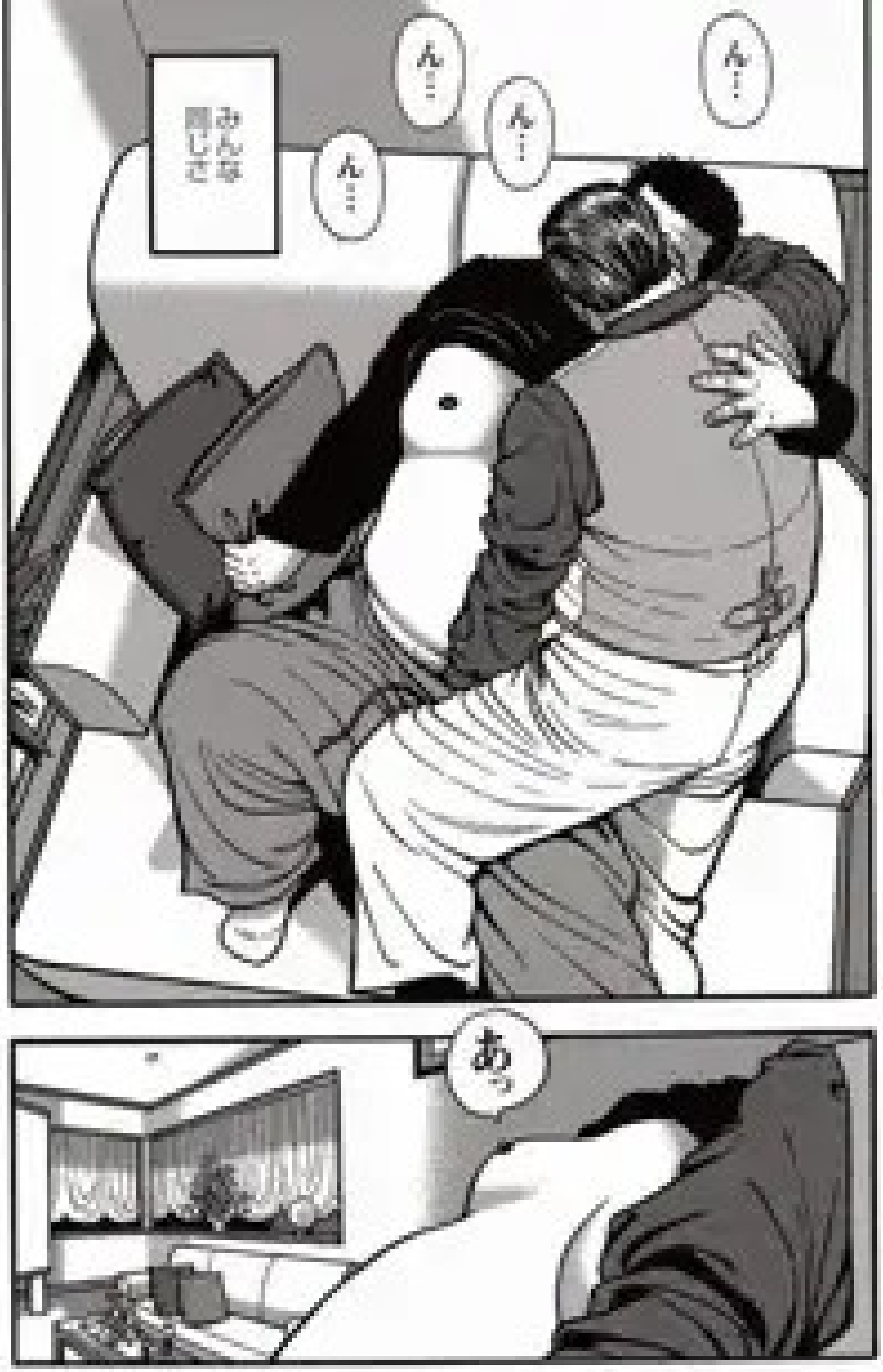

あっ
美味しいですね……コレッ！
ウム
ワインクーラー——安物だ
ジュースのように冷やして飲む
多くのワイン通はバカにするだろうがな
私は時々楽しむ事がある…
——
付き合い方を考えればそれなりに楽しめるものだ


質を求めたら幻滅する……か
なんか俺みたいだな
おッ
いや…
部長の席を奪ったんだ
えッ！
ああいう程度の低い連中には
あまり深入りしない方がいい
素顔って見えても、酒は正直だからな
……


こっちへ来ないか？
！
ポン ポン
ぎたっ

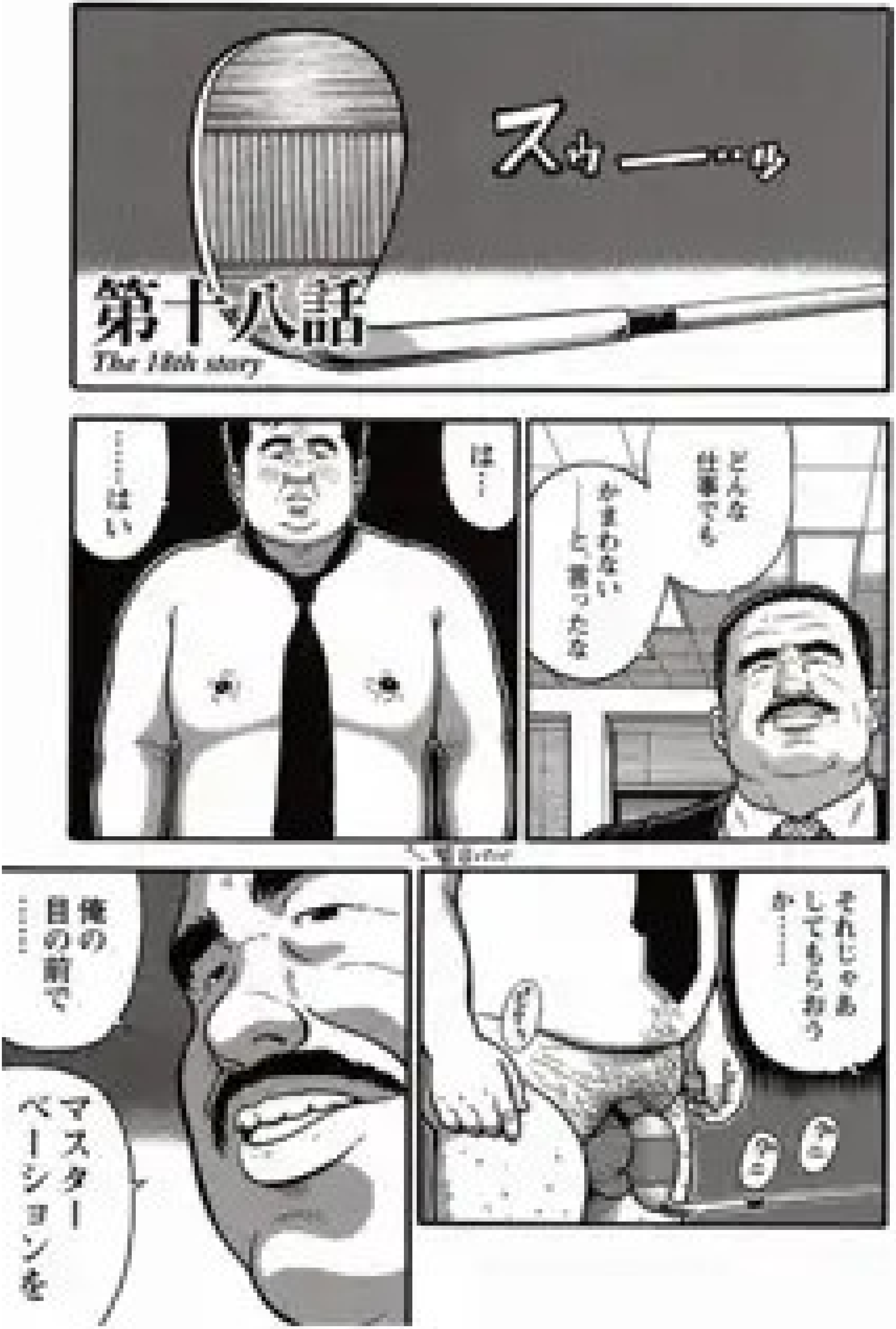

……
キミがどうしても
ゲームのエンディング
を知りたいのなら
しかたない…
しかし
それが終わったら
須賀沼とは
手を切るんだ
これは
キミに
好意を持つ
男からの
お願いだ……


有難うございます
私は須賀沼とは違う
……
……
んっ

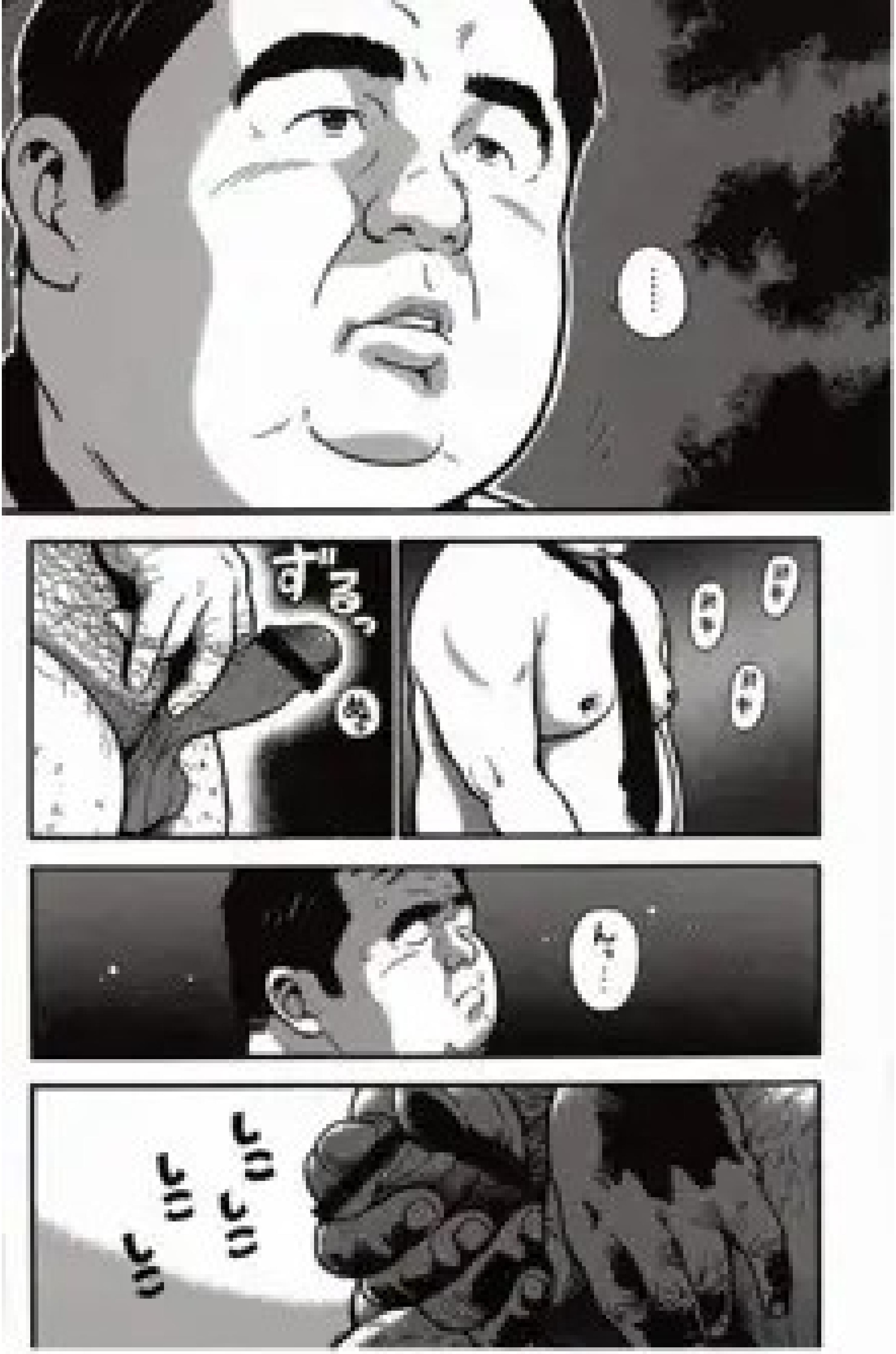

ん…
ん…
ん…
ん…
みんな同じさ
あっ

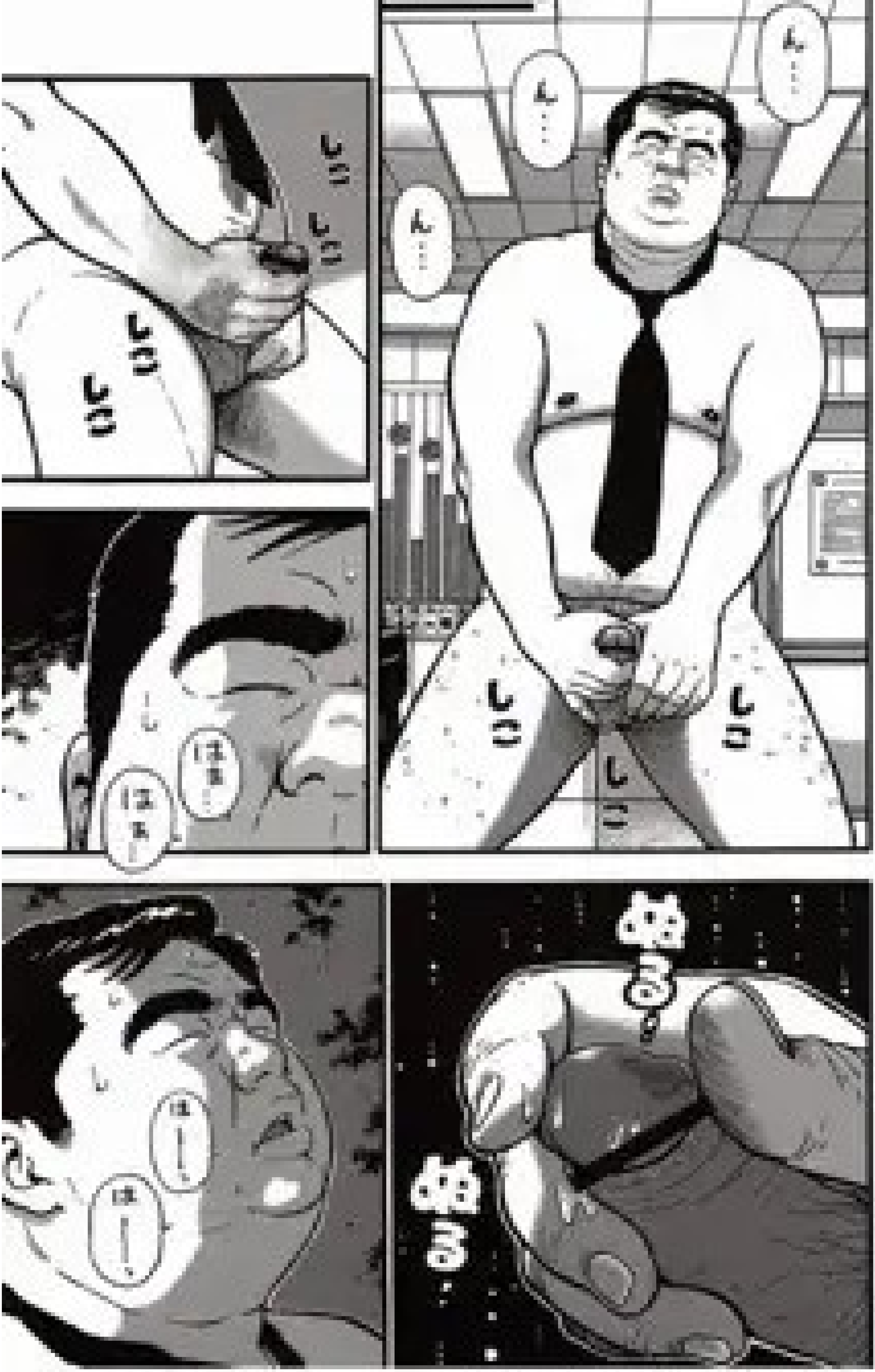
第十八話

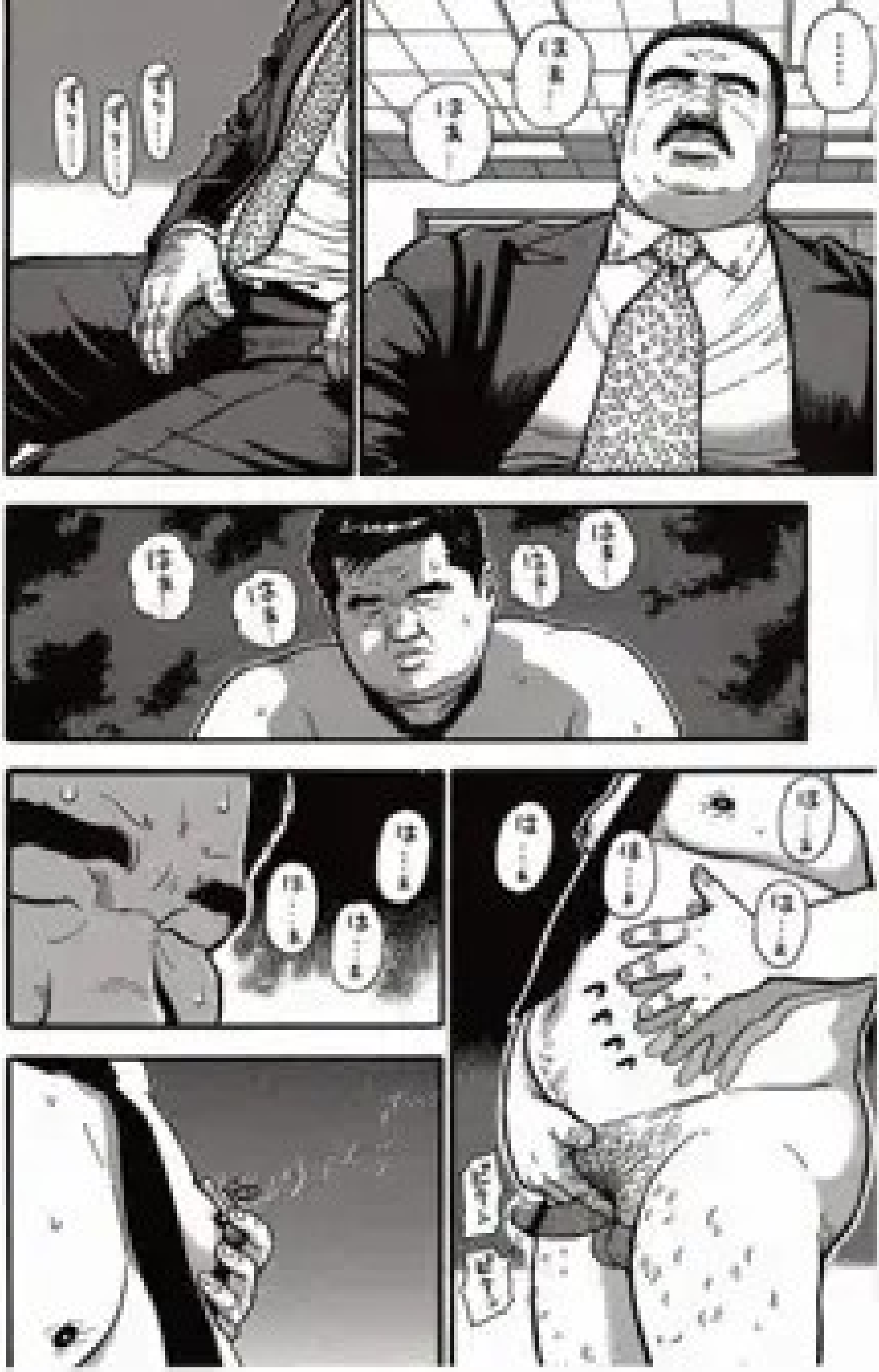
The 18th story

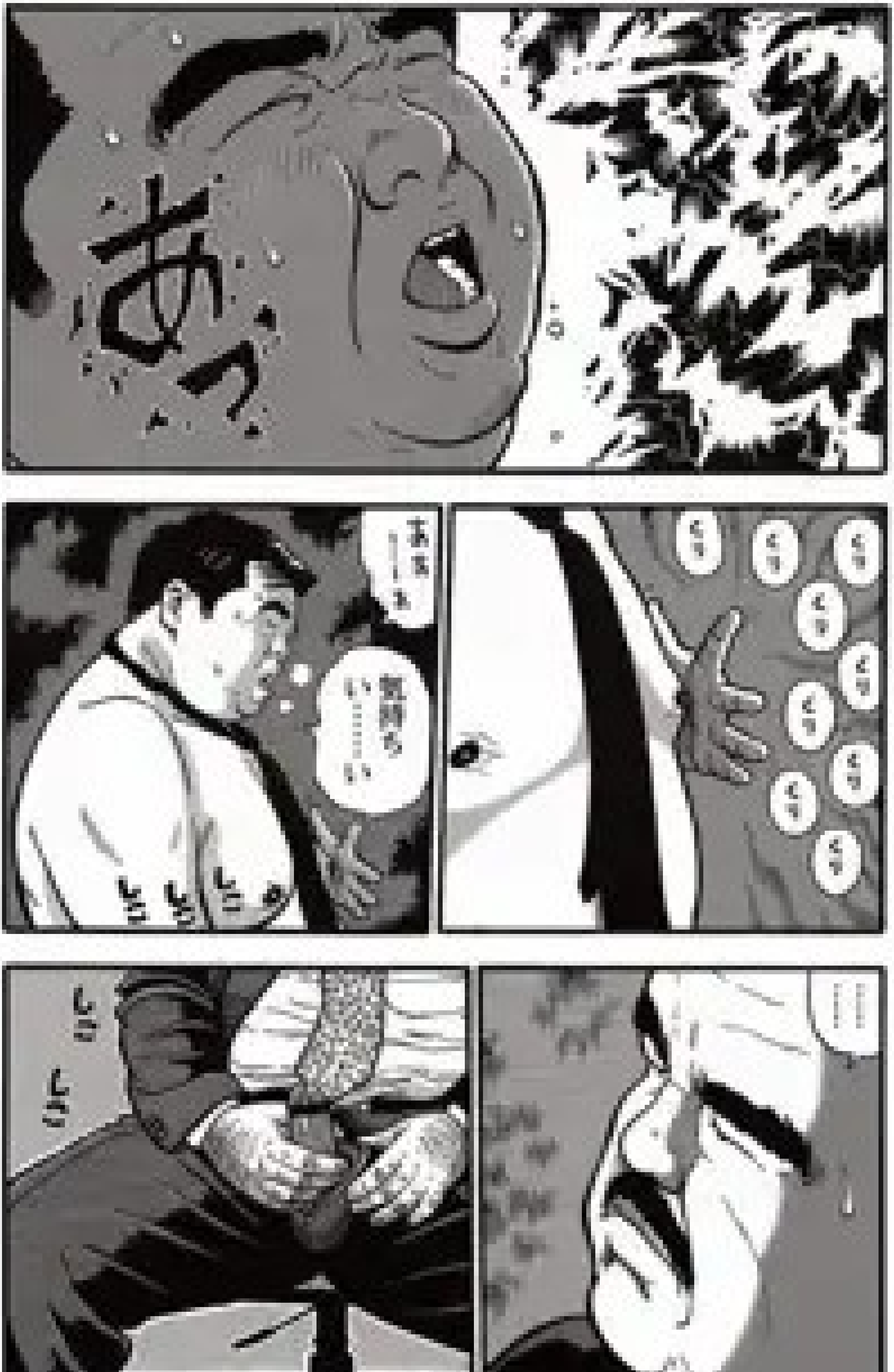


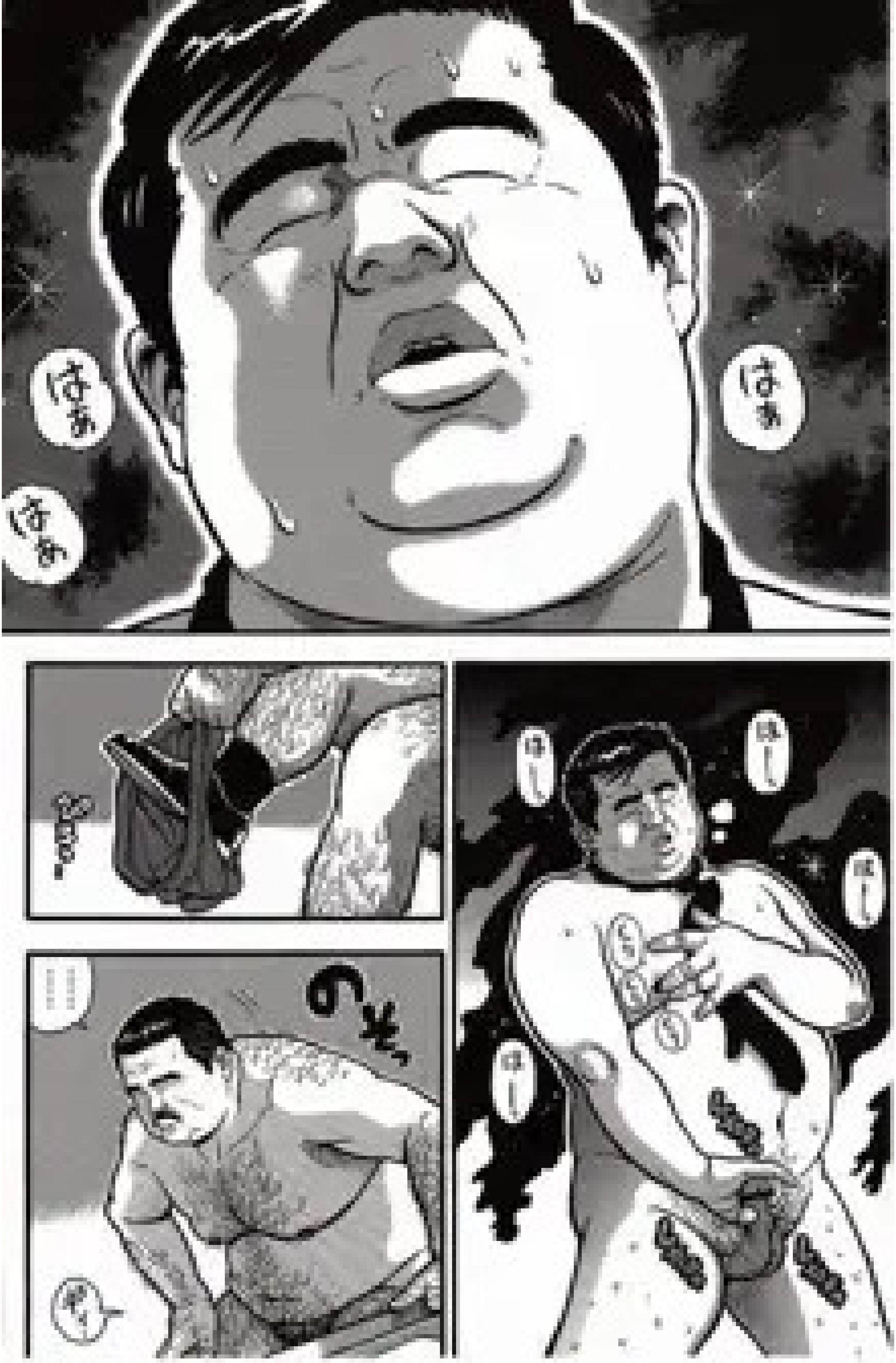
スカーーッ
どんな仕事でもかまわない…と、言ったな
は…!
……はい
それじゃあしてもらおうか……
俺の目の前で……
マスターベーションを

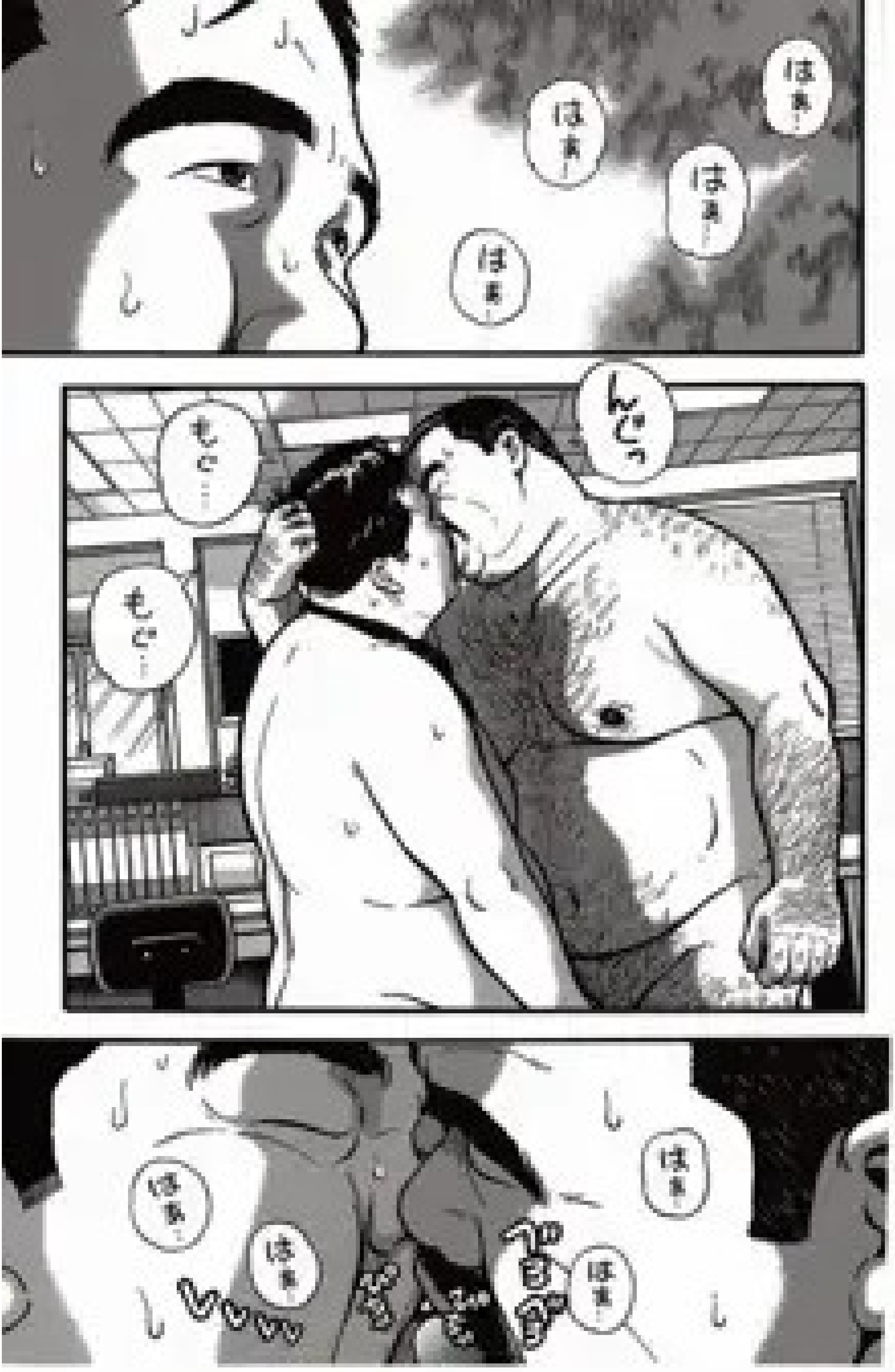

……
ずるっ
ぬ
ん…
しこしこ
しこしこ


ん…
ん…
ん…
しこ
しこ
しこ
しこ
しこ
しこ
しこ
はぁ…
はぁ…
ぬる
ぬる
はー…
はー…


……
はぁ!
はぁ!
はぁ!
はぁ!
はぁ!
はぁ!
はっ…あ
はっ…あ
はっ…あ
はっ…あ
はっ…あ
はっ…あ
はっ…あ
ァァァァ

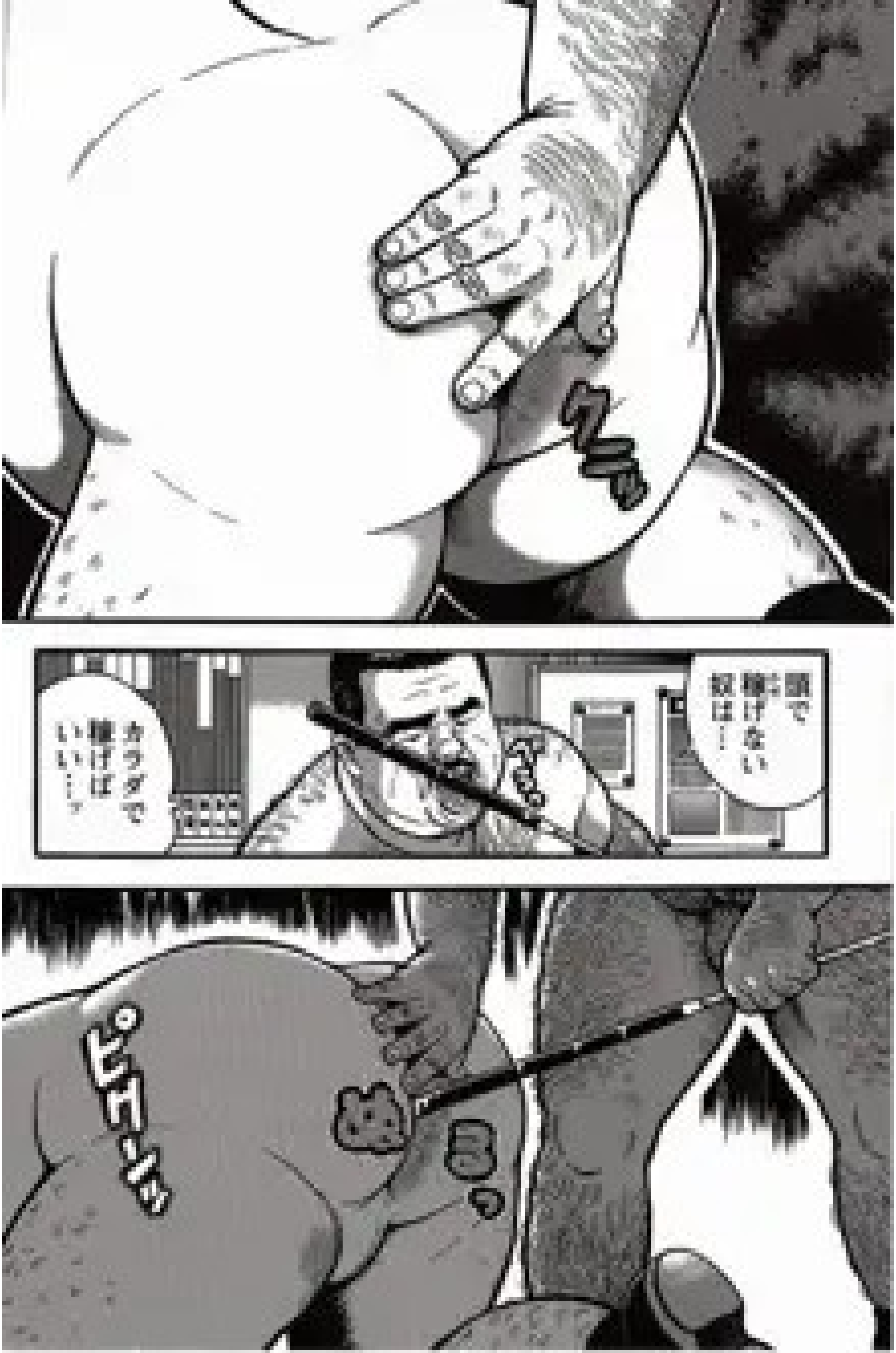

あっ
ああーっ
智絵の……い……い
……

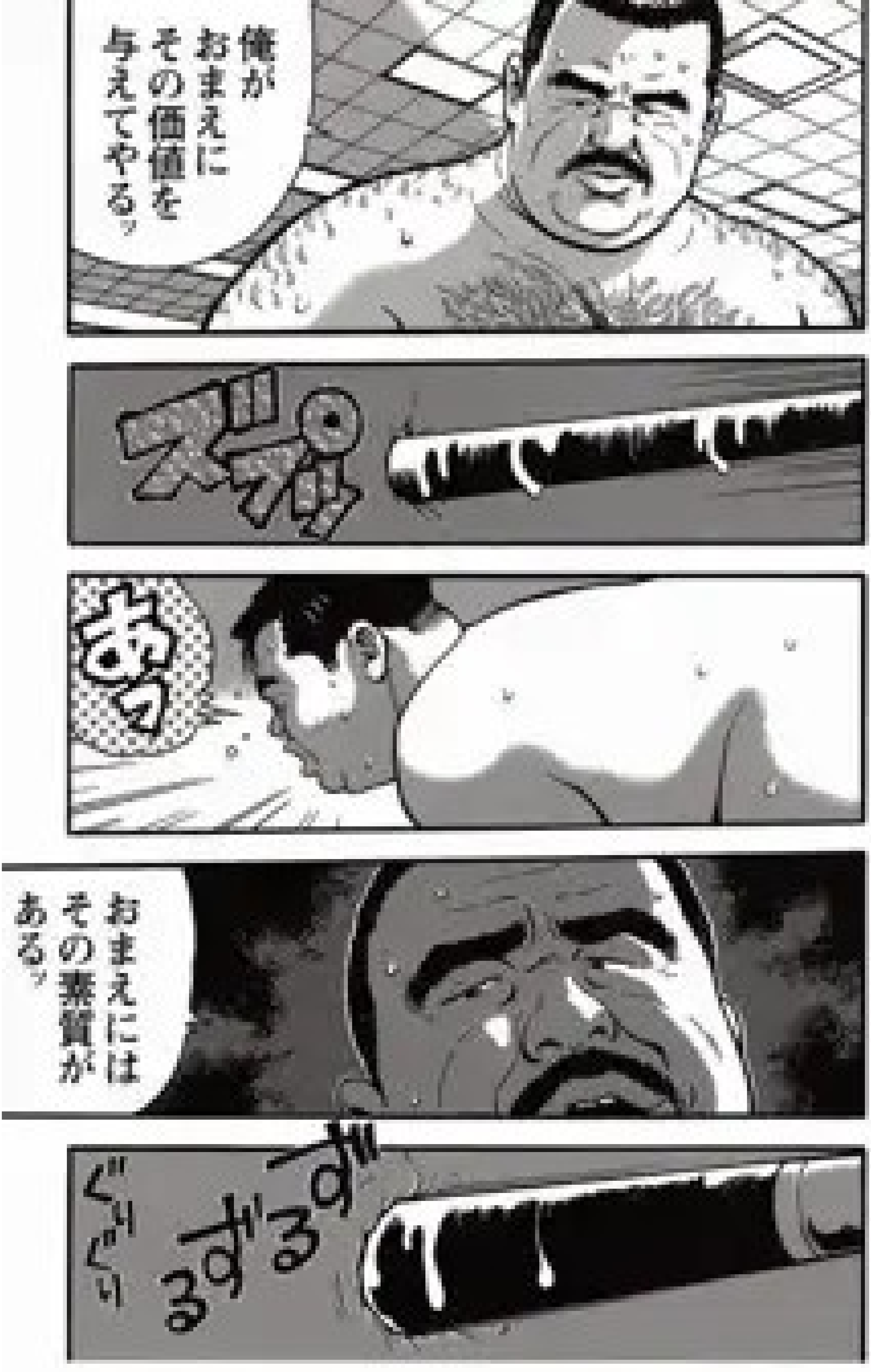

はぁ
はぁ
はぁ
はー
はー
はー

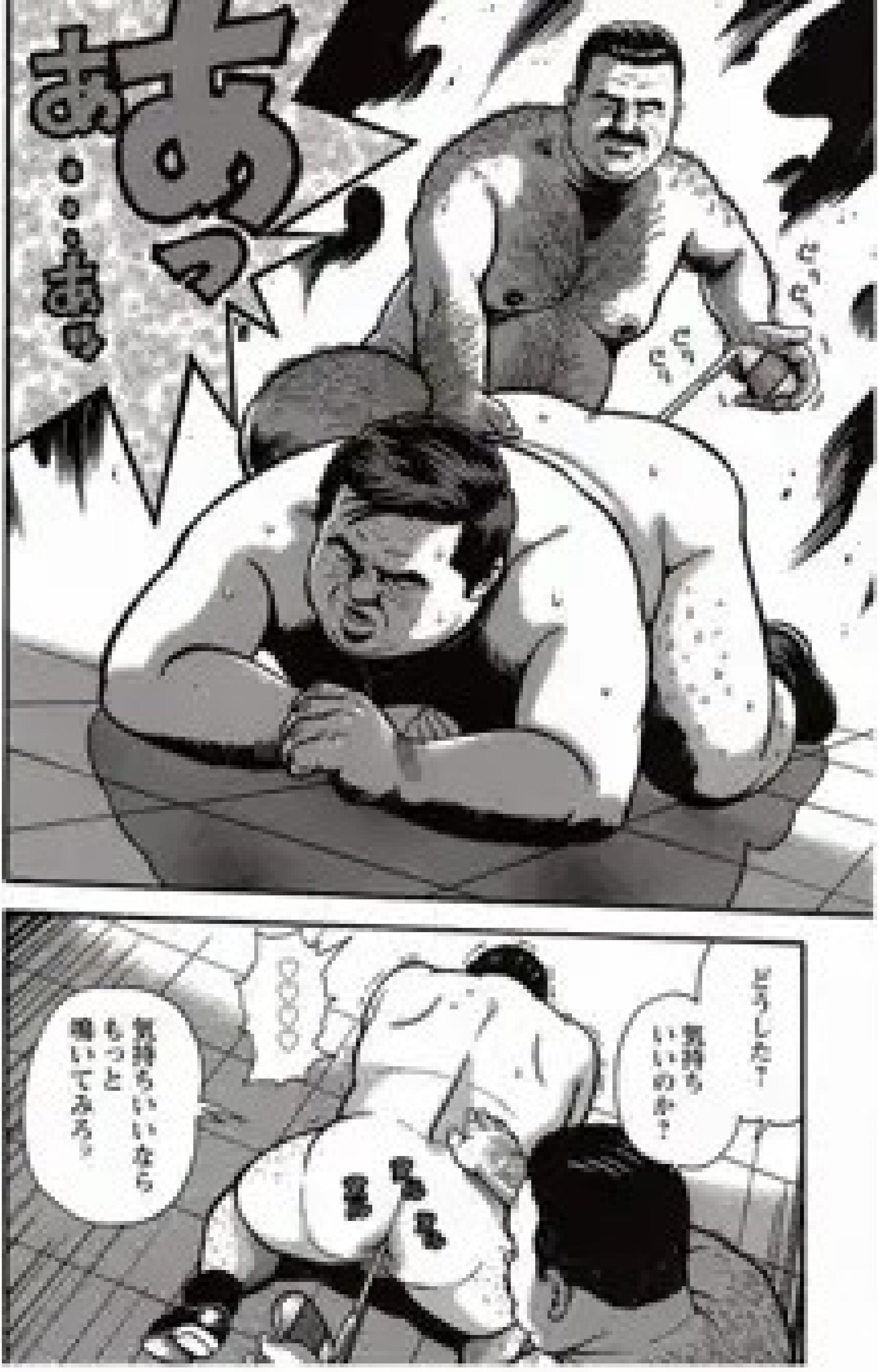

はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
んむっ
もご…
もご…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…

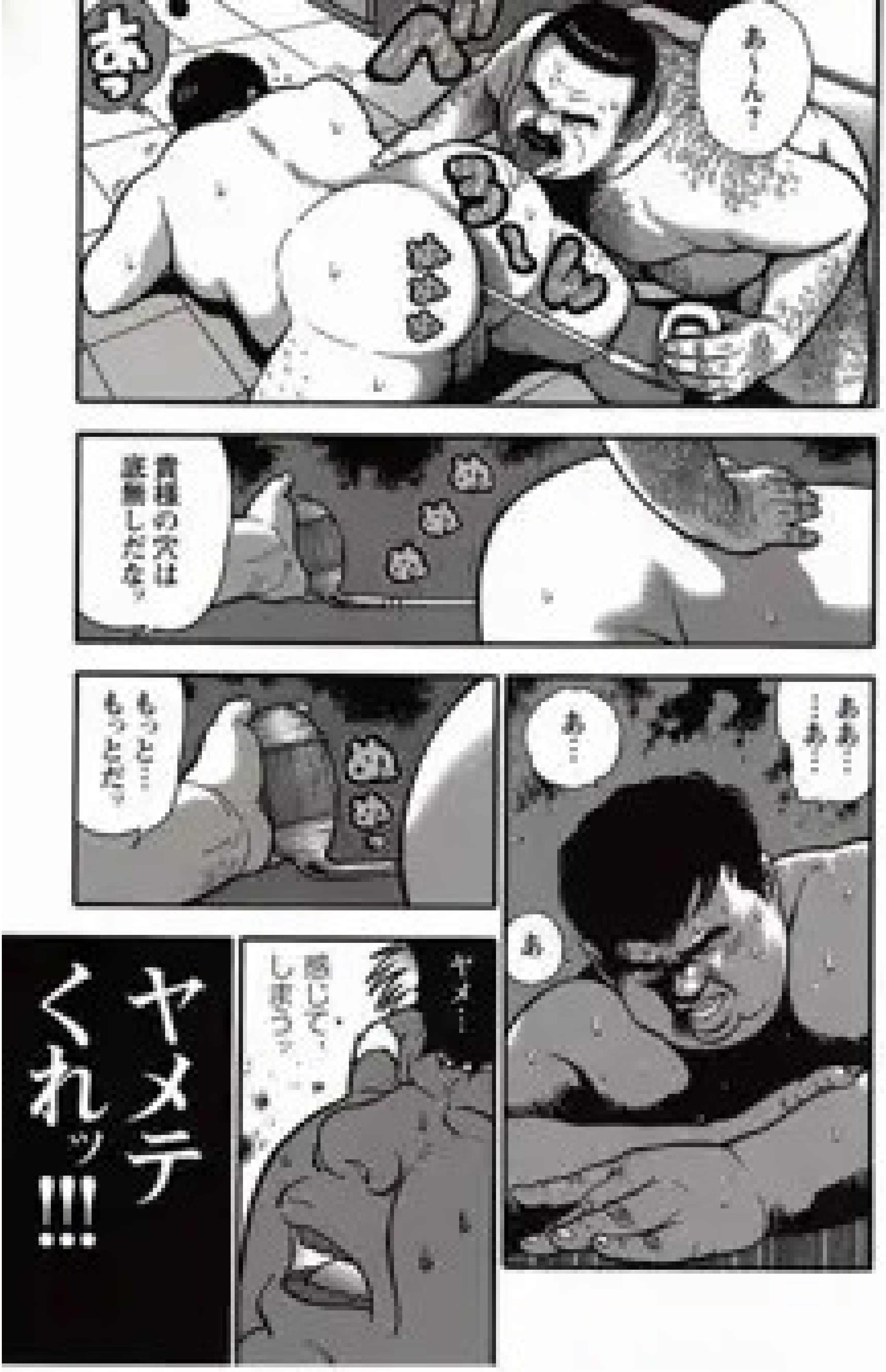
ぐいっ
!!
しゃぶれッ

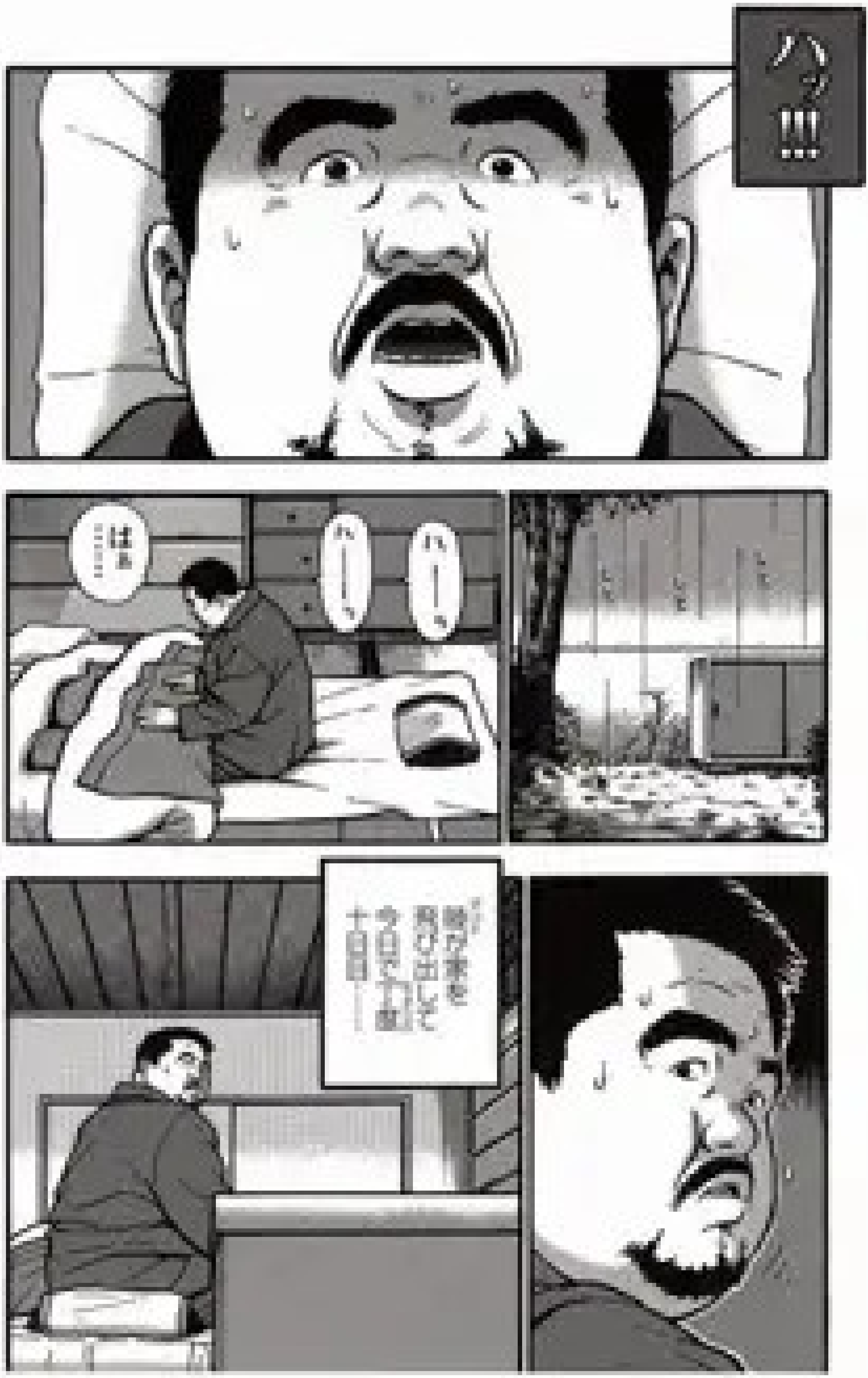
じゅるっ
じゅるっ
じゅるっ
じゅるっ
ぢゅるるるるっ
ぢゅるるるるっ
ん…
ん…
ん…
ん…
じゅるっ
じゅるっ
じゅるっ

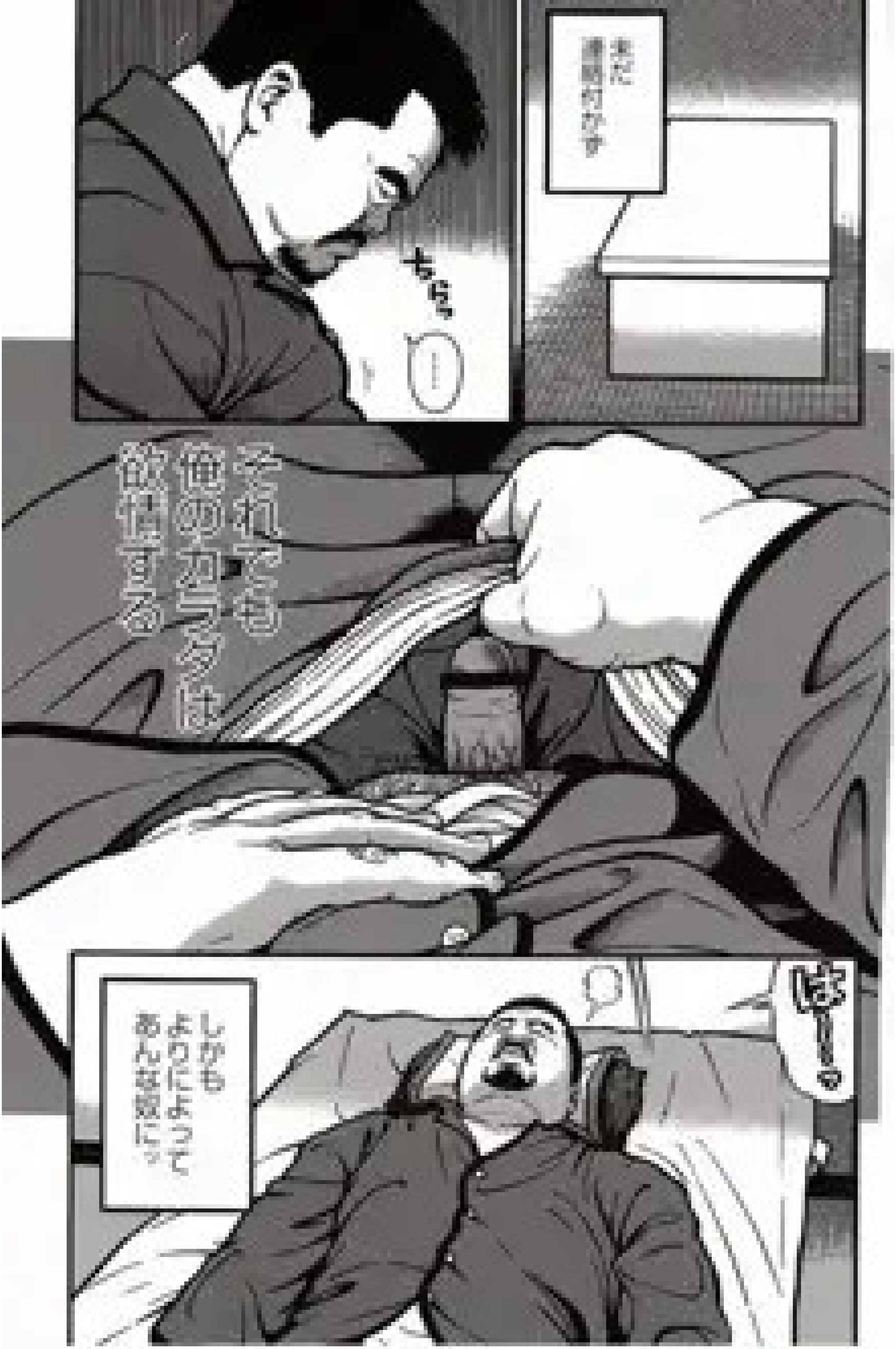

頭で稼げない奴は…！
カラダで稼げばいい…ッ
ピシーッ


俺が おまえに その価値を 与えてやるッ
ズポッ
おうっ
おまえには その素質が あるッ
ずるずる
ぐりぐり


あっ
あ…あ…あっ
どうした？
気持ちいいのか？
気持ちいいなら
もっと
鳴いてみろ


あ～んッ
貴様の穴は成長したなッ
ああ……あ…
あ…
もっと…もっとだッ
あ
ヤメ…
感じてしまうッ
ヤメテくれッ!!!

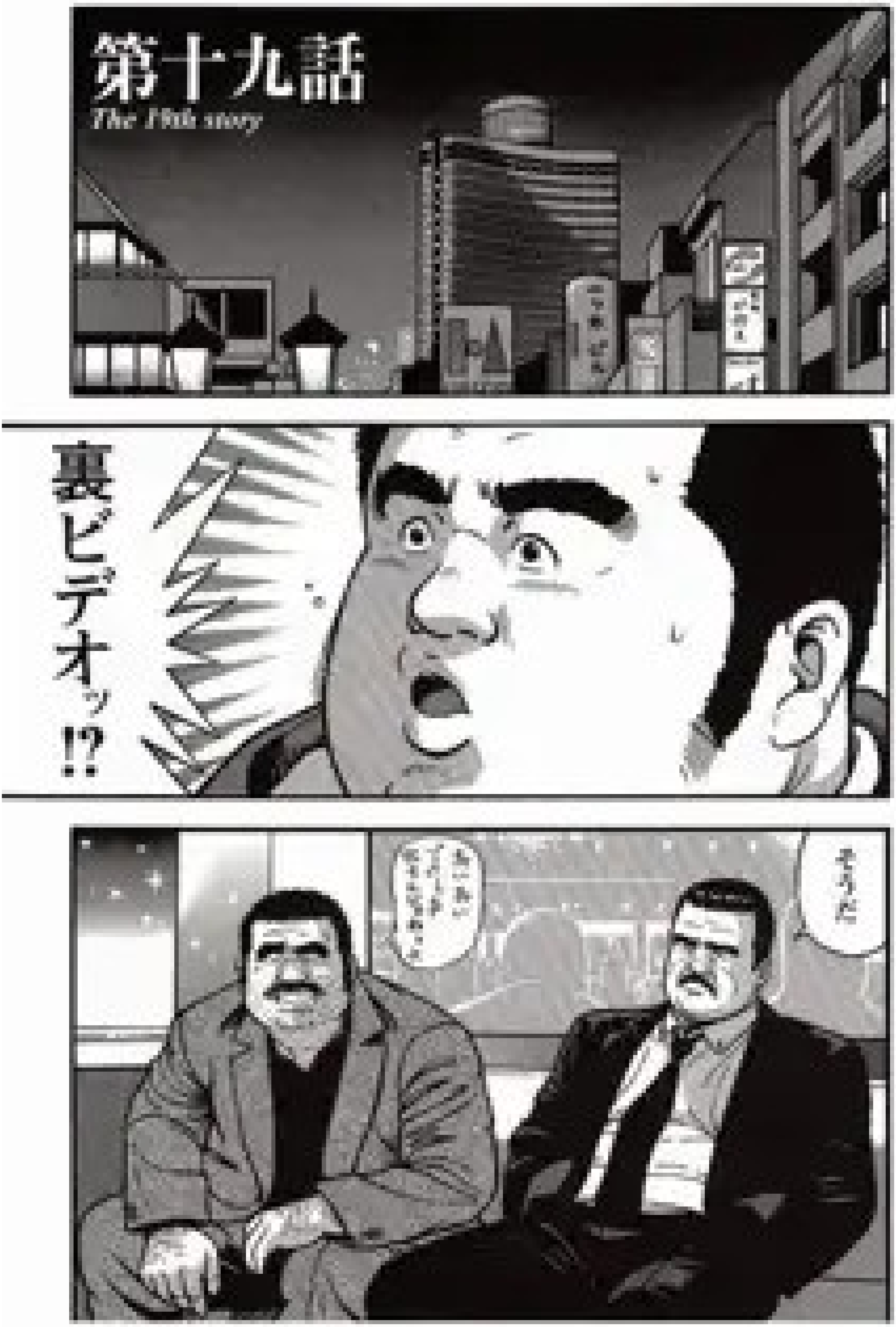
ハッ!!…
ハーッ
ハーッ
はぁ…
師が家を飛び出して今日で丁度十日目…

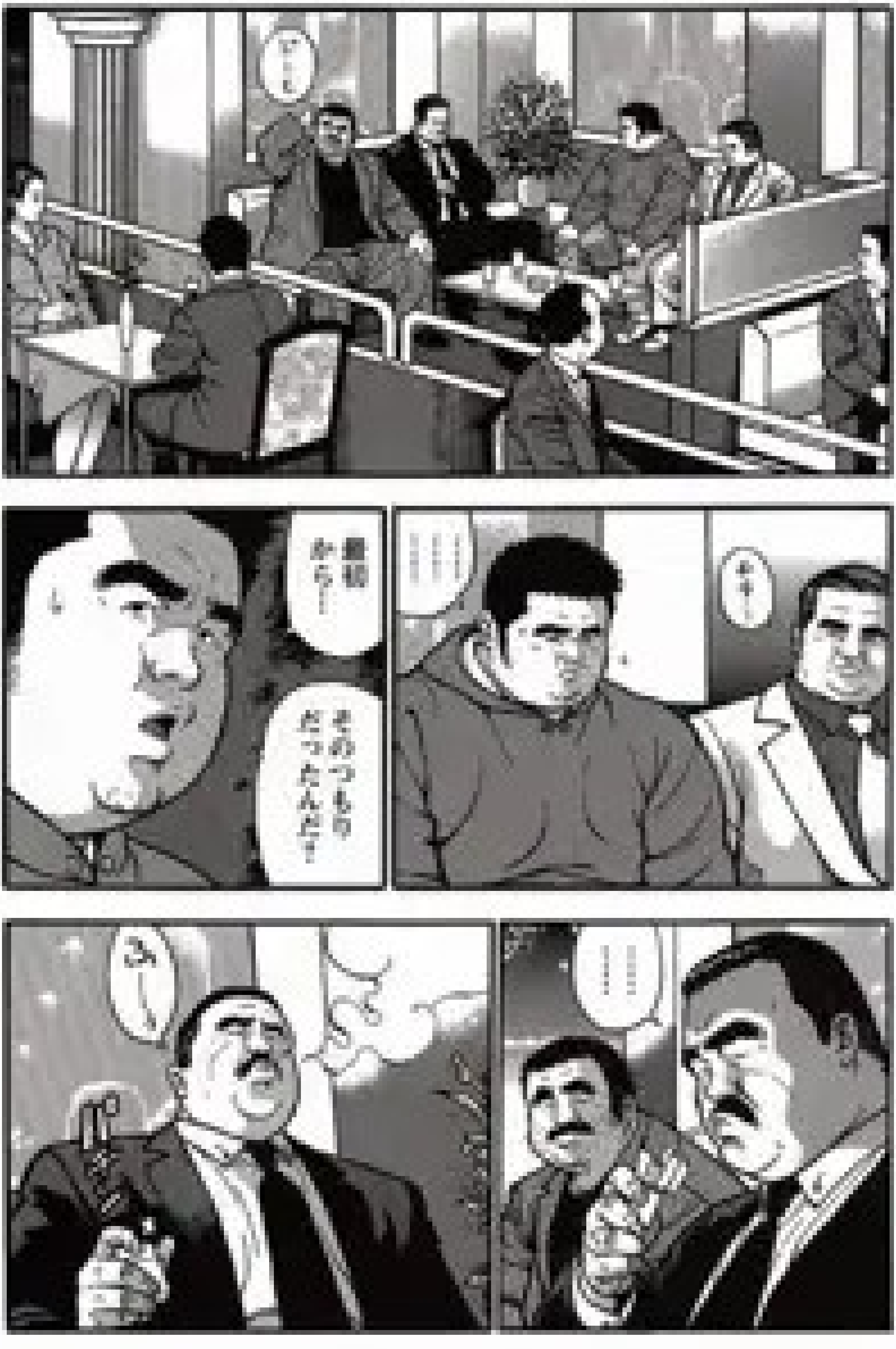

まだ
[illegible]
ちゅ
…
それでも
俺のカラダは
欲情する
ぱーーっ
しかも
よりによって
あんな奴に…

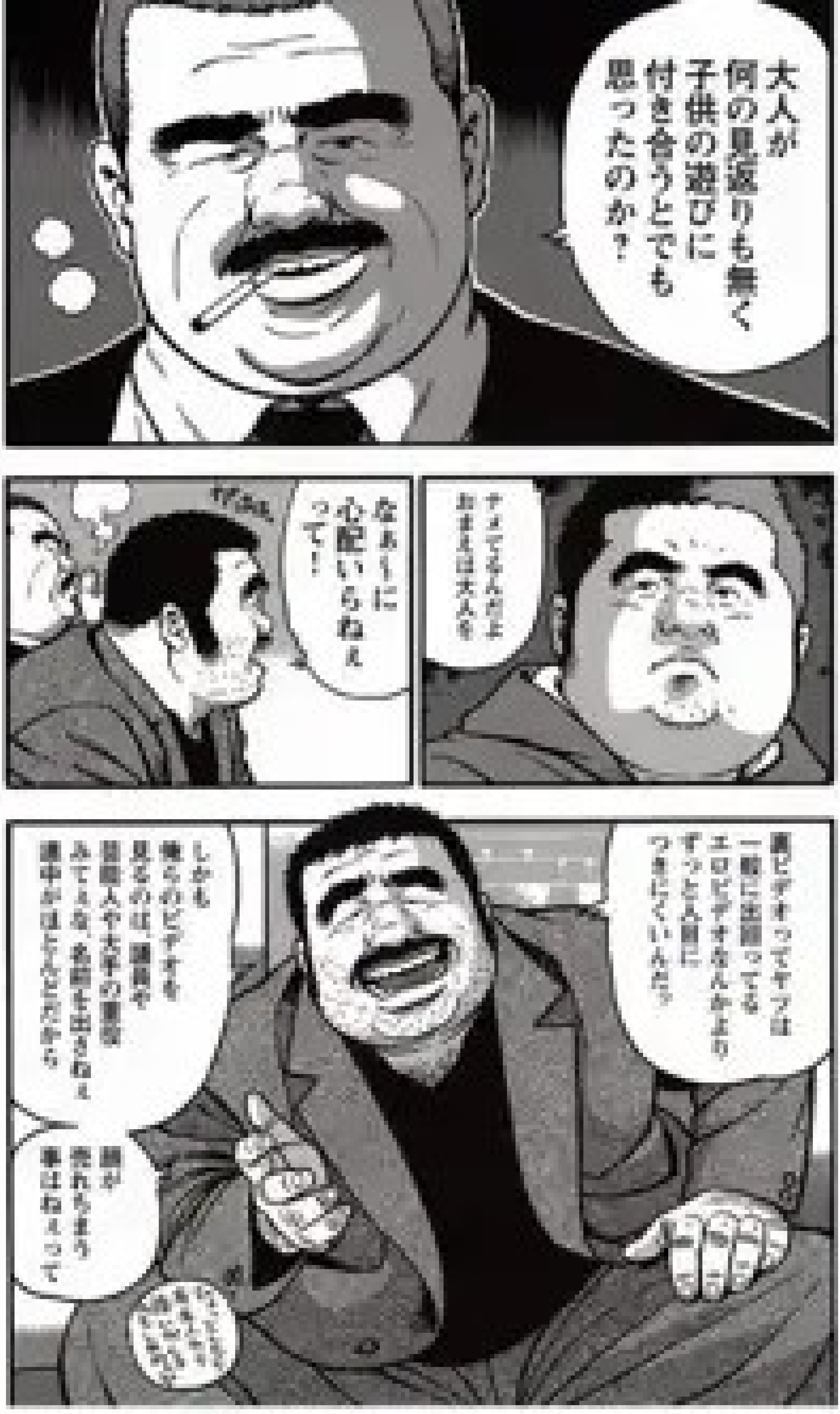
まこと
俺は、お前さんを責める資格など無い父親なんだ
娘……

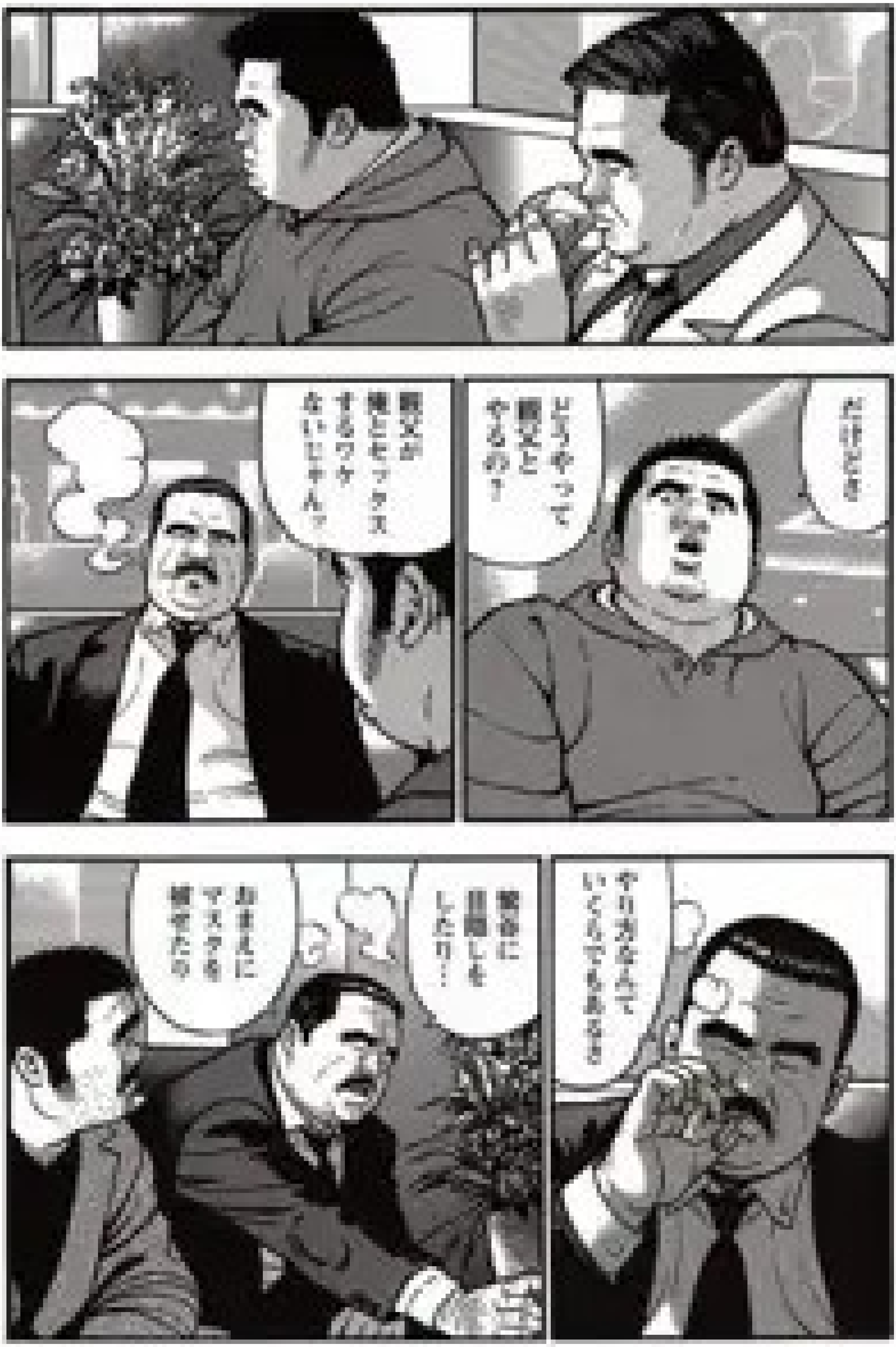
第十九話

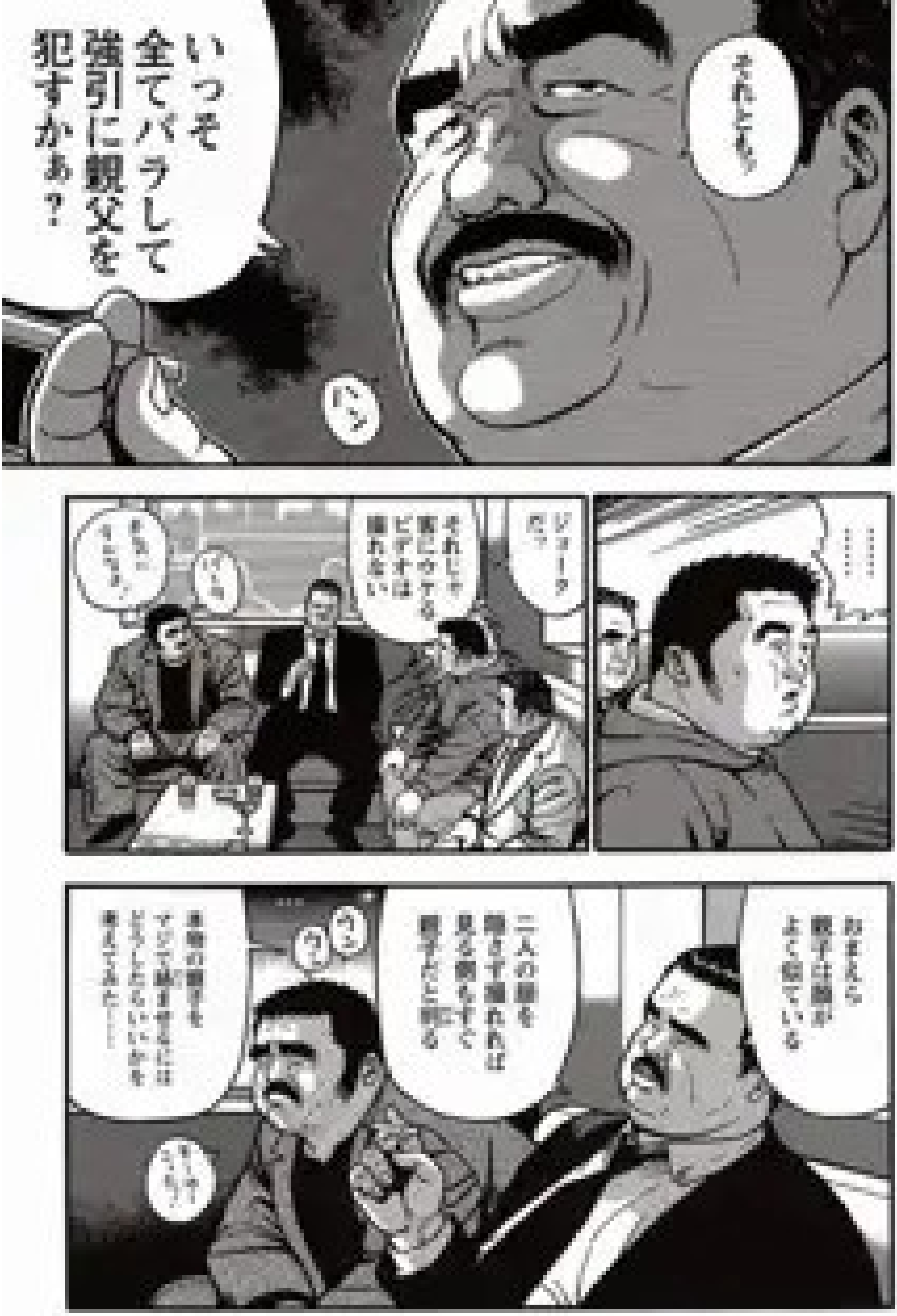
The 19th story

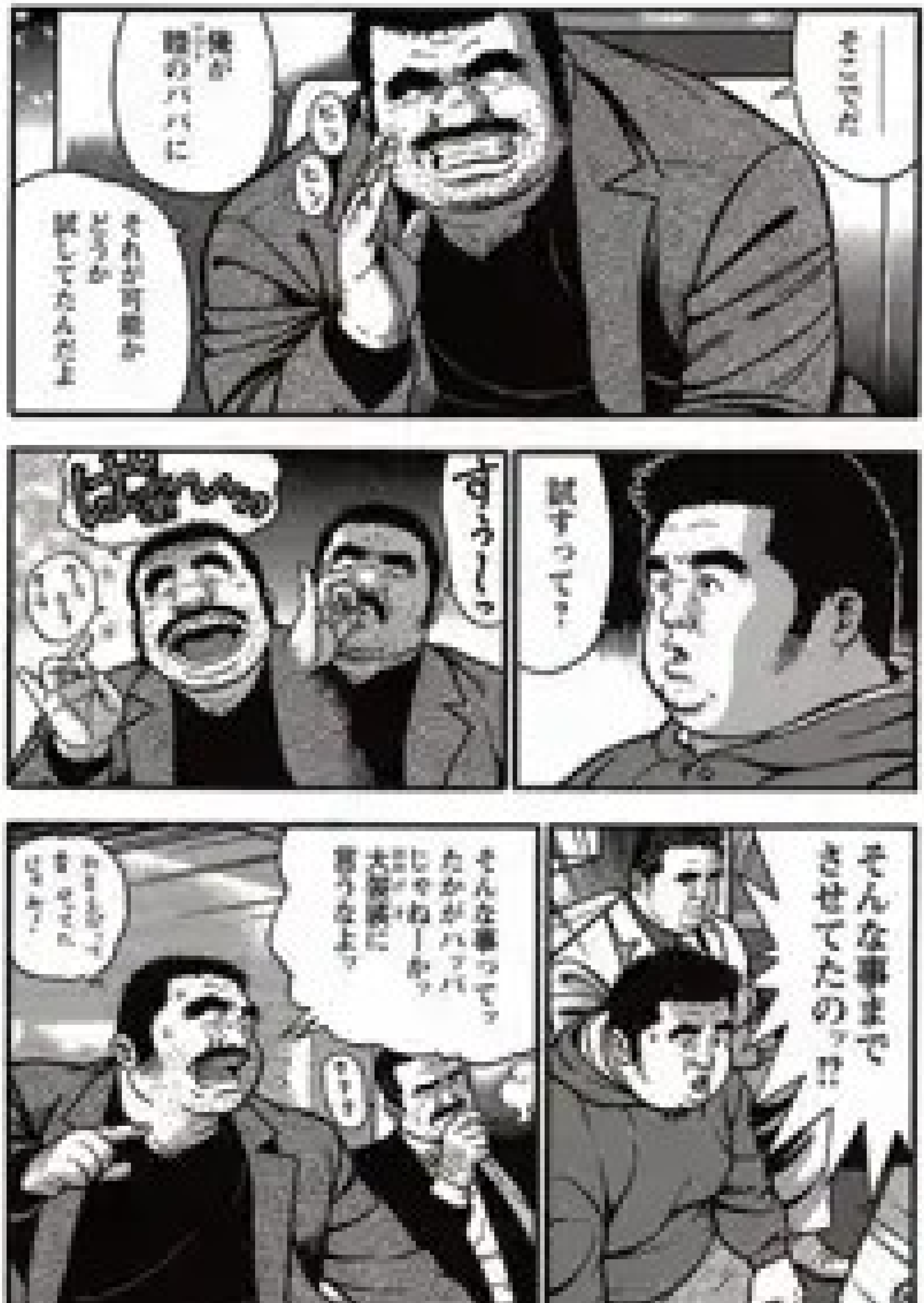


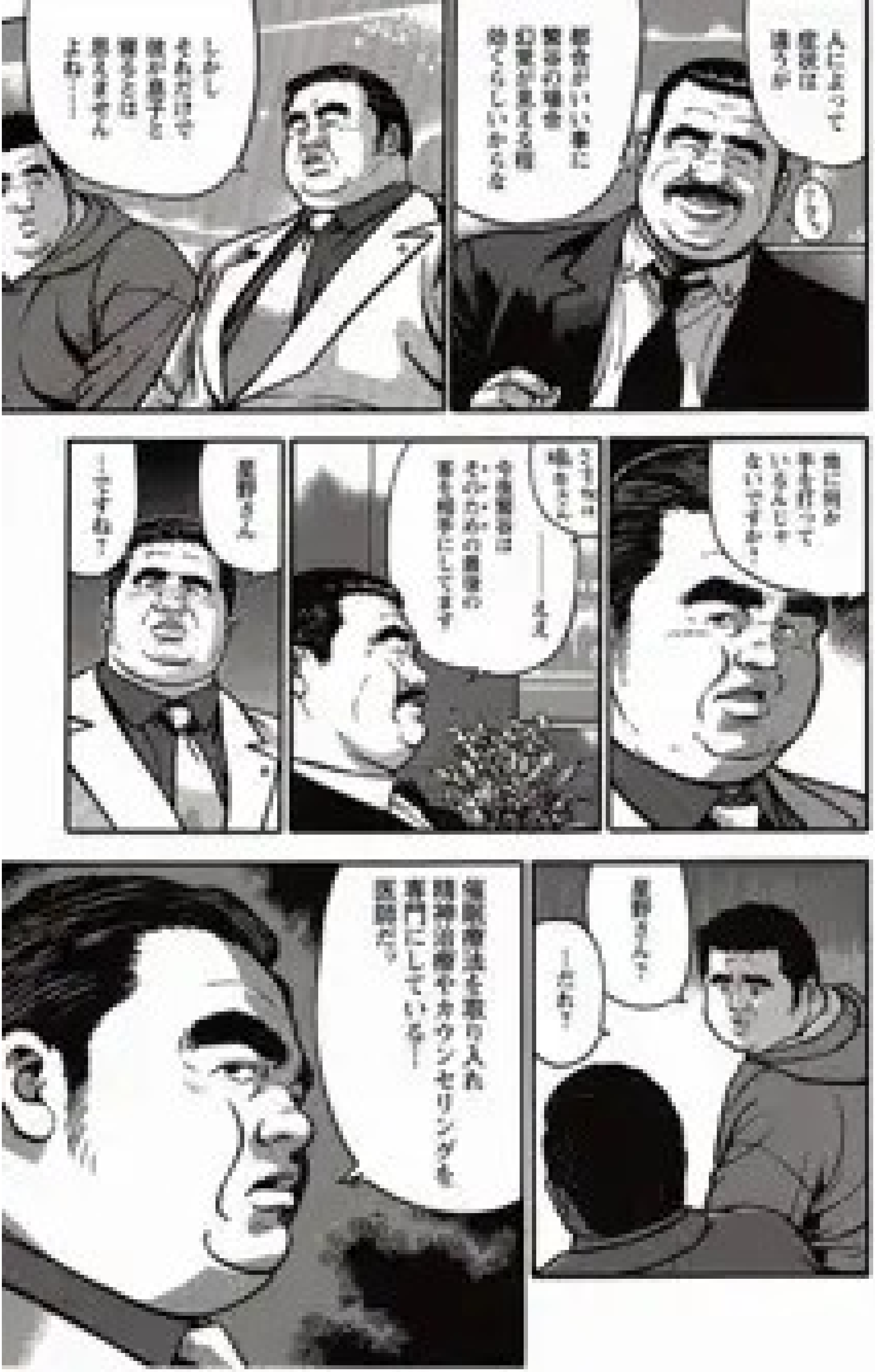

ホ？
………
最初から…
そのつもりだったんだな
………
ふ〜ん

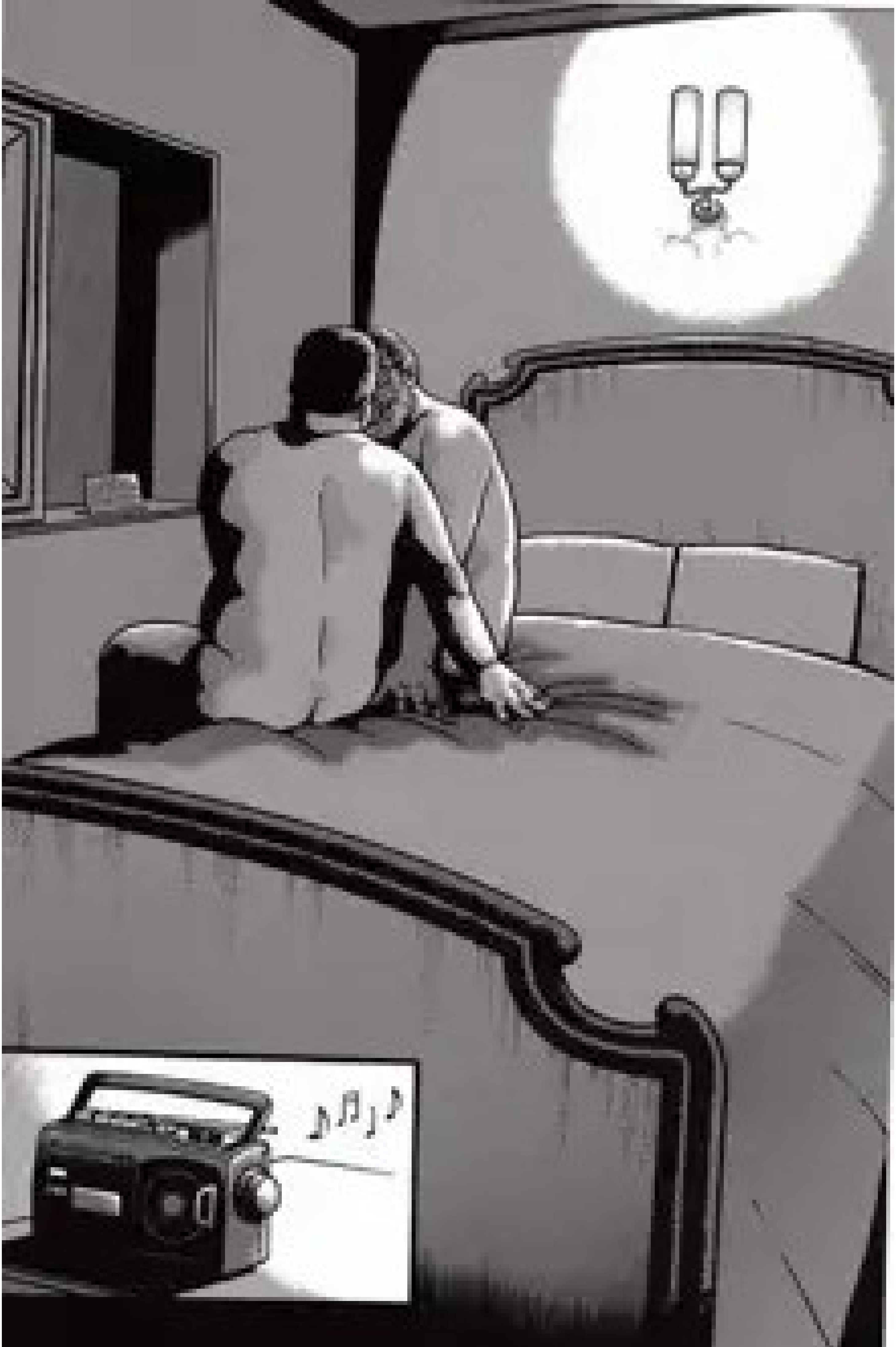

大人が
何の見返りも無く
子供の遊びに
付き合うとでも
思ったのか？
ナメてるんだよ
おまえは大人を
なあに
心配いらねぇ
って！
裏ビデオってモノは
一般に出回ってる
エロビデオなんかより
ずっと高値に
つきやすいんだ
しかも
俺らのビデオを
見るのは、顧客が
芸能人や大手の重役
みてぇな、名前を出せねぇ
連中がほとんどだから
顔が
割れちまう
事はねぇって

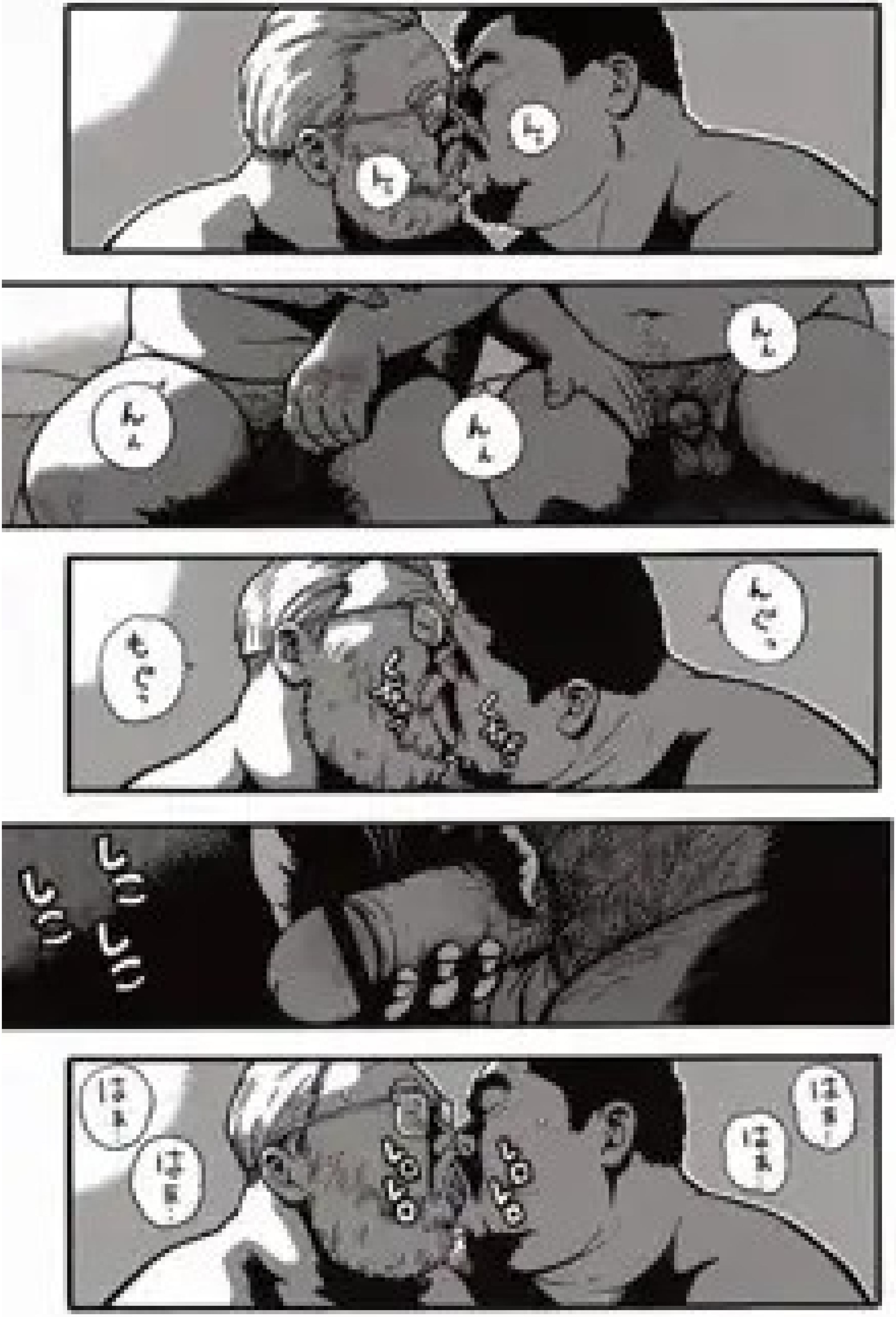

だけどさ
どうやって親父とやるの？
親父が俺とセックスするワケないじゃんっ
やり方なんていくらでもあるさ
緊縛に目隠しをしたり…
おまえにマスクを被せたり

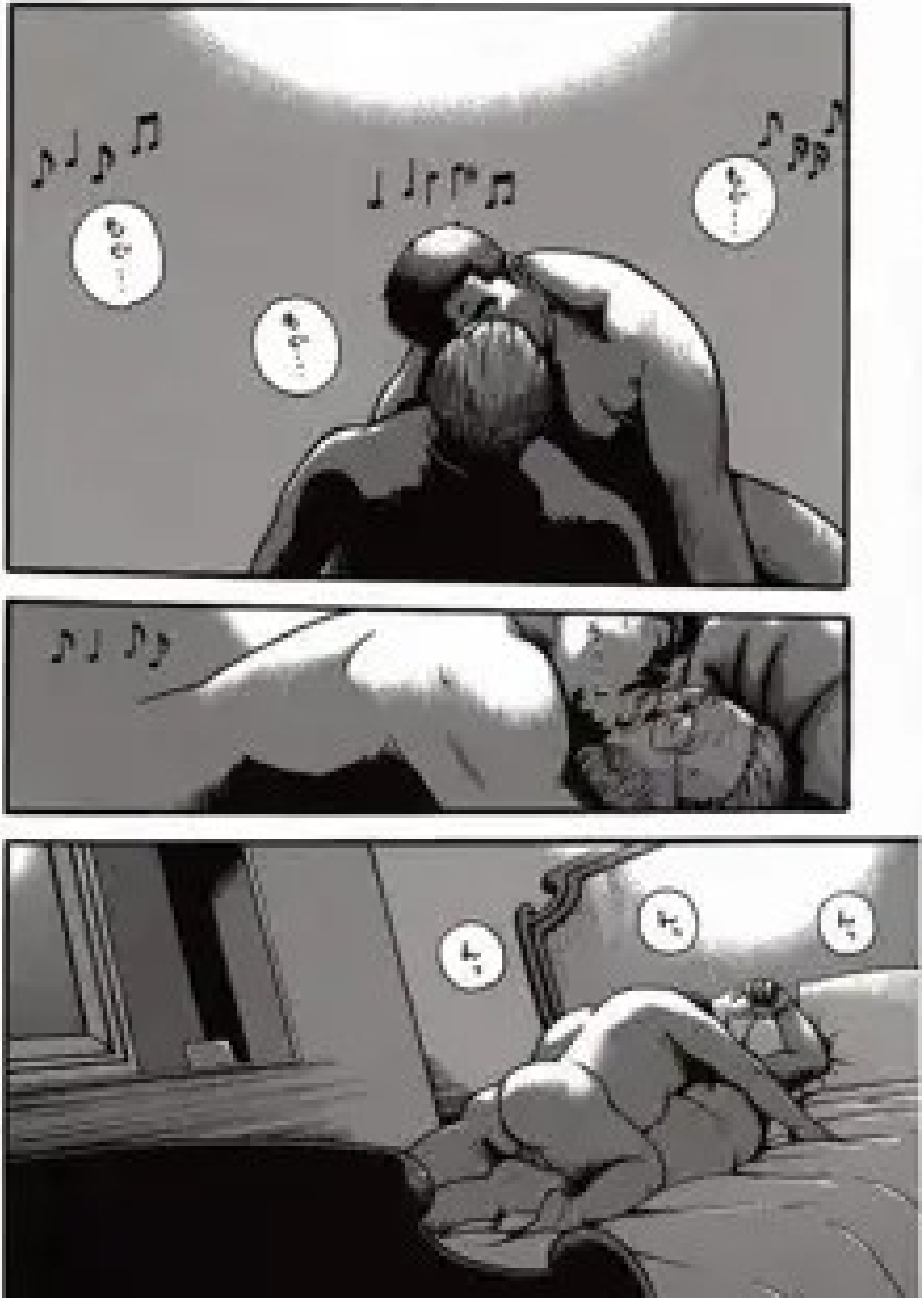

それとも
いっそ全てバラして強引に親父を犯すかぁ？
ハッ
ジョークだ
おまえら親子は顔がよく似ている
二人の顔を晒さず撮れれば見る側もすぐ親子だと判る
？
？
本物の親子をマジで絡ませるにはどうしたらいいかを考えてみた……

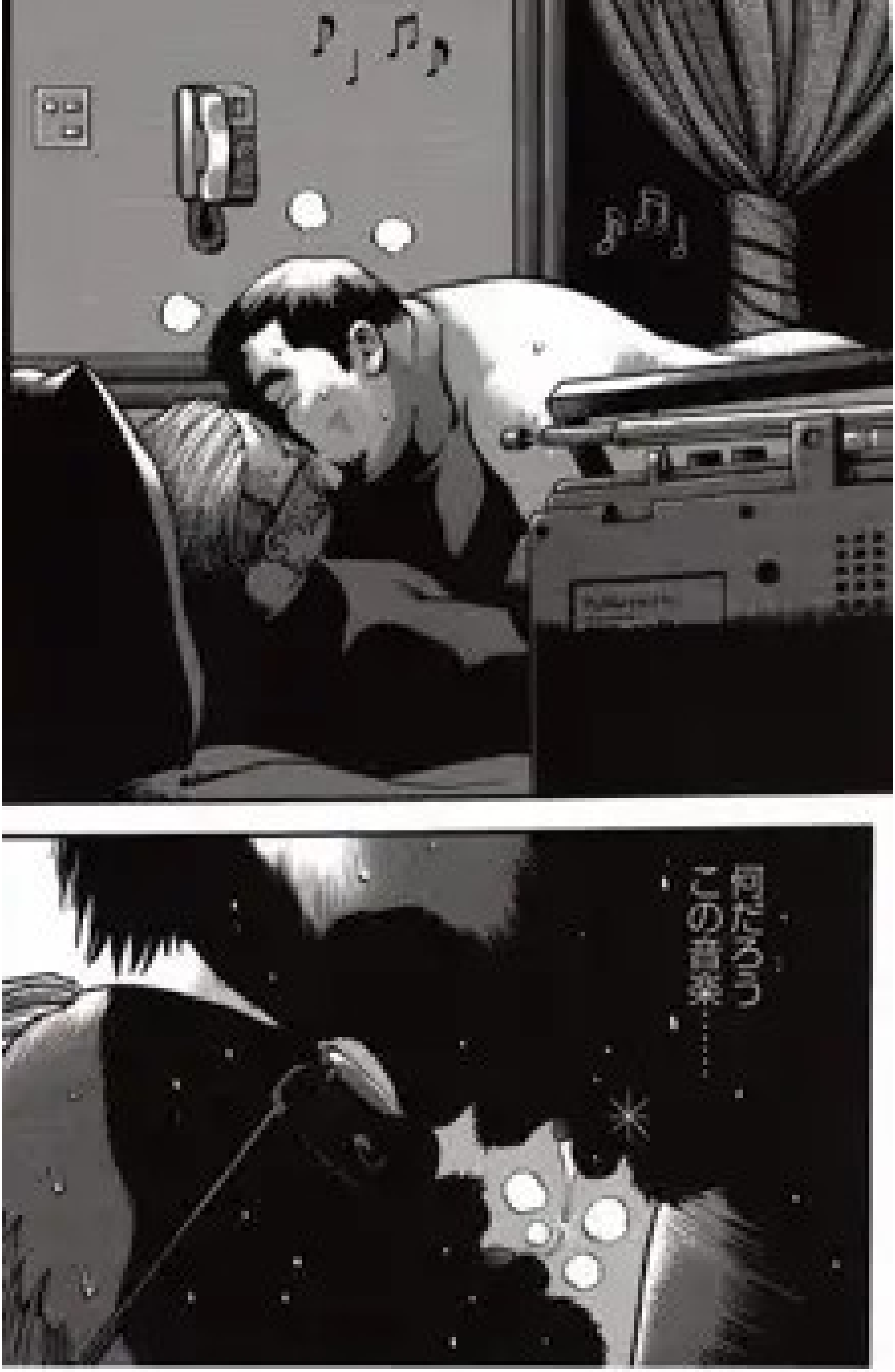

そこでだ——
ボソ
ボソ
俺が晴のパパに
それが可能かどうか試してたんだよ
試すって？
すぅーしっ
ぶはははっ
そんな事までさせてたのっ!?
そんな事ってっ たかがパパじゃねーかっ 大袈裟に言うなよっ

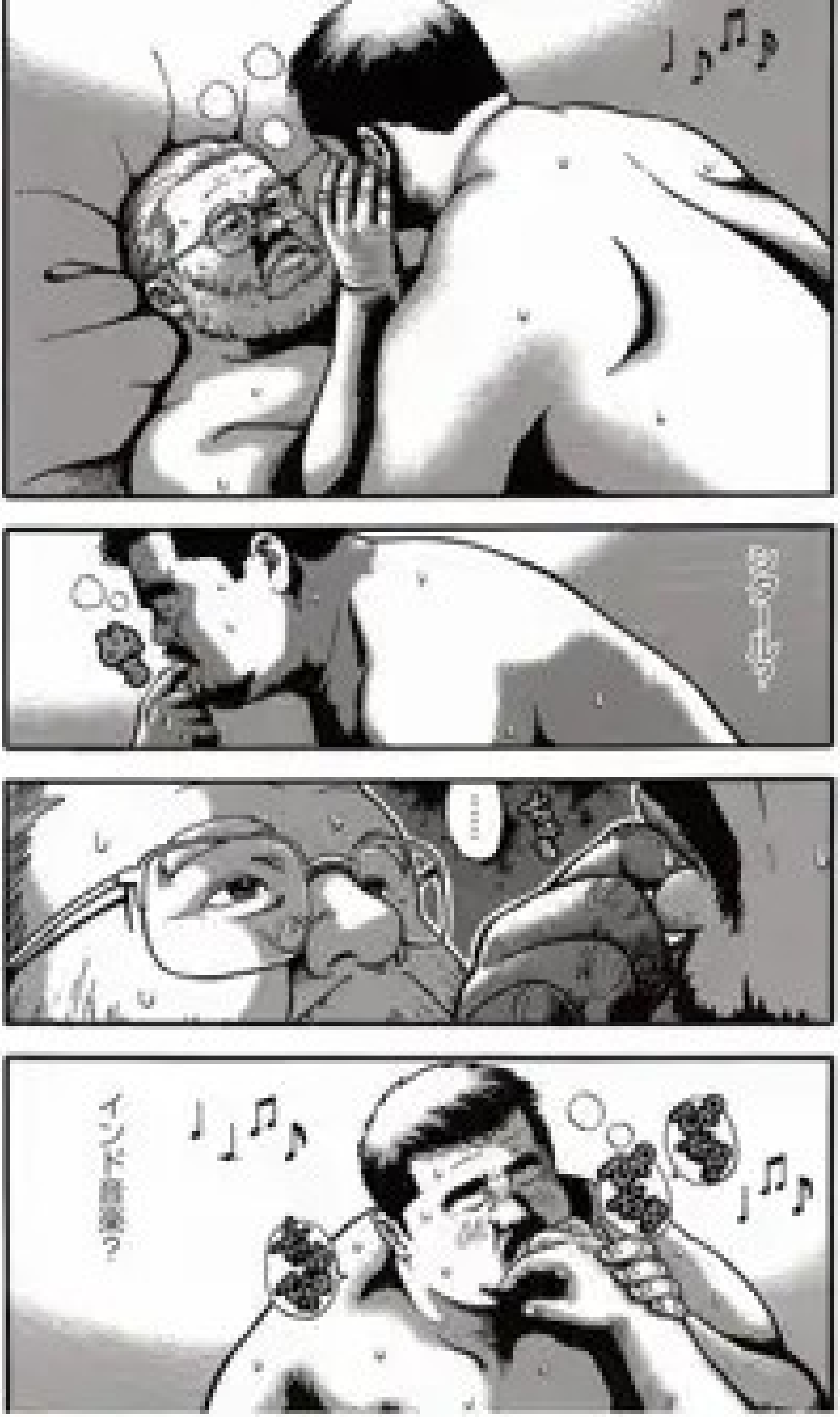

人によって 症状は 違うが
他に何か 手を打って いるんじゃ ないですか？
——ええ
——ですね？
催眠療法を取り入れ 精神治療やカウンセリングを 専門にしている 医師だ

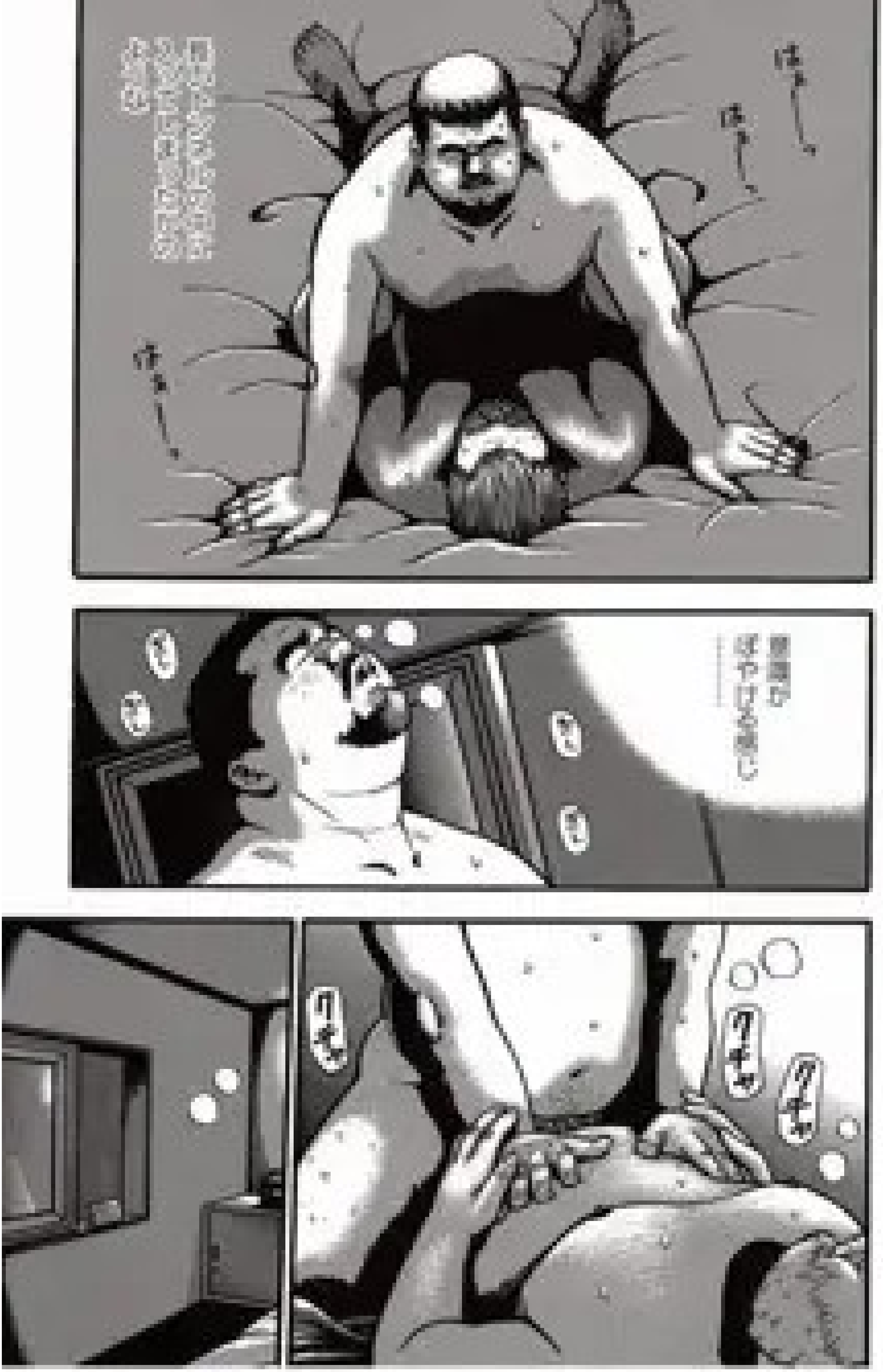


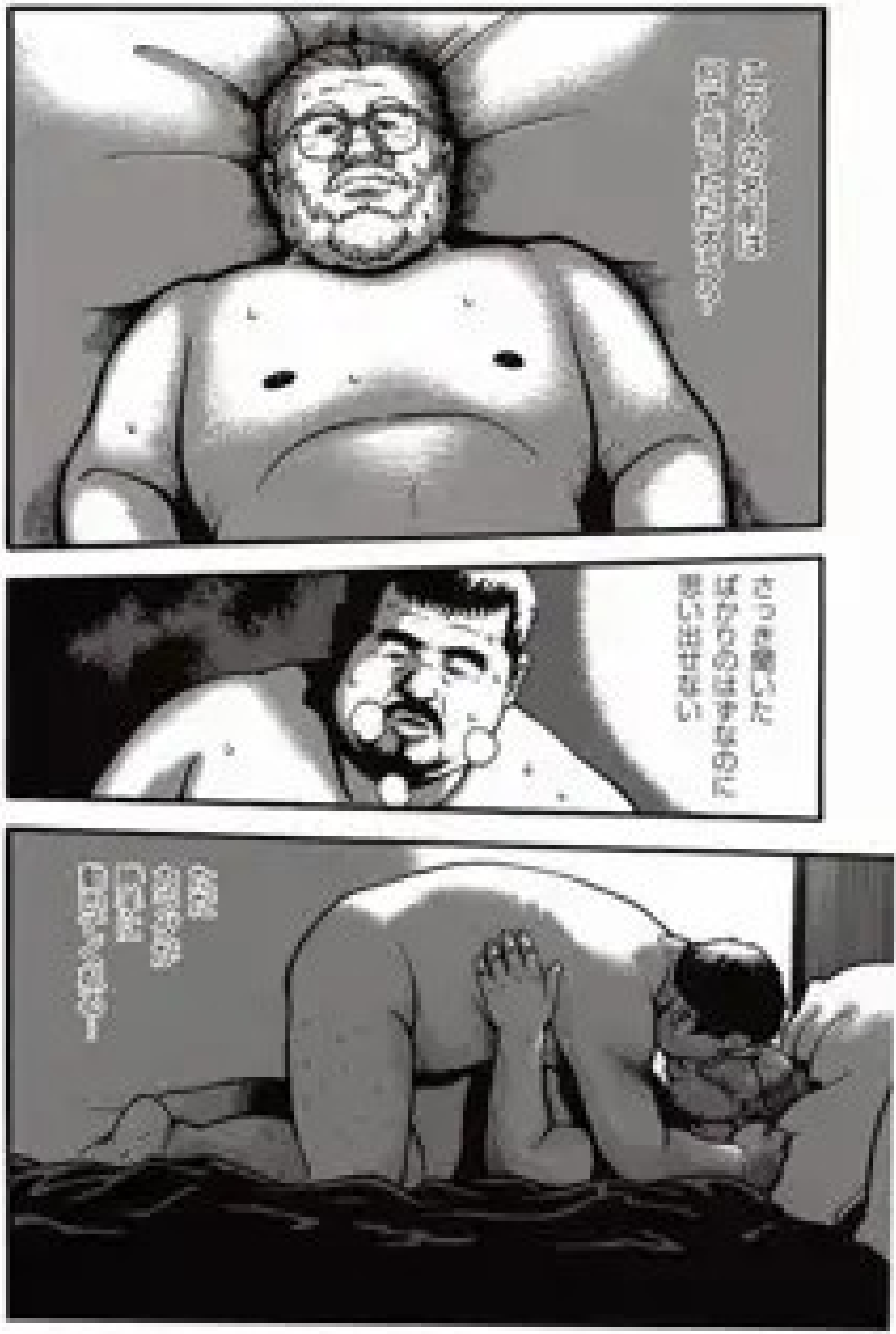

ん
ん
んっ
んん
んん
んぐっ
むぐっ
しこ
しこ
しこ
はあっ
はあ…
はあ
はあっ

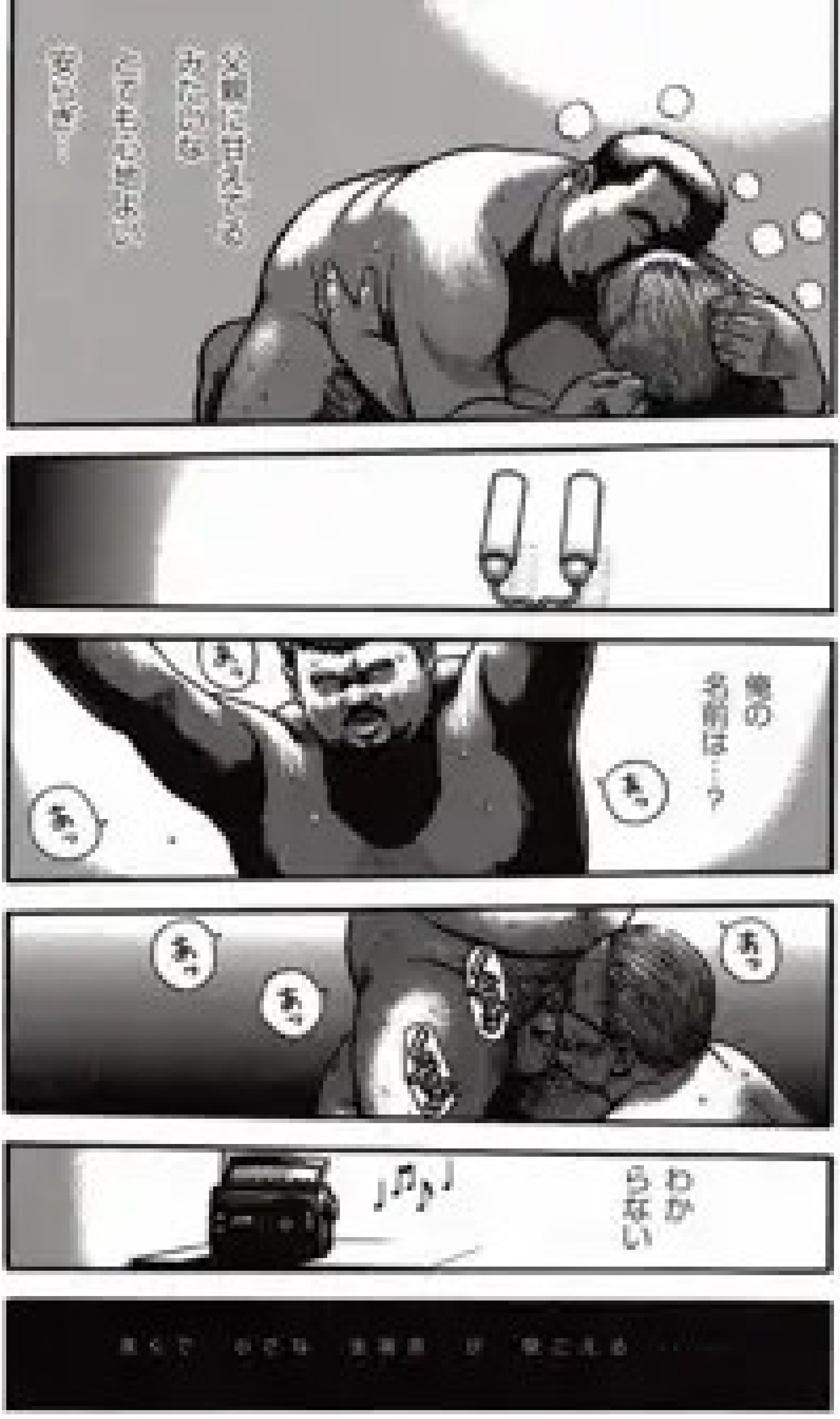

もぞ…
もぞ…
もぞ…
んっ
んっ
んっ

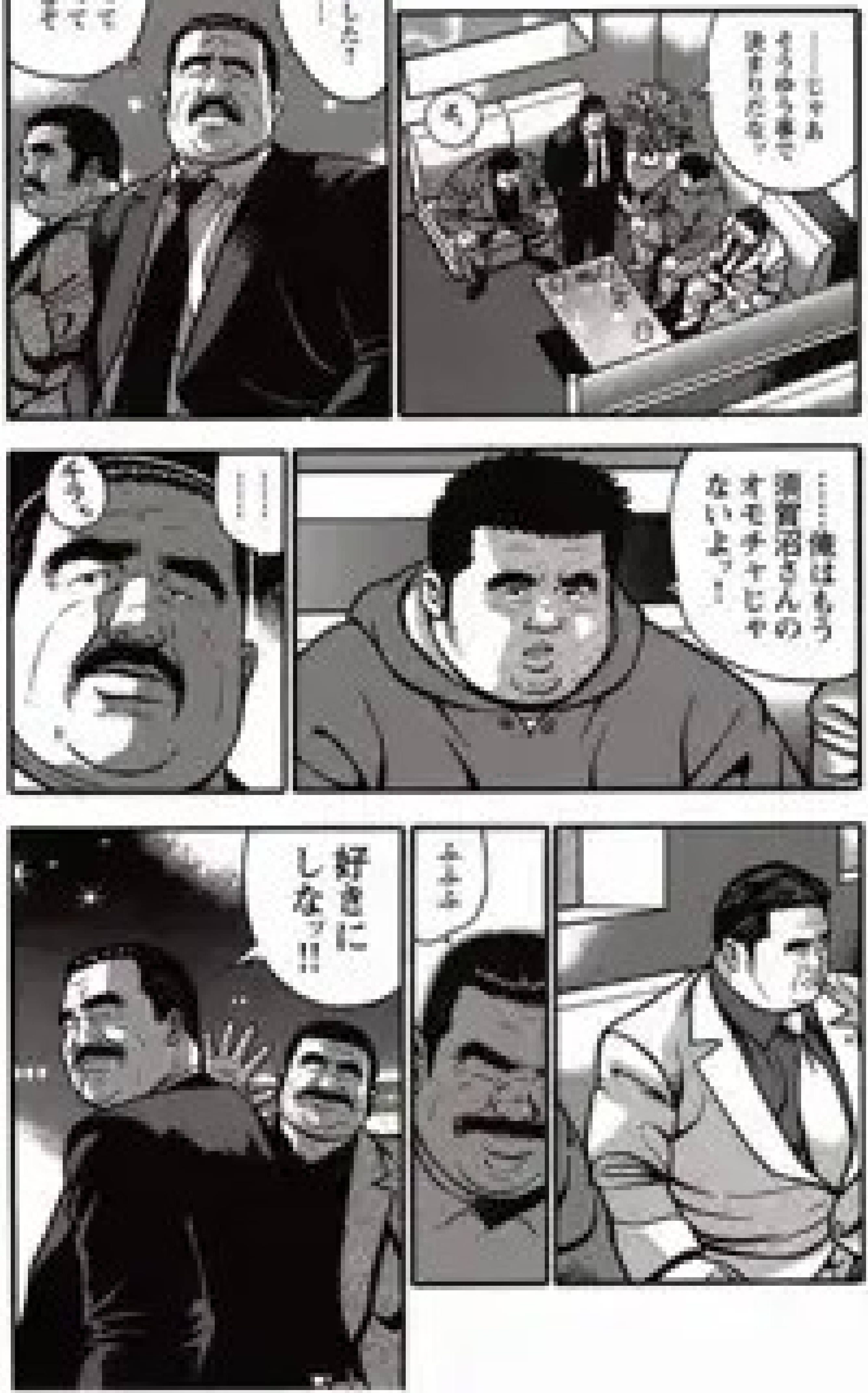

何だろう
この音楽……

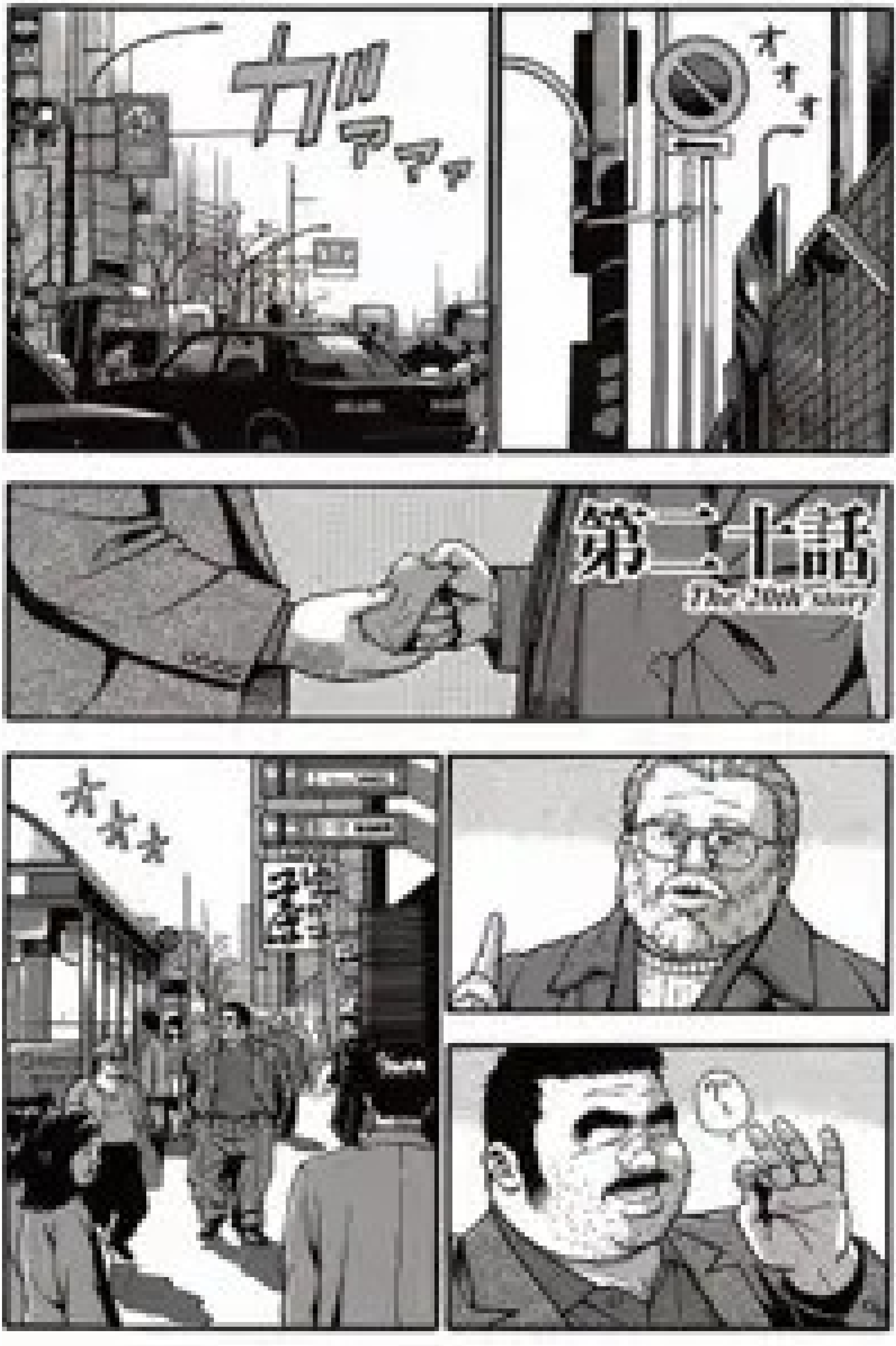

……
インド音楽？

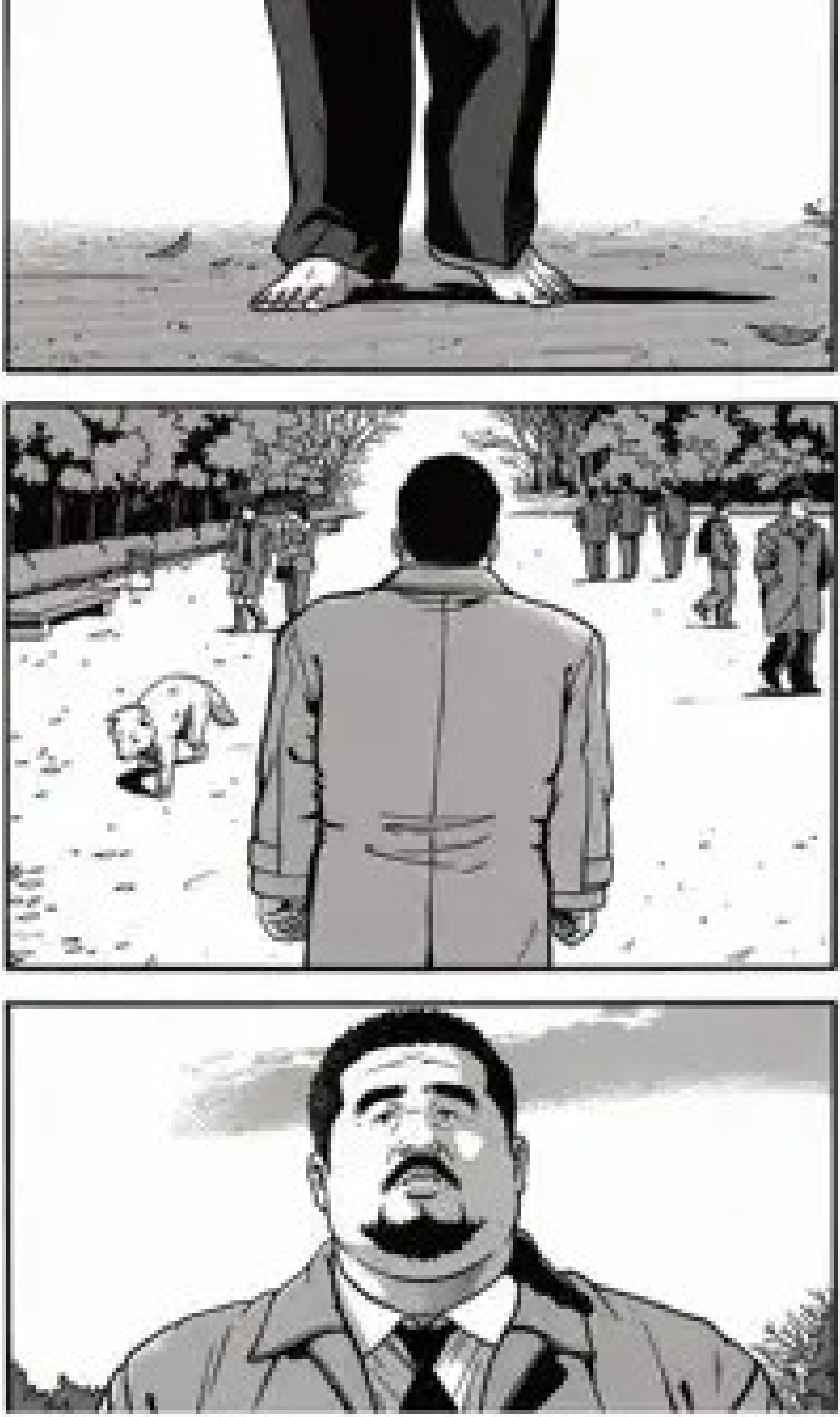

はぁ…
はぁ…
はぁ…
意識が
ぼやけてる感じ……
クチャ
クチャ

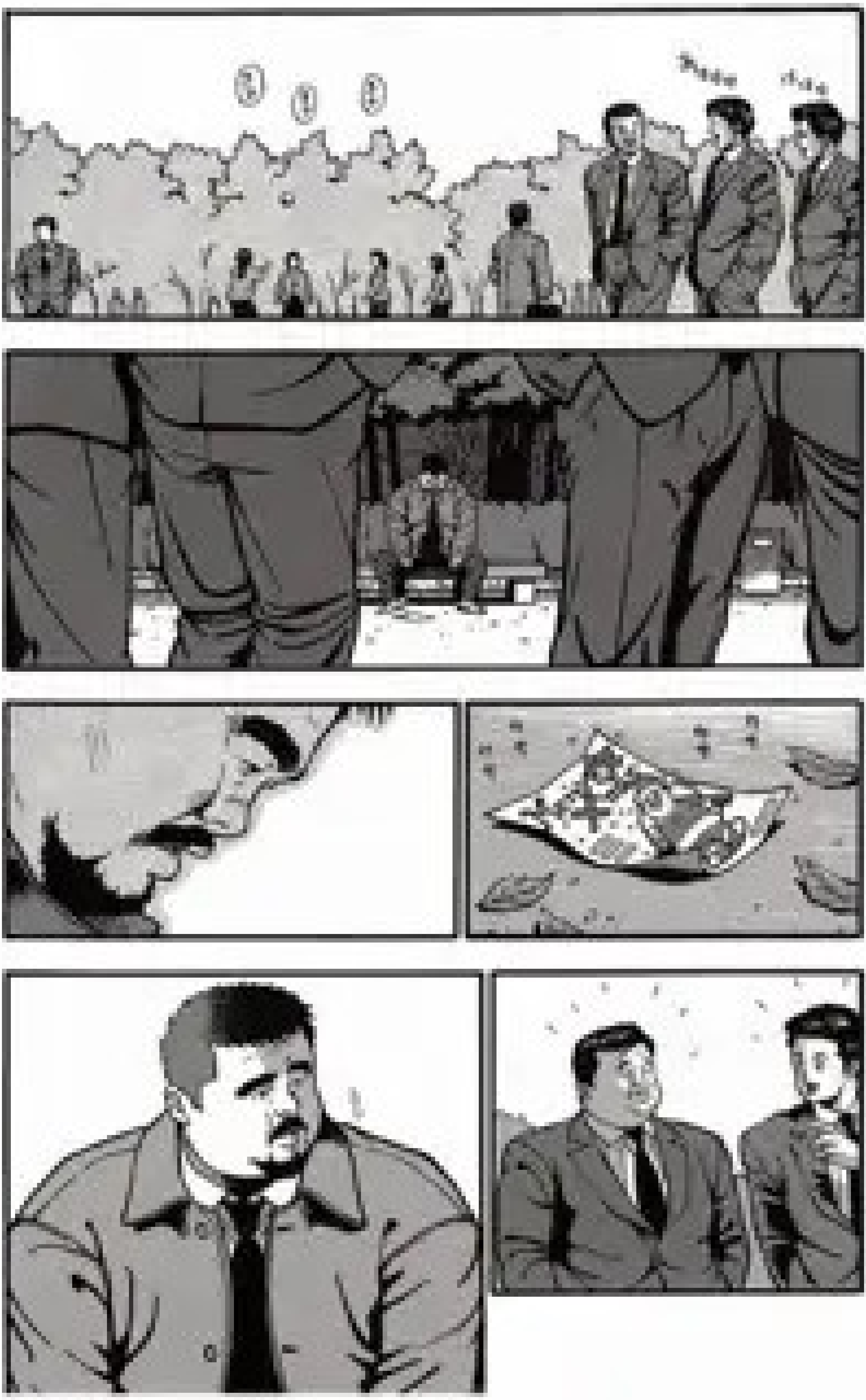

さっき愛した
ばかりのはずなのに
思い出せない

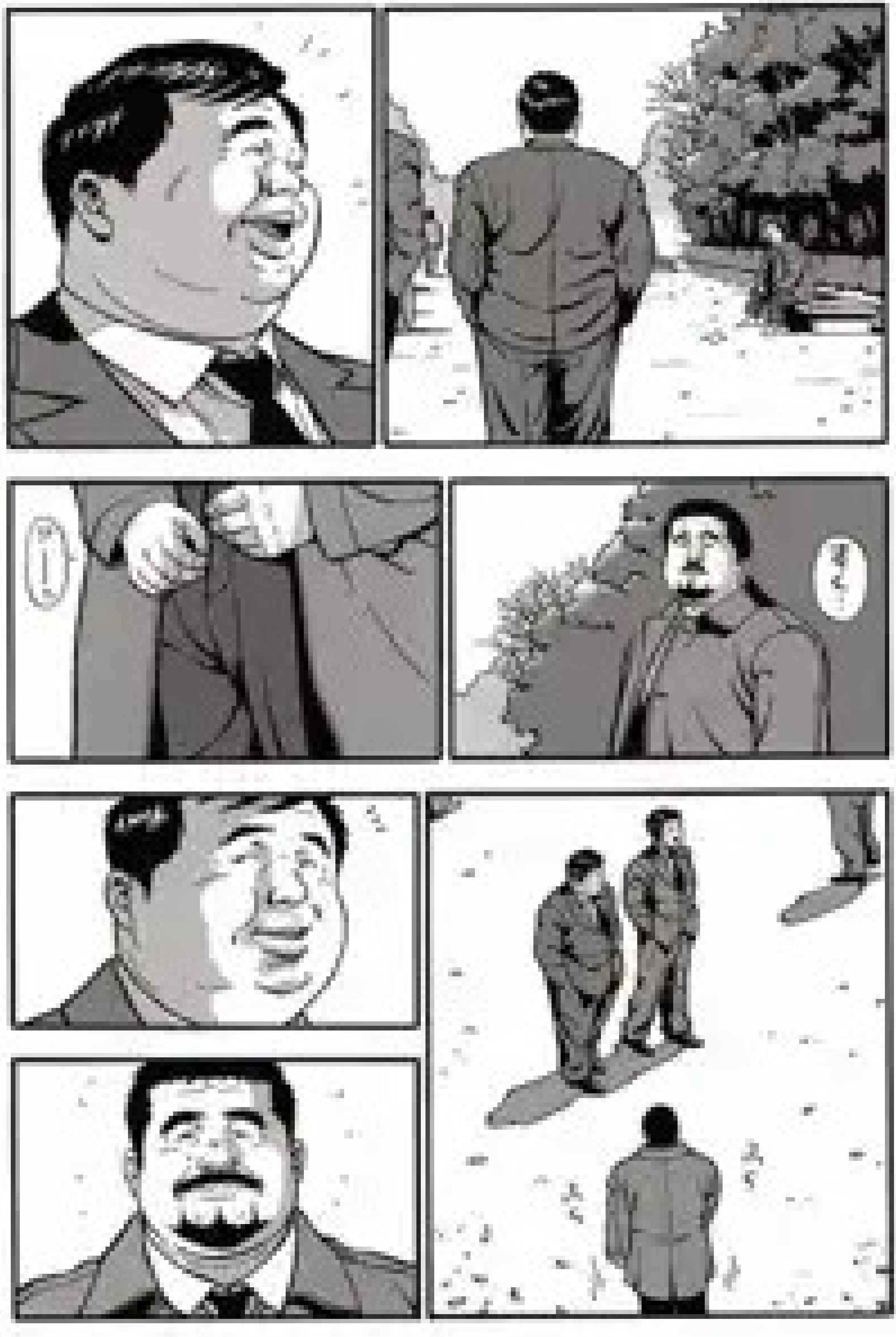

父親に甘えてる
みたいな
こどもの頃みたいな
安心感…
俺の
お前は…っ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
わからない
遠くで　小さな　流行歌　が　聞こえる……

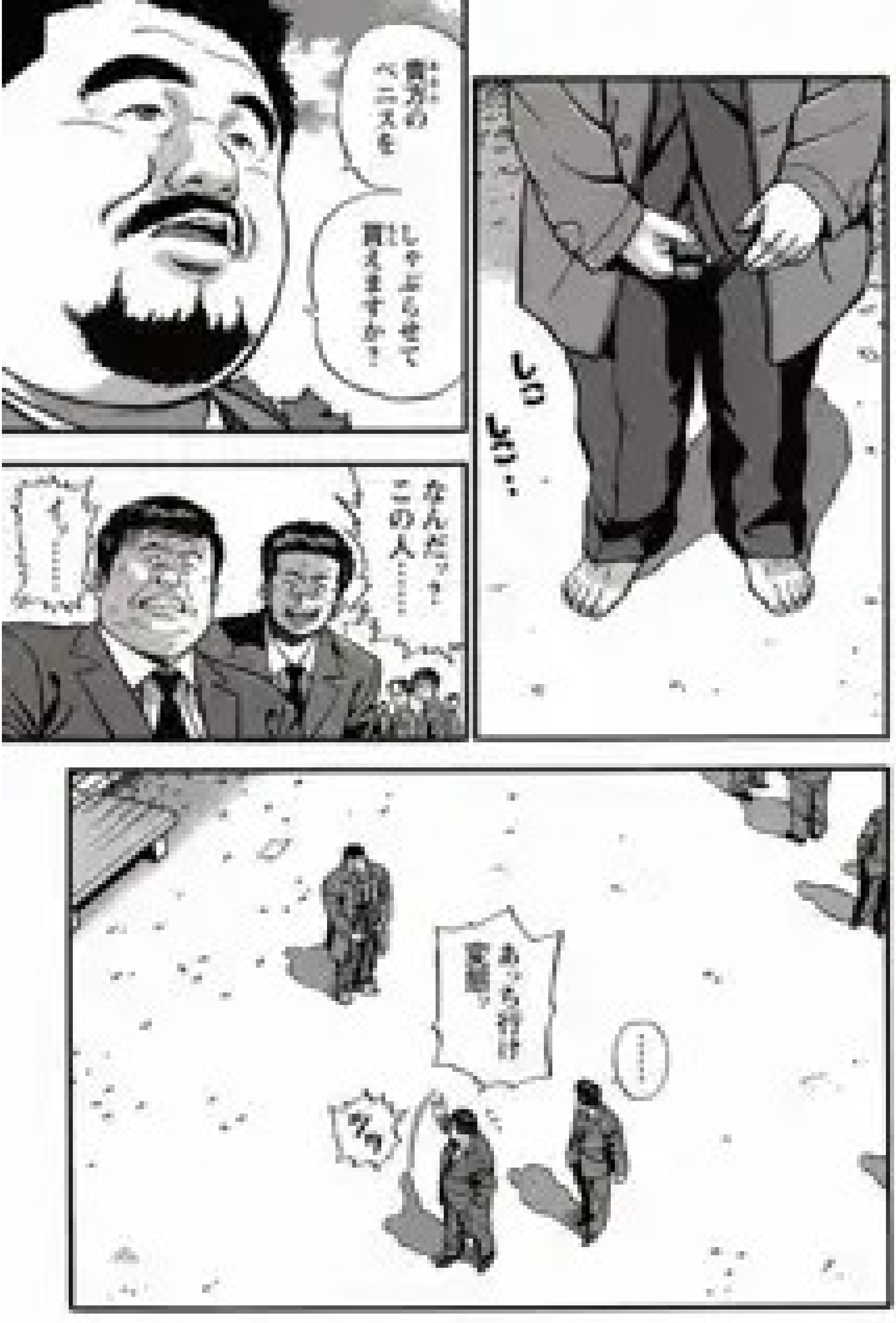

……じゃあ そういう事で 決まりだな？
ち
どうした？ 藤――
黙って 行って やるぞ
……俺はもう 須賀沼さんの オモチャじゃ ないよっ！！
……！！
ち…
ふふふ
好きに しなッ!!!

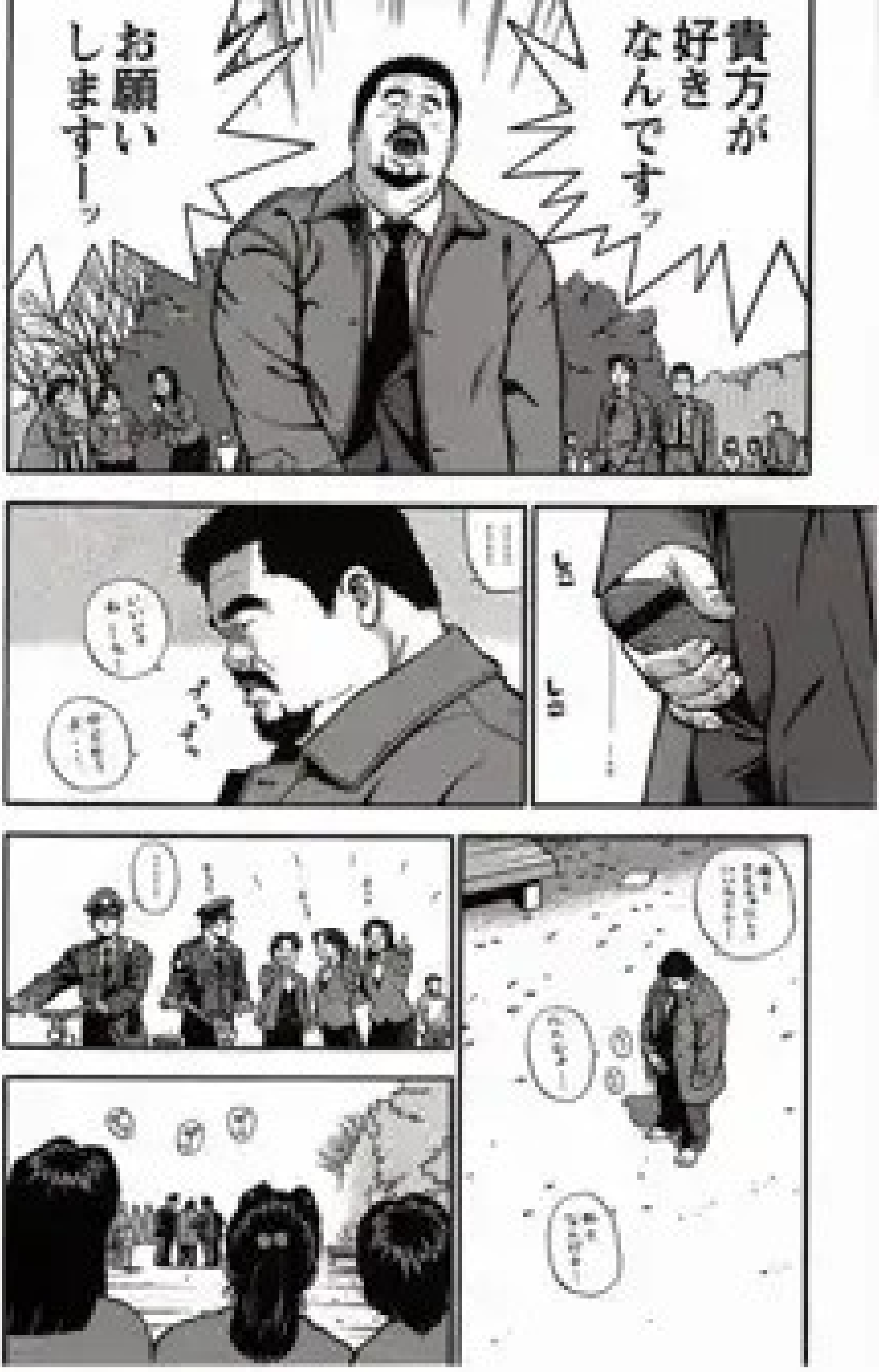

オォォ
カァアァッ
第二十話
The 20th Story
オォォ

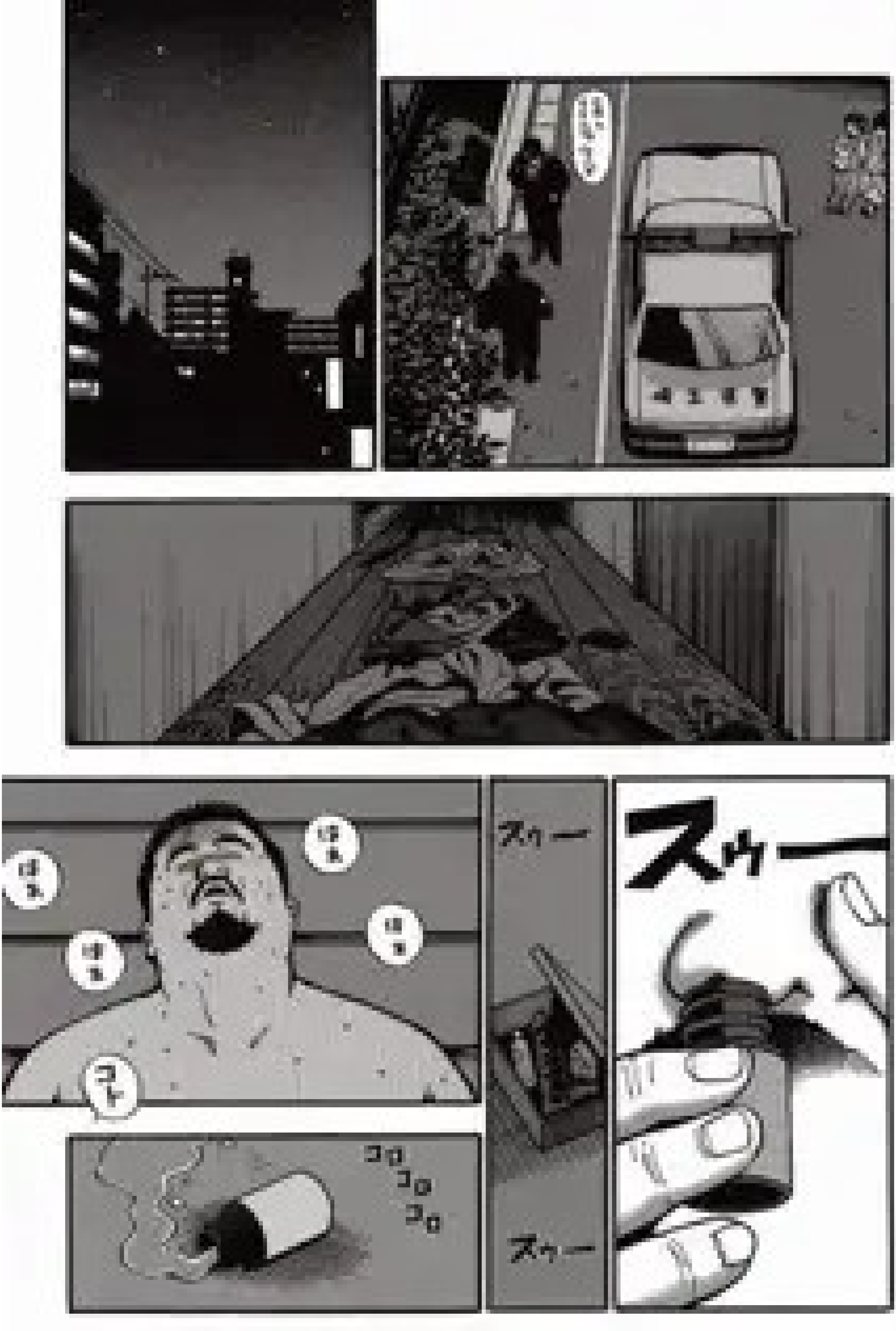


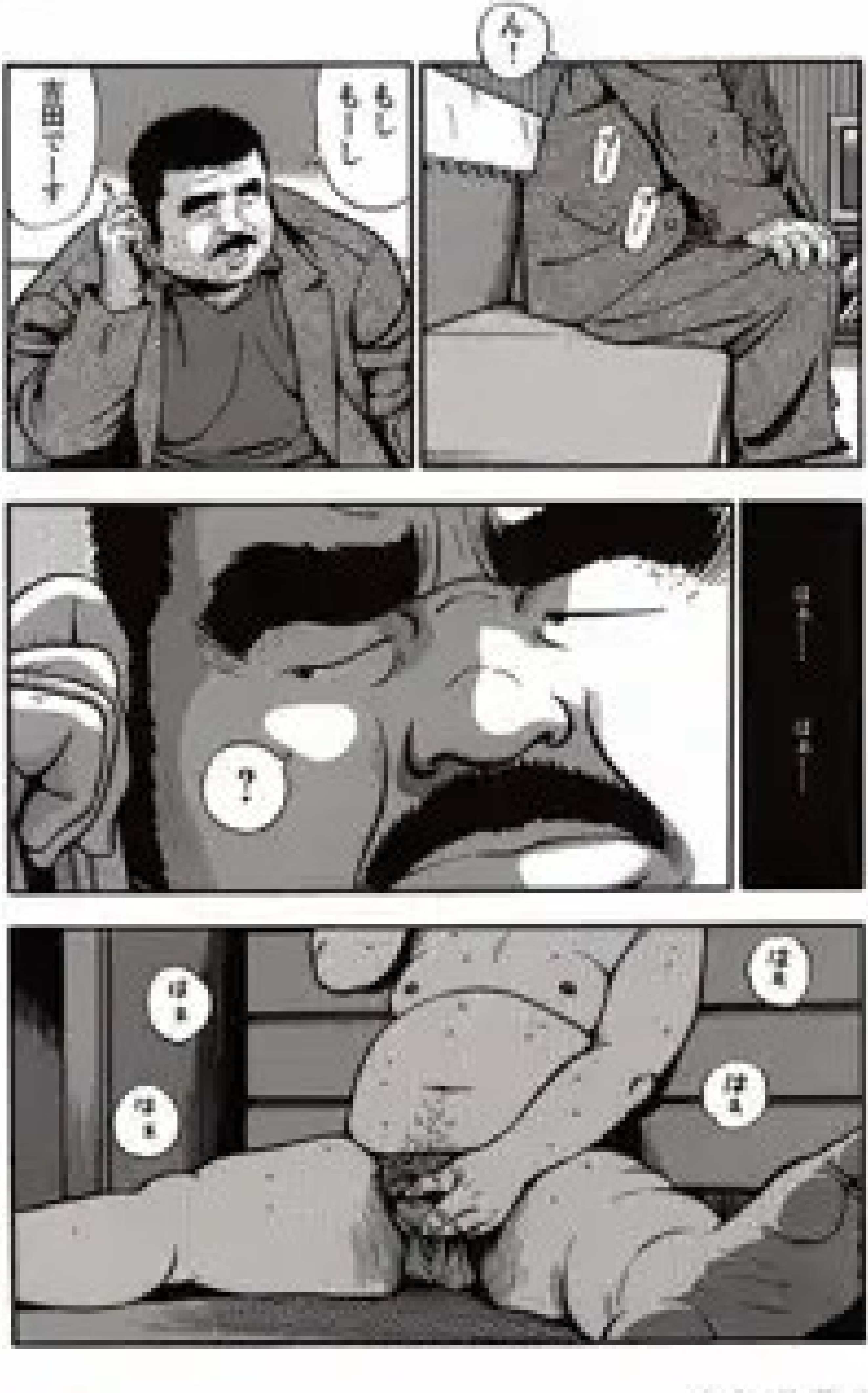


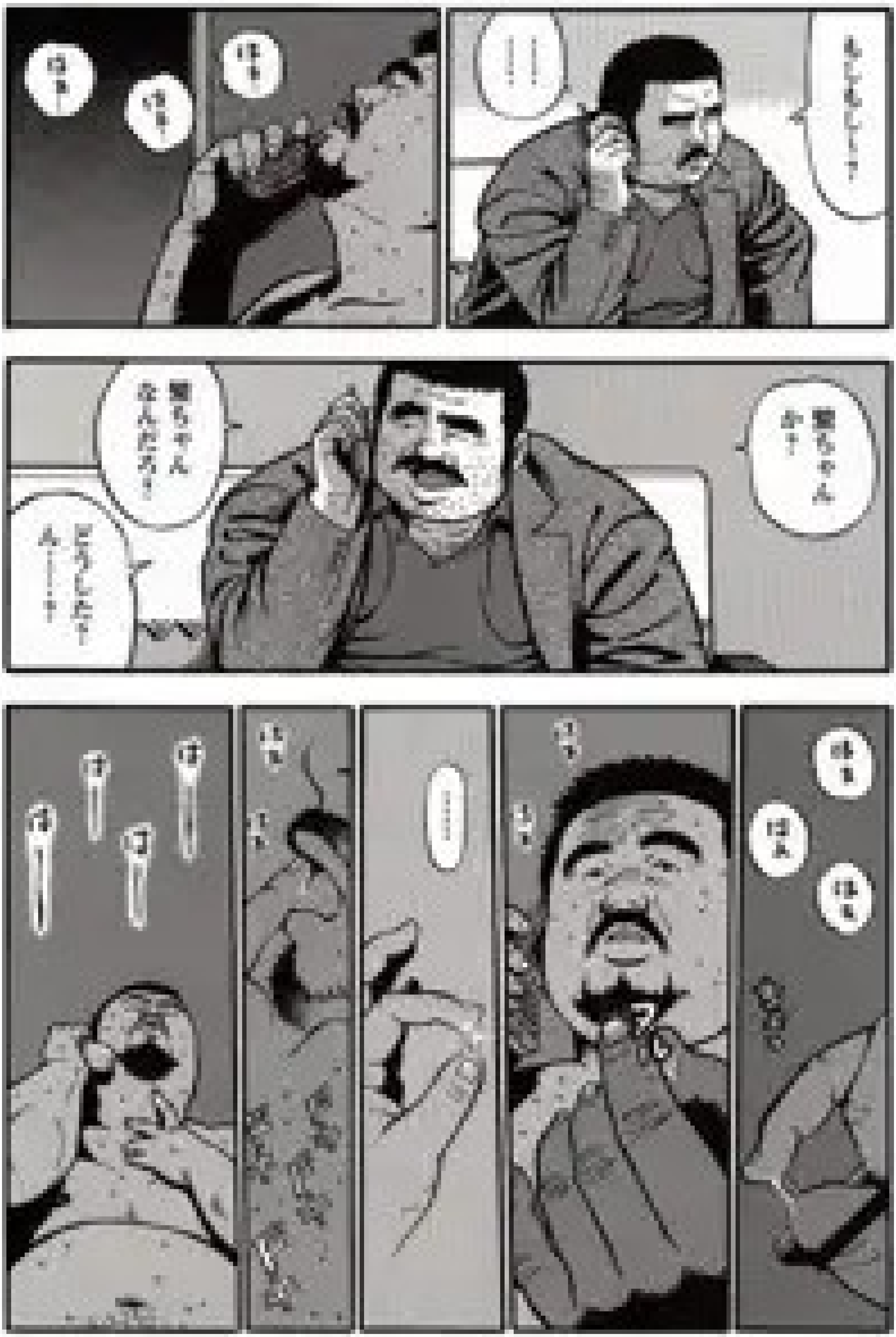


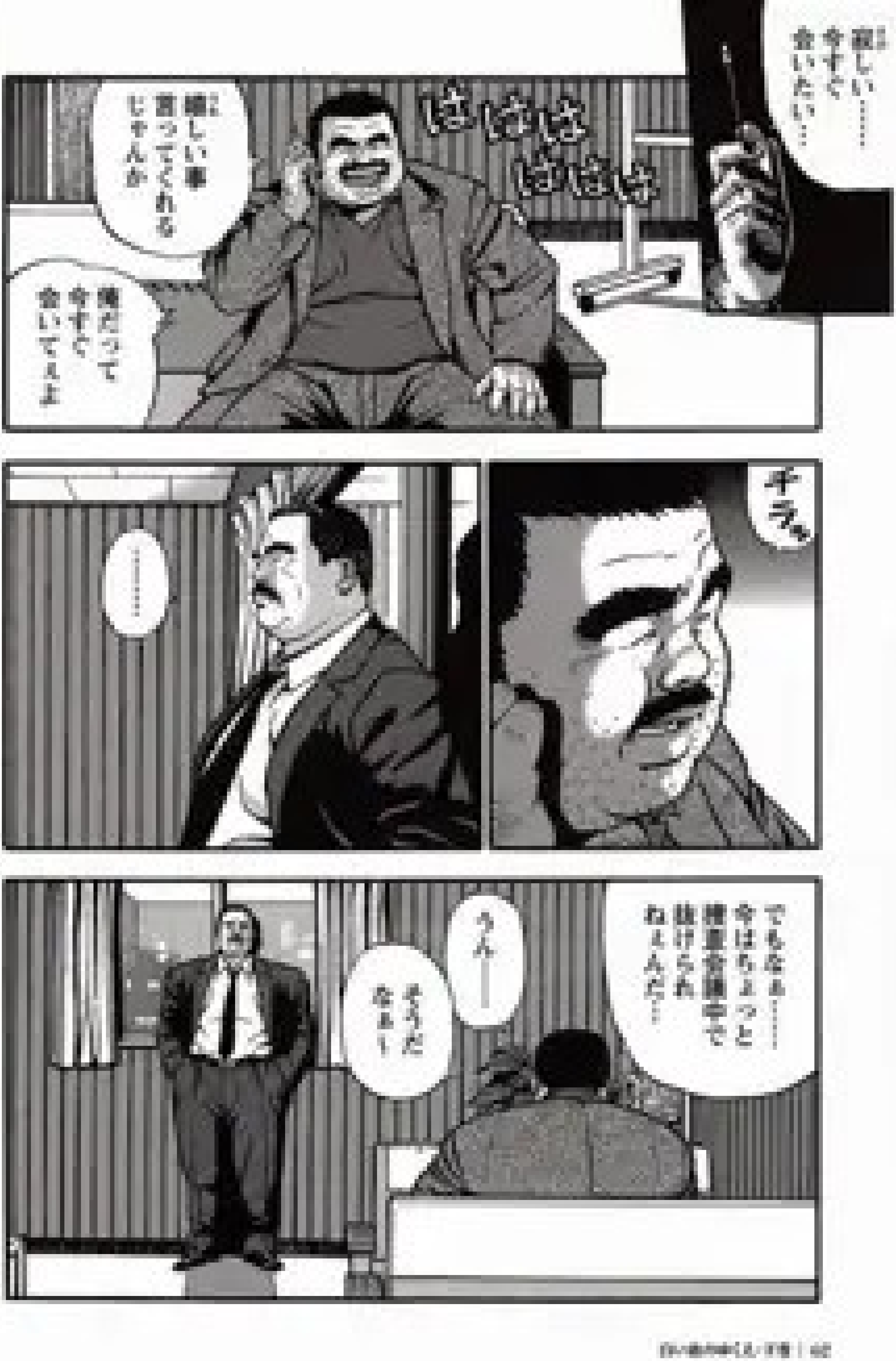

貴方の ペニスを
しゃぶらせて 貰えますか？
しっ しっ‥
なんだっ？ この人‥‥‥
ず‥‥‥
あっち行け 変態っ
‥‥‥
ちっ

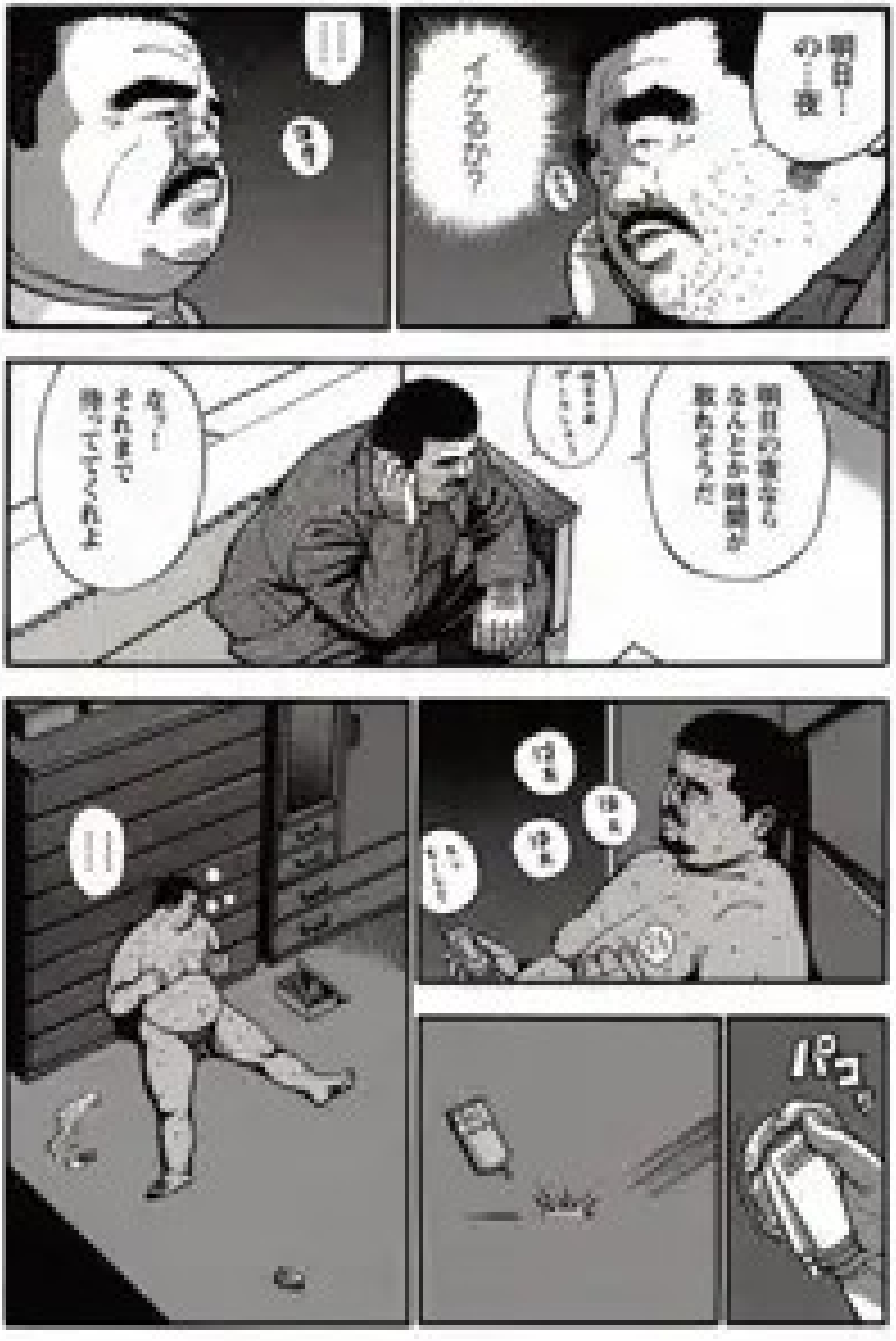

貴方が好きなんですッ
お願いしますーッ

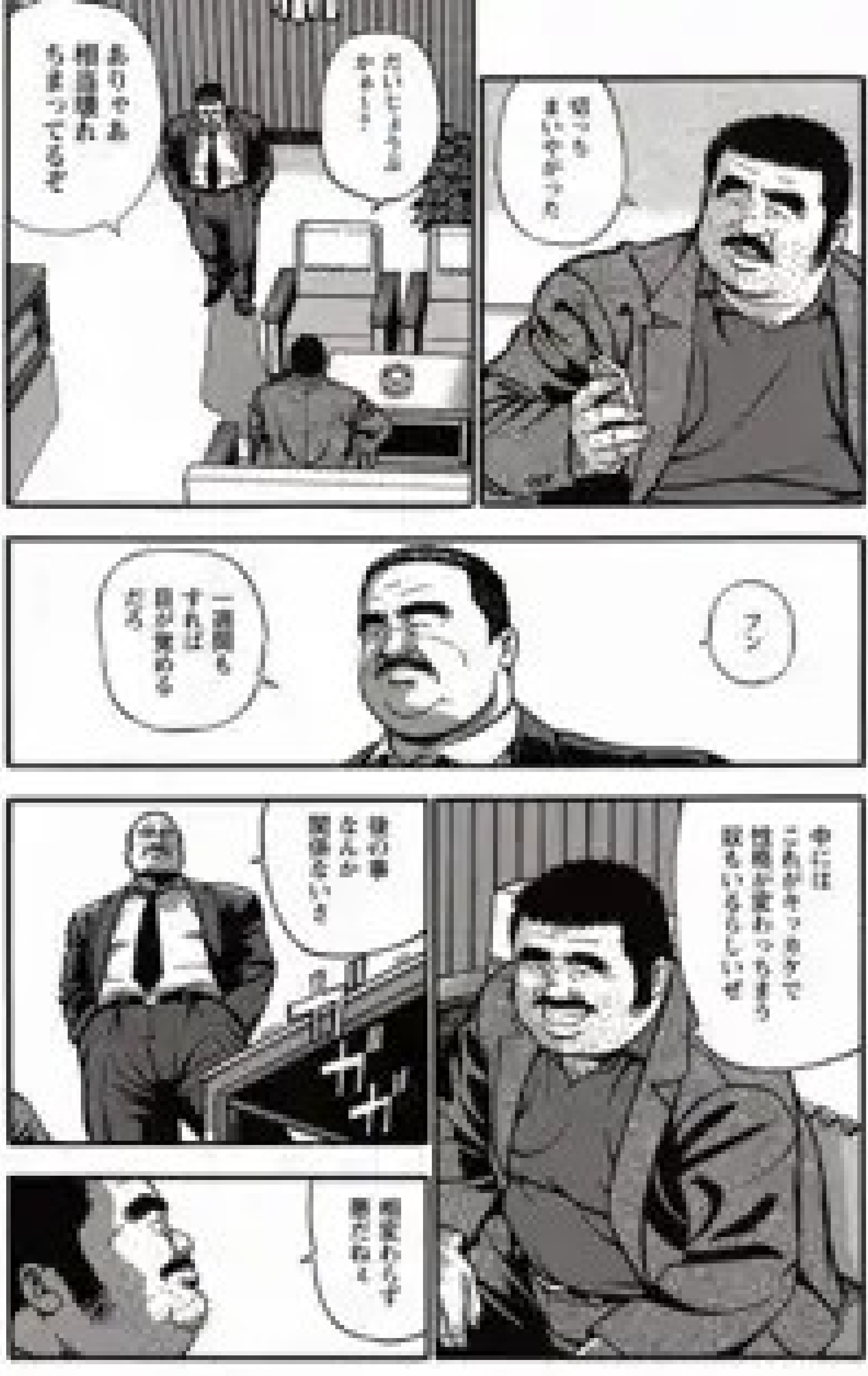

スゥー
スゥー
スゥー
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
コト
コロ
コロ
コロ

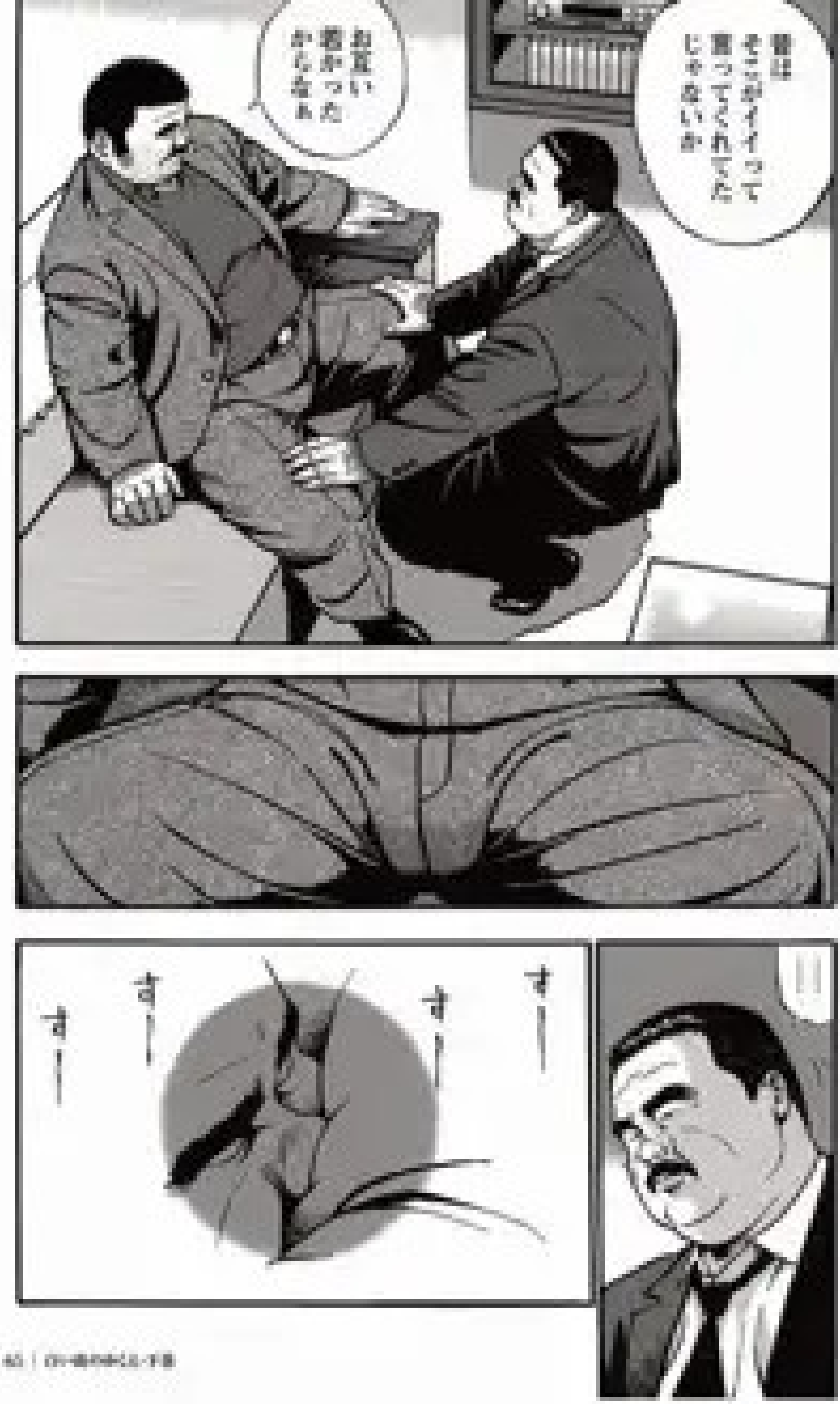
ん！
もし もし
吉田で〜す
？
はぁー はぁー
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

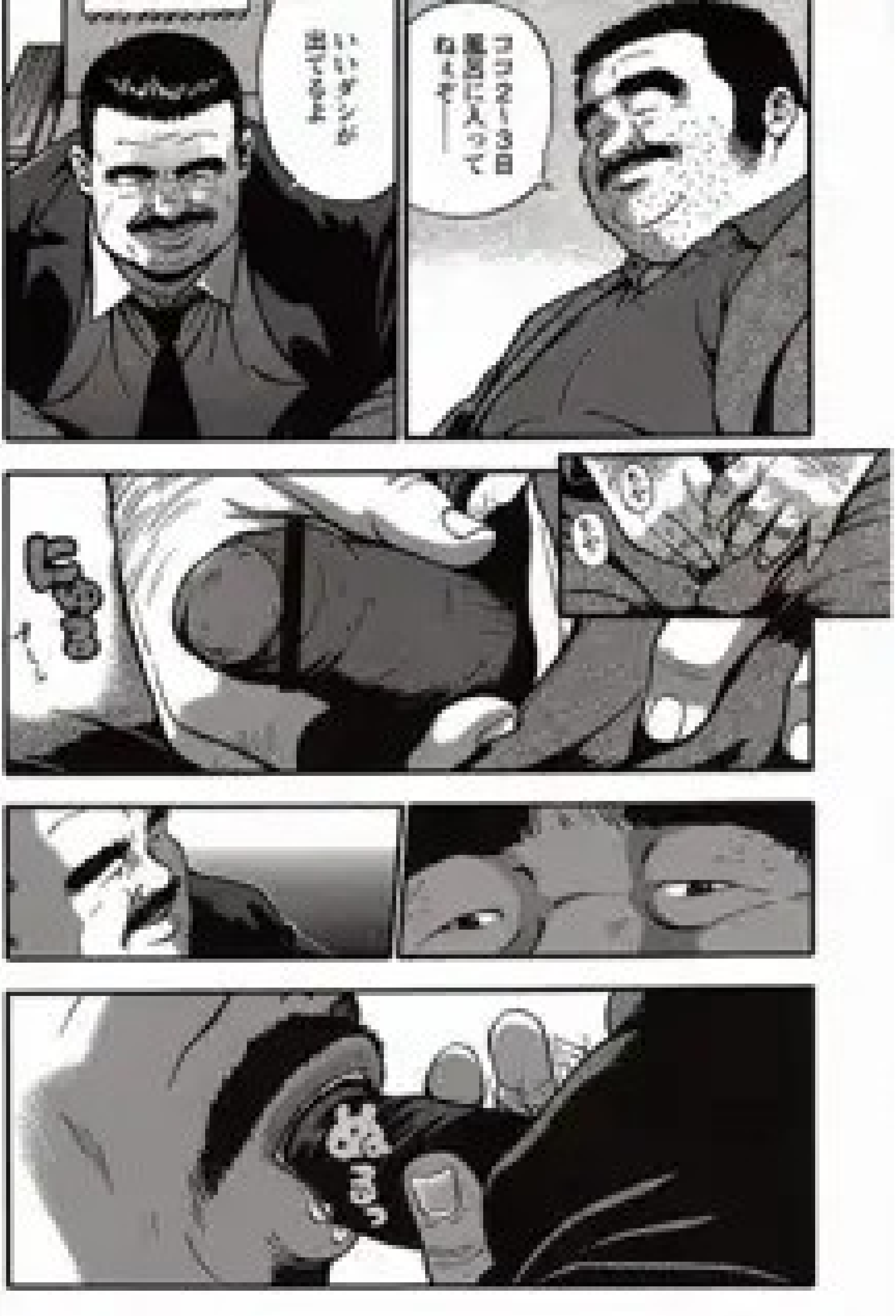

もしもし…？
……!!
はぁ
はぁ
はぁ
[illegible]ちゃん か？
[illegible]ちゃん なんだろ？
どうしたァ ん――？
はぁ
はん
はぁ
……


寂しい……
今すぐ
会いたい…
嬉しい事
言ってくれる
じゃんか
ははは
ははは
俺だって
今すぐ
会いてぇよ
ギラッ
………
でもなぁー…
今はちょっと
捜査会議中で
抜けられ
ねぇんだ…
うんー
そうだ
なぁー

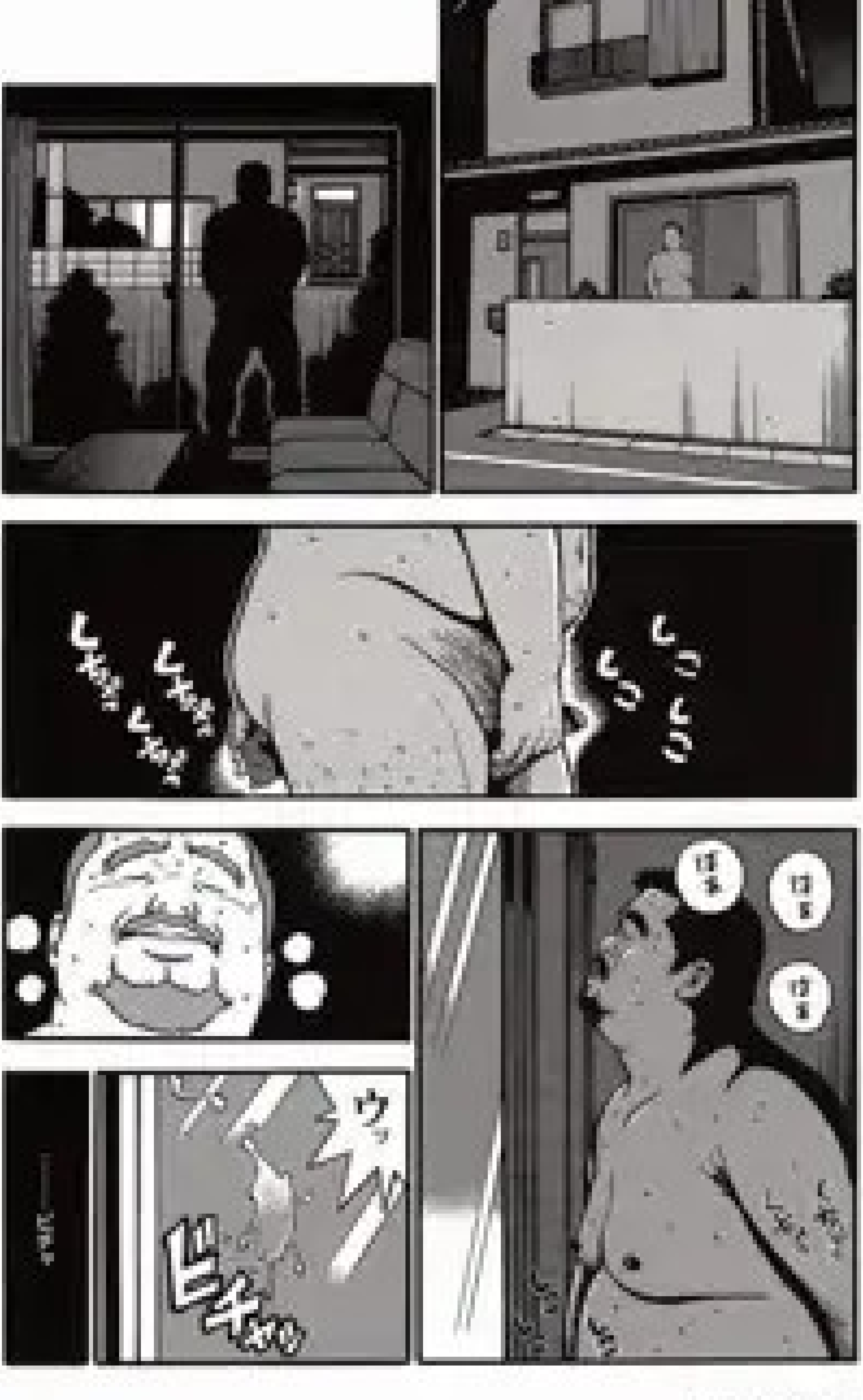

明日…の…夜
イケるか？
……
明日の夜ならなんとか時間が取れそうだ
ああ…それまで待っててくれよ
はぁ
はぁ
はぁ
……
パコ

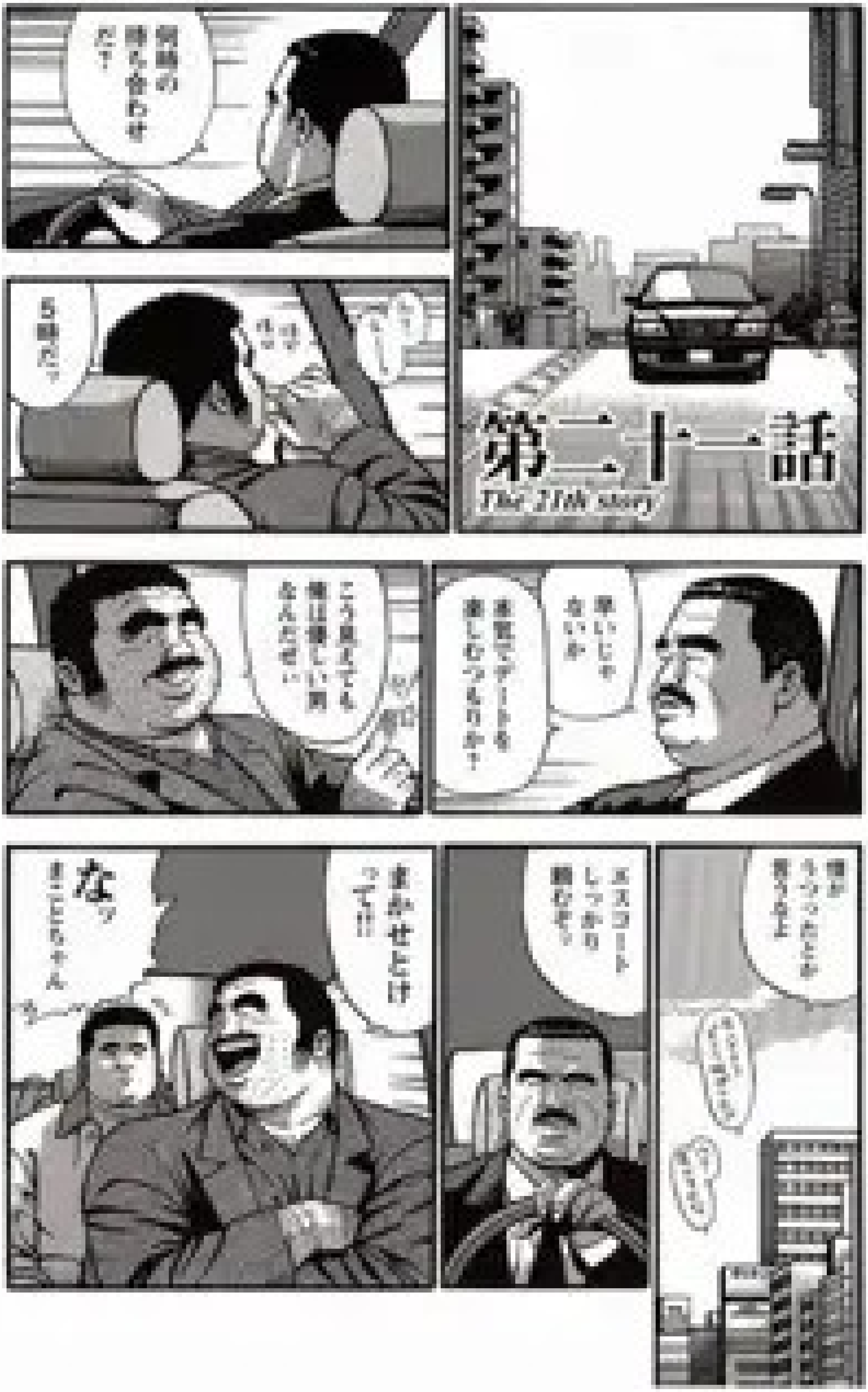

切っちまいやがったか
だいじょうぶかぁ？
ありゃあ 相当壊れちまってるぞ
？
一週間も すれば 目が覚める だろ
中には これがキッカケで 性格が変わっちまう 奴もいるらしいぜ
俺の事 なんか 関係ないさ
相変わらず 勝手だねぇ

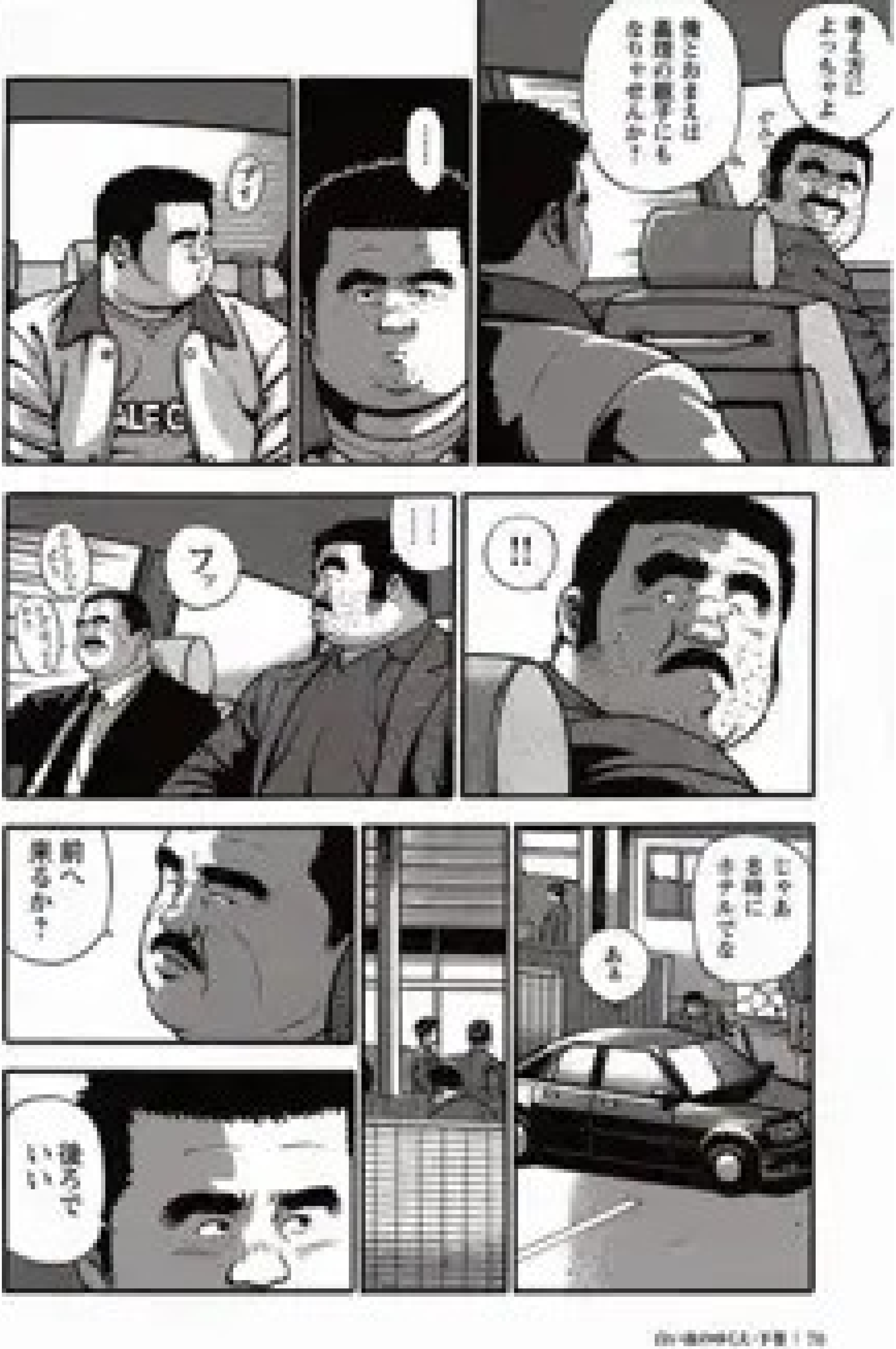

昔は そこがイイって 言ってくれてた じゃないか
お互い 若かった からなぁ
!!
すー すー すー

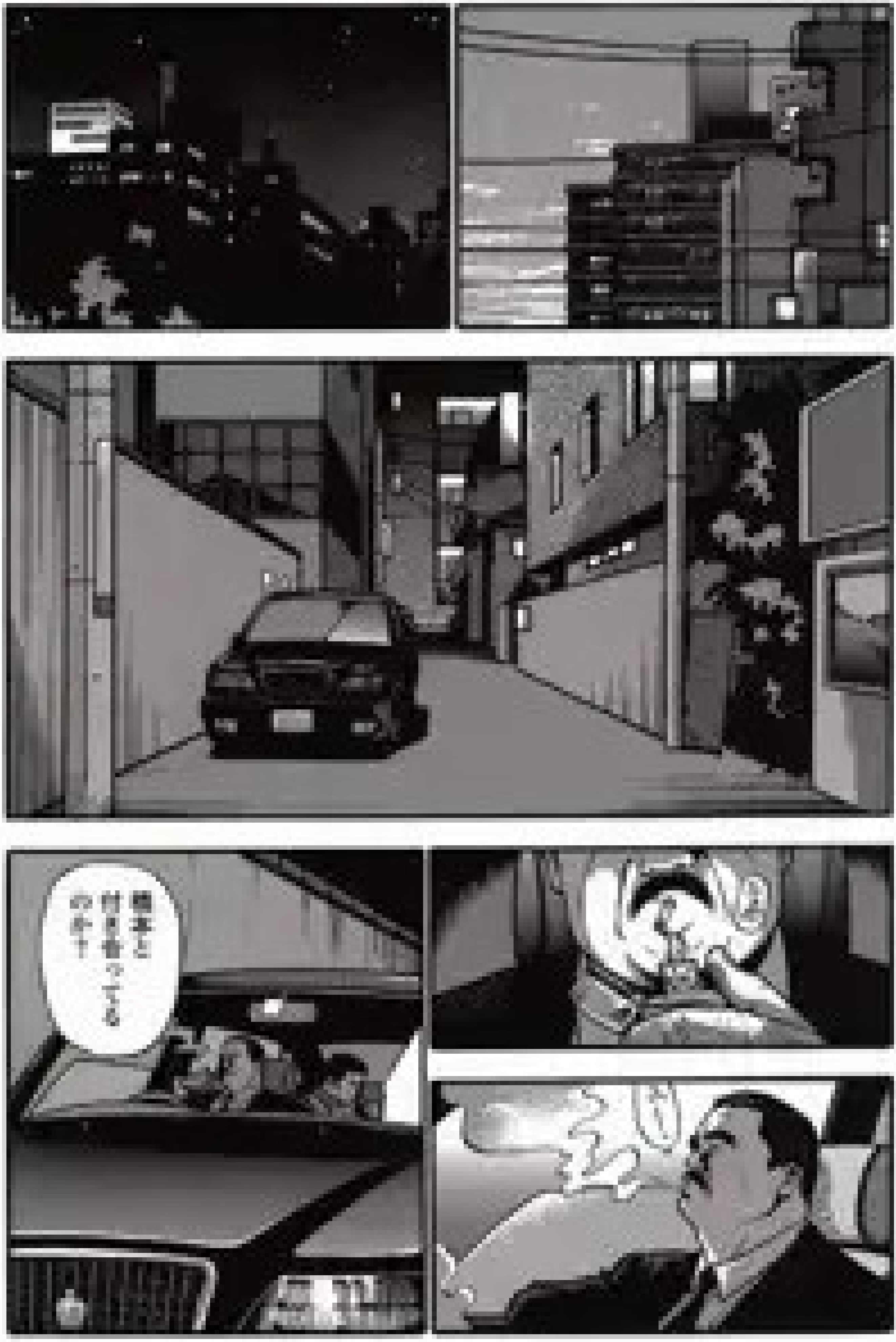

コワモテ13日
風呂に入って
ねェぞ――
いいダシが
出てるよ
にゅるぅ
ぬぽっ

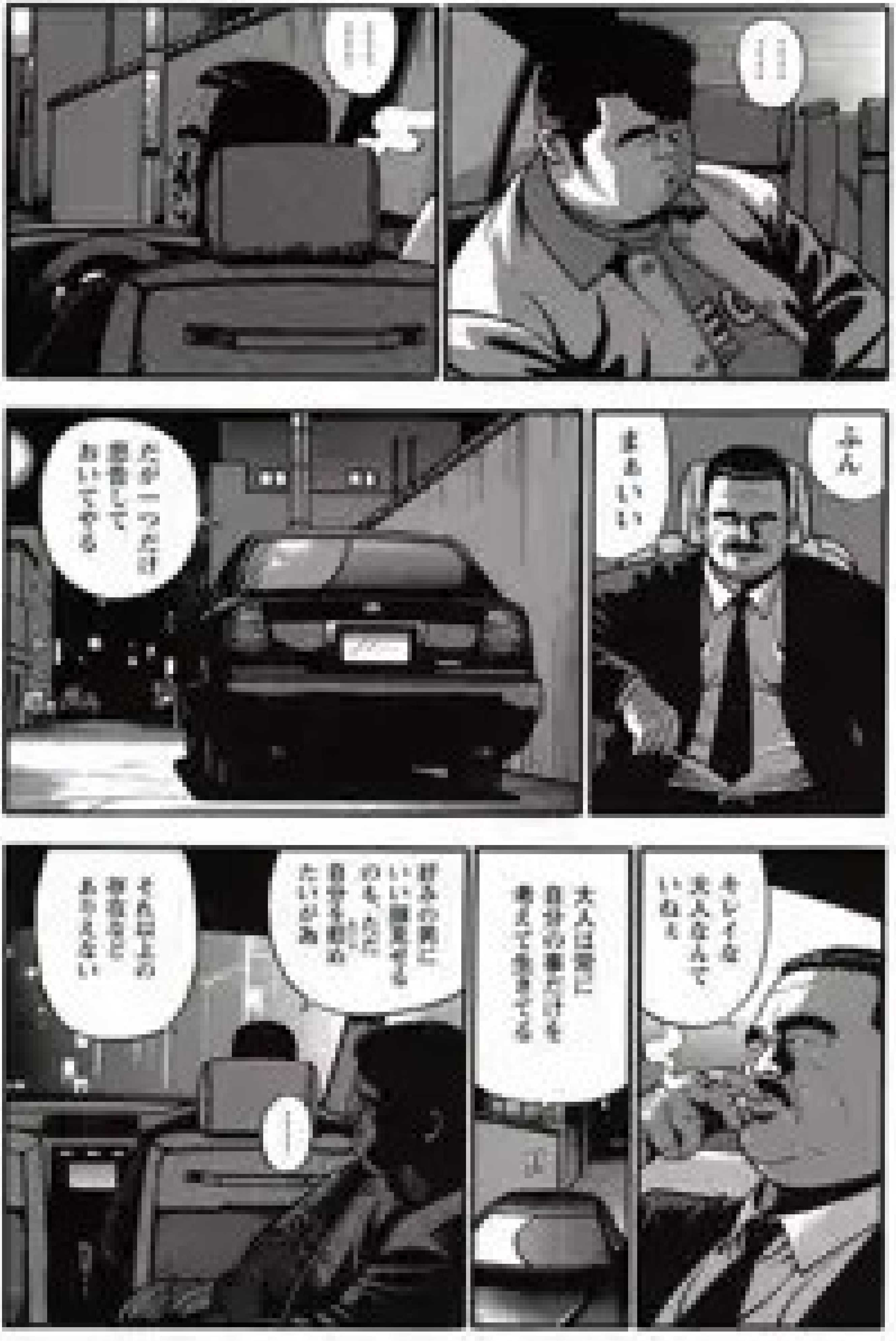
じゅるるるっ
あぁ…


しこ しこ しこ
はぁ
はぁ
はぁ
ウッ
ビュッ
——ふぅ

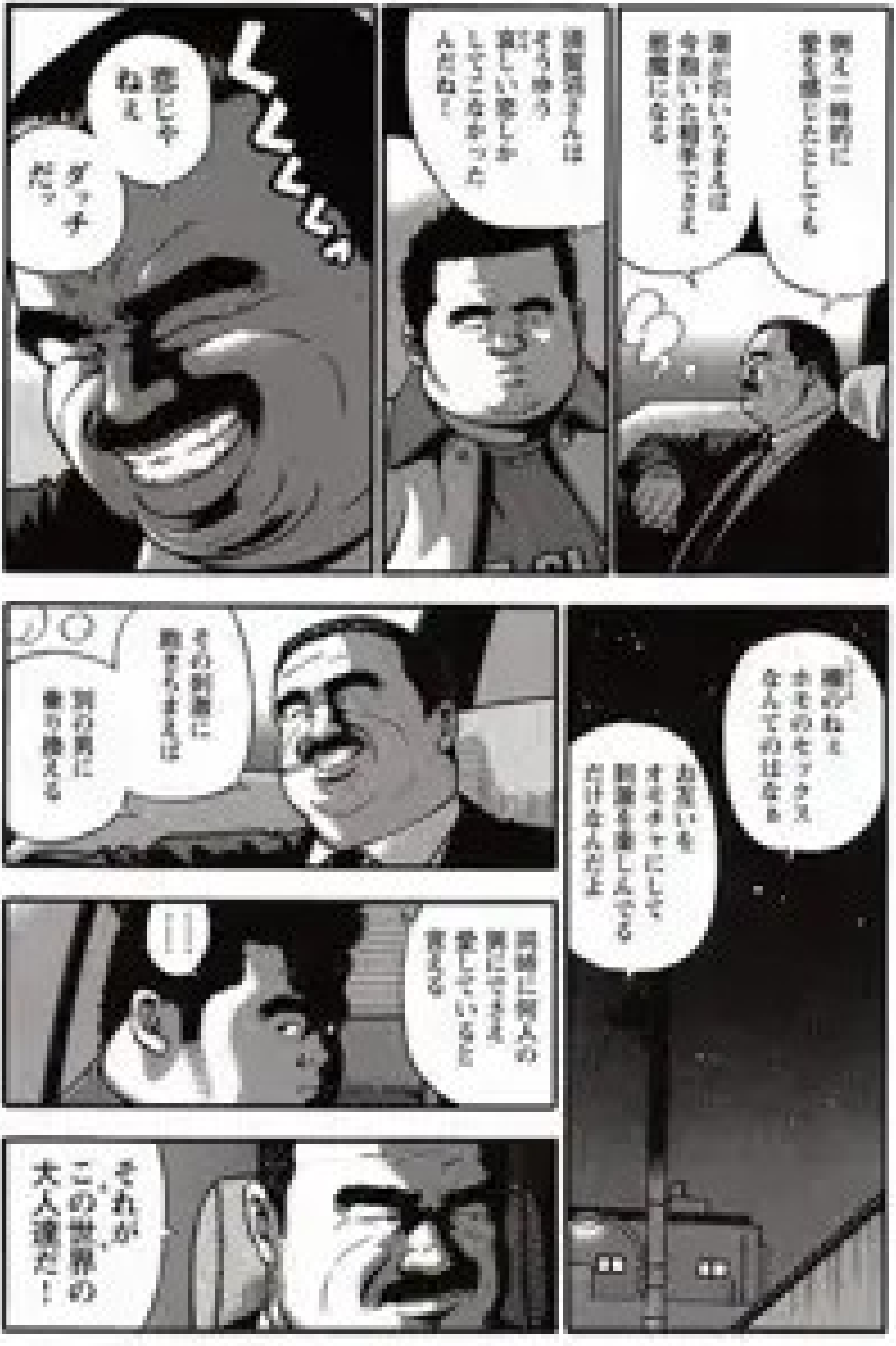

第二十一話
The 21th story
何時の待ち合わせだ？
5時だッ
早いじゃないか
本気でデートを楽しむつもりか？
こう見えても俺は楽しい男なんだぜい
エスコートしっかり頼むぞ
まかせとけって!!
なッ まことちゃん

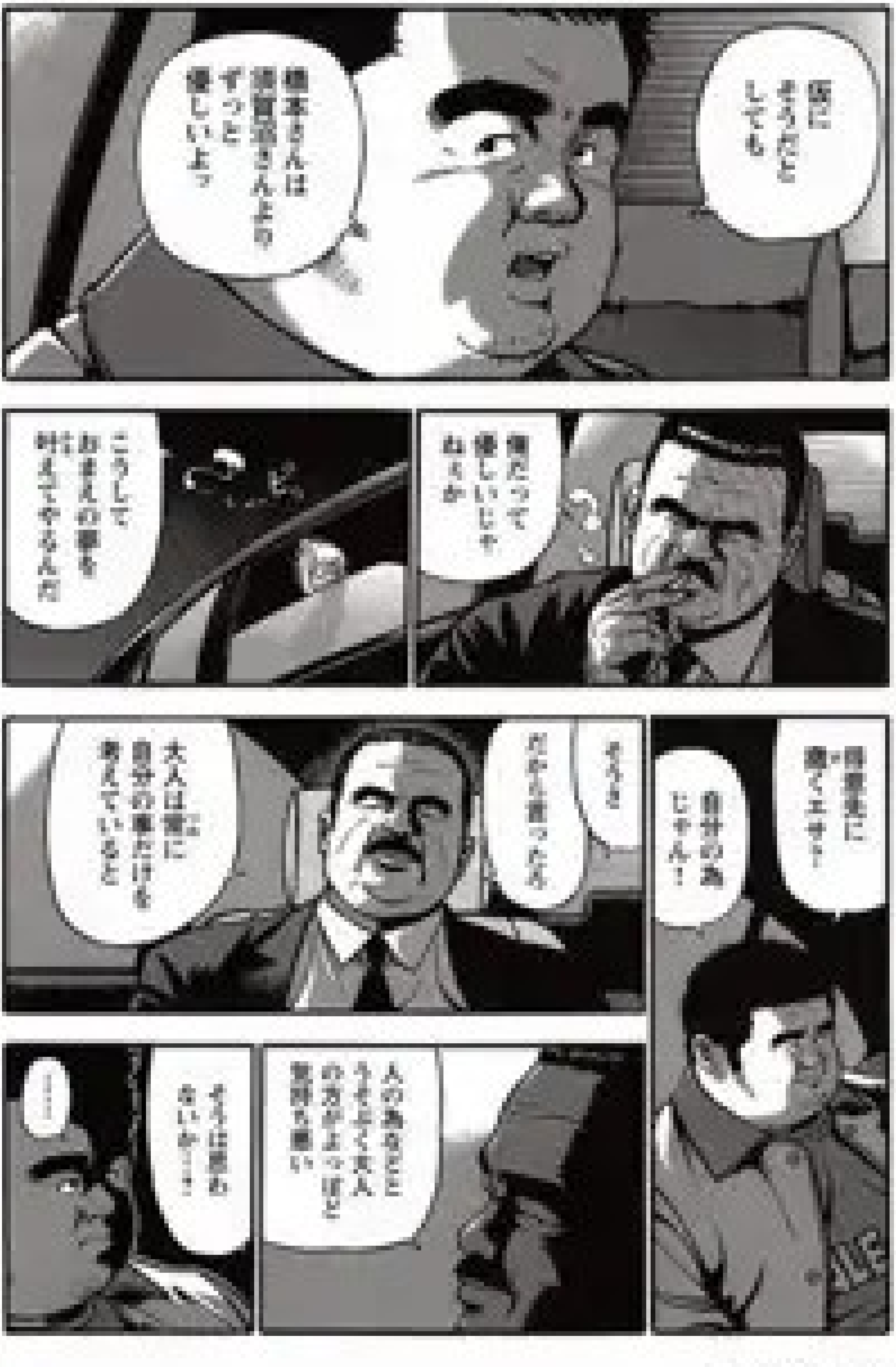

俺ぁ別に
よっちゃよ
そう
俺とおまえは
長期の相手にも
なりゃせんか！
……
ず
!!
ッ
!!
じゃあ
長期に
ホテルでな
ああ
前へ
乗るか？
後ろで
いい

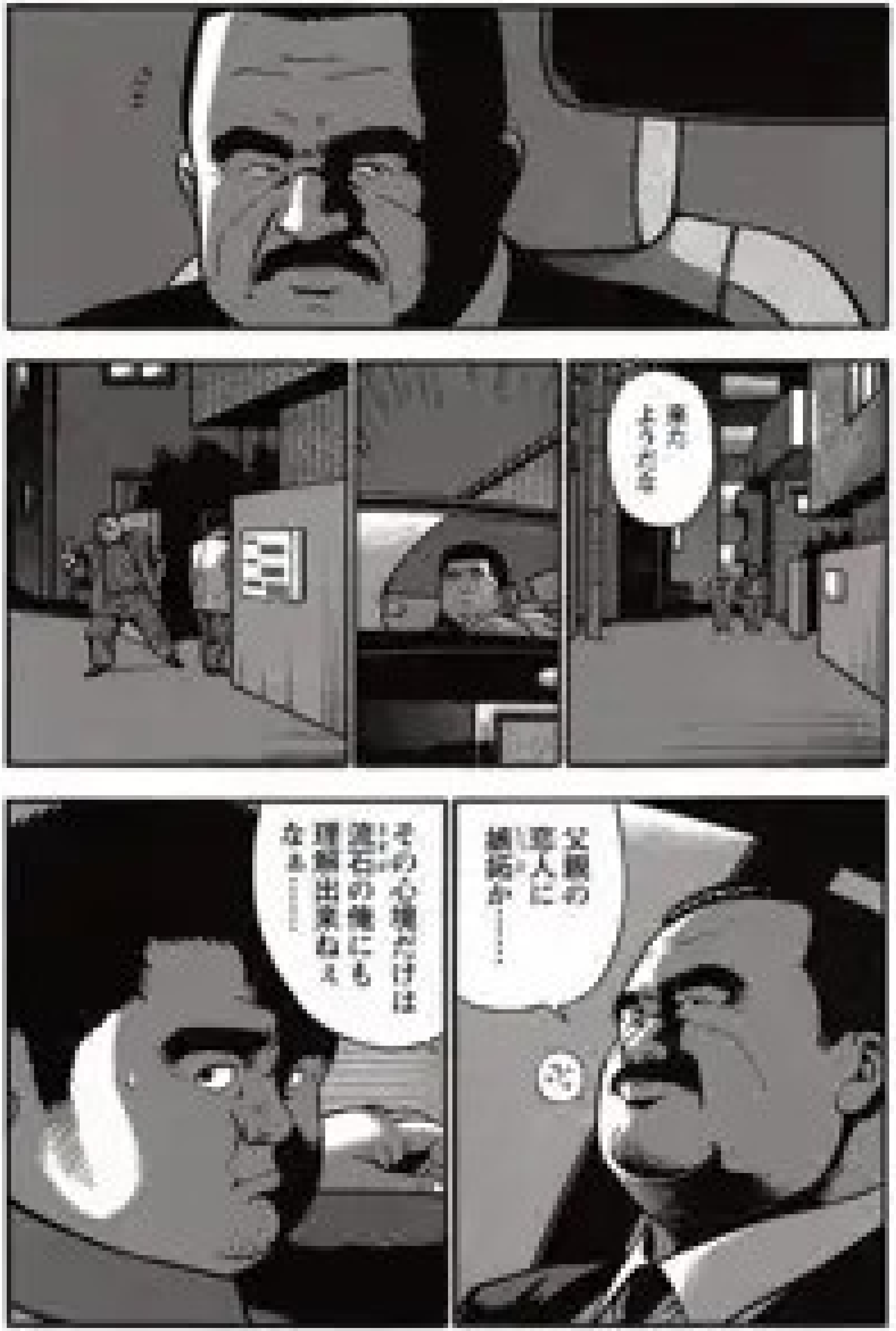

橋本と付き合ってるのか？

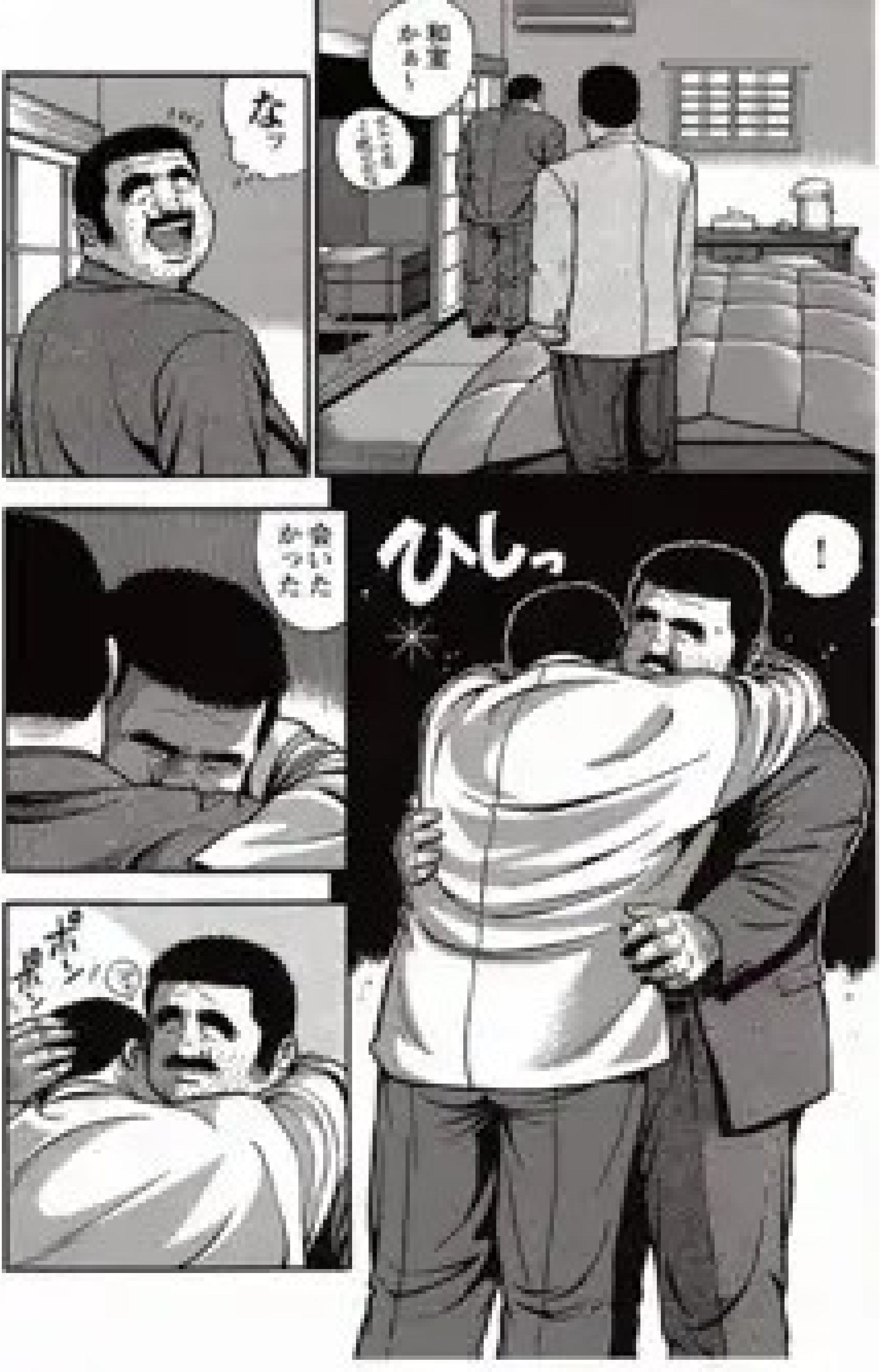


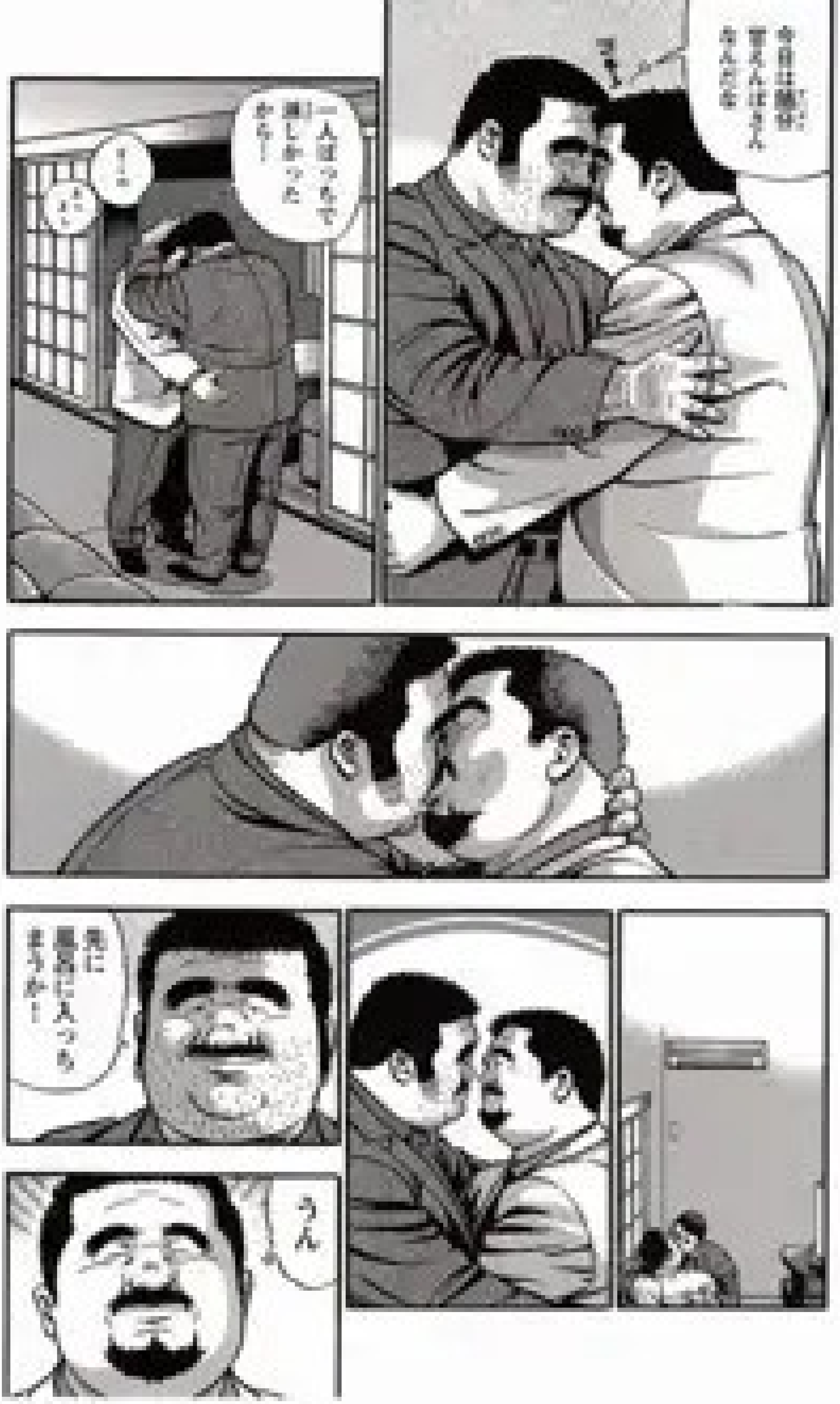
……
……
ふん
まあいい
ただ一つだけ
忠告して
おいてやる
キレイな
大人なんて
いねぇ
大人は常に
自分の薄汚さを
抱えて生きてる
好きな男に
いい顔見せる
のもいいが
自分を貶め
たいがみ
それ以上の
価値など
ありえない
……

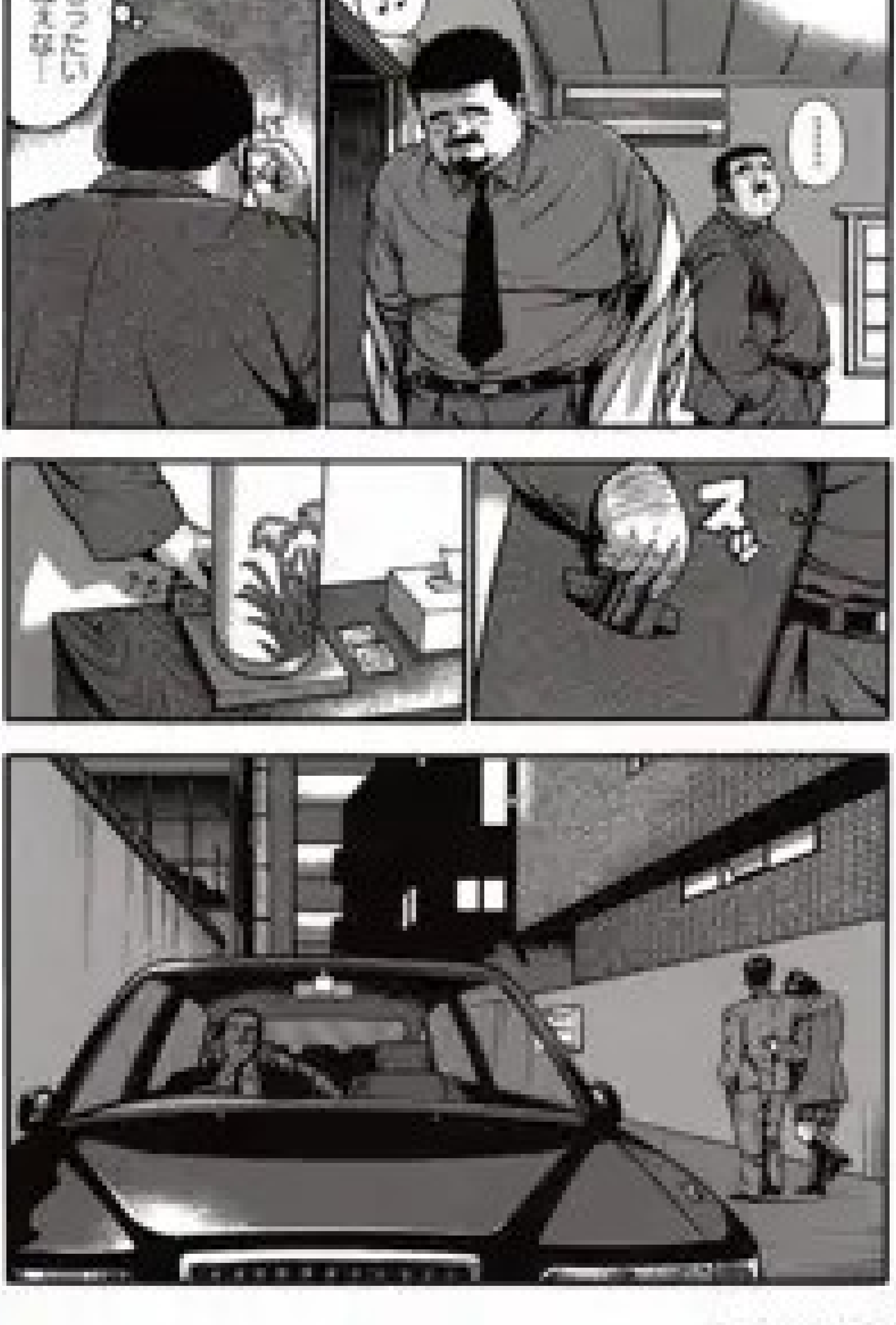

例え一時的に
愛を感じたとしても
腹が飽いたらおまえは
今抱いた相手でさえ
邪魔になる
須賀原さんは
そうゆう
寂しい楽しみ方
しかしてこなかった
んだね…
くくくくくっ
恋じゃねえ
ダッチだッ
端がねぇ
ホモのセックス
なんてのはなぁ
お互いを
オモチャにして
刺激を楽しんでる
だけなんだよ
その刺激に
飽きりゃおまえは
別の男に
乗り換える
同時に何人もの
男にさえ
愛していると
言える
!!
それが
この世界の
大人達だ！

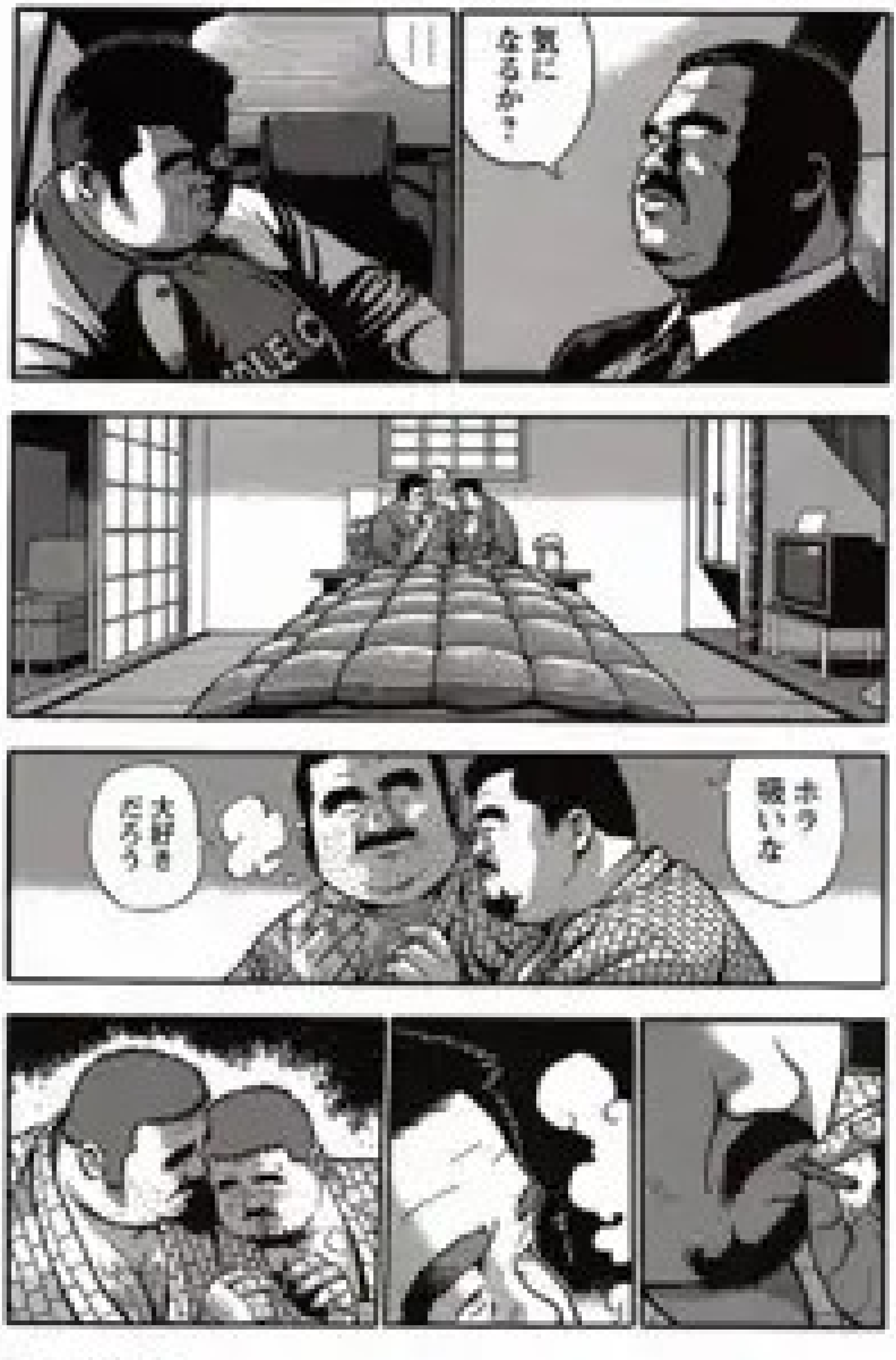

仮に
そうだと
しても
橋本さんは
須賀沼さんとの
ずっと
優しいよっ
俺だって
優しいじゃ
ねぇか
こうして
おまえの夢を
叶えてやるんだ
刑事さんに
働くエサ？
自分の為
じゃん！
そうさ
だから言ったろ
大人は常に
自分の事だけを
考えているとな
人の為とか
ぬかす大人
の方がよっぽど
胡散臭い
そうは思わ
ないか…？
……

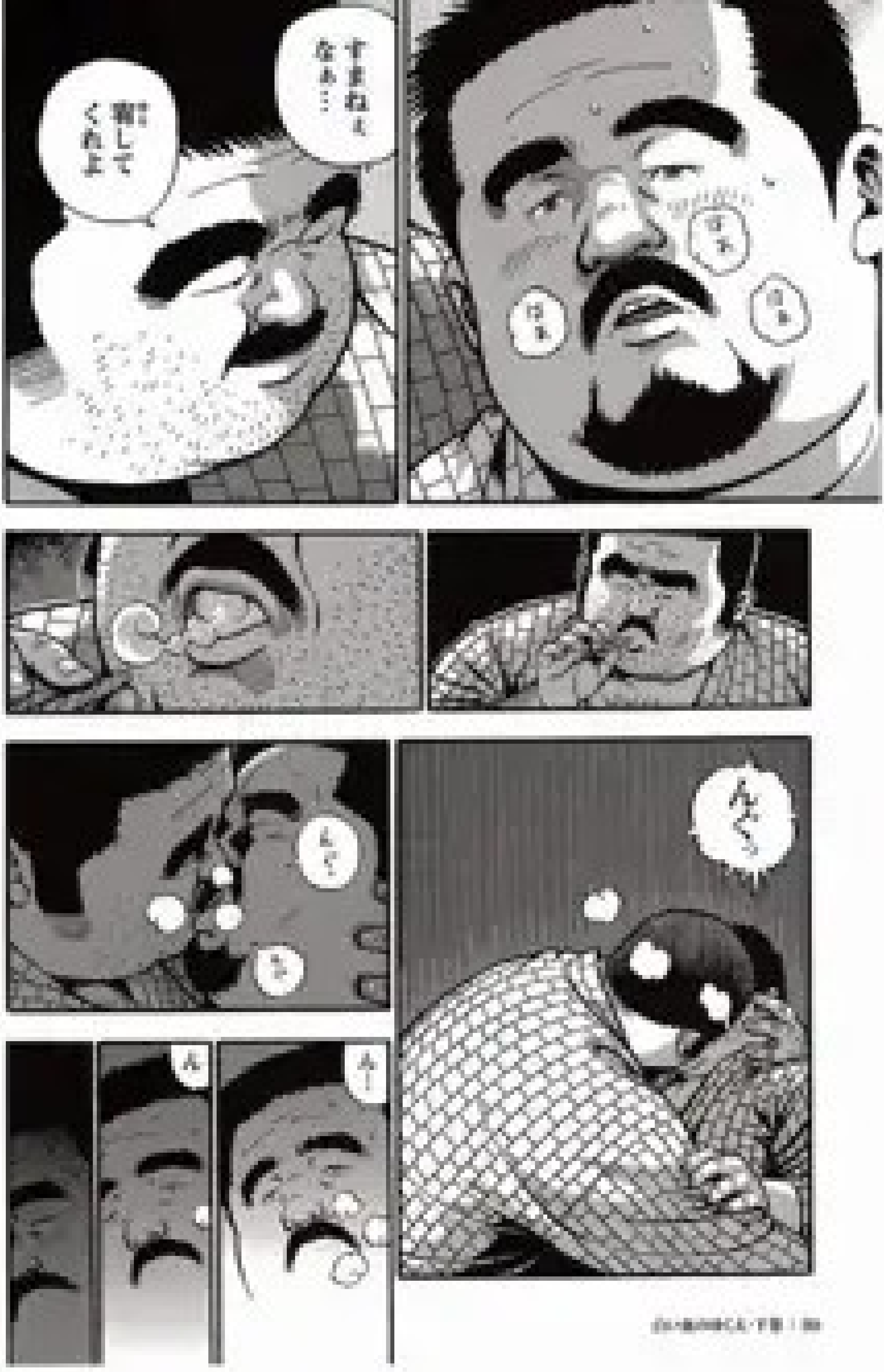

来た…ようだな
父親の恋人に嫉妬か……
ふっ
その心情だけは流石の俺にも理解出来ねぇなぁ……

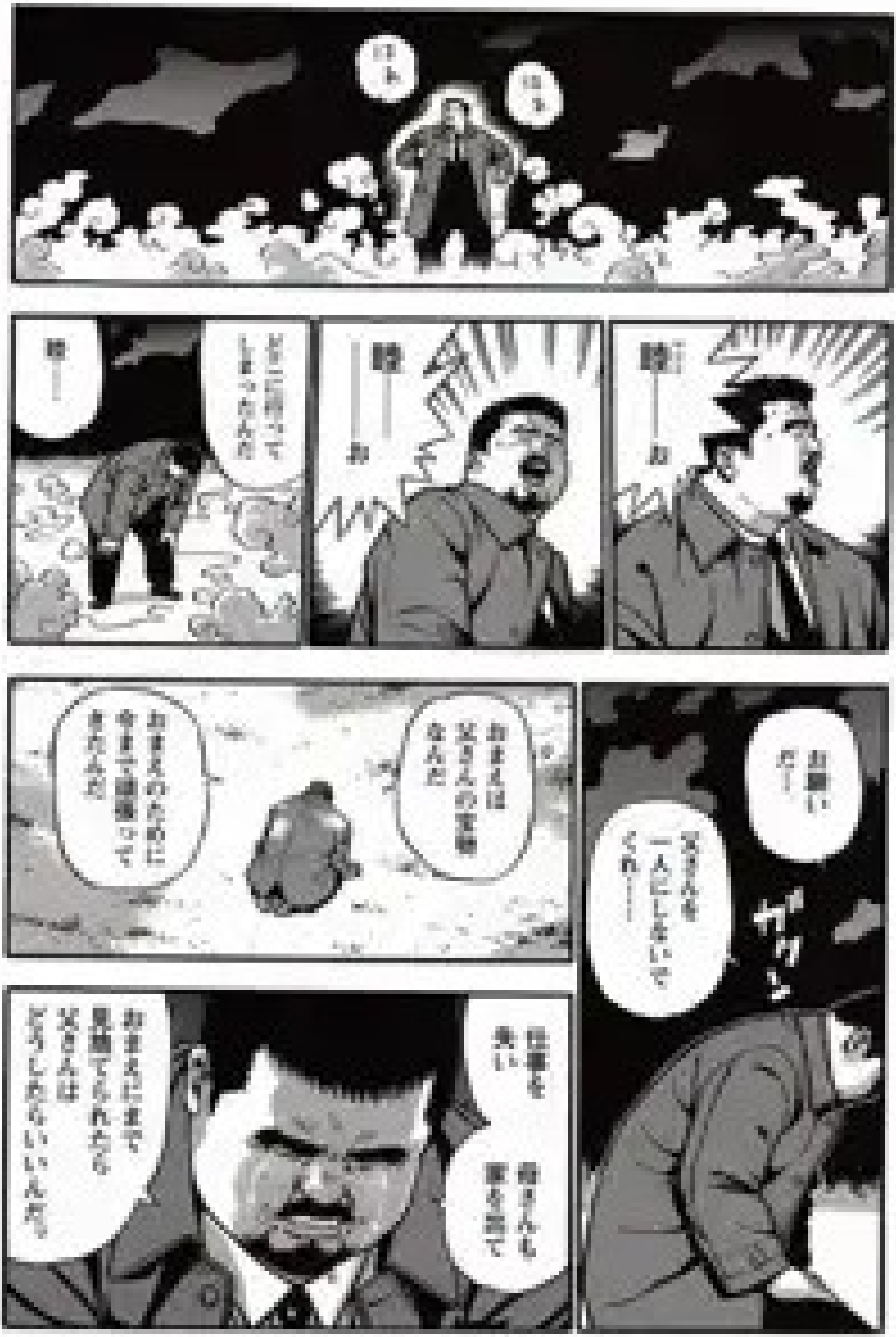

和室かあ…
なァ
ひしっ
!
会いたかった
ポン ポン

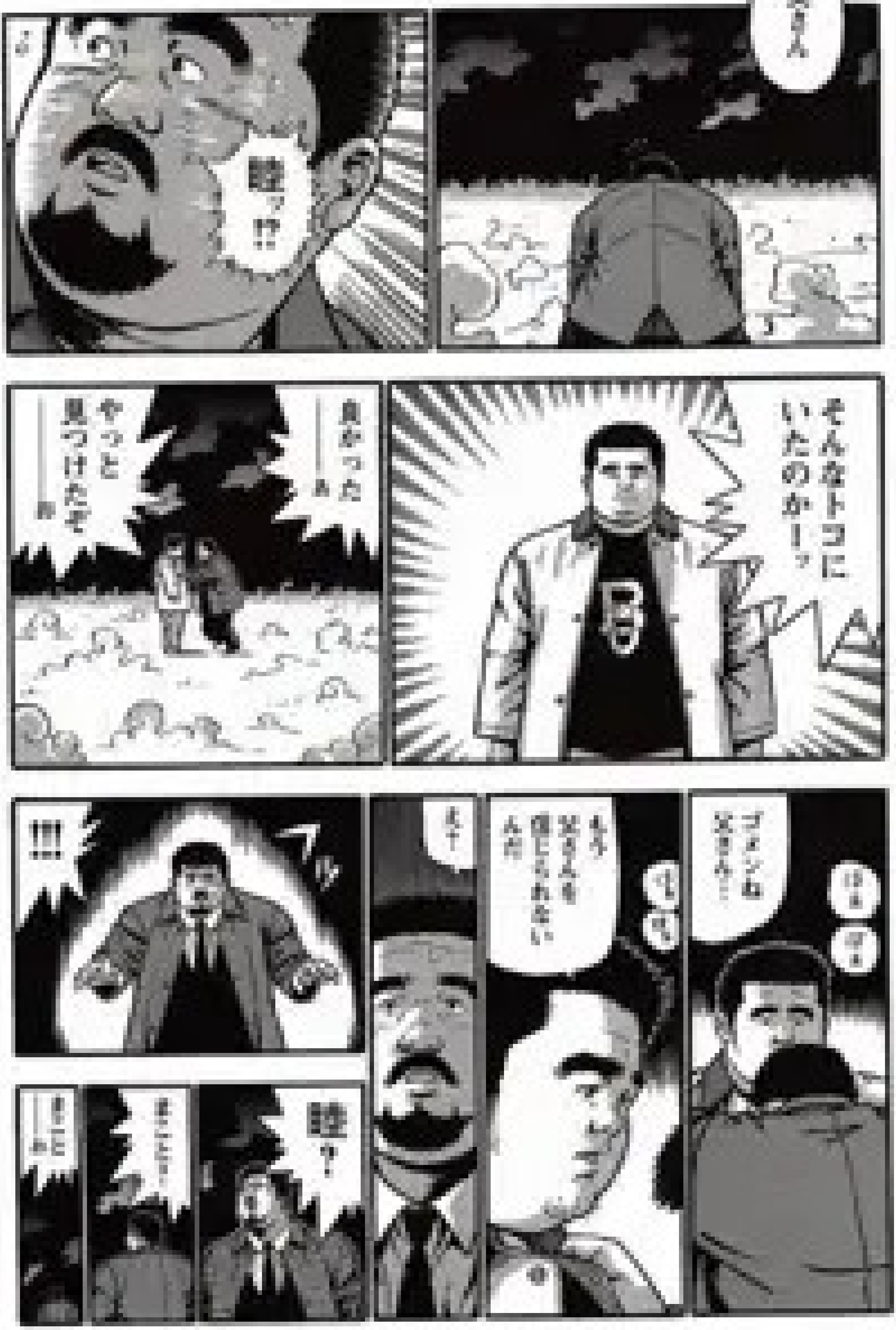

一人ぼっちで寂しかったか！
先に風呂に入っちまうか！
うん

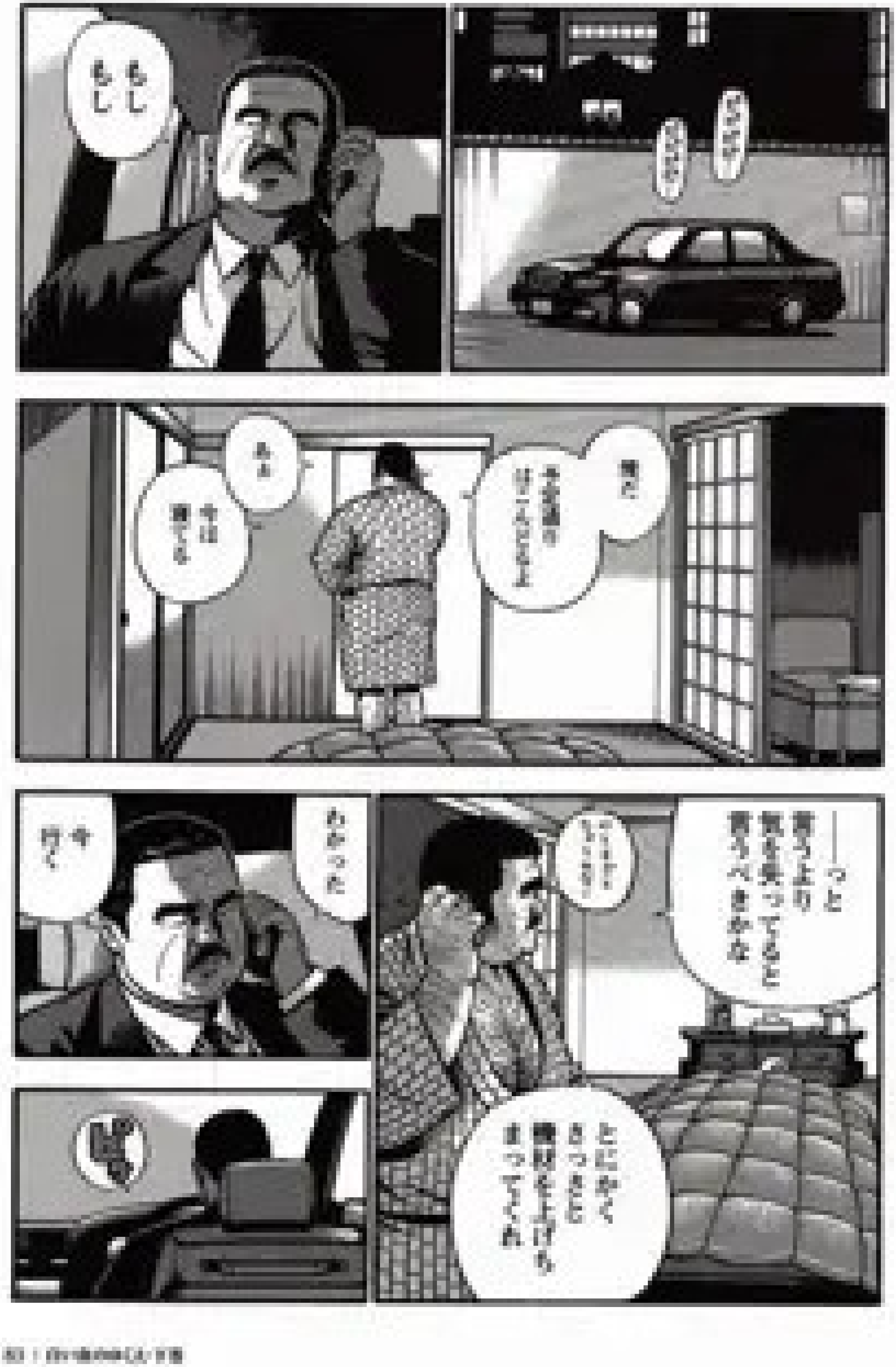

♪
……！
もったいねェな！
スッ

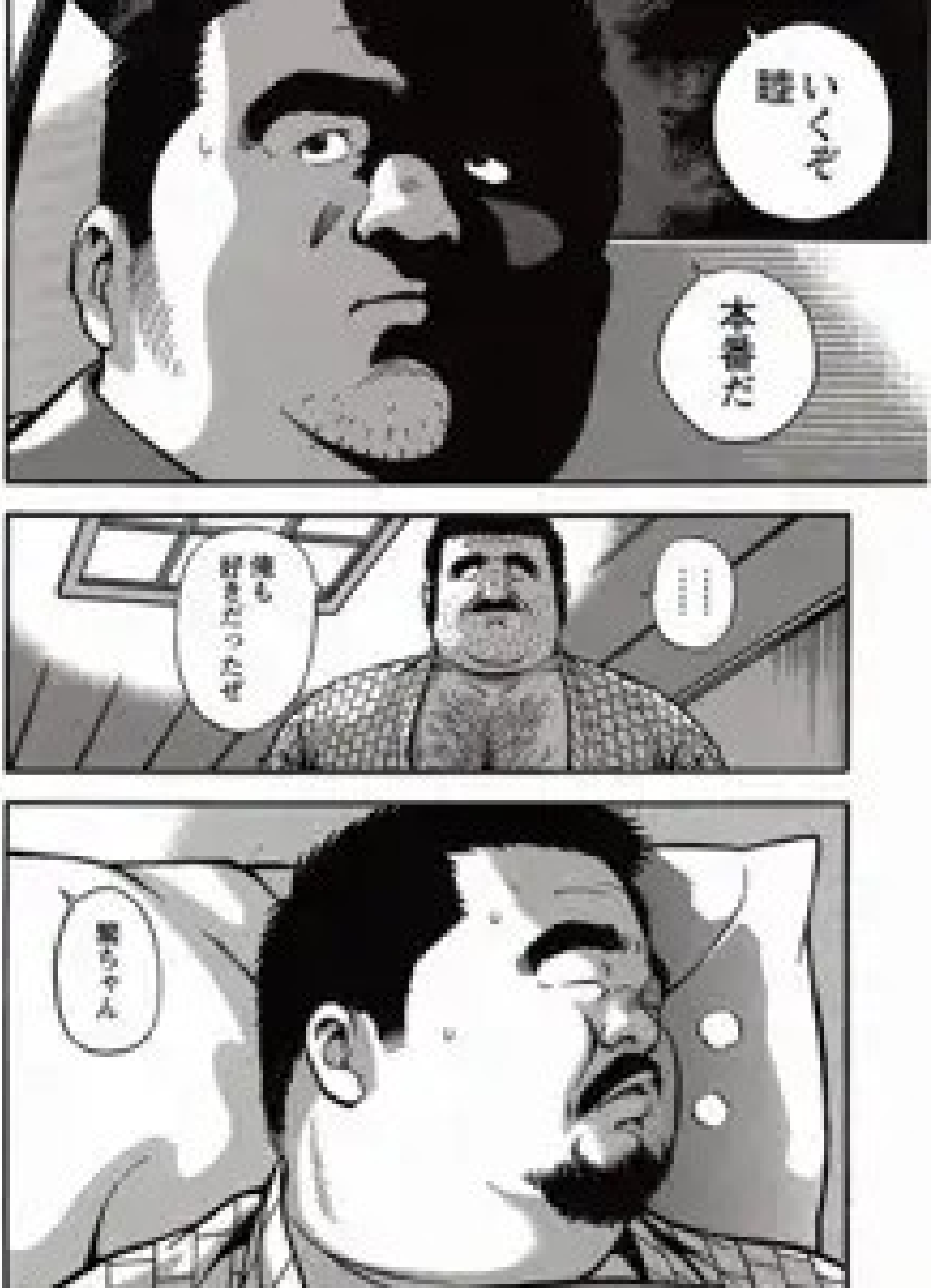

気に
なるか？
……
ホラ
暖いな
大好き
だろう


すまねえ
なあ…
許して
くれよ
んぐぅ
ん
ん!

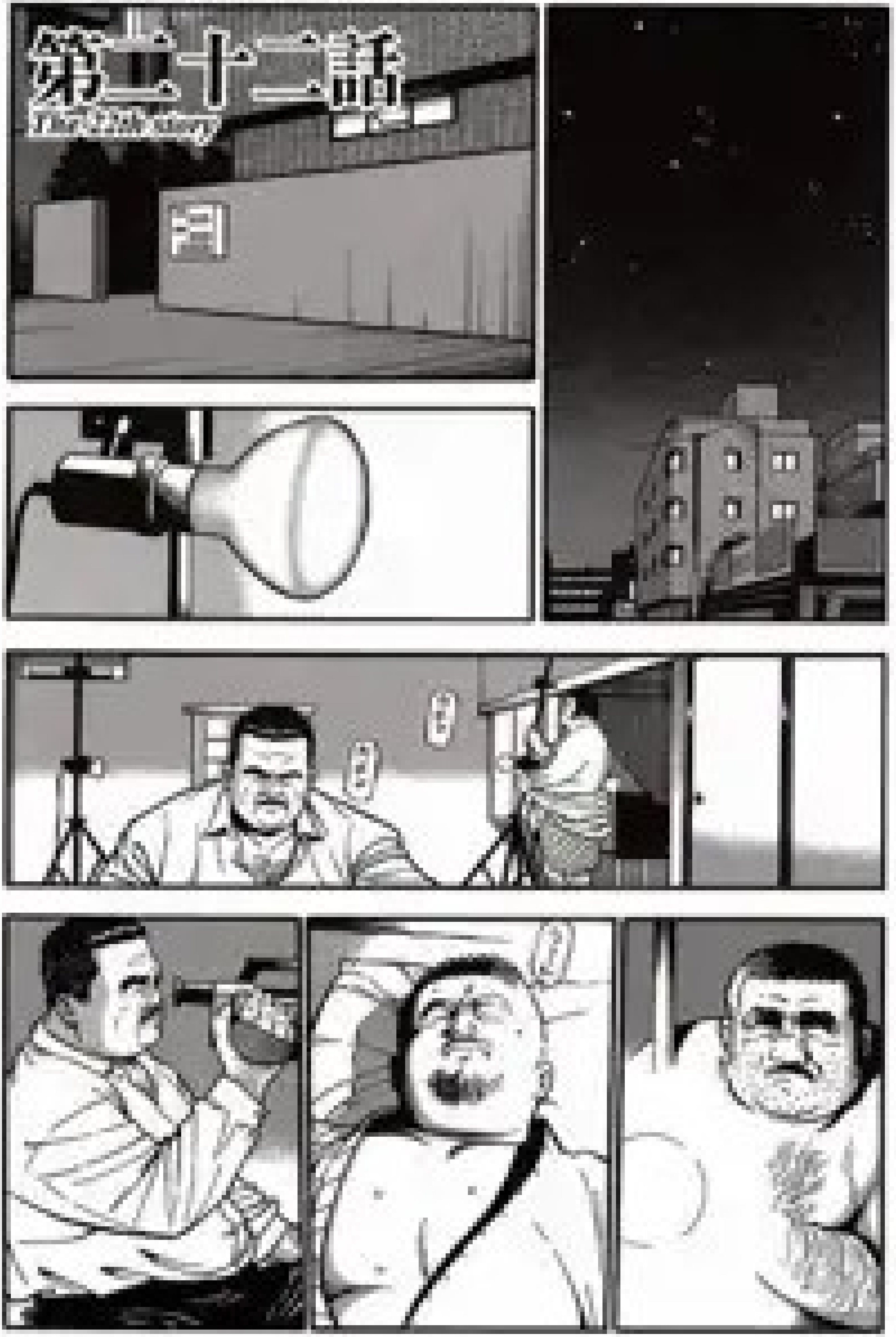

はぁ
はぁ
睦――お
睦――お
どこに行って
しまったんだ
睦――
お願い
だ…
兄さんを
一人にしないで
くれ…
おまえは
兄さんの宝物
なんだ
おまえのために
今まで頑張って
きたんだ
仕事も
失い
母さんも
家を出て
おまえにまで
見捨てられたら
兄さんは
どうしたらいいんだ？

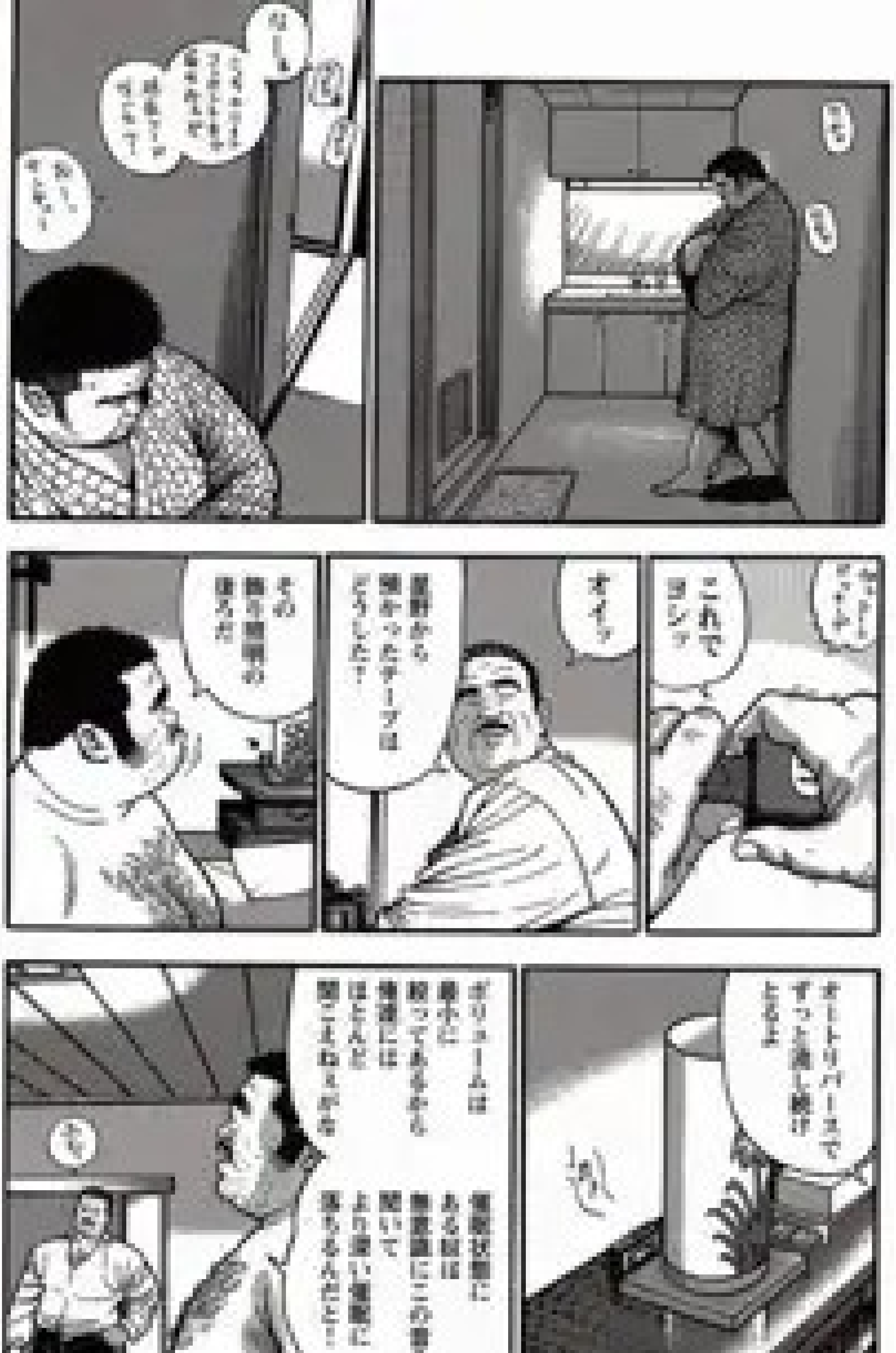

父さん……
睦ッ!?
そんなトコに
いたのかーッ
良かった……あ
やっと見つけたぞ……睦
はぁ はぁ
ゴメンね
父さん……
でも
もう
父さんを
煩わせたくない
んだ
もう……
ハッ
!!!
睦ッ!
まこと……
まこと……あ

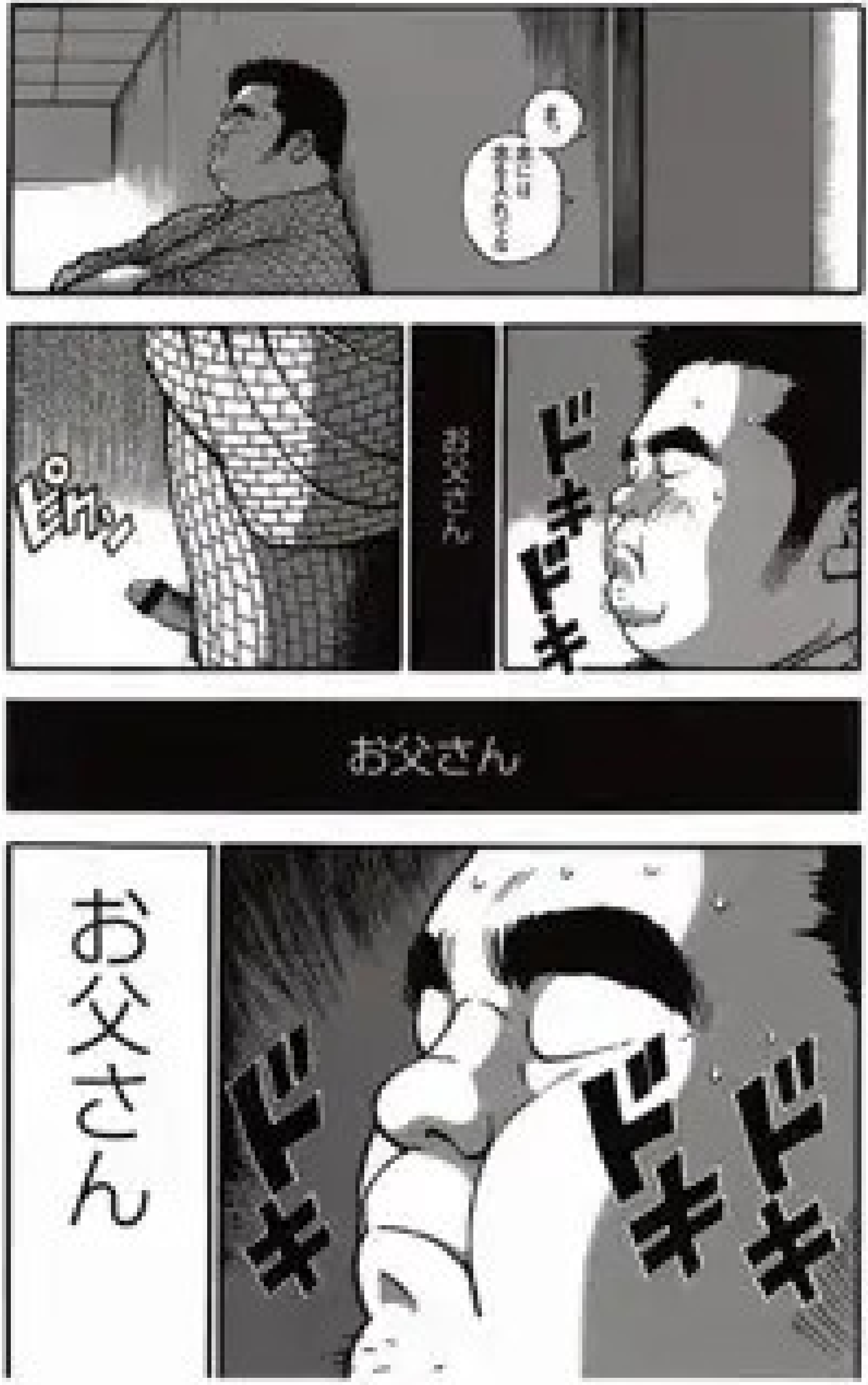

もしもし
俺だ
ああ
わかった
今 行く
とにかく さっさと

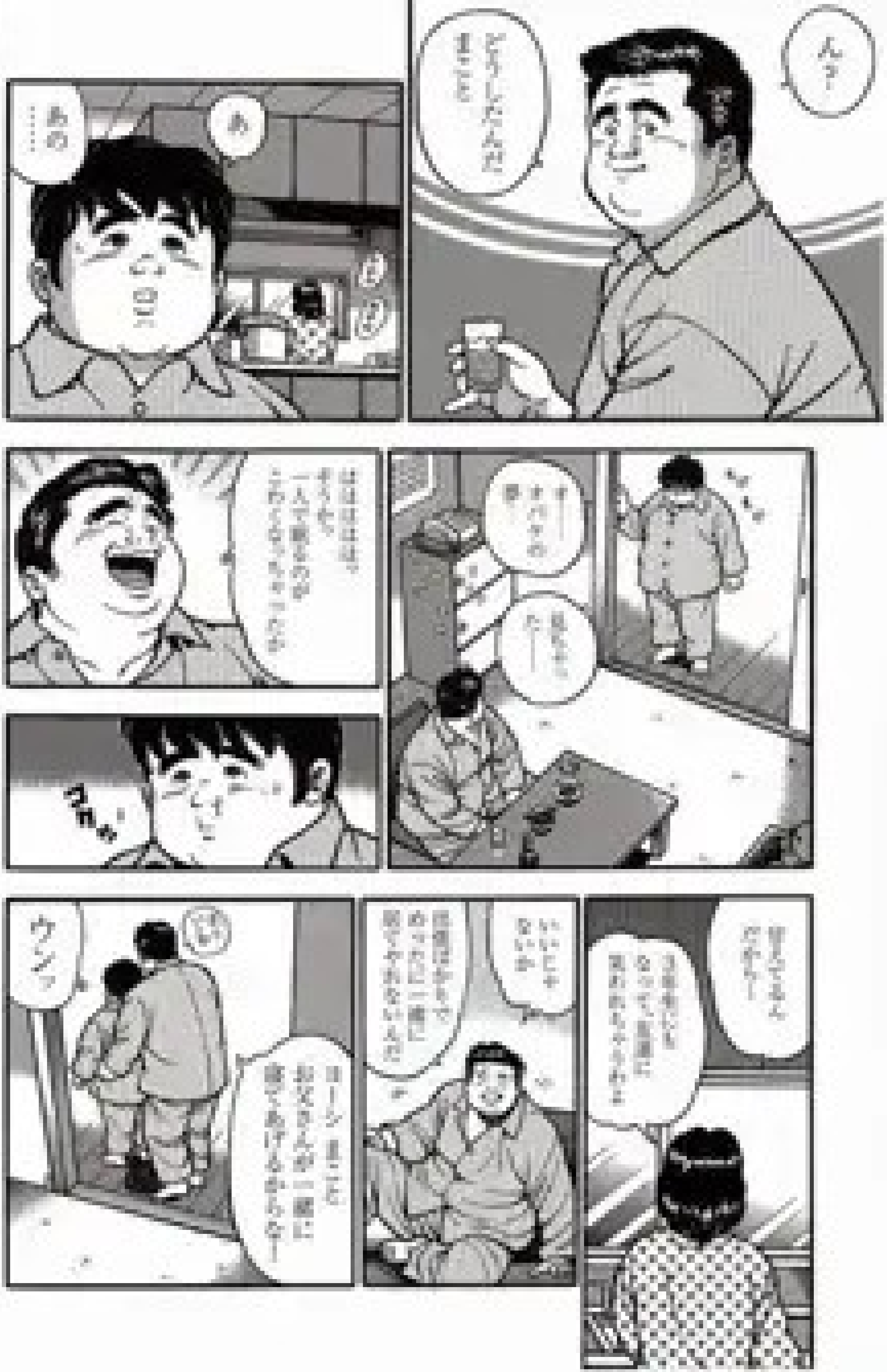

睦いくぞ
本番だ
……
俺も好きだったぜ
[illegible]ちゃん

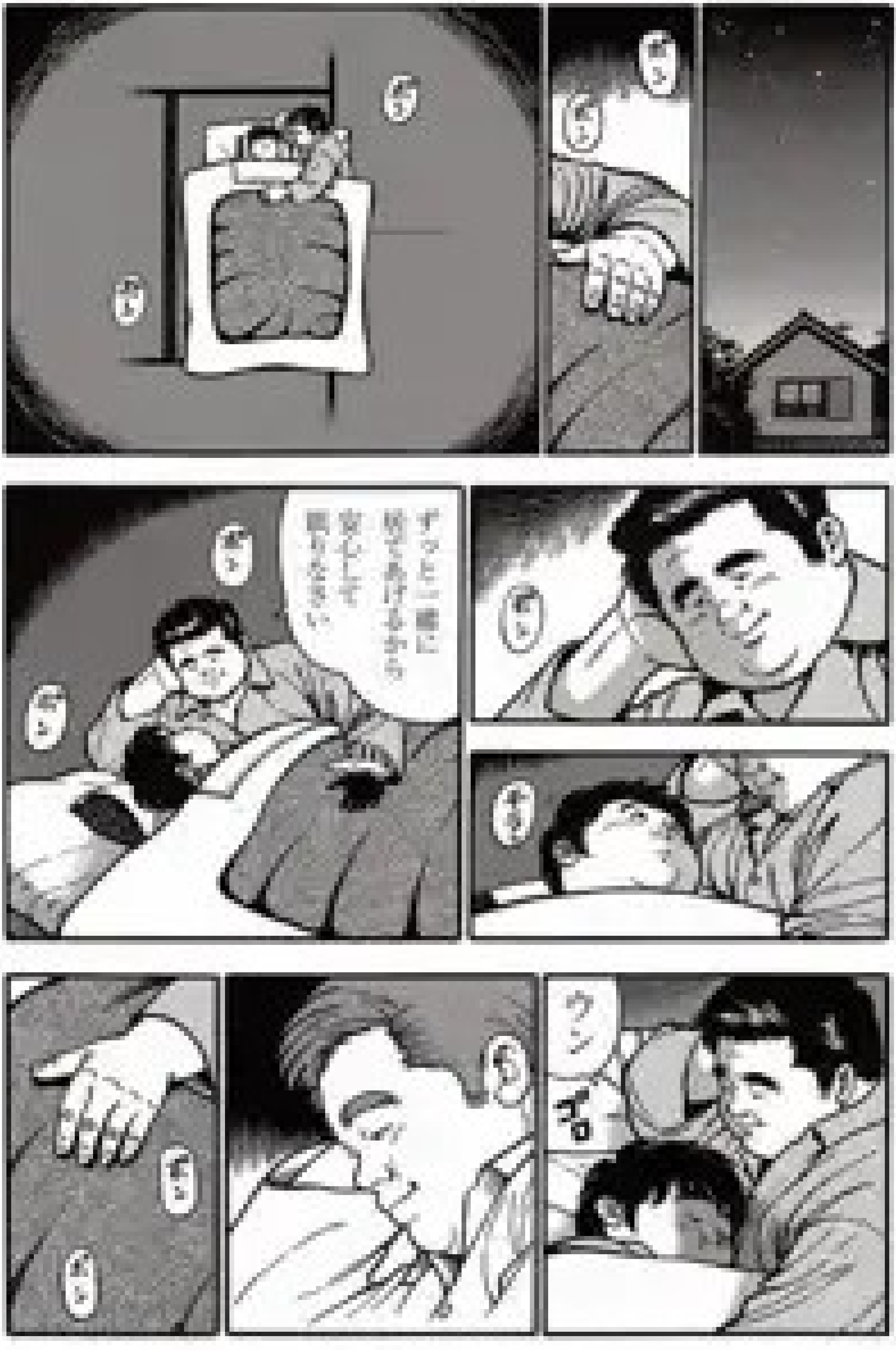
第二十二話

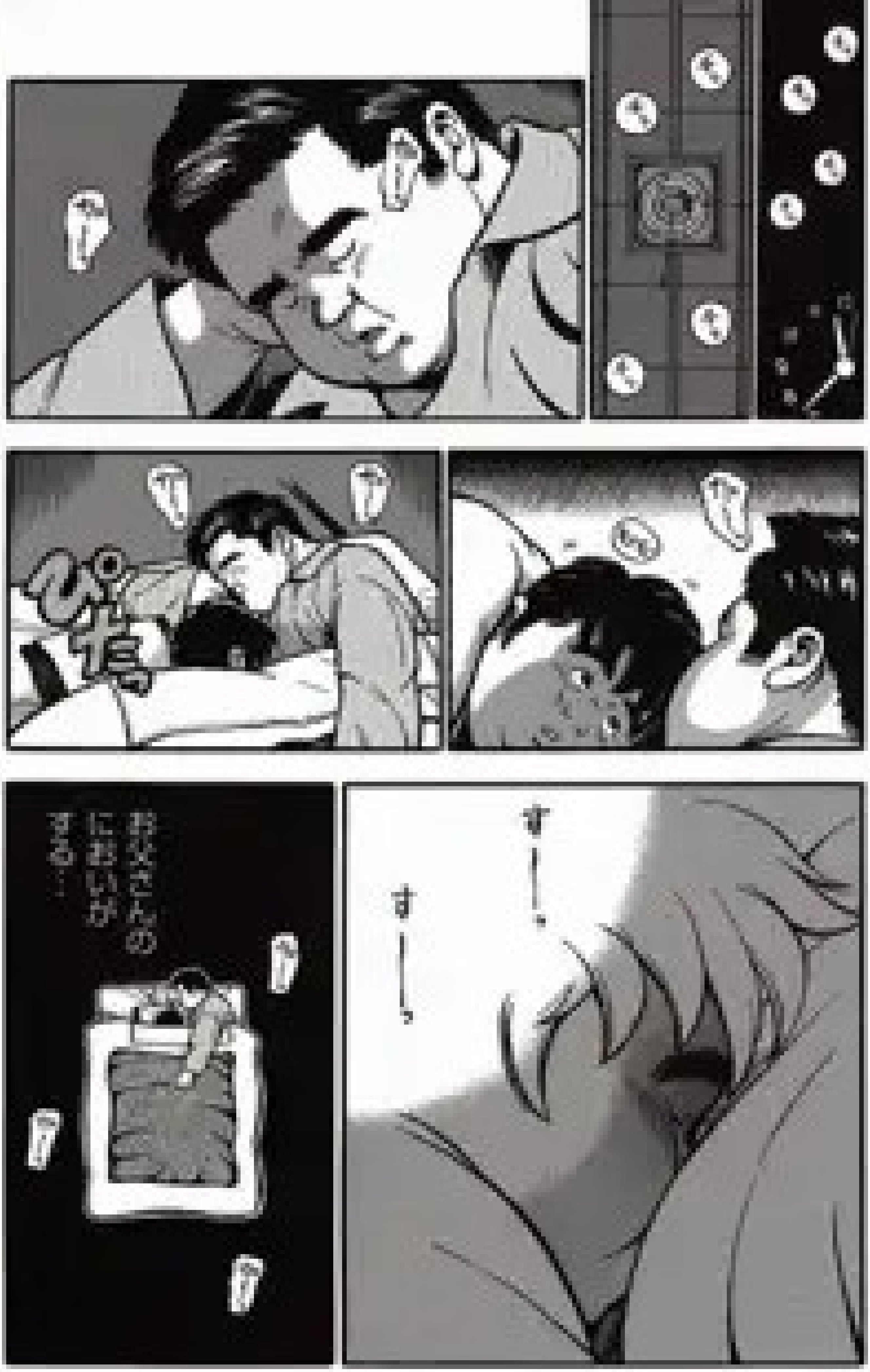


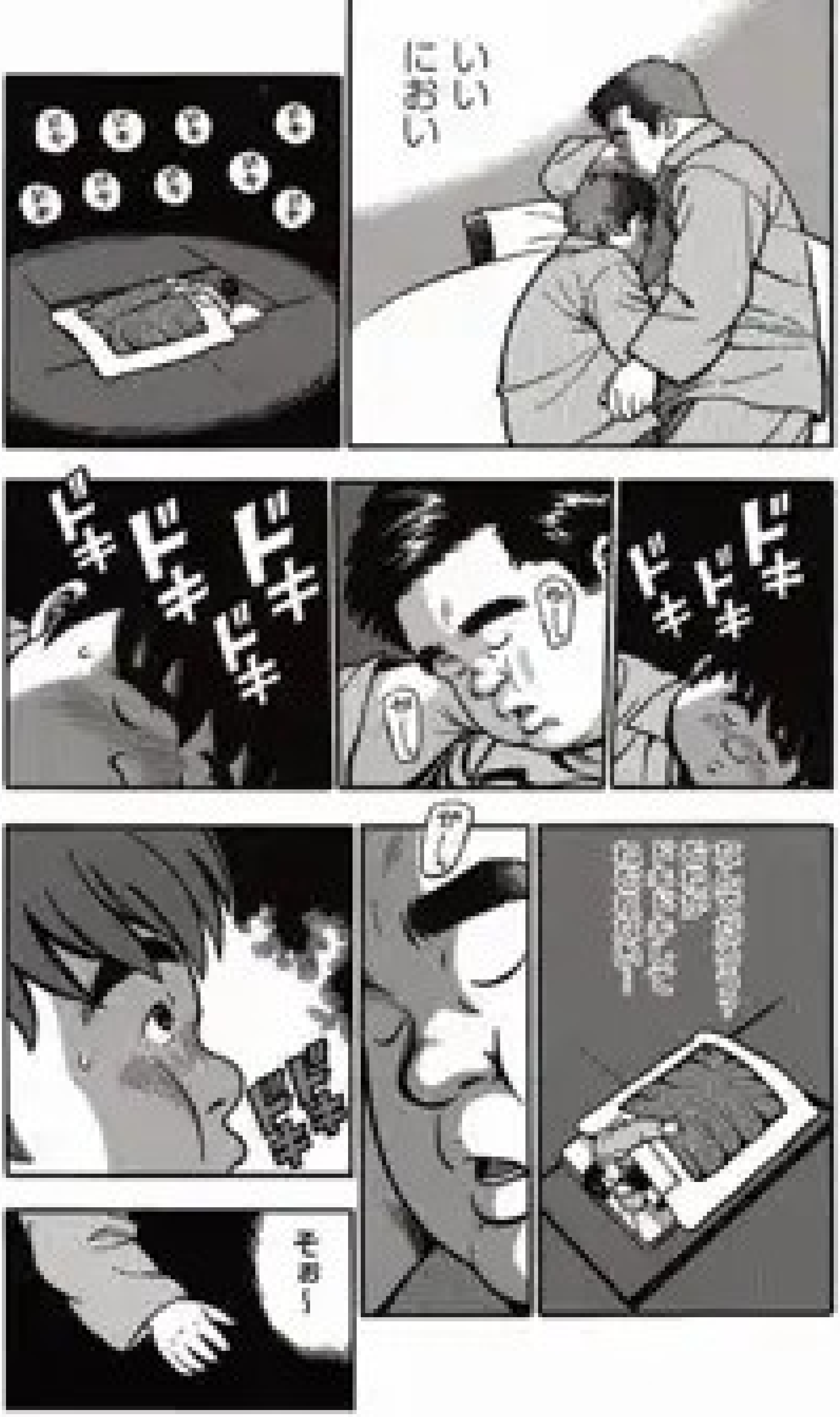

これで ヨシッ
オイッ
昼飯から 預かったテープは どうした？
その 催眠療法の 使い方だ
オートリバースで ずっと流し続けとるよ
ボリュームは 最小に 絞ってあるから 普通には ほとんど 聞こえねぇがな
睡眠状態に ある脳は 無意識にこの音を 聞いて より深い催眠に 落ちるんだと！

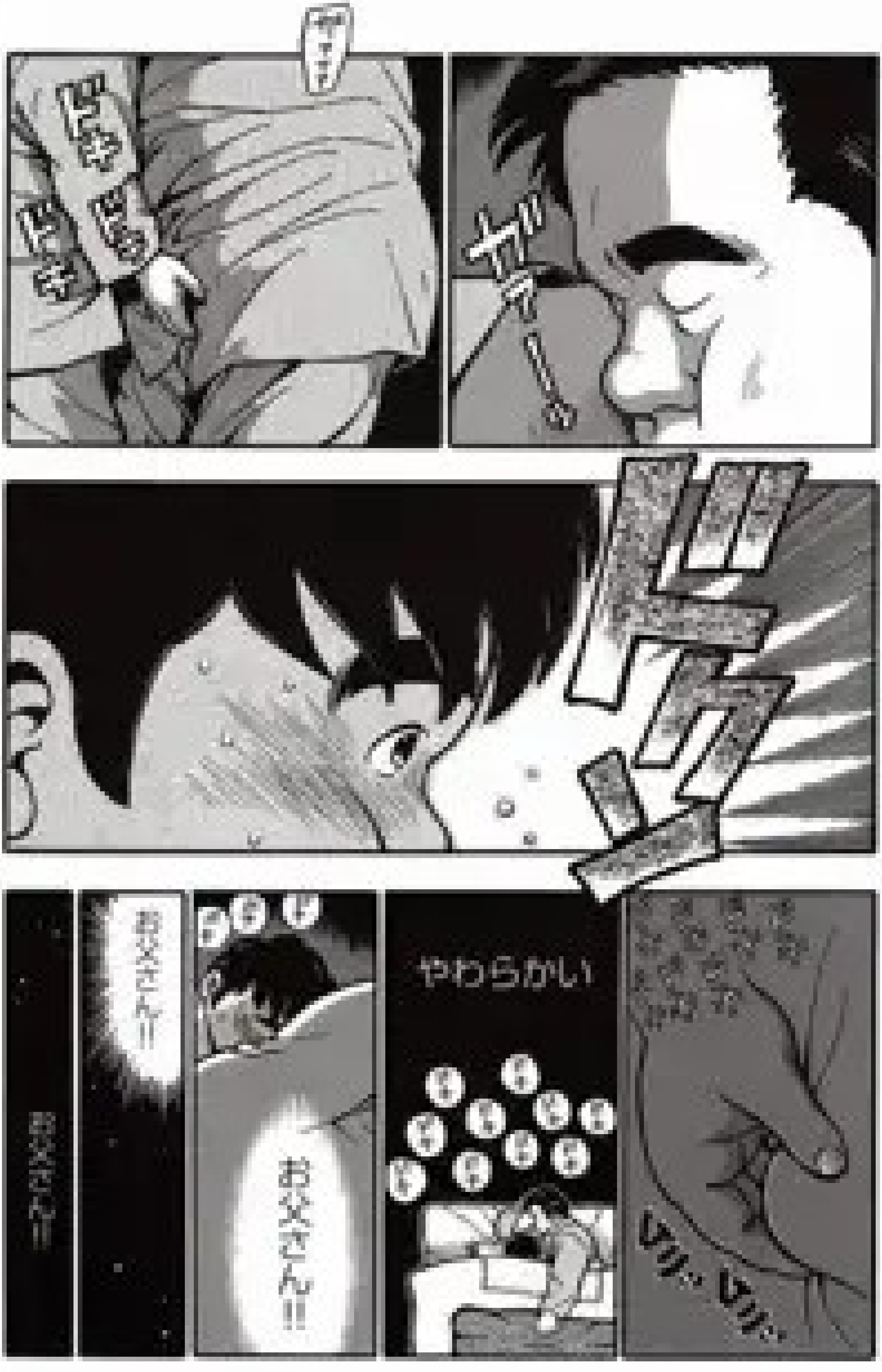

ドキドキ
お父さん
ピクッ
お父さん
ドキドキ
ドキ
お父さん

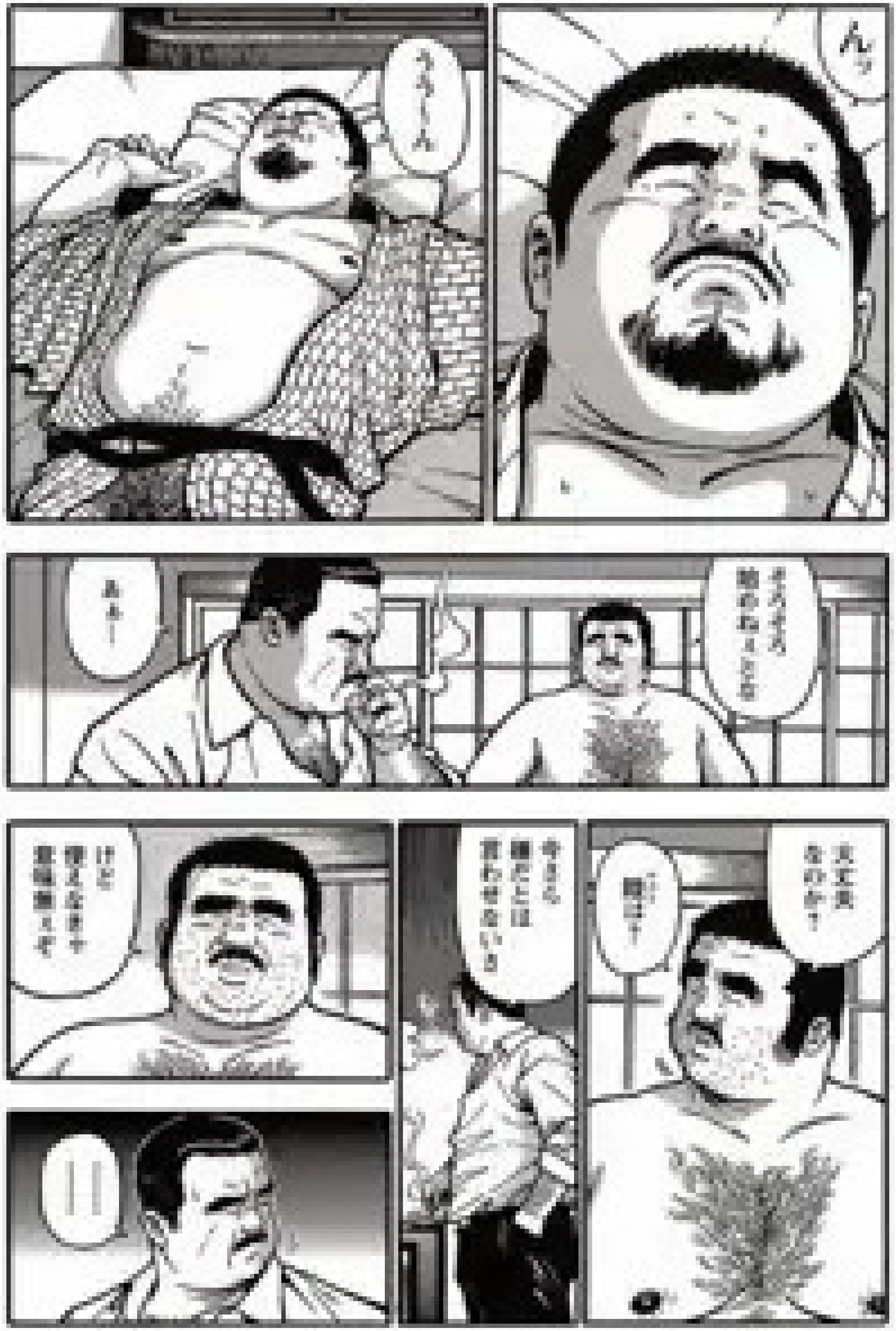

ん？
どうしたんだ まこと
あ
あの……
ははははは そうか 一人で寝るのが こわくなっちゃったか
いいじゃないか
ウン

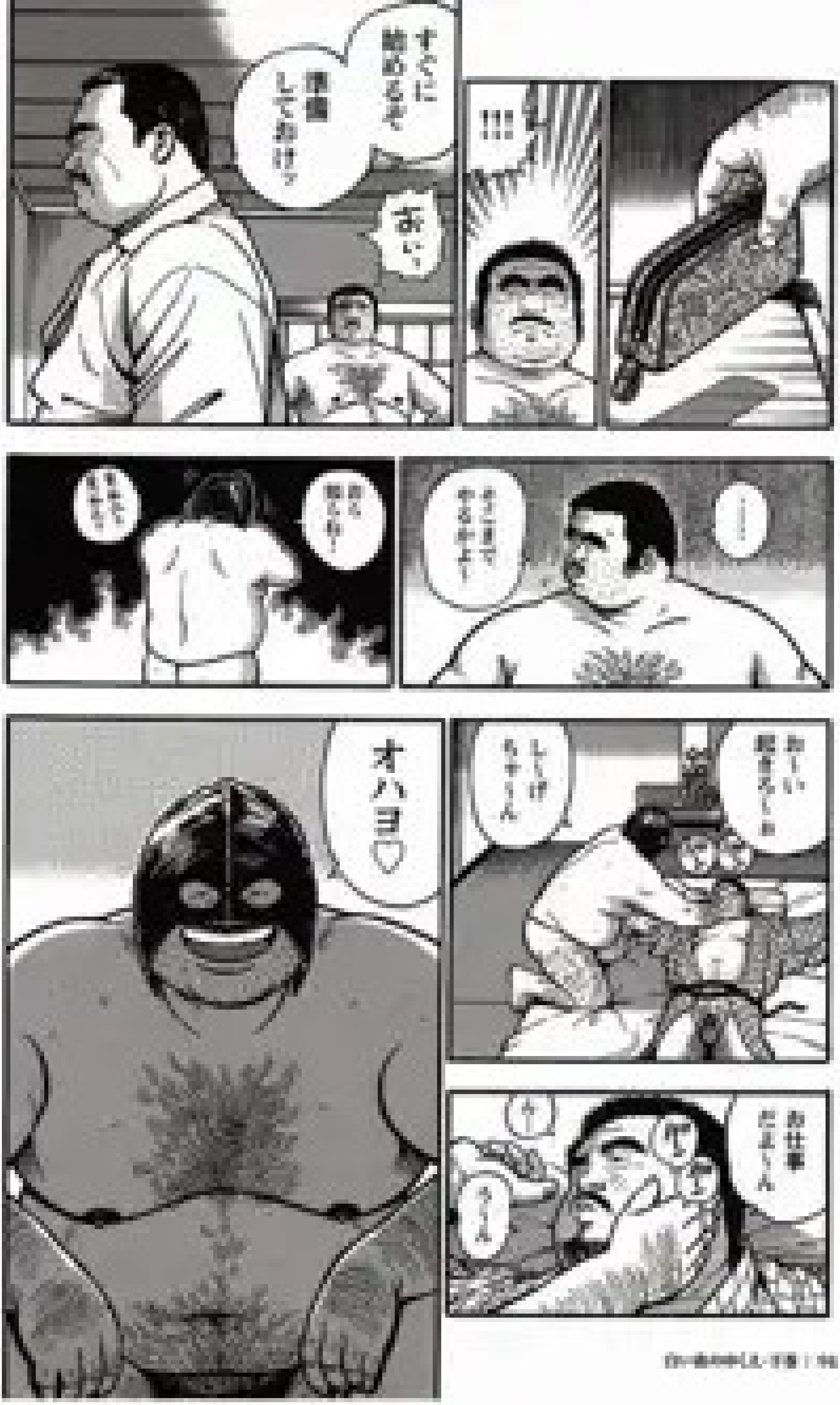

ずっと一緒に
居てあげるから
安心して
眠りなさい
ウン

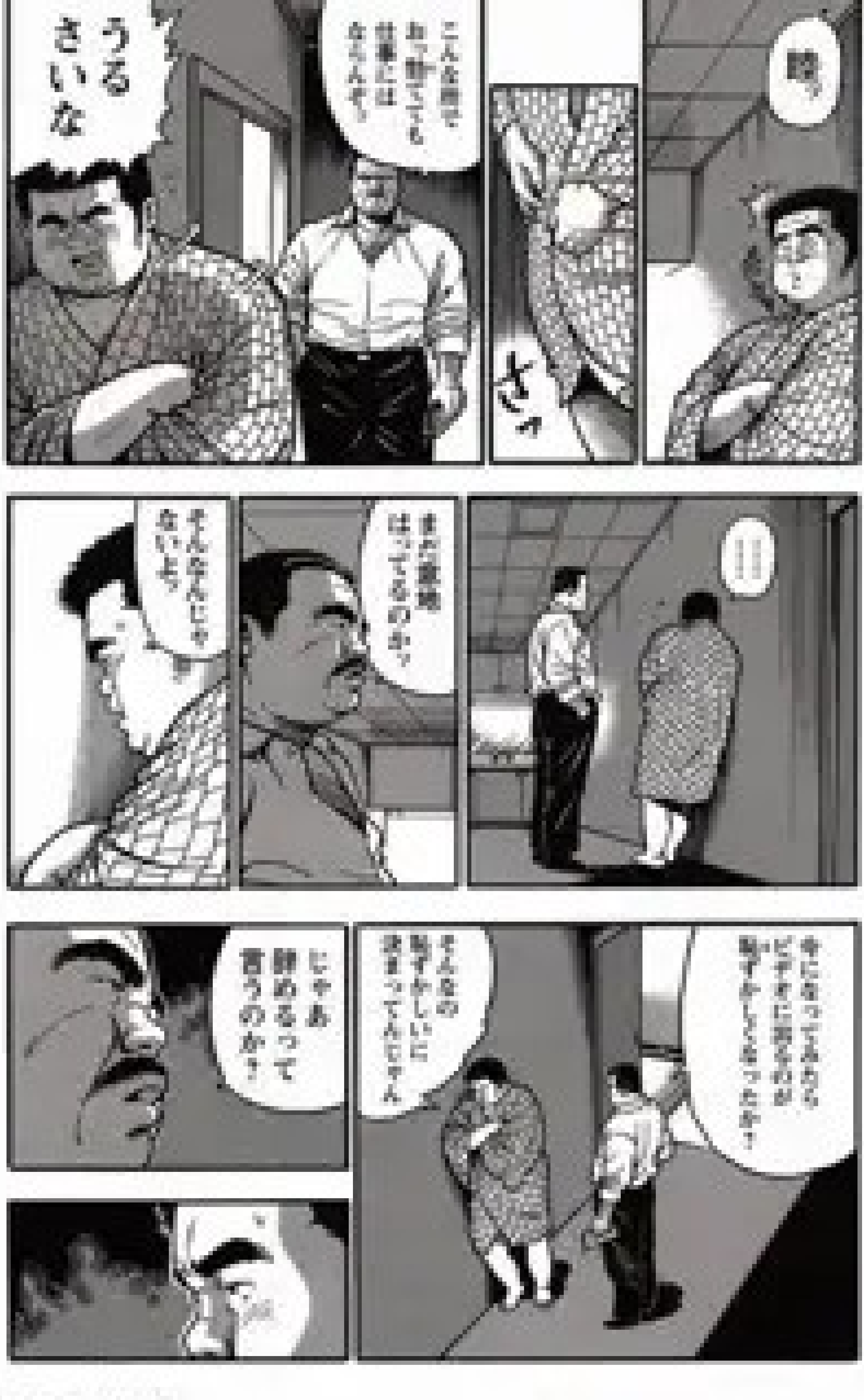

ぴたっ
お父さんの
においが
する…
すー
すー

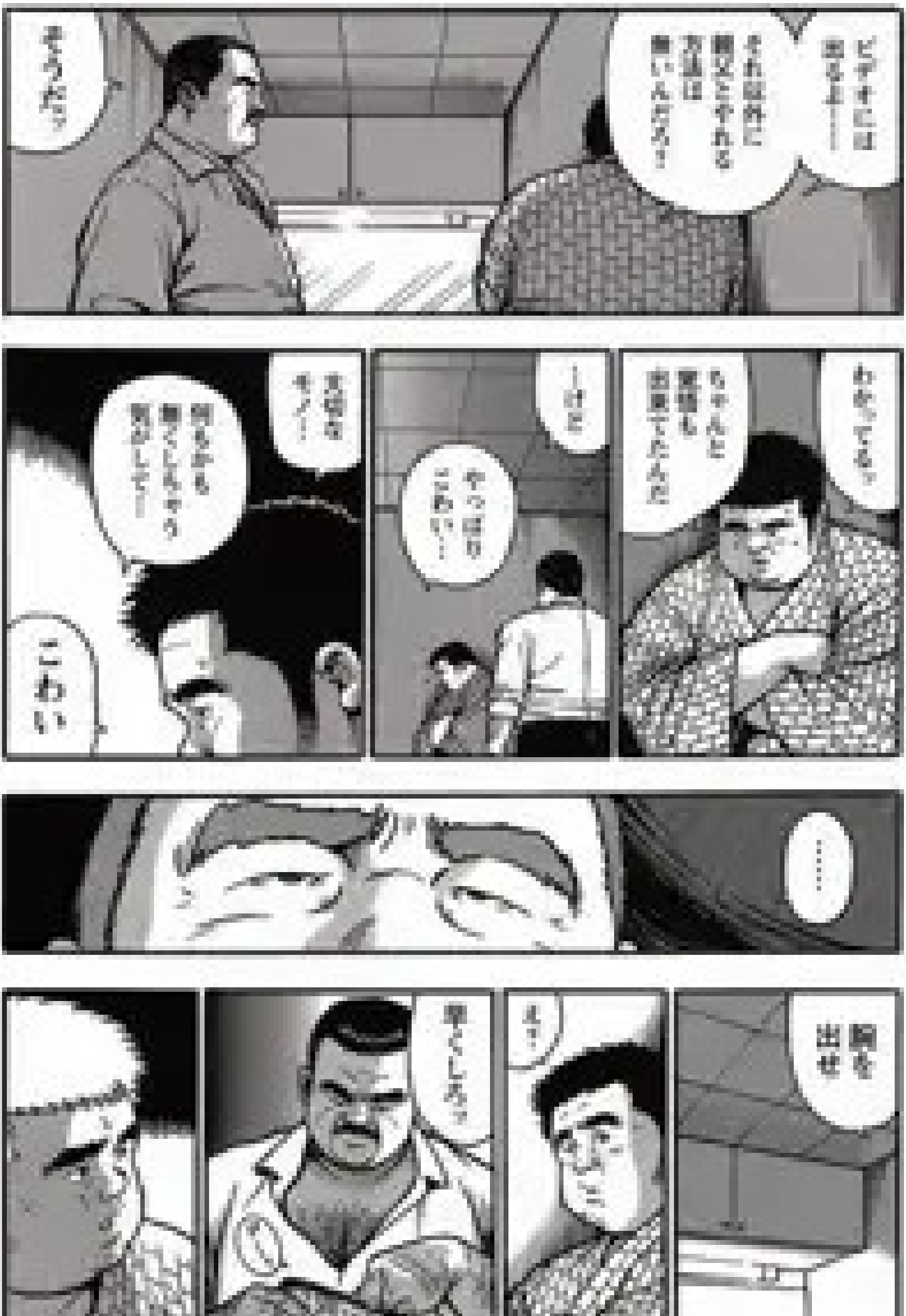

いい
においい
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
や！
そっ！

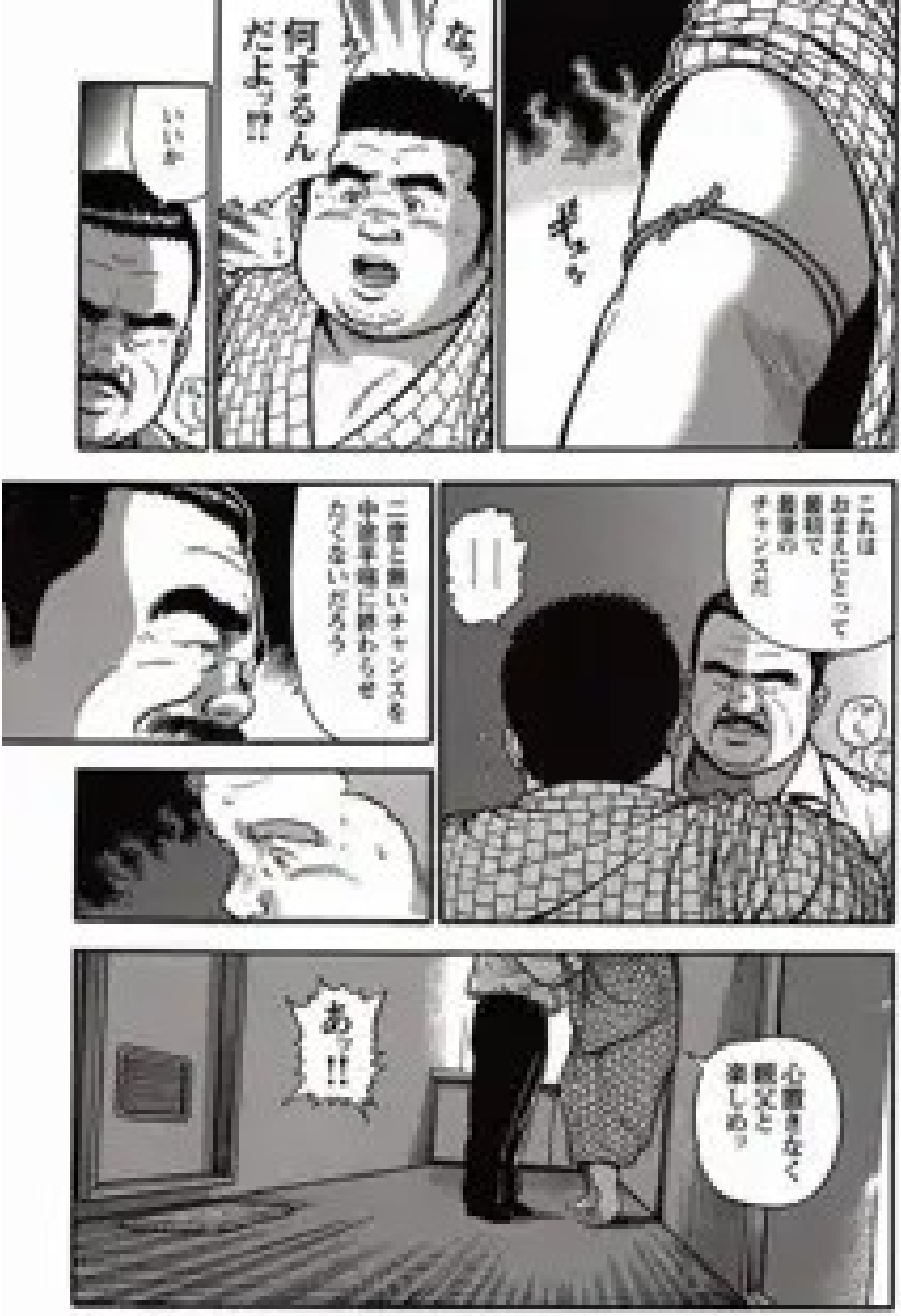

ギャ――!!
ドキ
ドキ
ドキ
やわらかい
お父さん!!
お父さん!!
お父さん!!

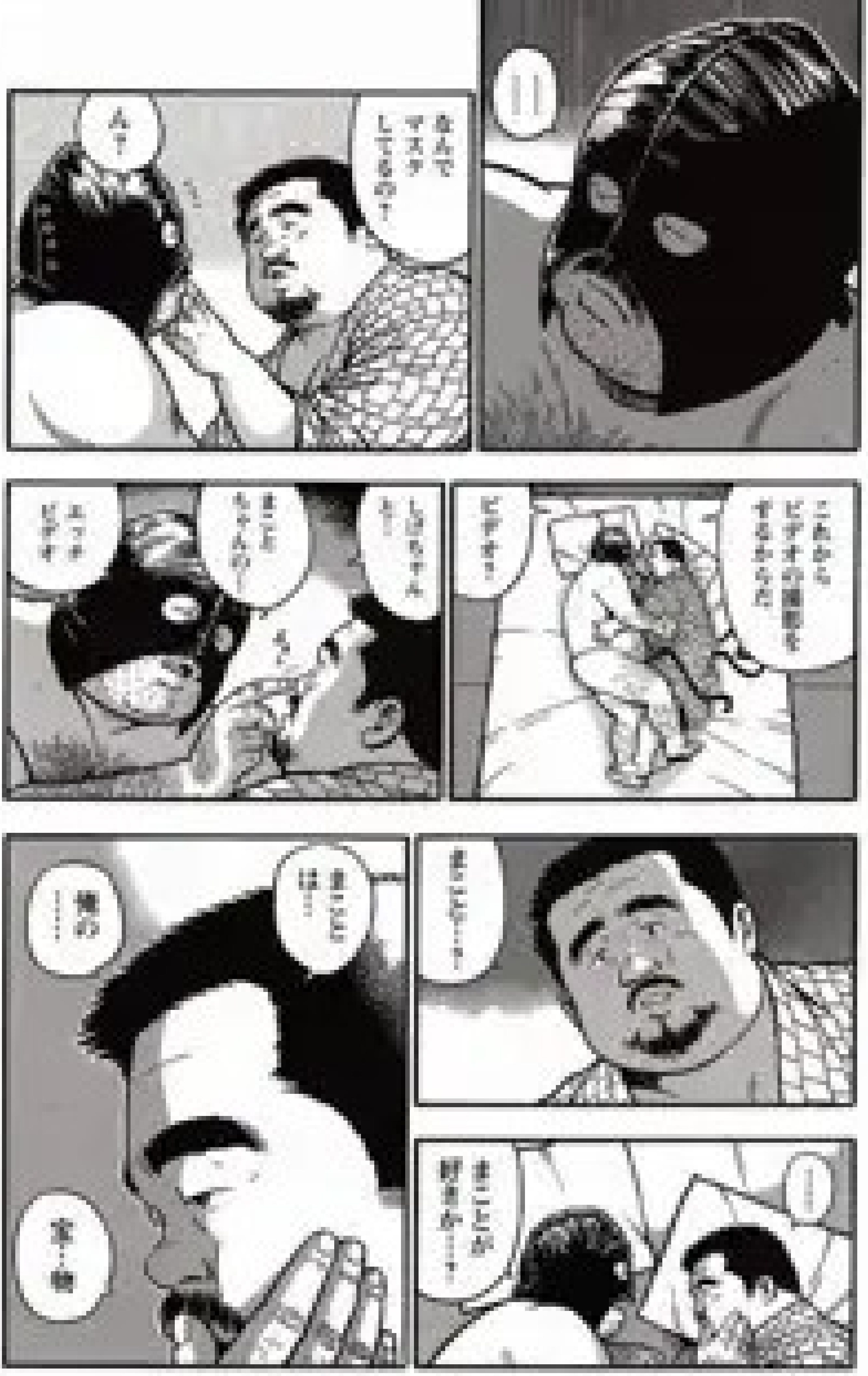

ん？
あ…！
大丈夫
なのか？
――

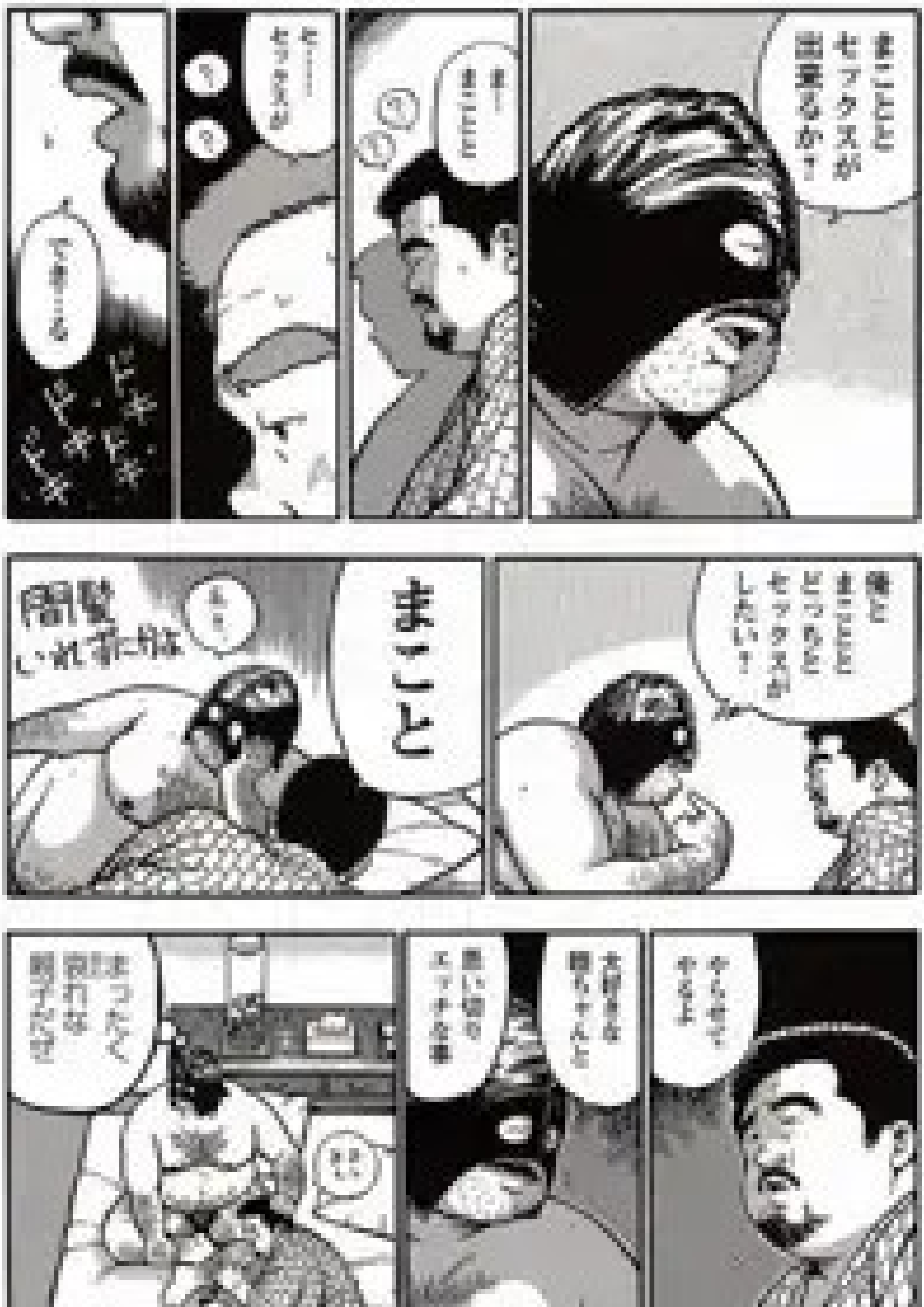

！！！
すぐに始めるぞ 準備しておけっ
あいっ
……！
オハヨ♡
しげちゃ〜ん
うーん


さっ
こんな時でもお前さんも仕事とはなぁんだ？
うるさいな
!!
まだ意地はってるのか？
そんなんじゃないよ
今になってみたらビデオに出るのが恥ずかしくなったか？
そんなの恥ずかしいに決まってんじゃん
じゃあ辞めるって言うのか？

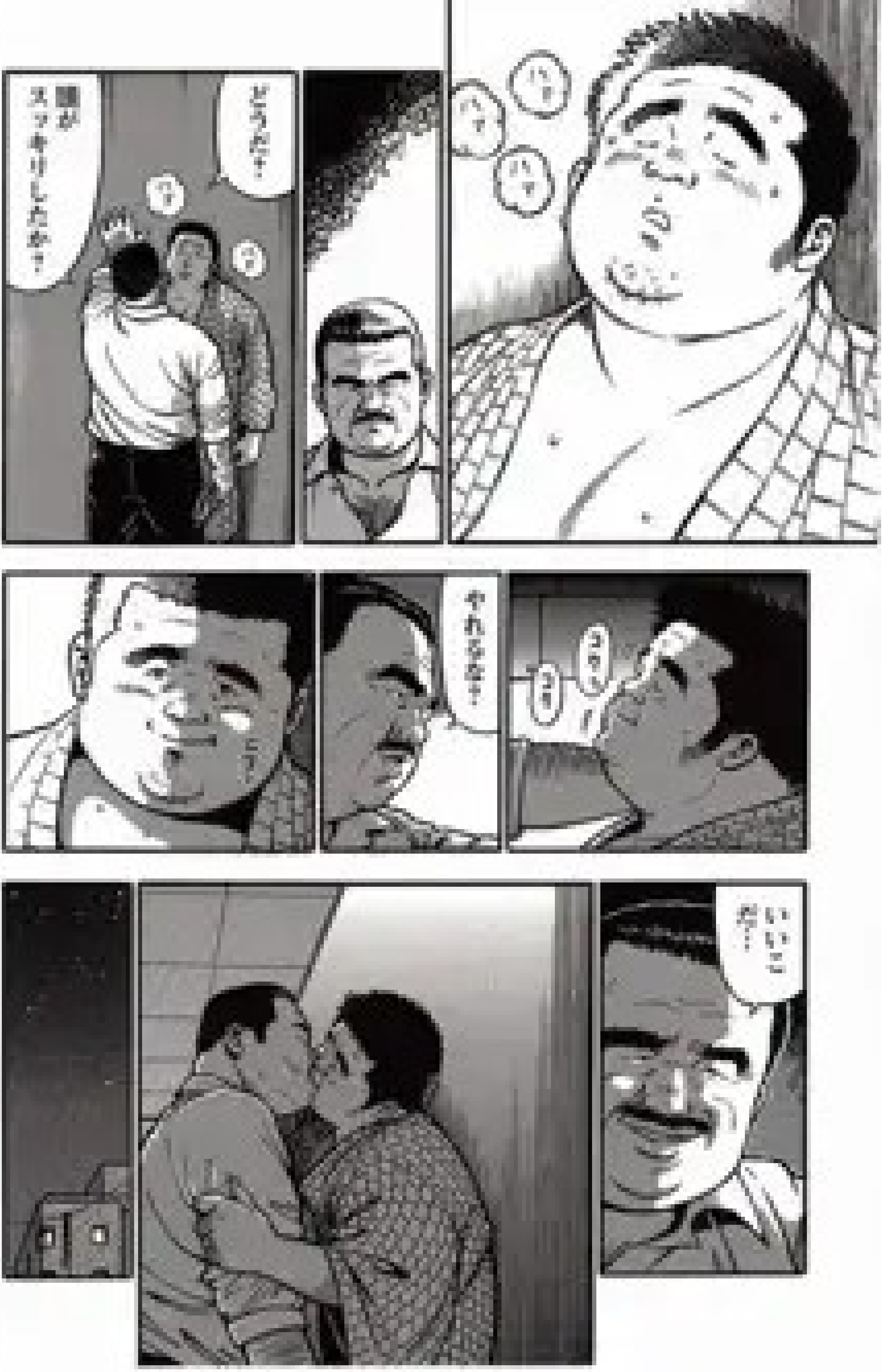

ビデオには出るよ——
それ以外に親父とヤれる方法は無いんだろ!?
そうだッ
わかってるッ
ちゃんと覚悟も出来てたんだ
…けど
やっぱりこわい…
本当はキツイ！
何もかも晒しちまう気がして…
こわい
……
胸を出せ
え？
早くしろッ

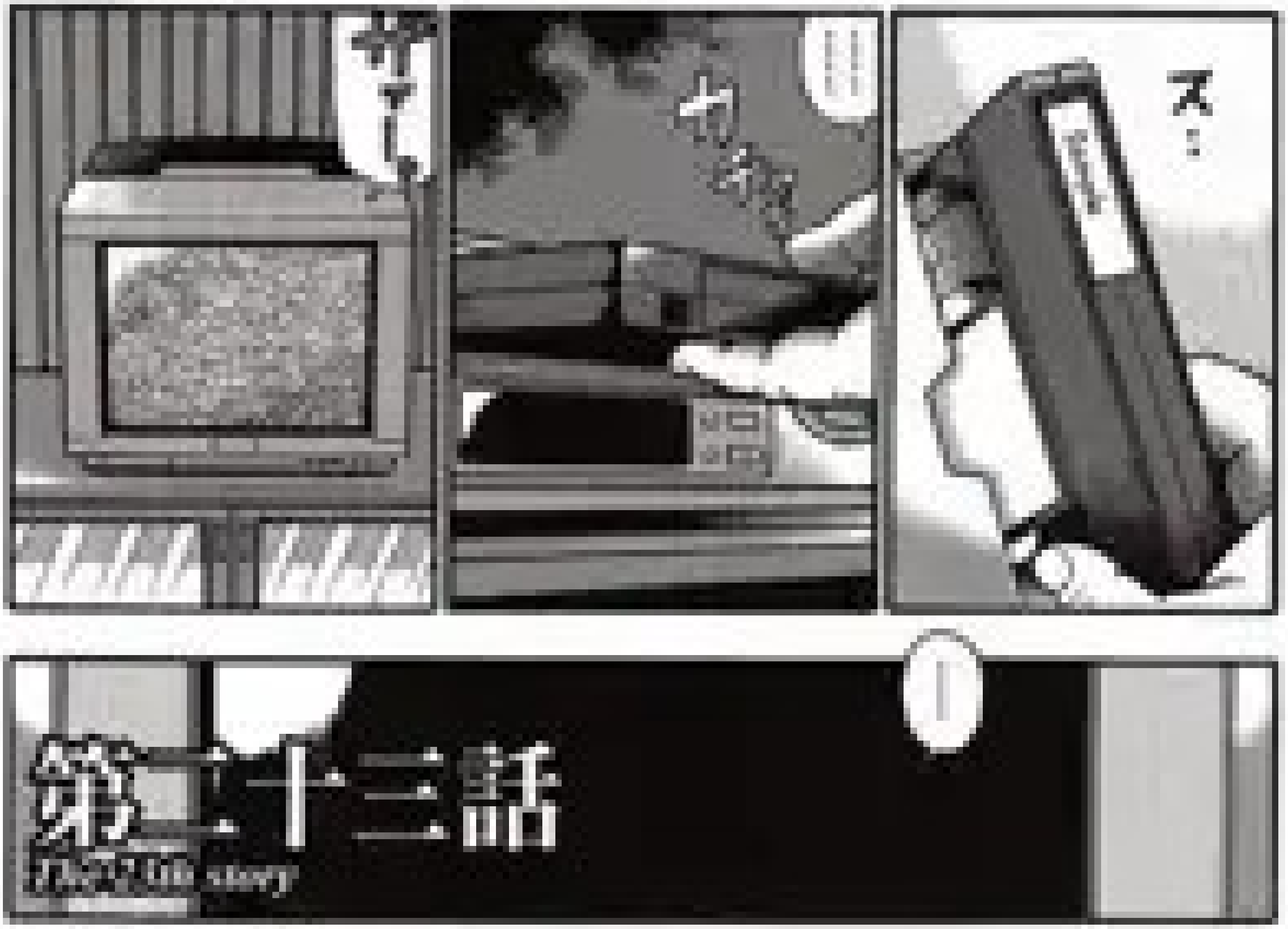

ずるっ
な、
何するんだよっ!?
いいから
これは
おまえにとって
最初で
最後の
チャンスだ
……
二度と無いチャンスを
中途半端に終わらせ
たくないだろう
あっ!!
心置きなく
親父と
楽しめ


……!!
なんで マスク してるの？
ん？
これから ビデオの撮影を するからだよ
ビデオ？
しげちゃん も…
まこと ちゃんの…
エッチ ビデオ
まこと…っ
まこちゃん は…
僕の……
宝・物
……!
まことが 好きか……っ



まことと
セックスが
出来るか？
ま…
まことと…
？
？
セ…
セックス…
？
？
ドキッ…
ドキ ドキ ドキ
俺と
まことと
どっちと
セックスが
したい？
まこと
あっ
やるぜ
やるよ
大好きな
親父さんと
思い切り
スケベな事
まったく
呆れた
親子だぜ


ハァ
ハァ
ハァ
どうだ？
？
？
頭がスッキリしたか？
やれやれ…
ン…
ン…
いいコだ…



第二十三話

The 23th story

社会から
弾かれた
一人の中年男が

家庭を
守る為に

数えきれない
程の
男達に抱かれ

そして
性欲の虜になった

やがて男が溺れゆく
背徳の愛

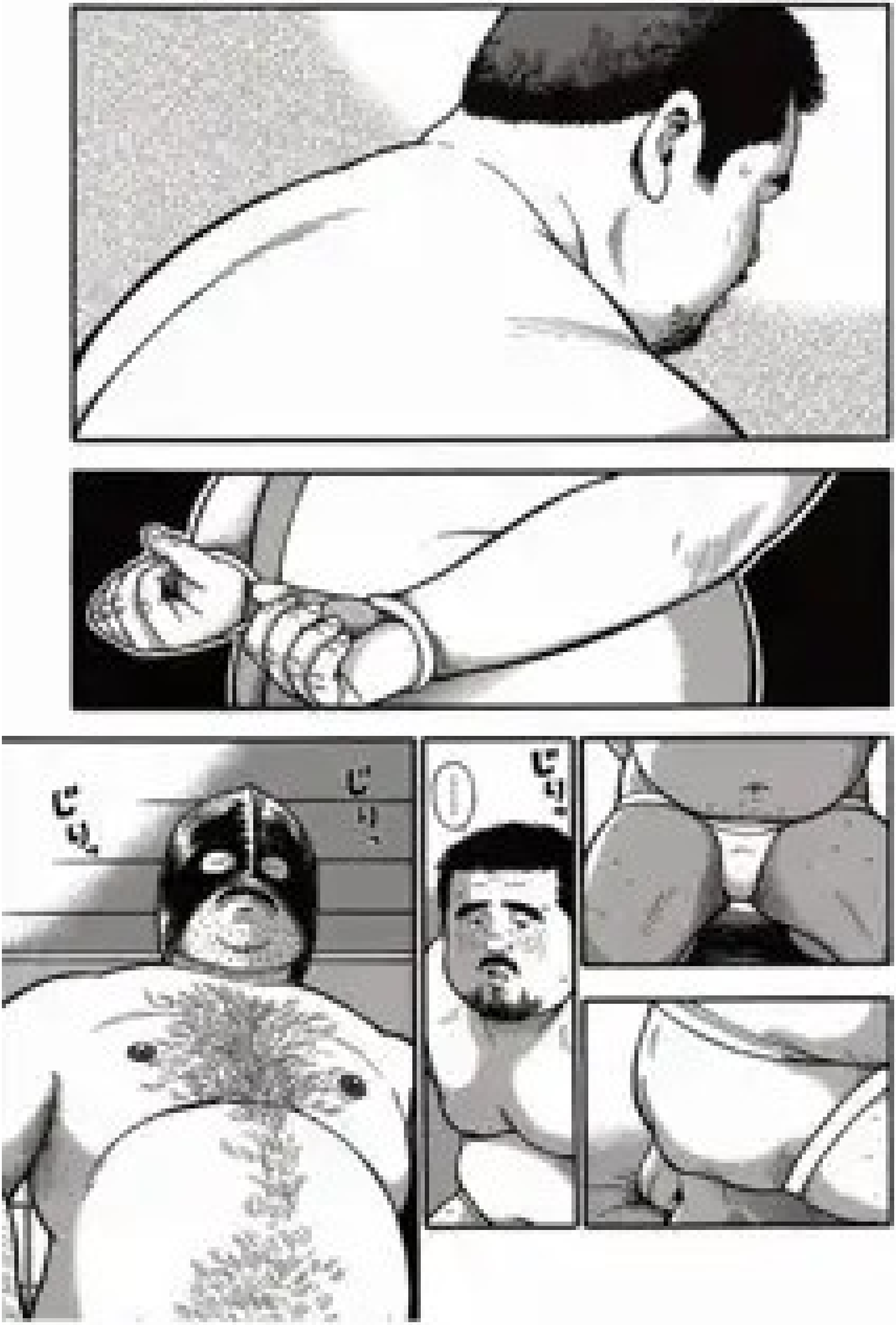
それは――

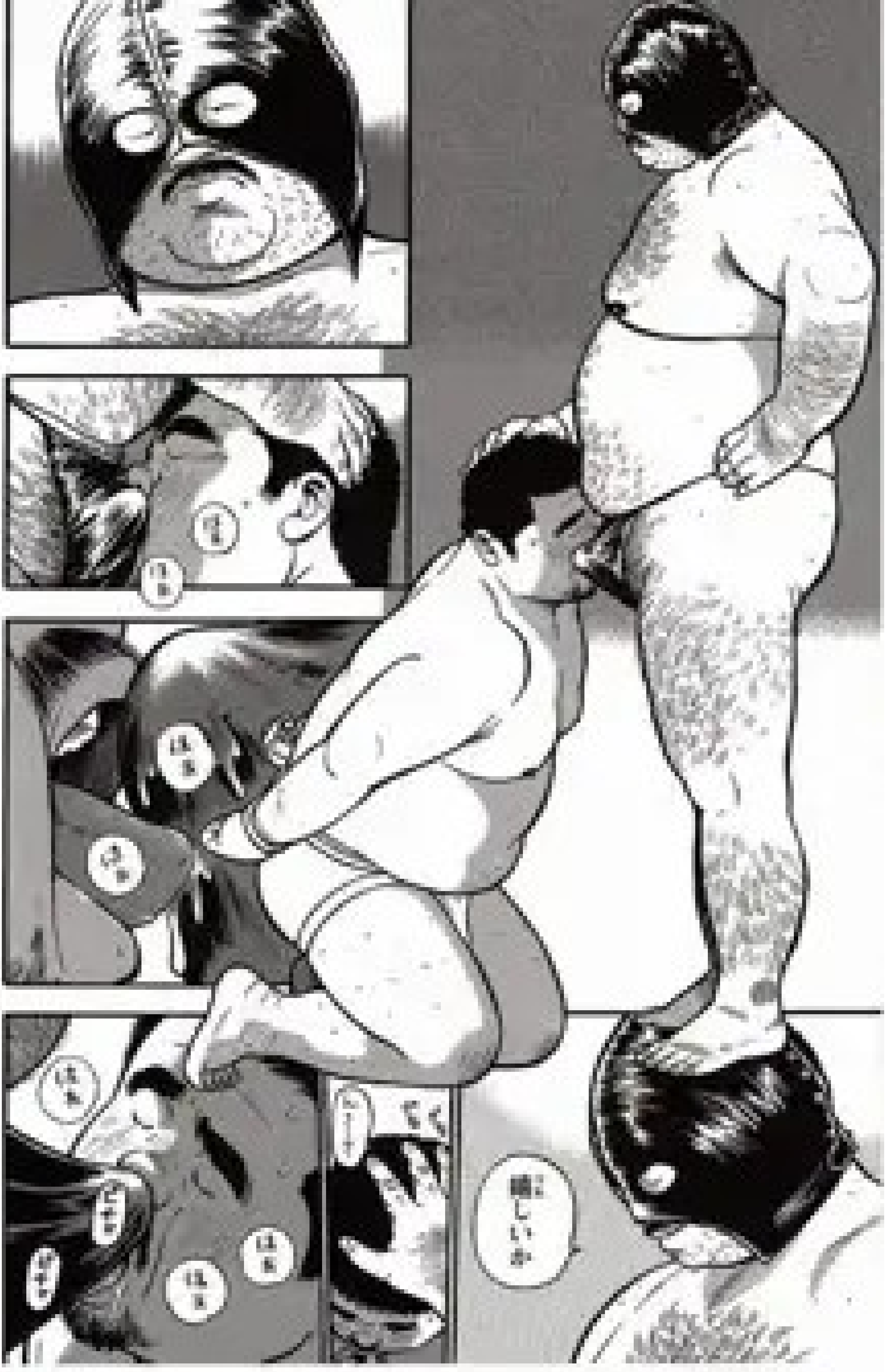
父の白い血が子の血となり

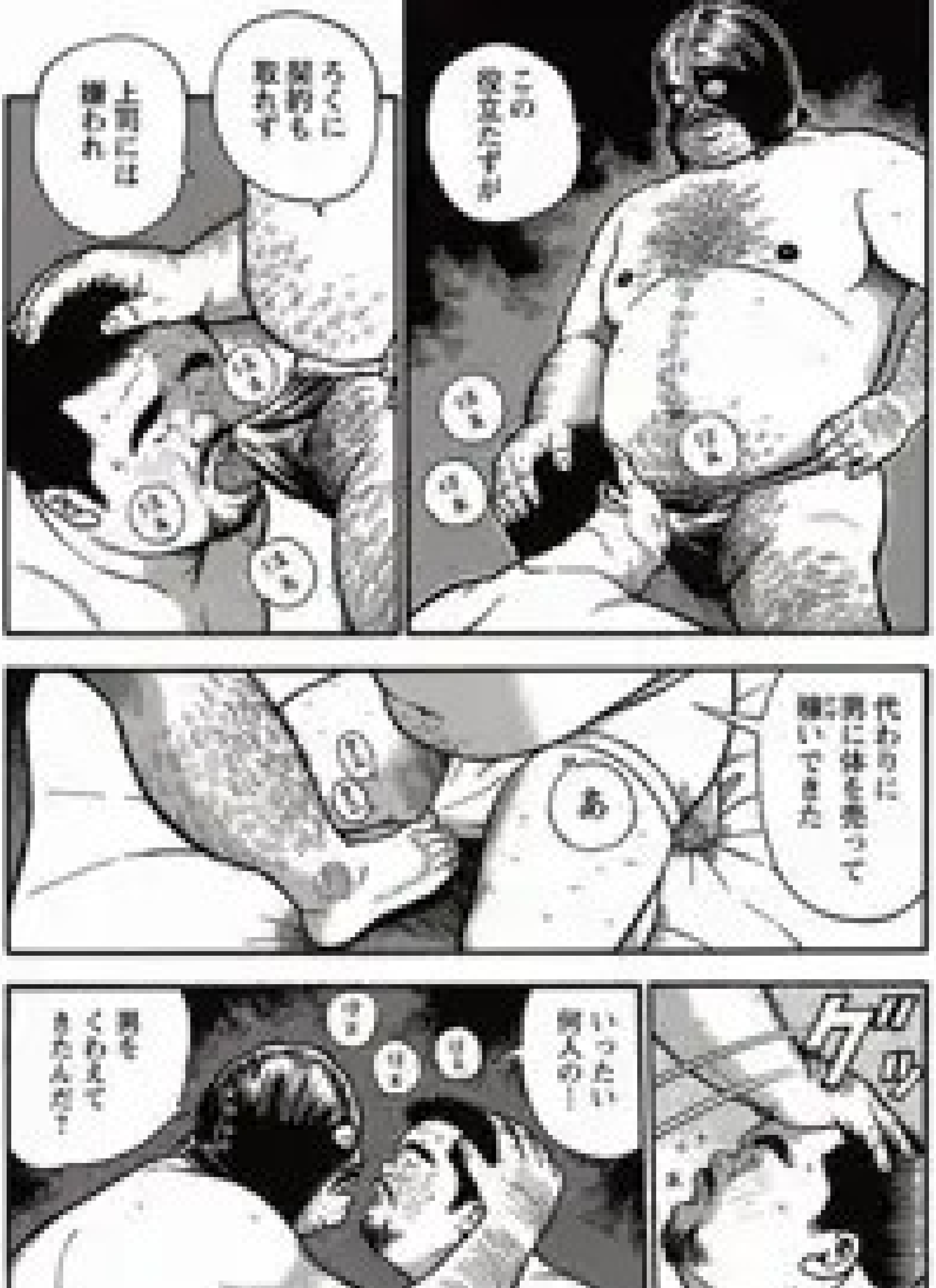
子の白い血が父の血となる……

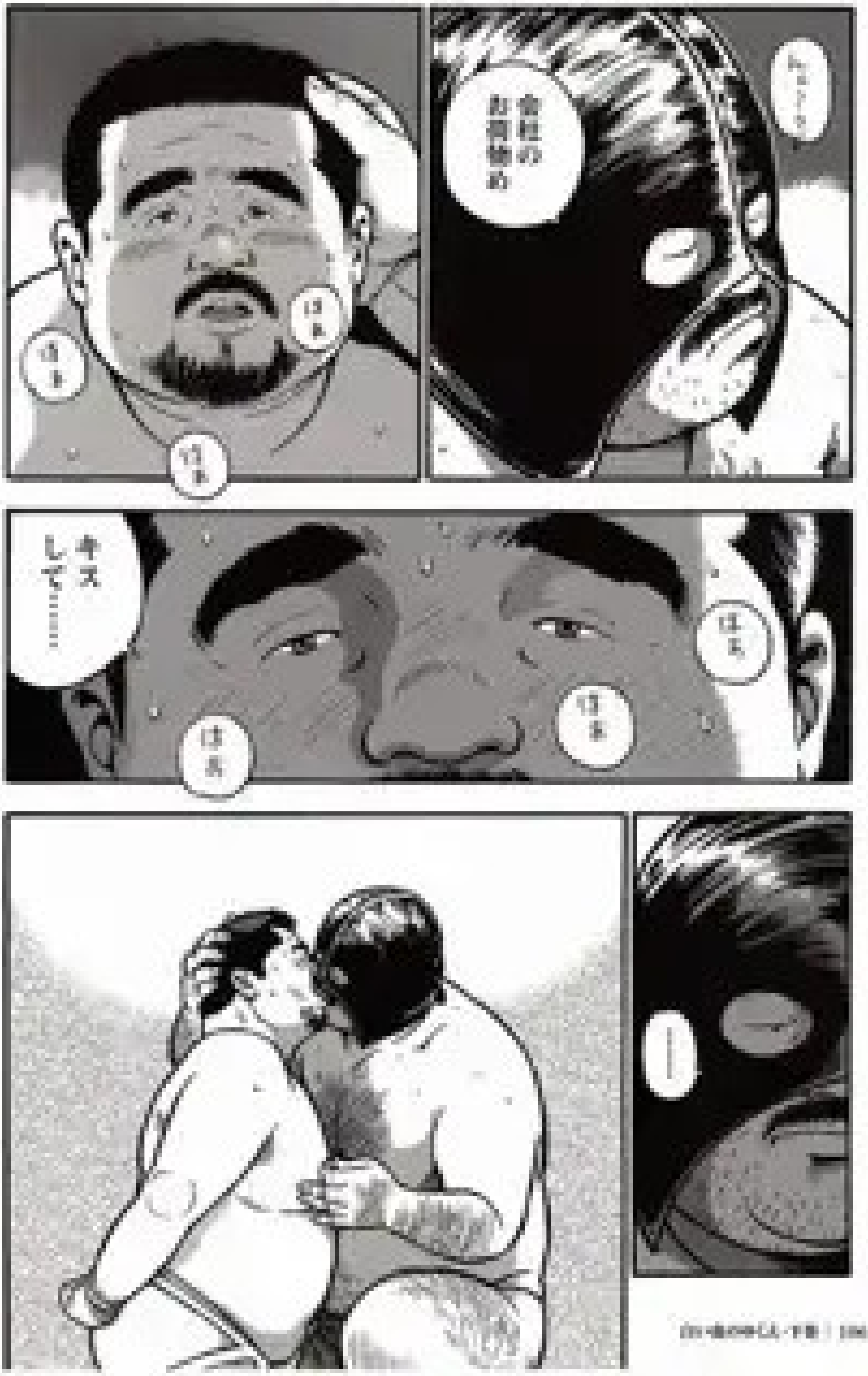
白い血のゆくえ
WHITE CREAM GOES TO WHERE.

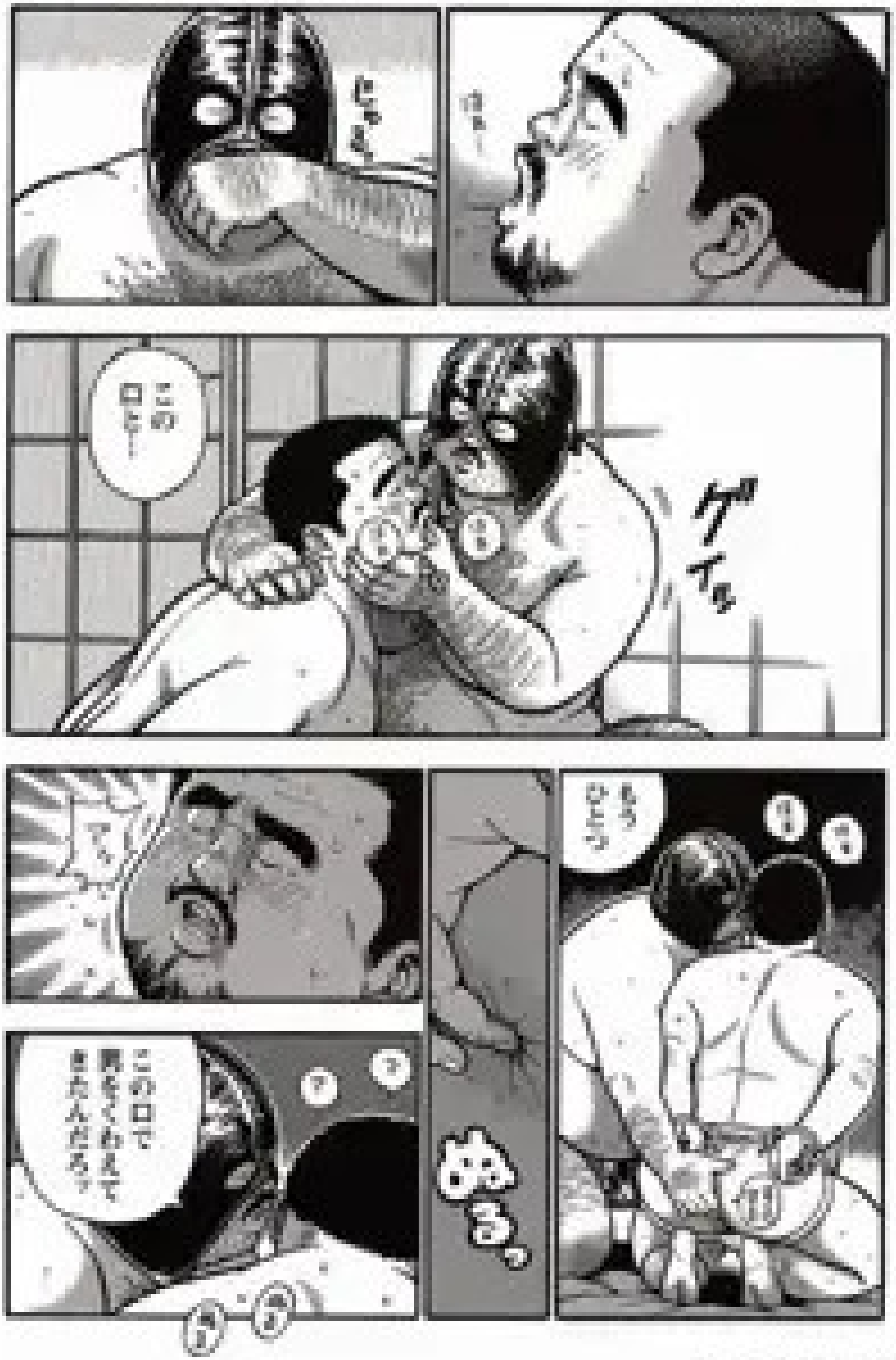
これは　すべて　ノンフィクションである

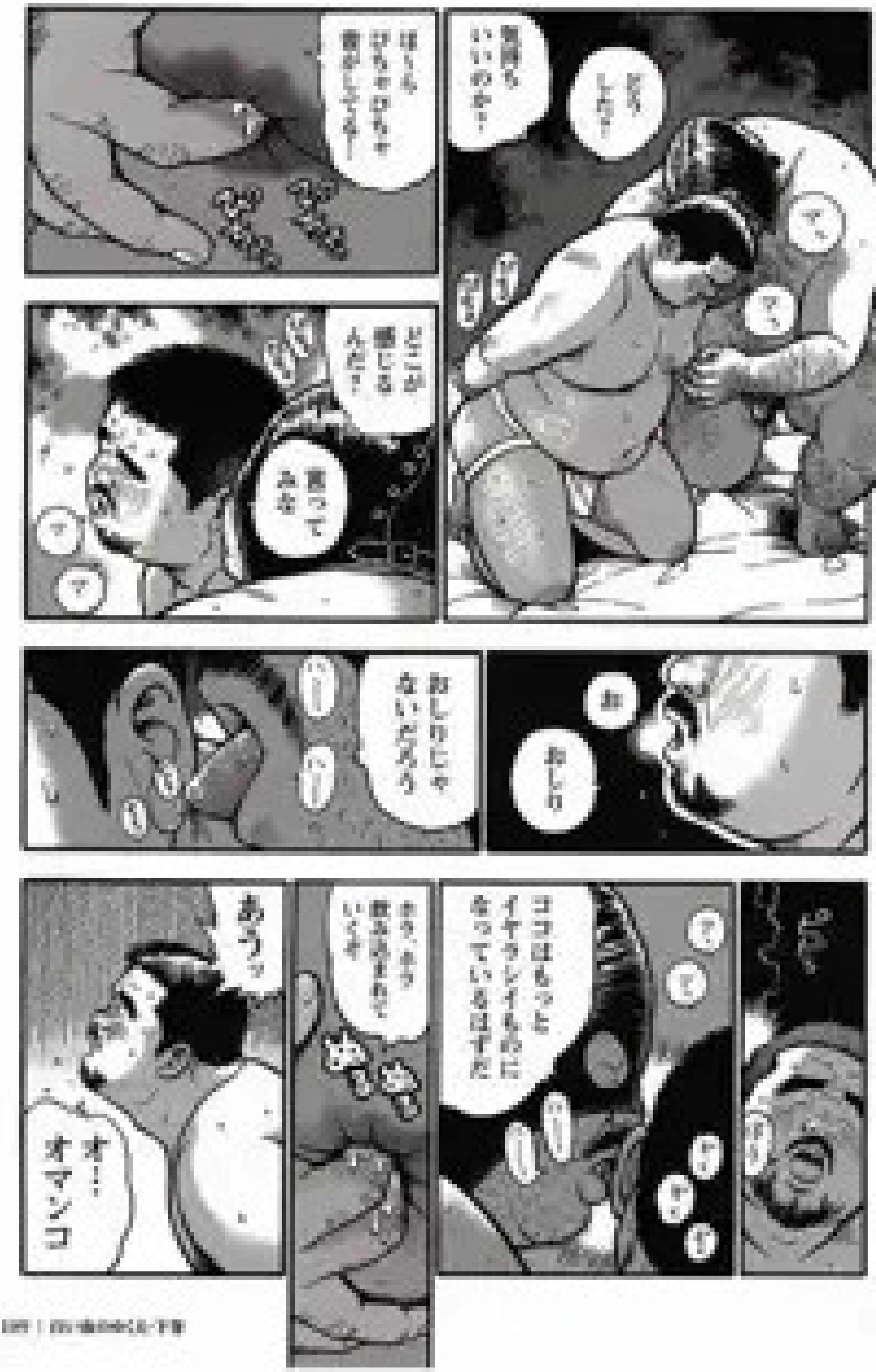

じり
…
じり
じり

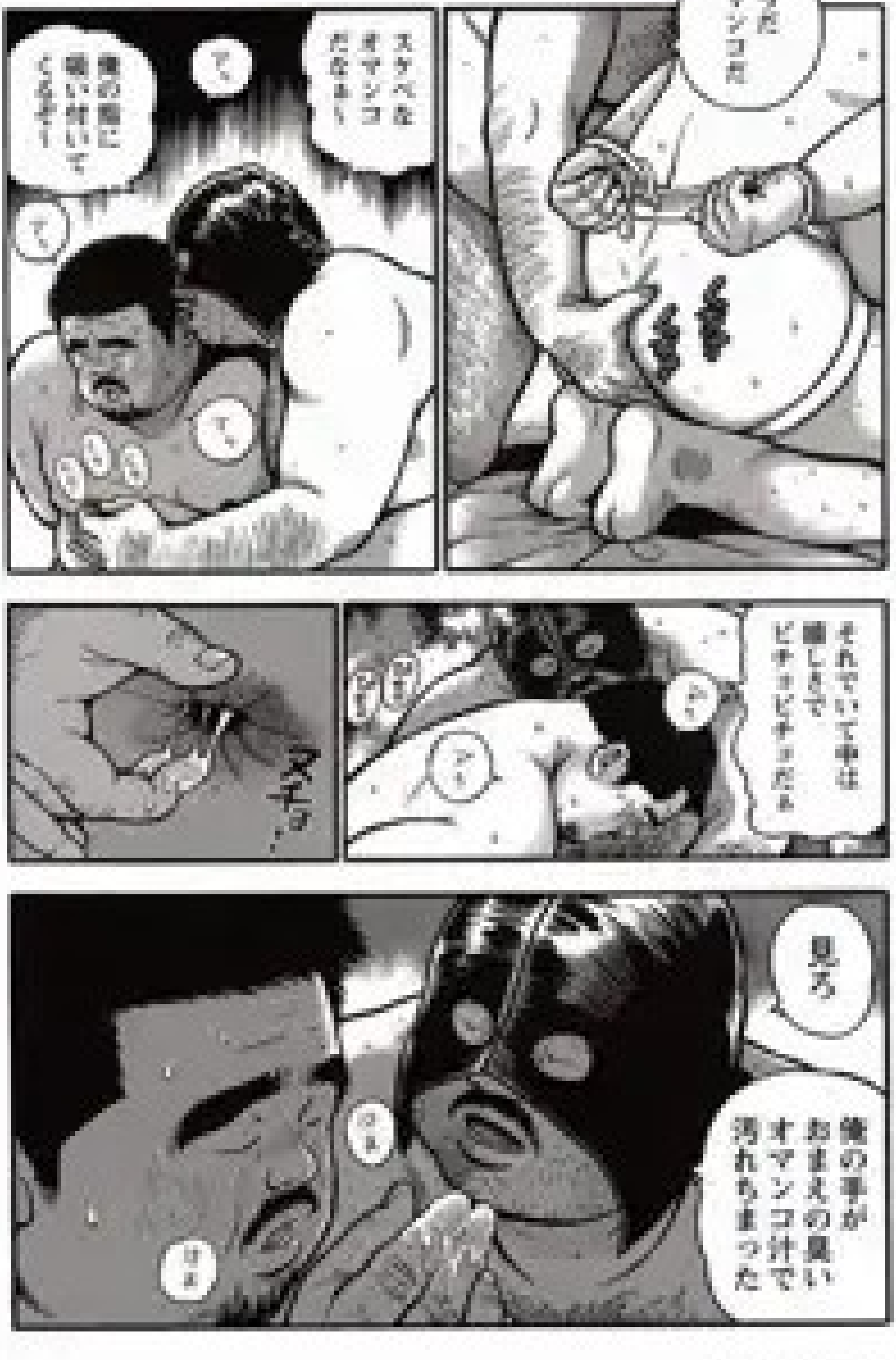

はふ
はふ
はふ
はふ
はふ
はふ
はふ
嬉しいか

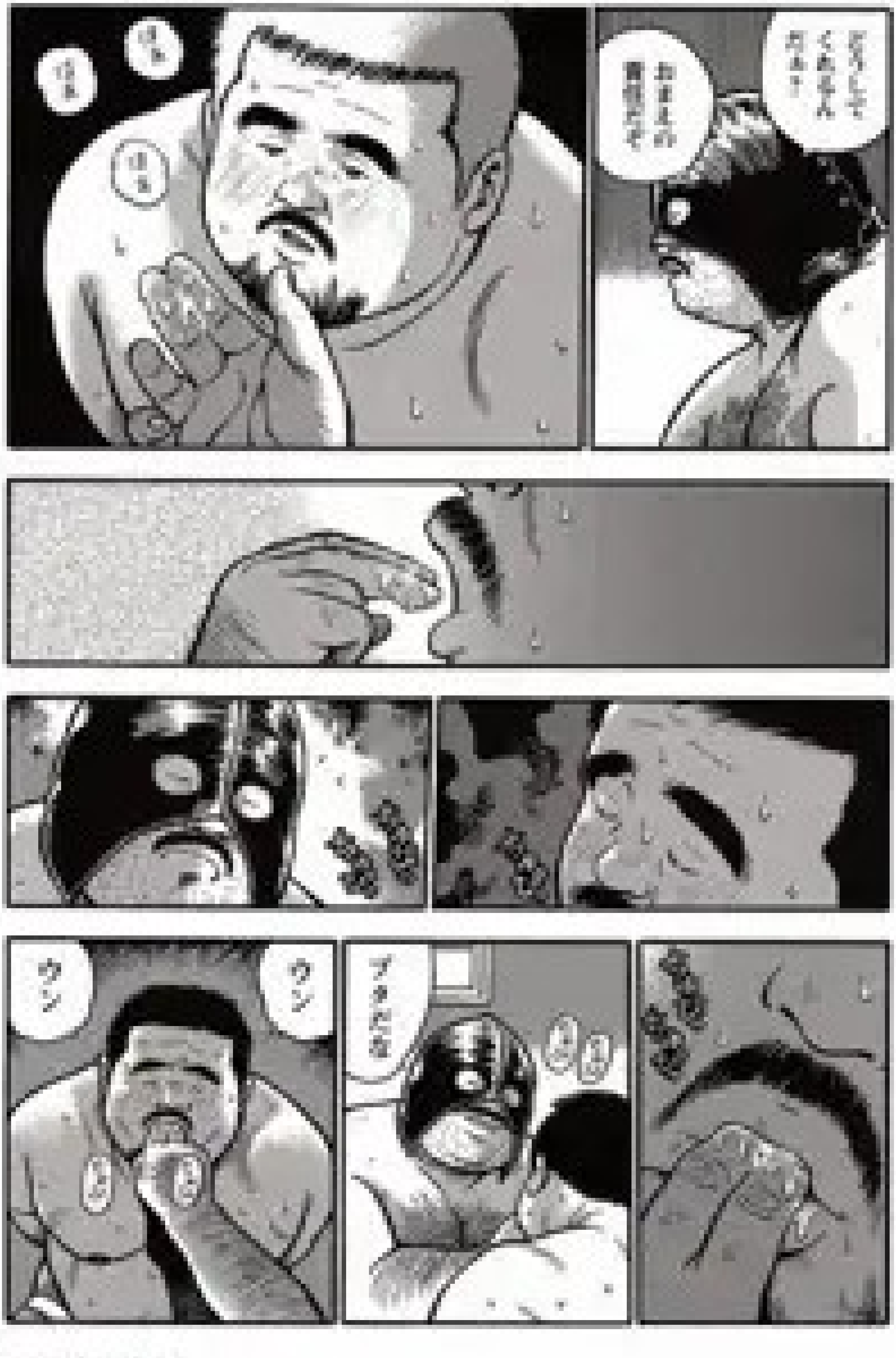

この役立たずが
ろくに契約も取れず
上司には嫌われ
代わりに男に体を売って稼いできた
あ
グリッ
いったい何人の…
男をくわえてきたんだ!?

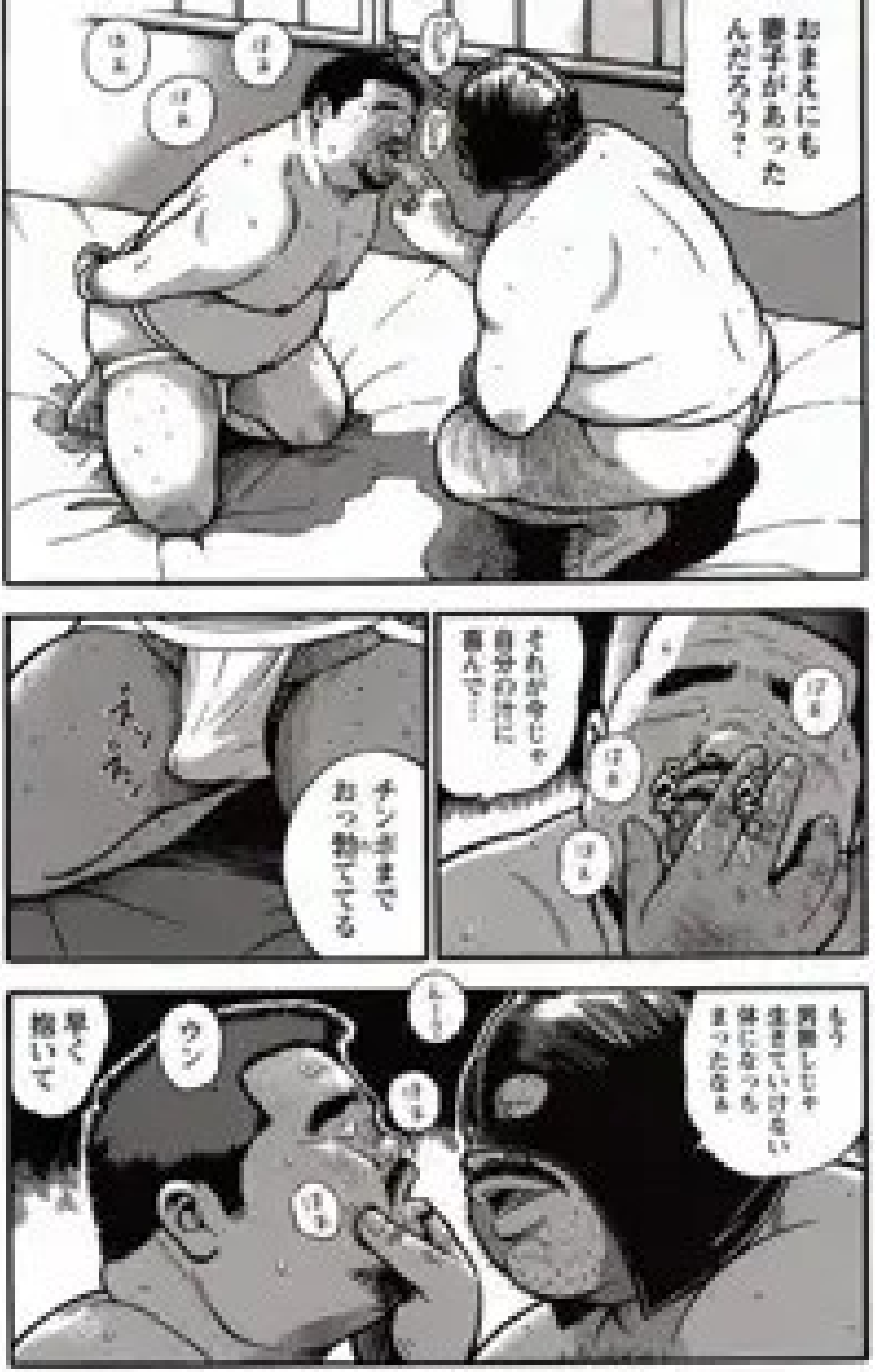

んっ……
会社のお荷物め
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
キスして……
……

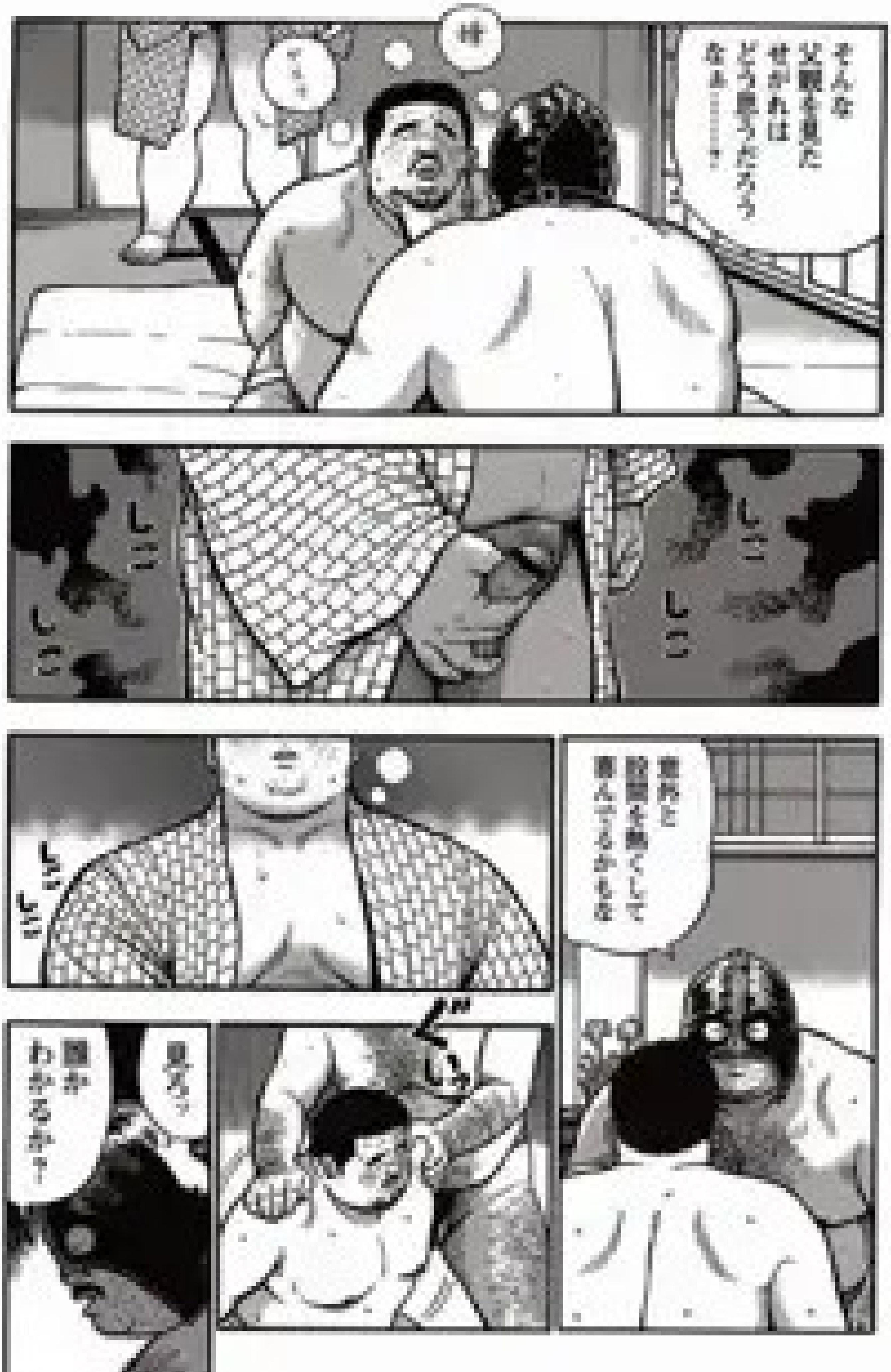

はあ…
じゅる…
この口か…
グイッ
もう ひとつ
ぬるっ
この口で 男をくわえて きたんだろッ


どう したァ
気持ち いいのか？
ア
ア
ほ～ら グッチャグッチャ 音がしてるぞ～
グッチャ
グッチャ
どこが 感じる んだ？
言って みな
ア
ア
あ
おしり
おしりじゃ ないだろう
ハー
ハー
ココはもっと イヤラシイものに なっているはずだ
ア
ア
ホラ、ホラ 教えたろう？ 言ってみな
あうッ
オ…オマンコ

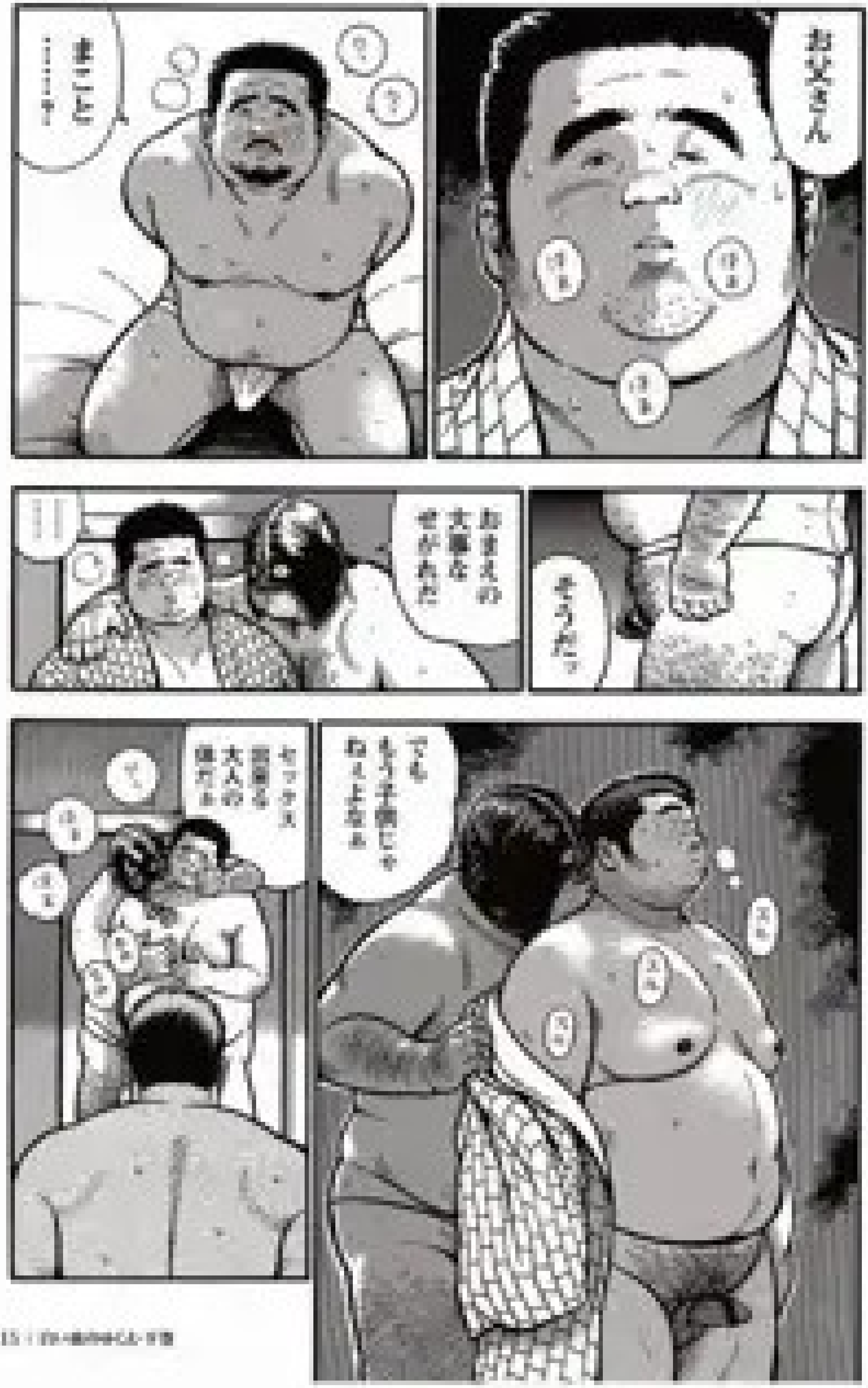

そうだ
オマンコだ
スケベな
オマンコ
だなぁ！
で、
俺の指に
吸い付いて
くるぞ！
で、
それでいて中は
暖かくて
ビチャビチャだぁ
ズルッ
見ろ
俺の手が
おまえの臭い
オマンコ汁で
汚れちまった
はぁ
はぁ

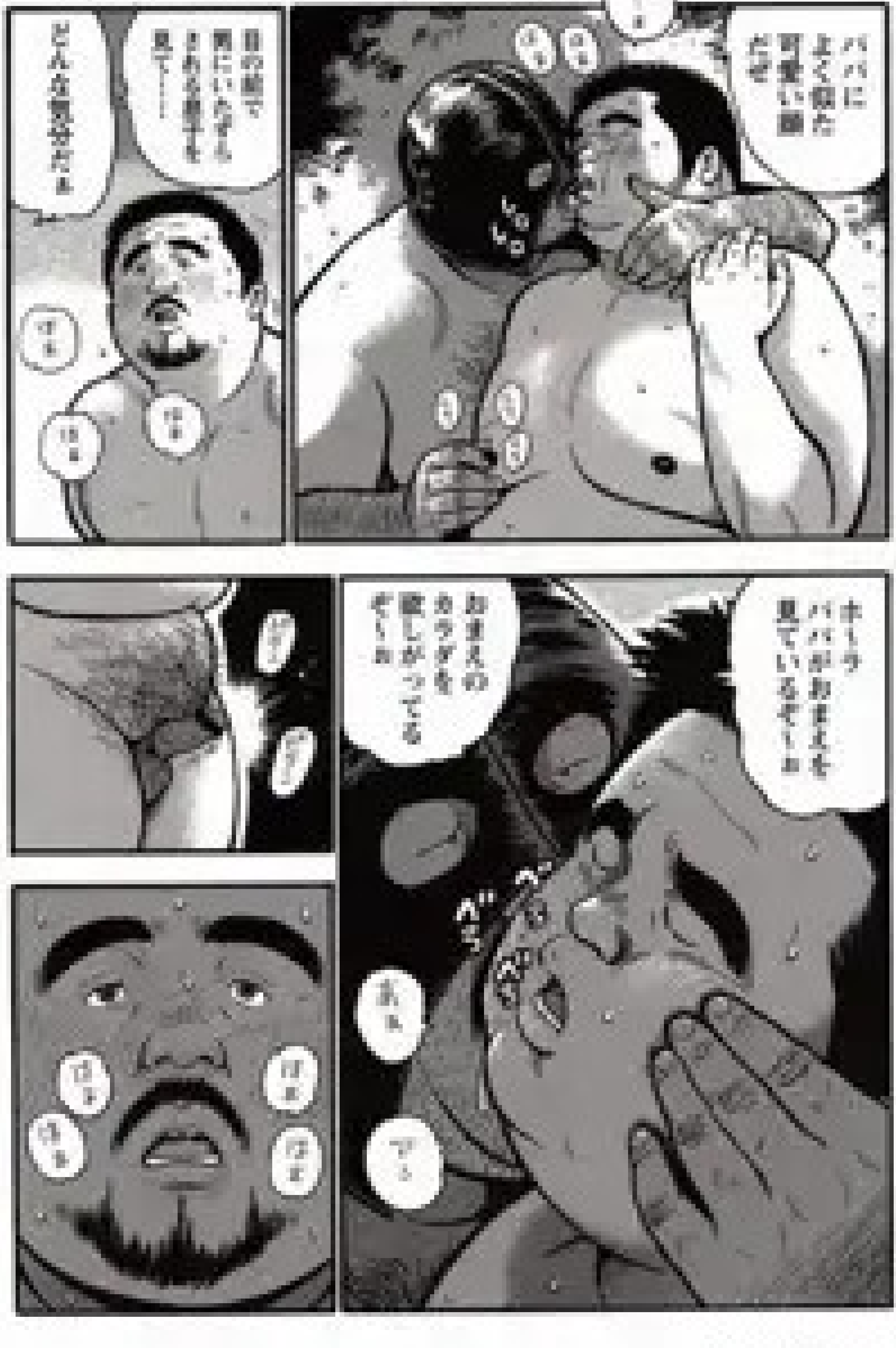

はぁ
はぁ
ウン
ウン
ブタだな

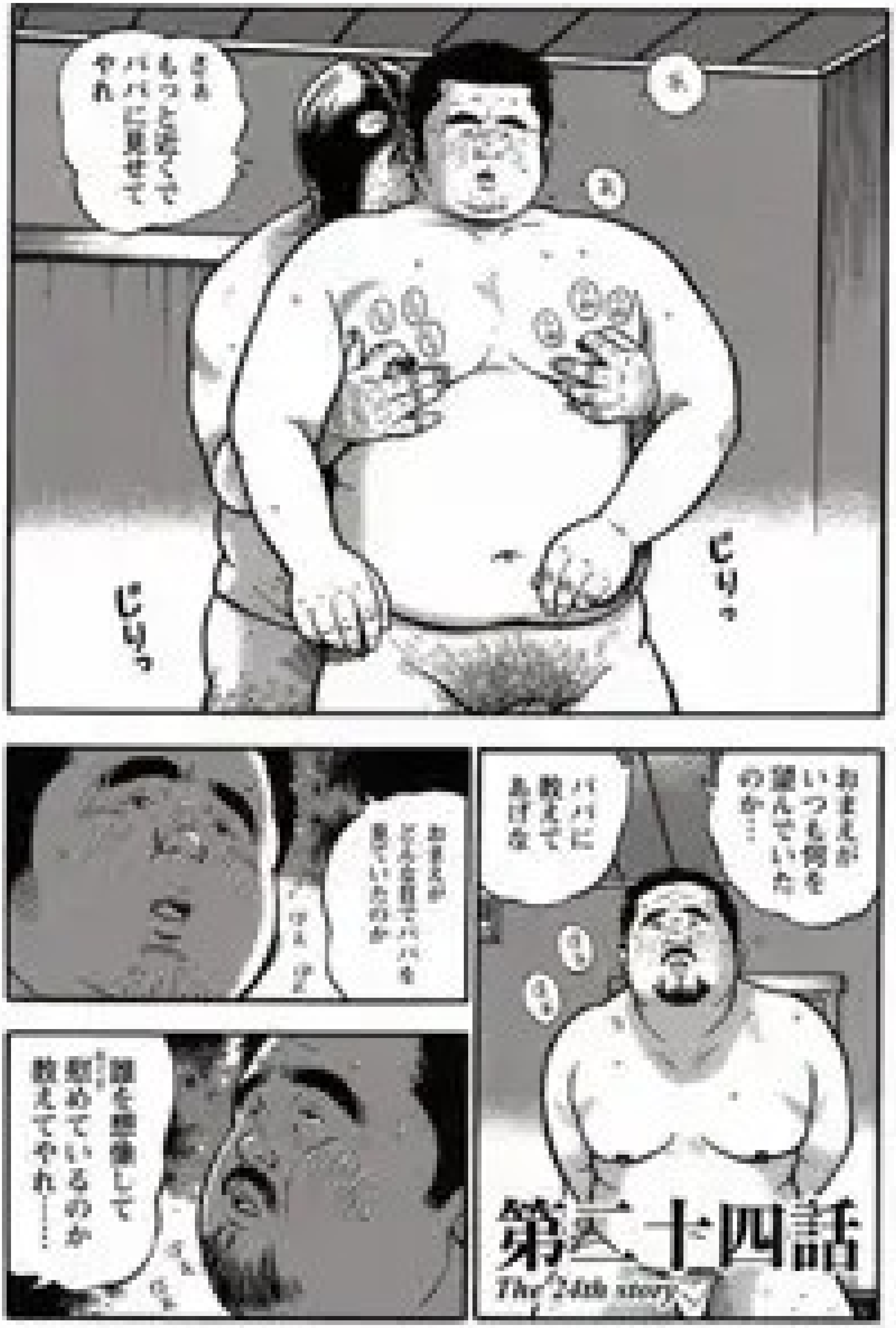

おまえにも妻子があったんだろう？
ハァ
ハァ
ハァ
それが今じゃ自分の体に溺れて…
ハァ
ハァ
ハァ
チンポまでおっ勃ててる
もう男無しじゃ生きていけない体になっちまったなぁ
んーっ
ハァ
ウン
ハァ
早く抱いて

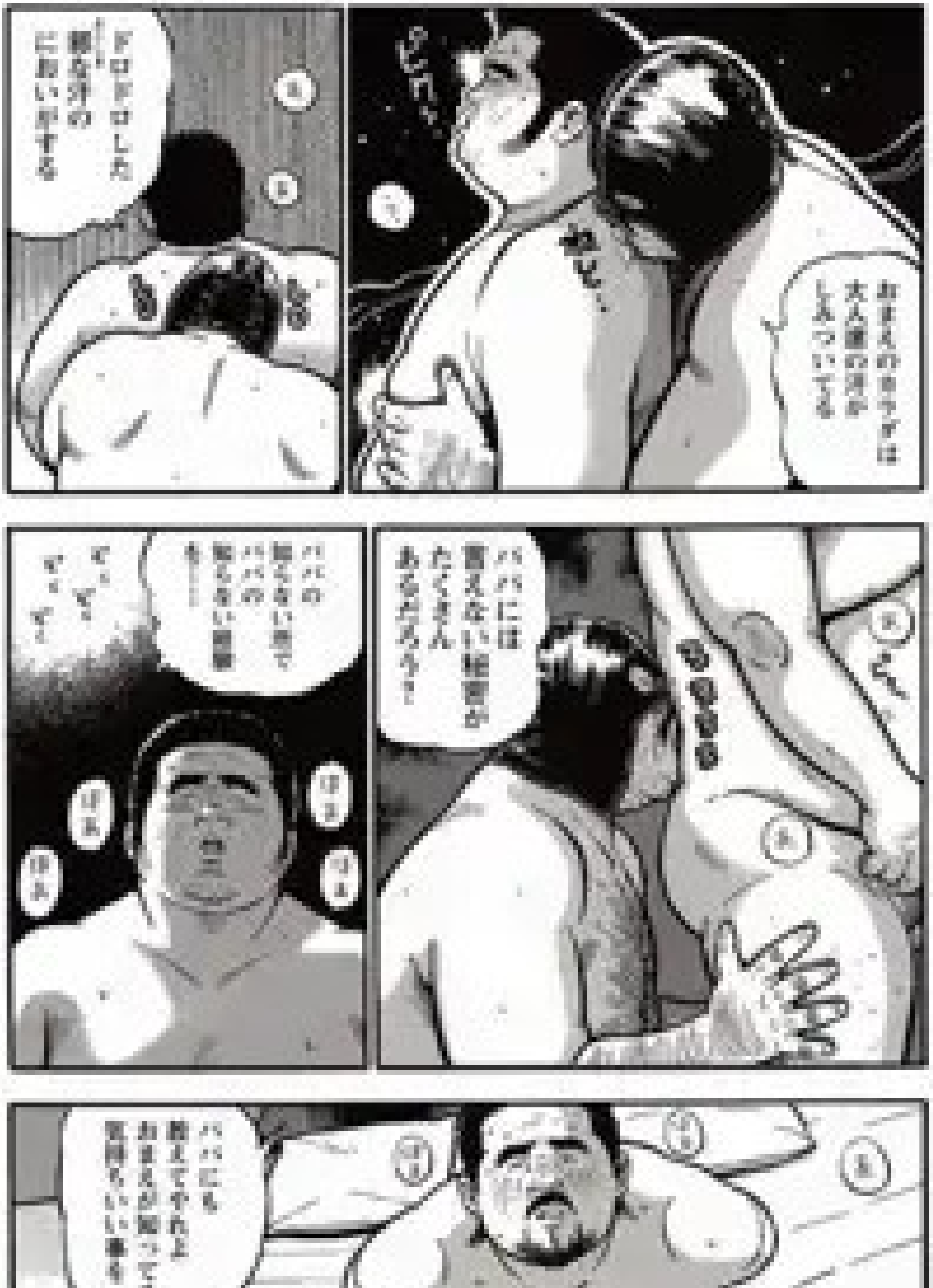

そんな父親を見たせがれはどう思うだろうなぁ……？
幹
しこ しこ
しこ しこ
案外と勃起を熱くして悦んでるかもな
しこ しこ
ぐ
見えっ
誰かわかるか？

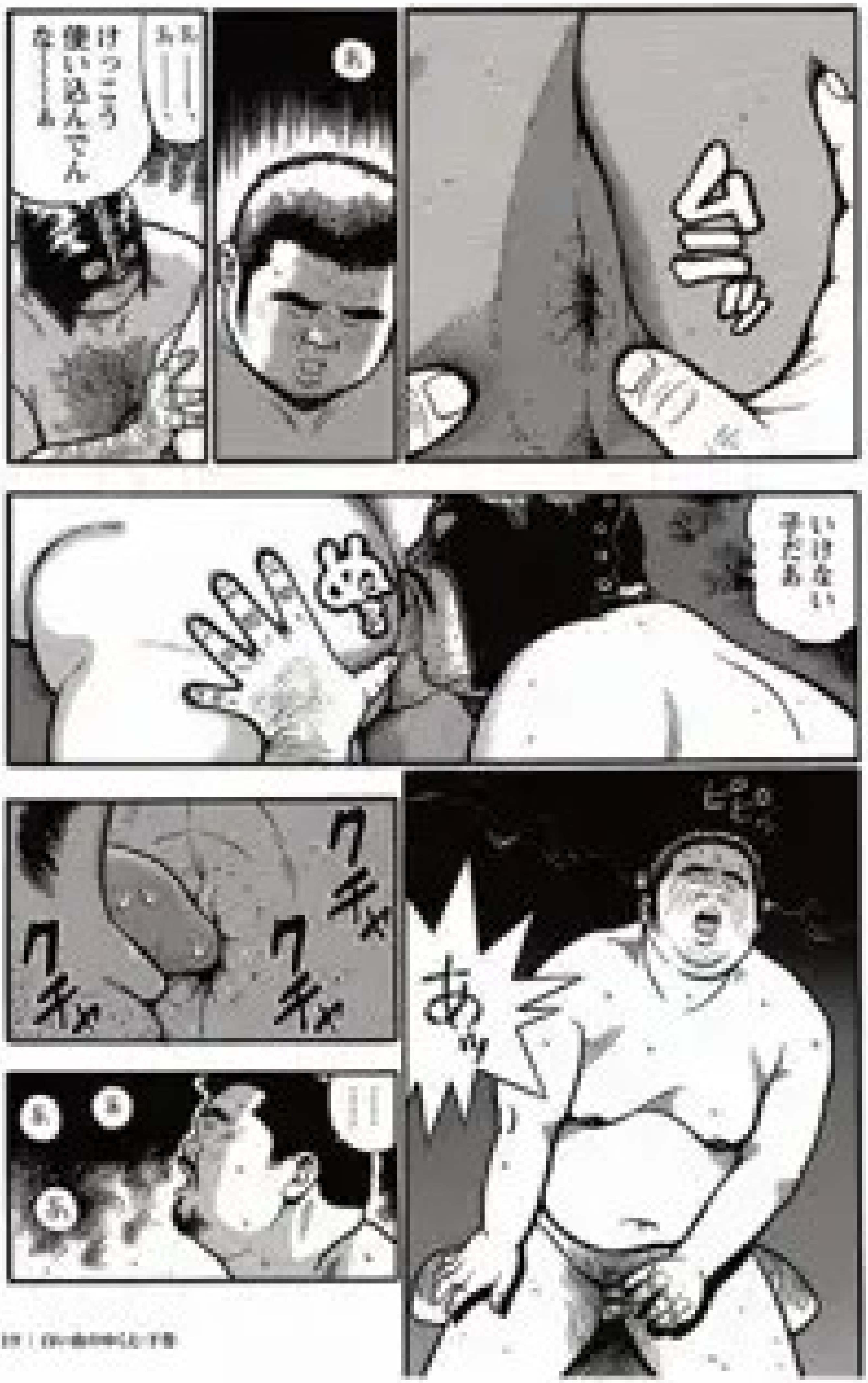
……
しこ
しこ
しこ

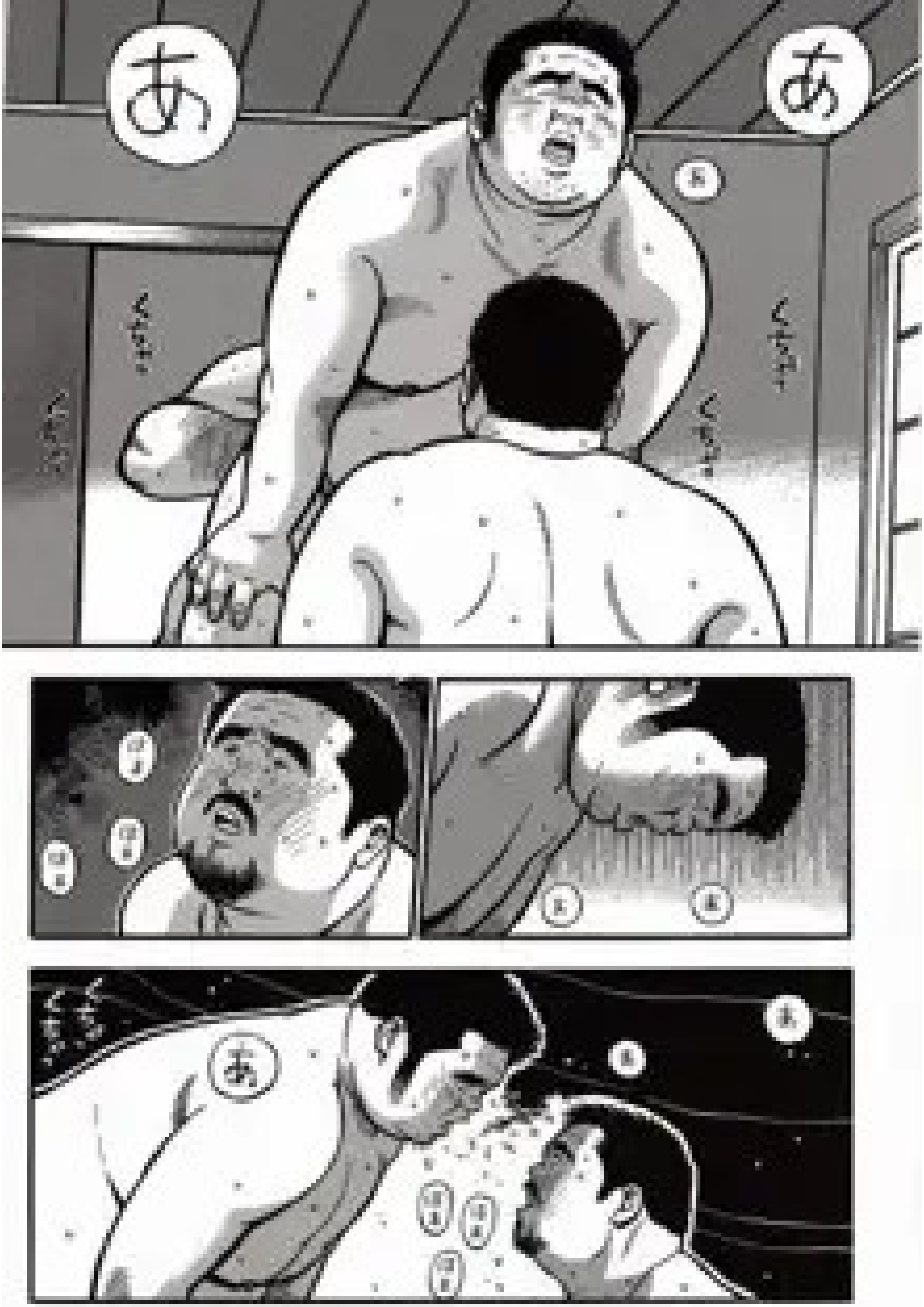

お父さん
まこと……
おまえの
そうだ…

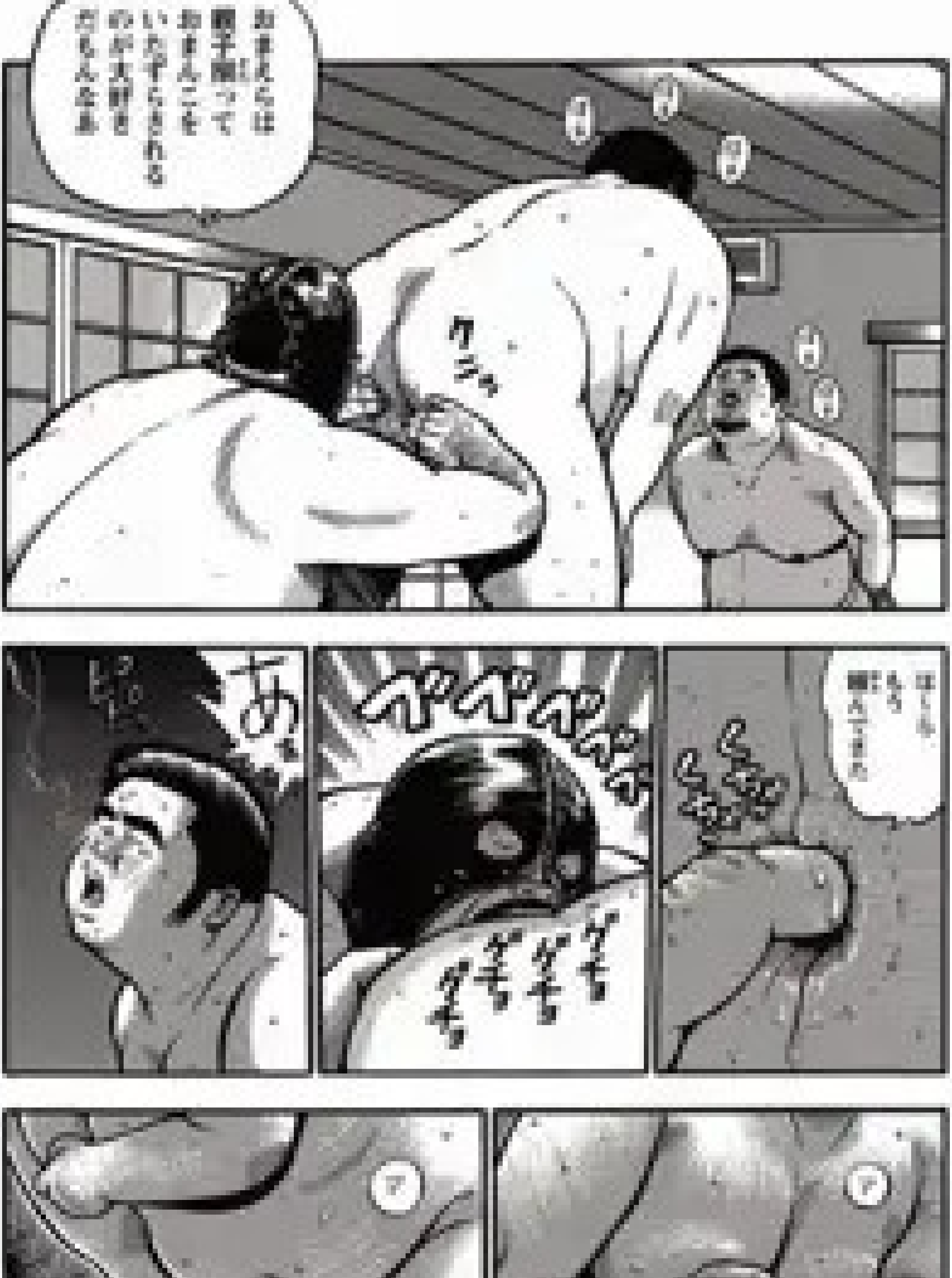

パパに よく似た 可愛い顔 だぜ
目の前で 男にいかされ よがる息子を 見て……
どんな気分だぁ
ホーラ パパがおまえを 見ているぞ～ぉ
おまえの カラダを 欲しがってる ぞ～ぉ

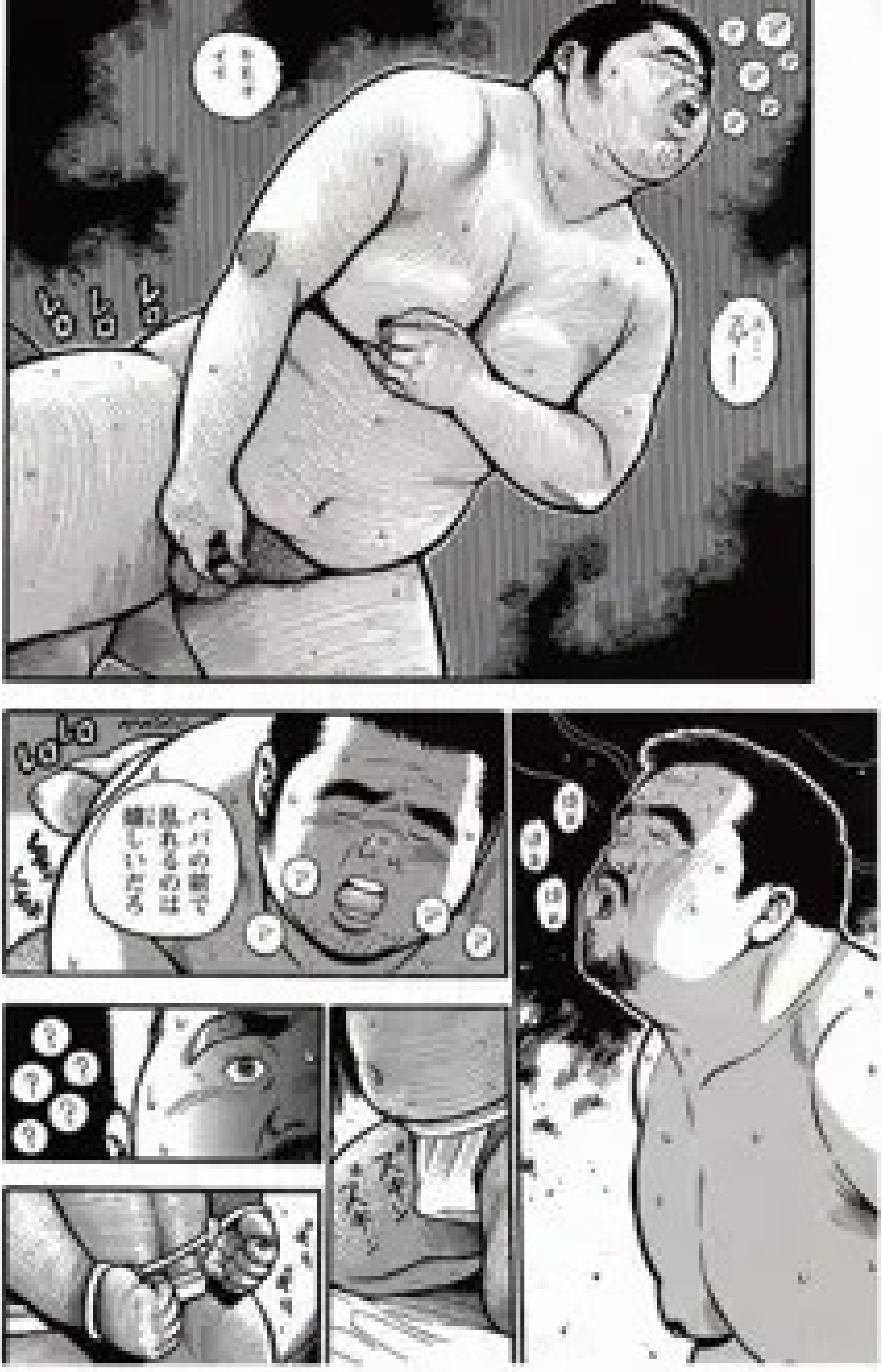

さあ
もっと近くで
パパに見せて
やれ
じりっ
じりっ
おまえが
いつも何を
望んでいたのか…
パパに
教えて
あげな
第二十四話
The 24th story
おまえが
どんな顔でパパを
想っていたのか
顔を想像して
慰めているのか
教えてやれ……

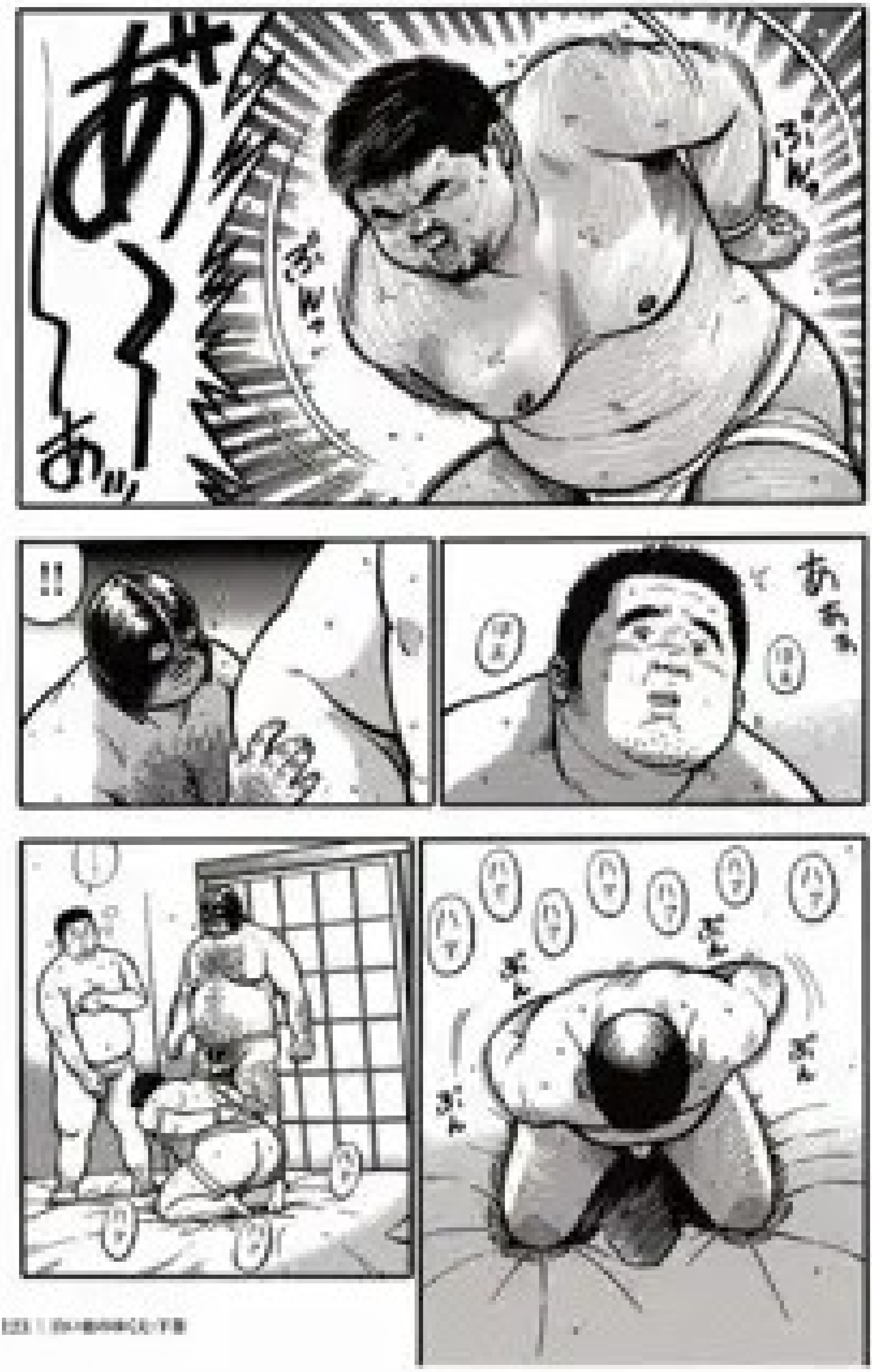

おまえのカラダは 大人達の汗が しみついてる
ビクッ
ふ
ふ
ドロドロした 親父汗の においがする
パパには 言えない秘密が たくさん あるだろう？
パパの 知らない所で パパの 知らない親父 と…
ぞく ぞく ぞく
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
パパにも 教えてやれよ おまえが知ってる 気持ちいい事を
はぁ
ふ
ふ

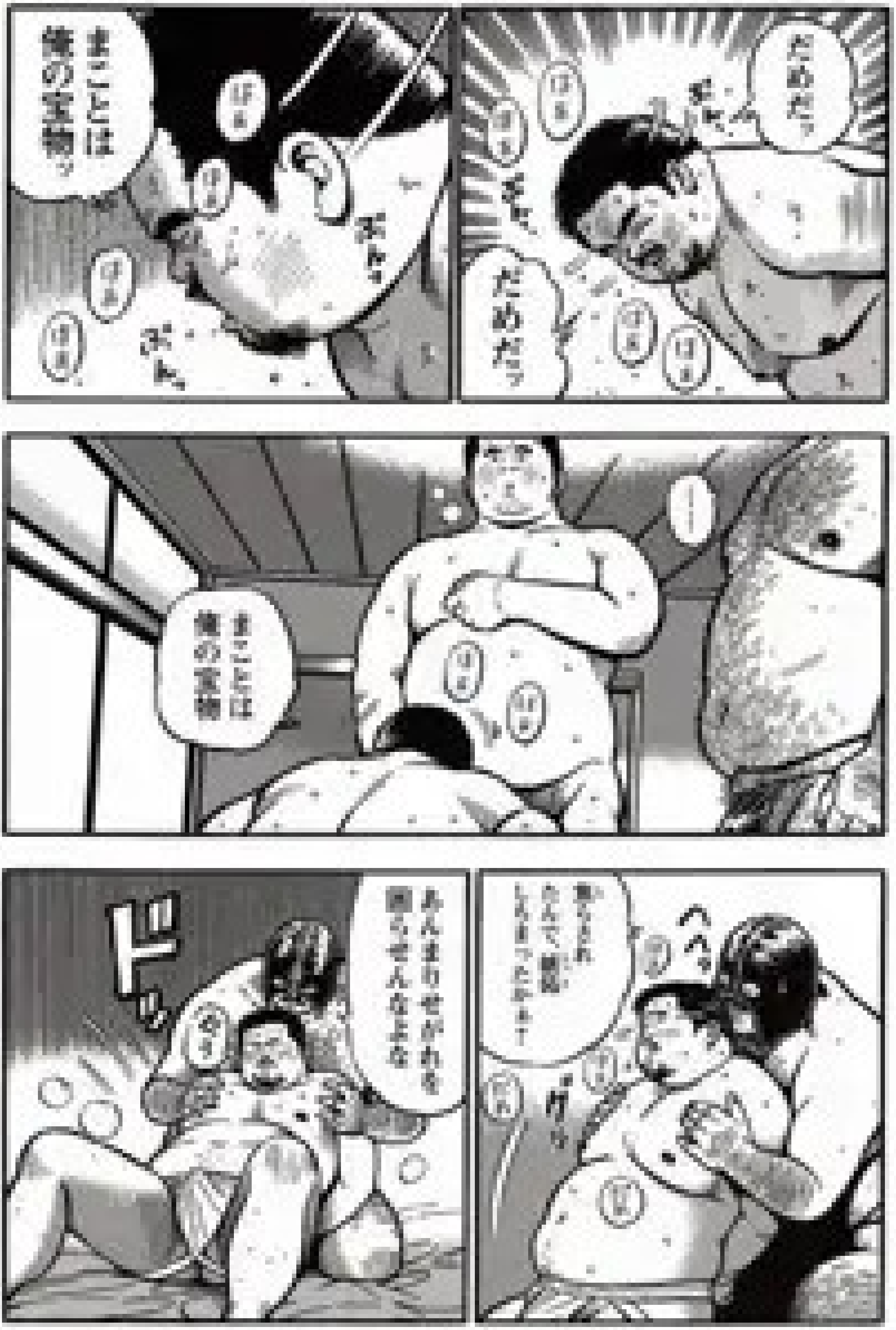

ムニッ
あ
あ～、あ～～～！
けっこう使い込んでんな～～～ん
いけない子だぁ
ビクッビクッ
あッ
クチュ
クチュ
クチュ
！！！
あ
あ
あ


あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
あ

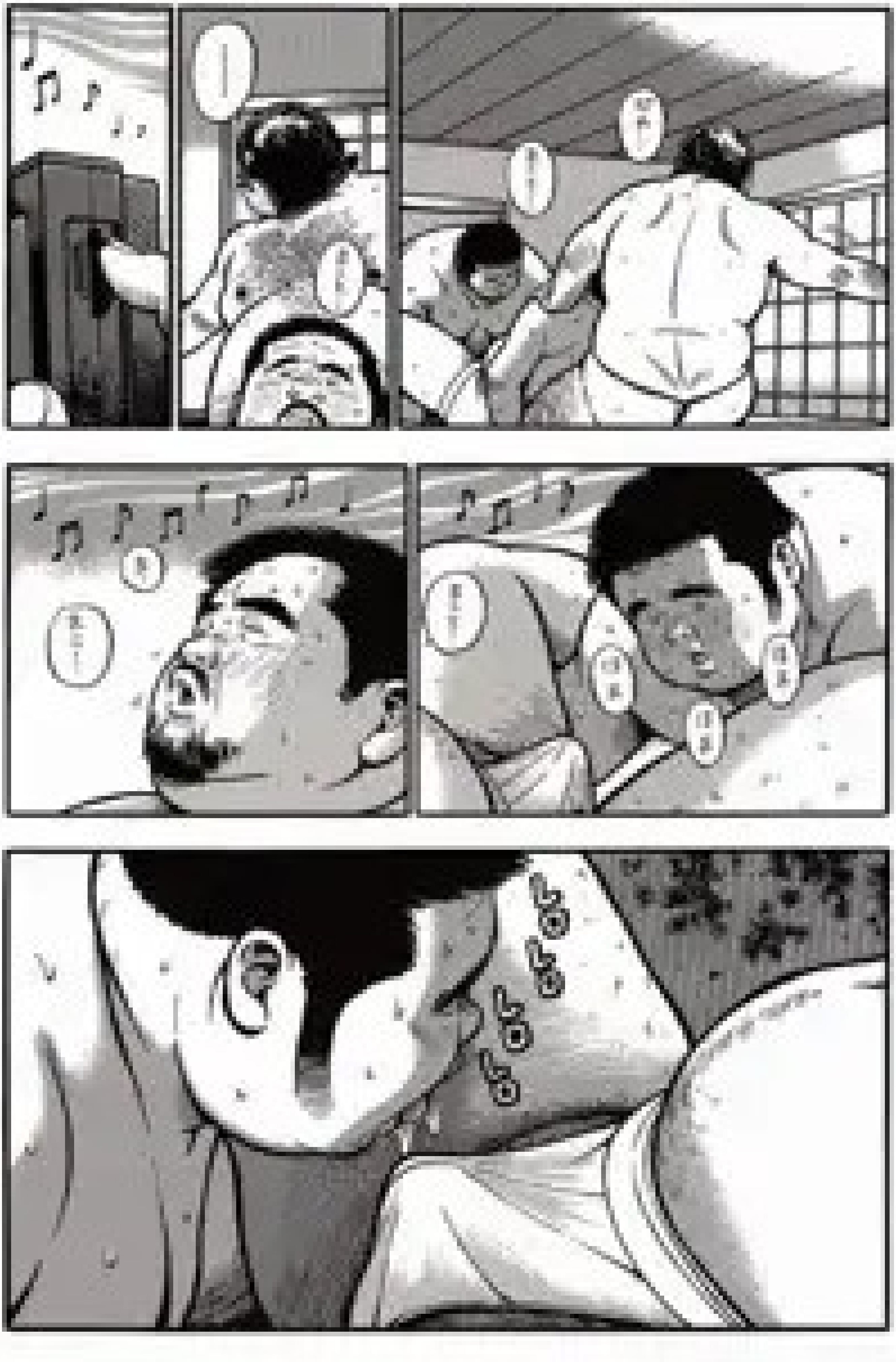

おまえらは
親子揃って
おまんこを
いたずらされる
のが大好き
だもんなぁ
グシッ
ほーら
もう
勃ってきた
パンパンパンパン
ゾクゾクゾクゾク
あ!
ビクッ

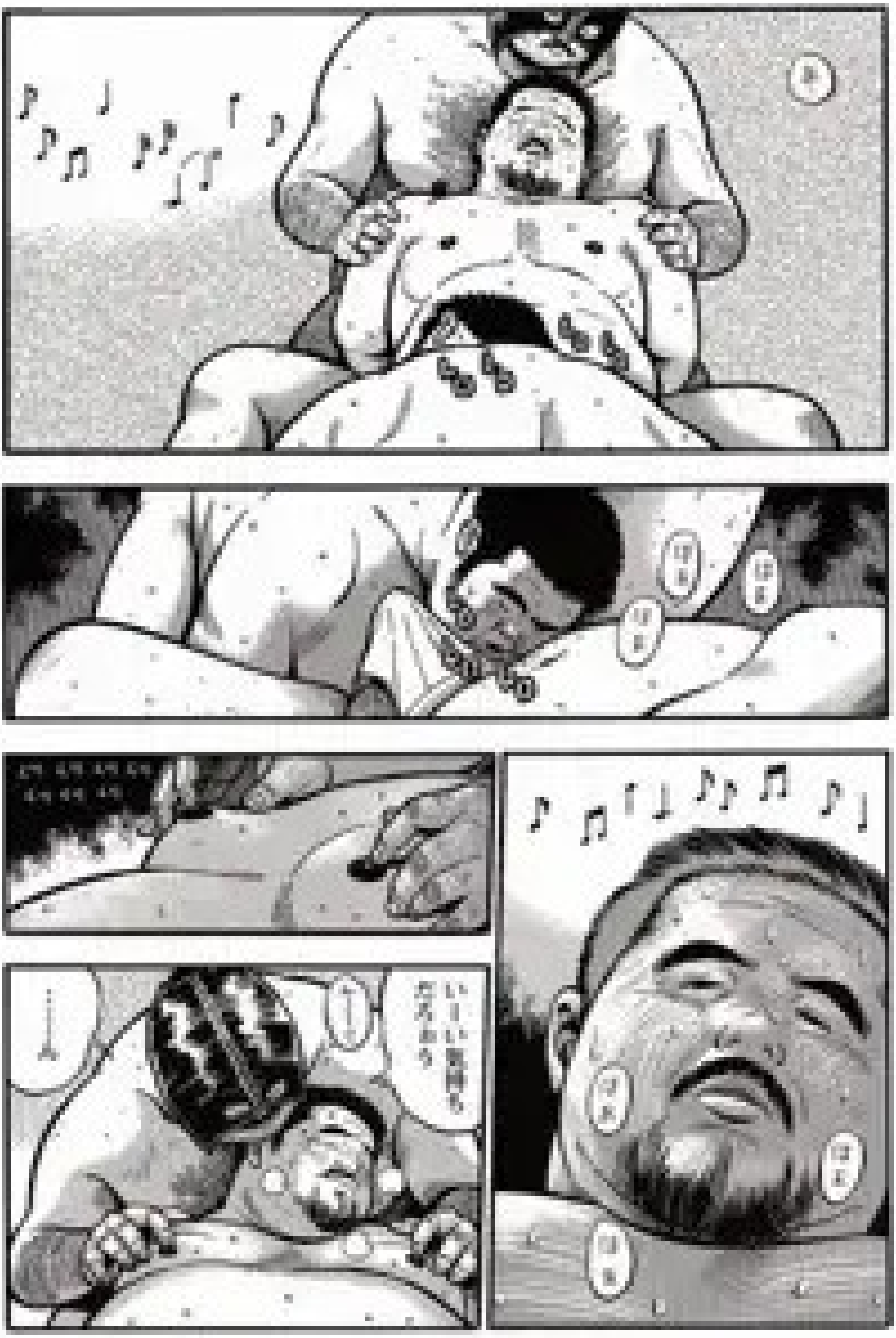
ぷー
パパの前で
乱れるのは
嬉しいかぁ
?
?
?
?
?


!!
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

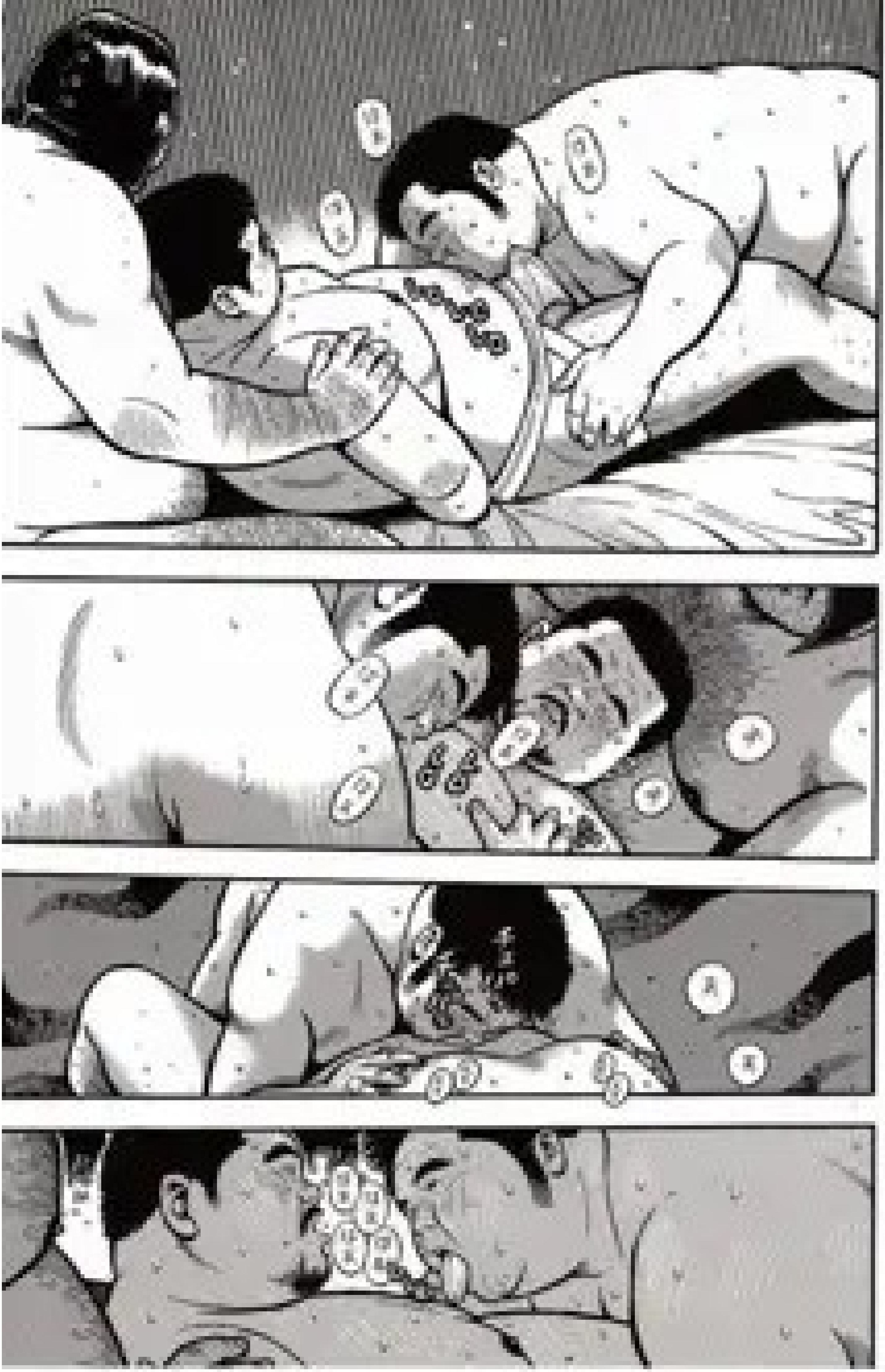

だめだッ
はぁ
はぁ
だめだッ
はぁ
はぁ
まことは
俺の宝物ッ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
！
まことは
俺の宝物
はぁ
はぁ
へへッ
はぁ
はぁ
あんまりせがれを
困らせんなよな
ドッ

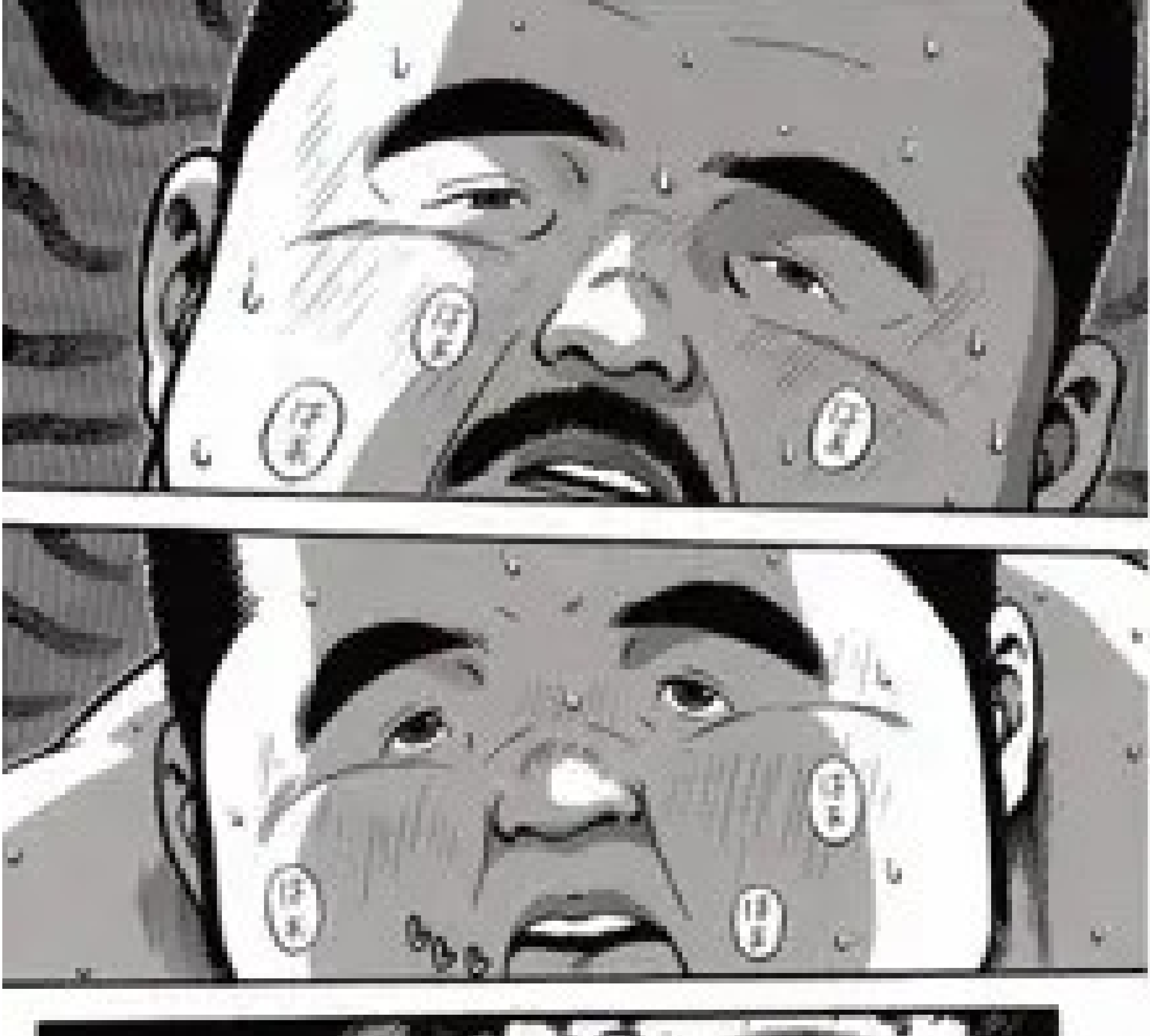
さあ
熟れたパパを
慰めてやんなっ
……

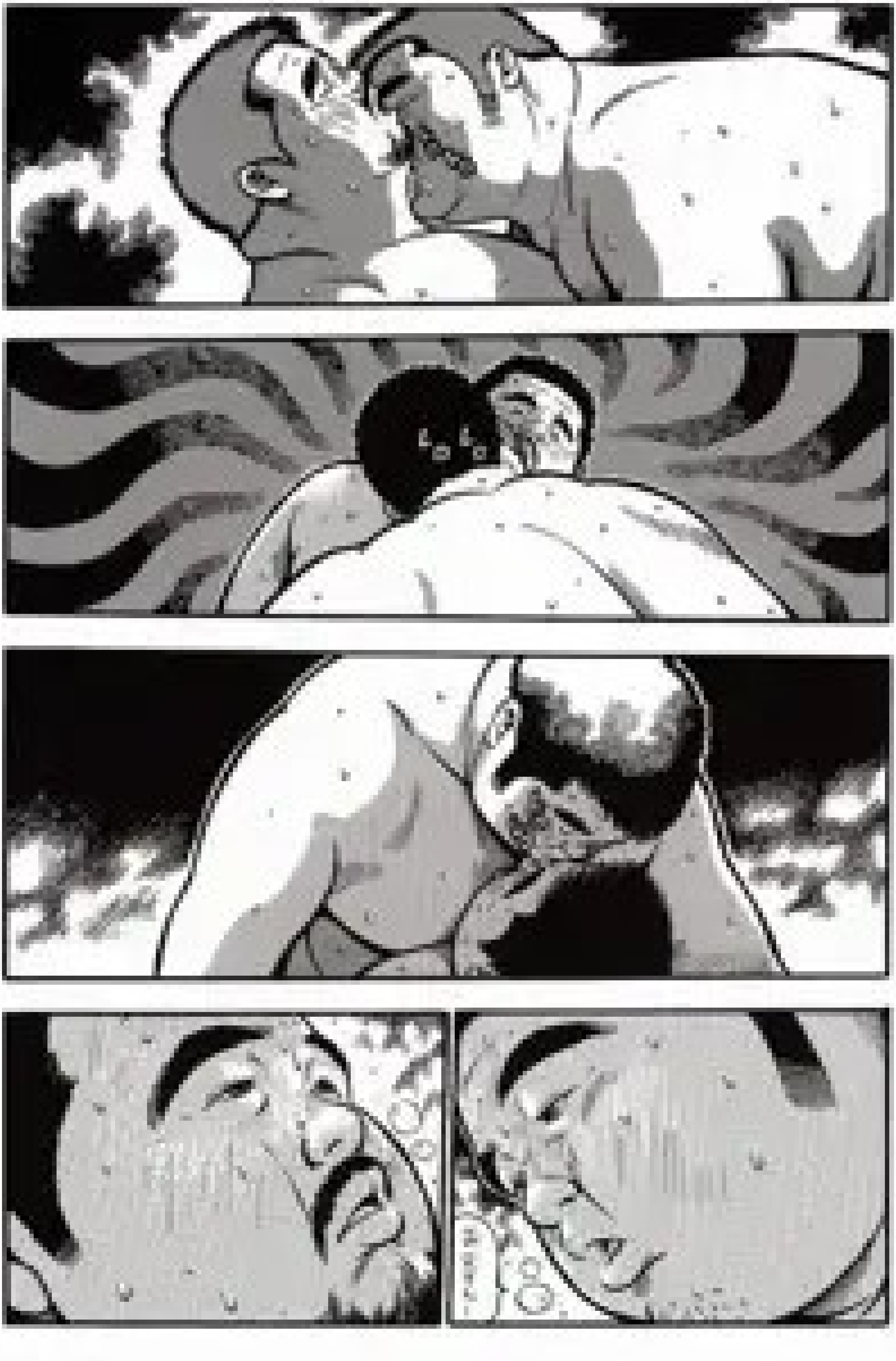



いい眺めだろぉ
!!
……ん

はぁ
はぁ
はぁ
はぐ
はぐ
あ…
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん
くちゅ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ん
ん
ん
ん
はぁ
はぁ

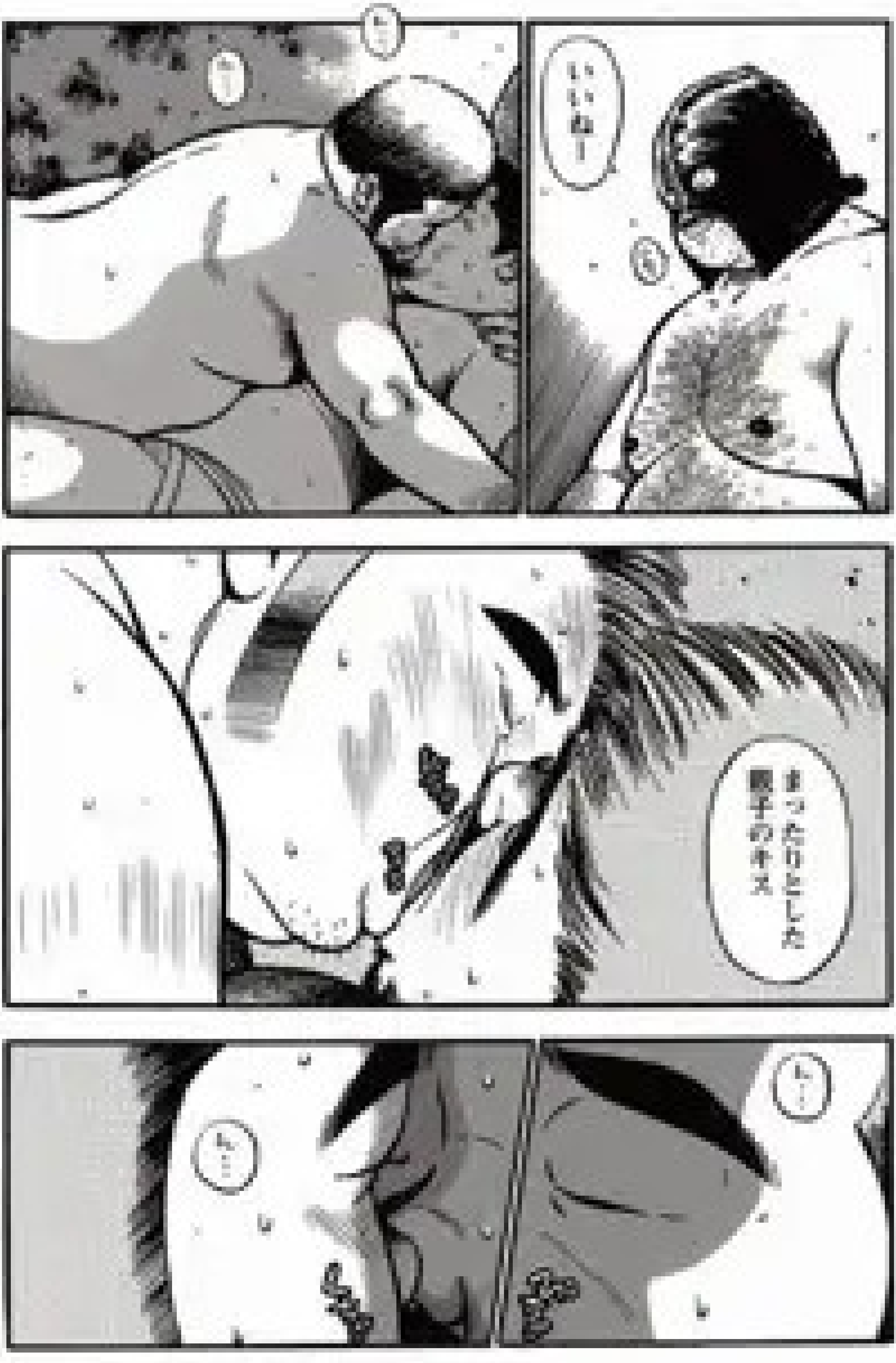


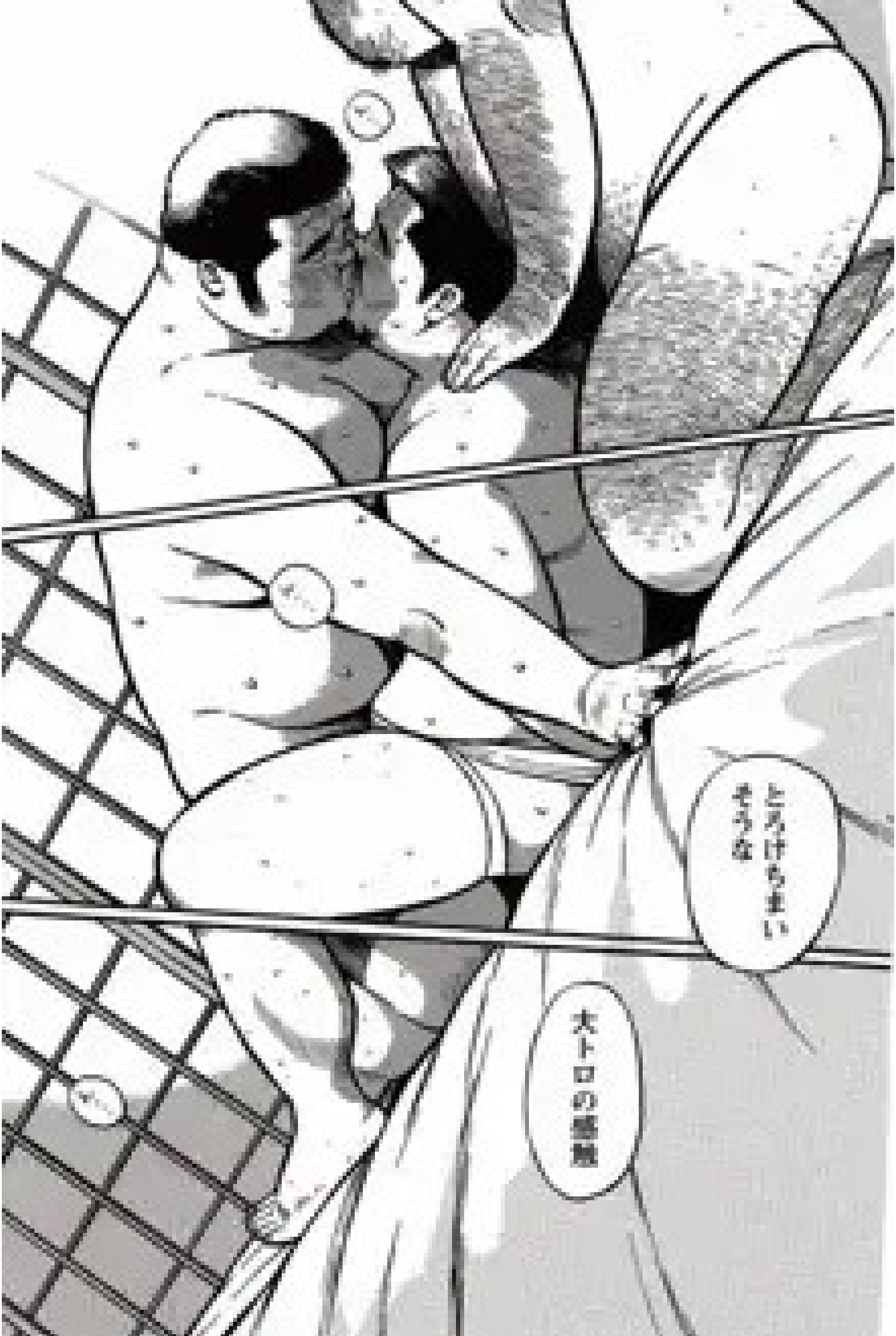




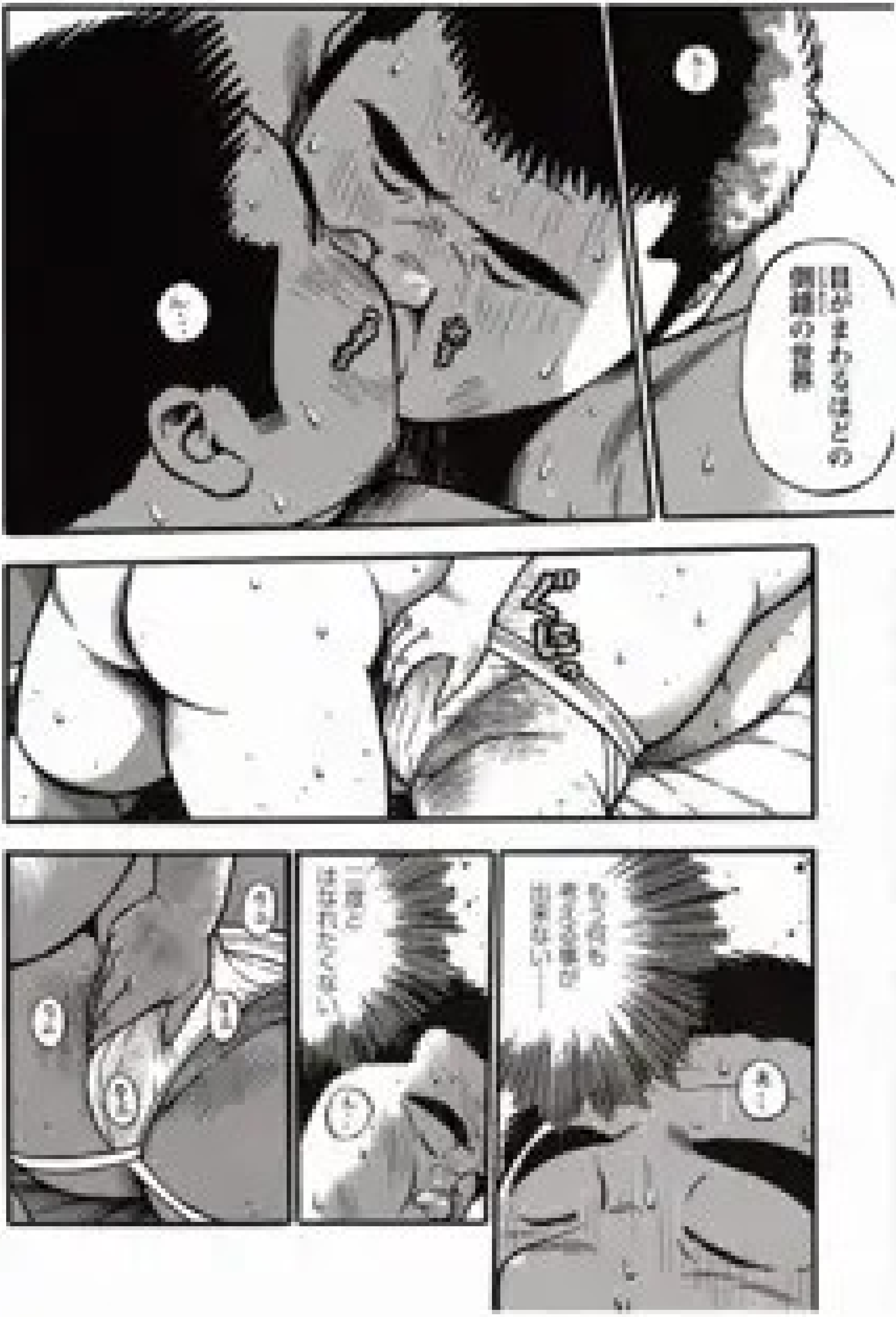
第二十五話

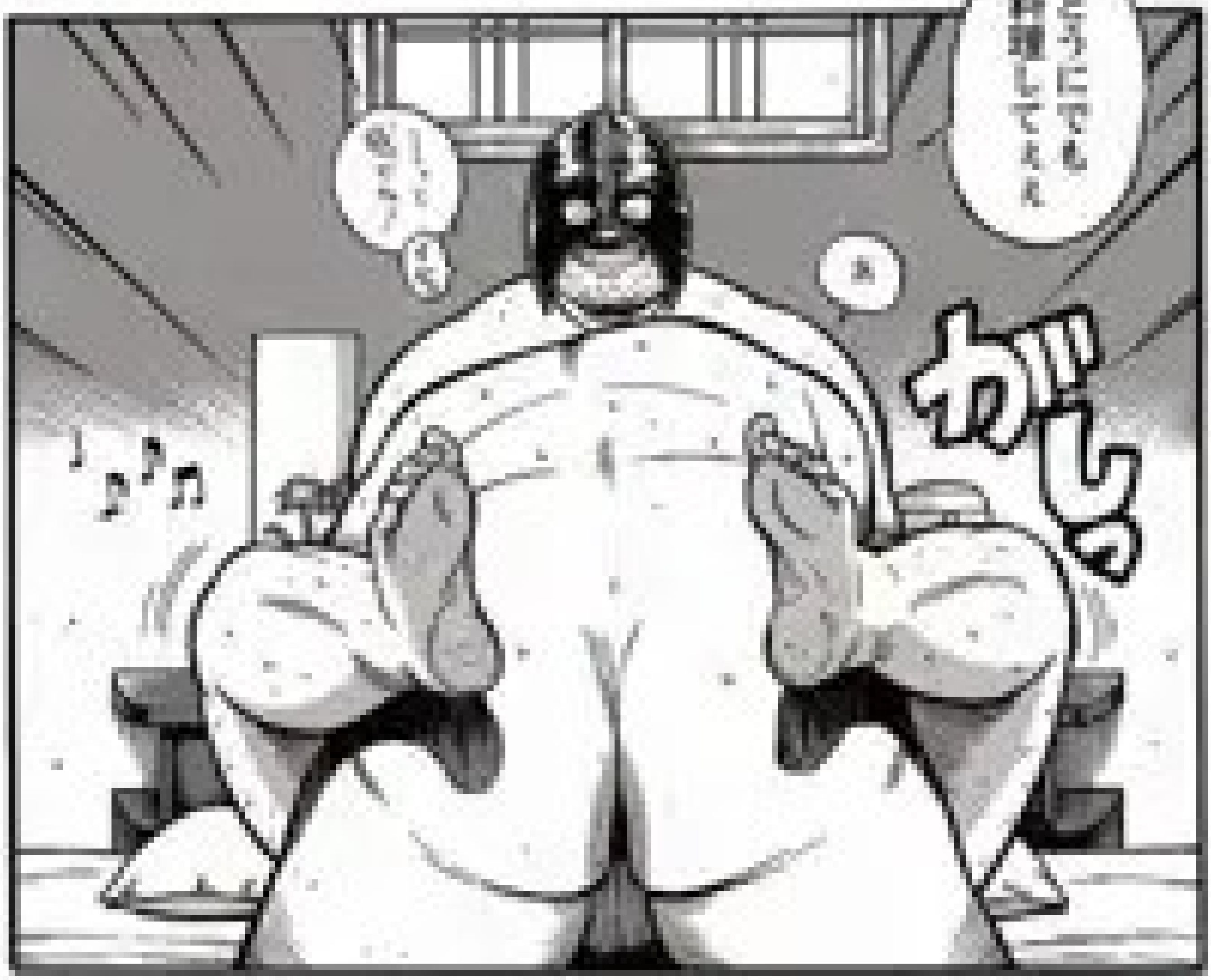
The 25th story

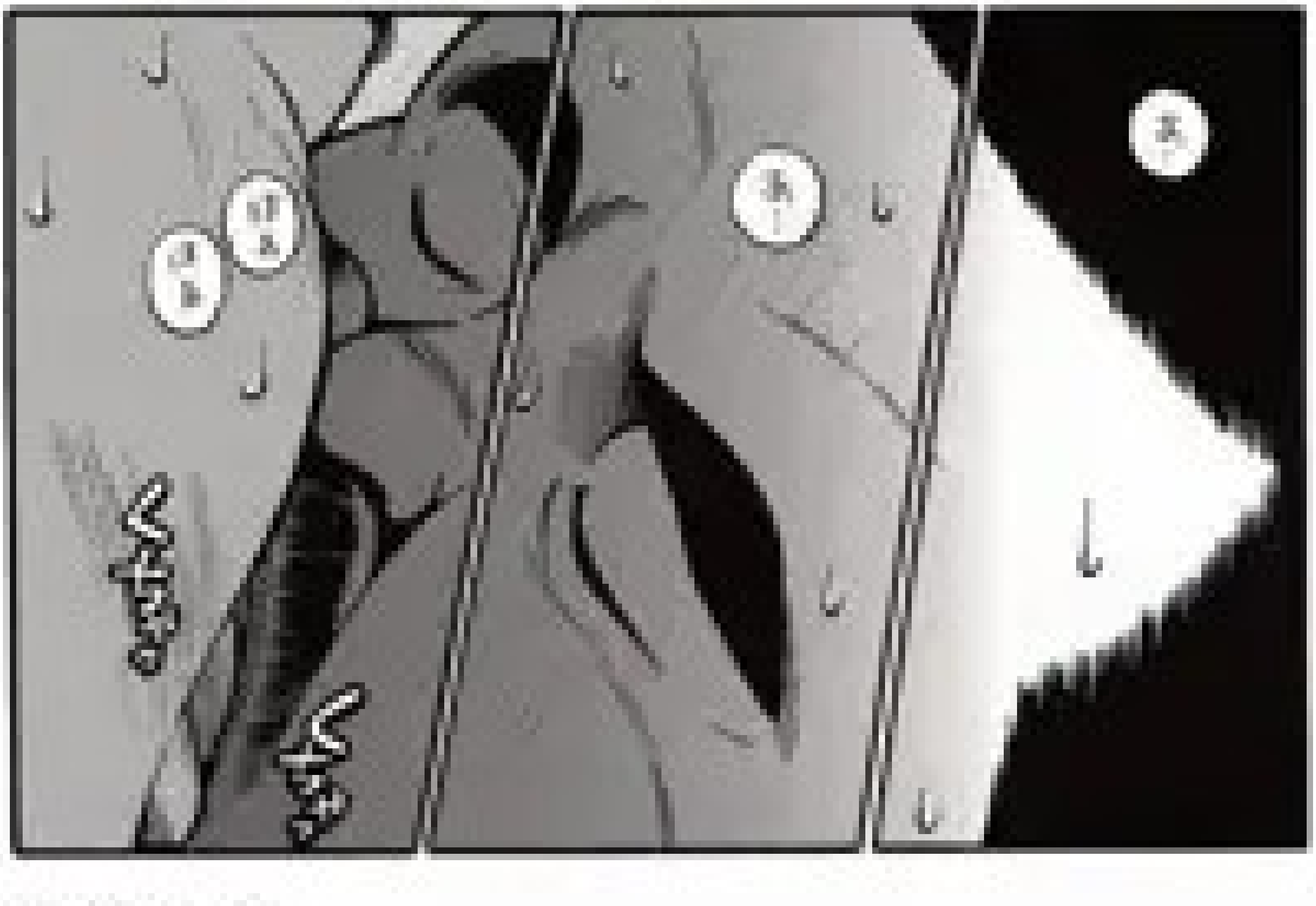

いいね！
ん
ん…
ん…
まったりとした
親子のキス
ん…
ん…



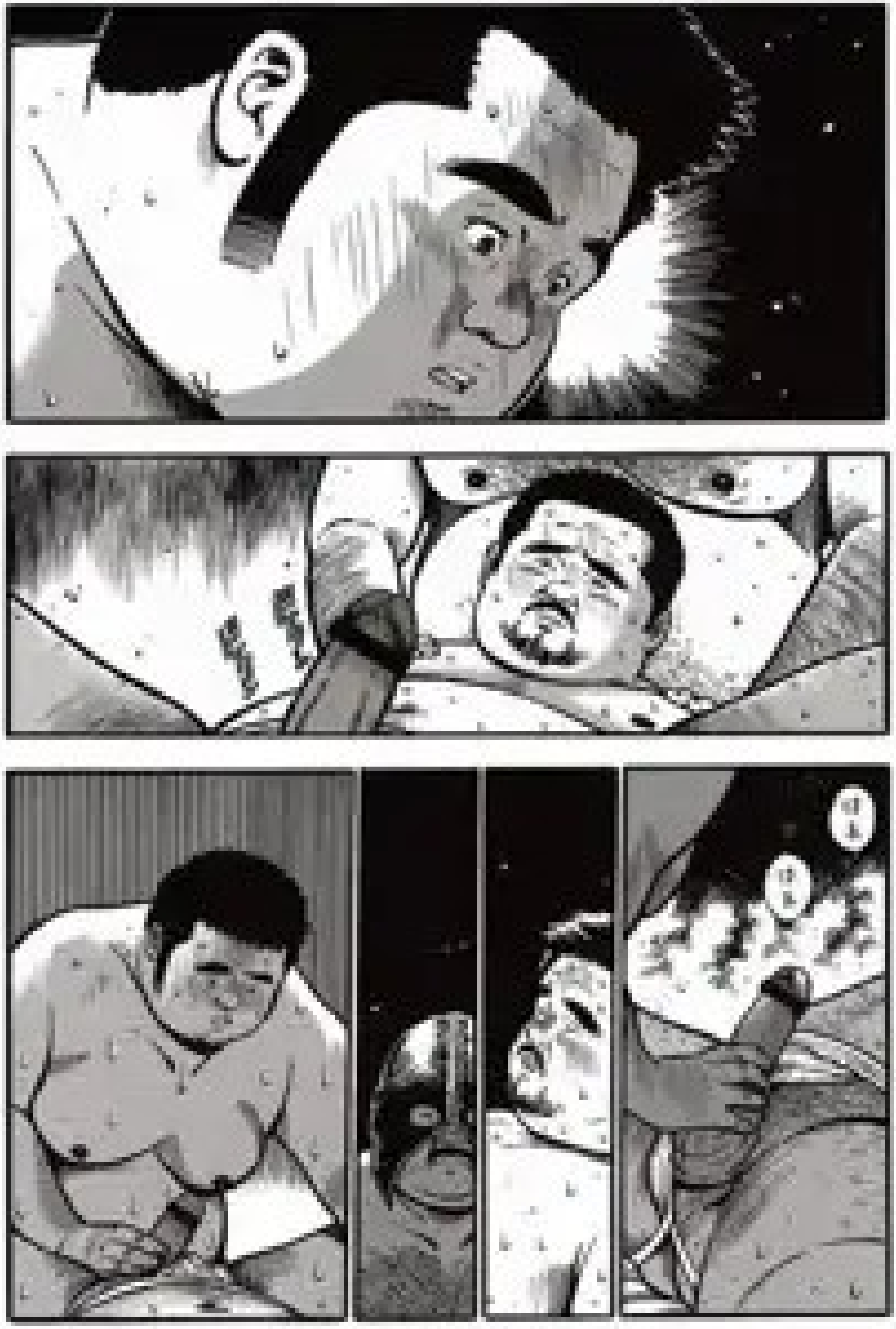
とろけちまい
そうな
大トロの感触


目がまわりそうなの
倒錯の世界
もう何も
考える事が
出来ない…
二度と
後戻りできない…

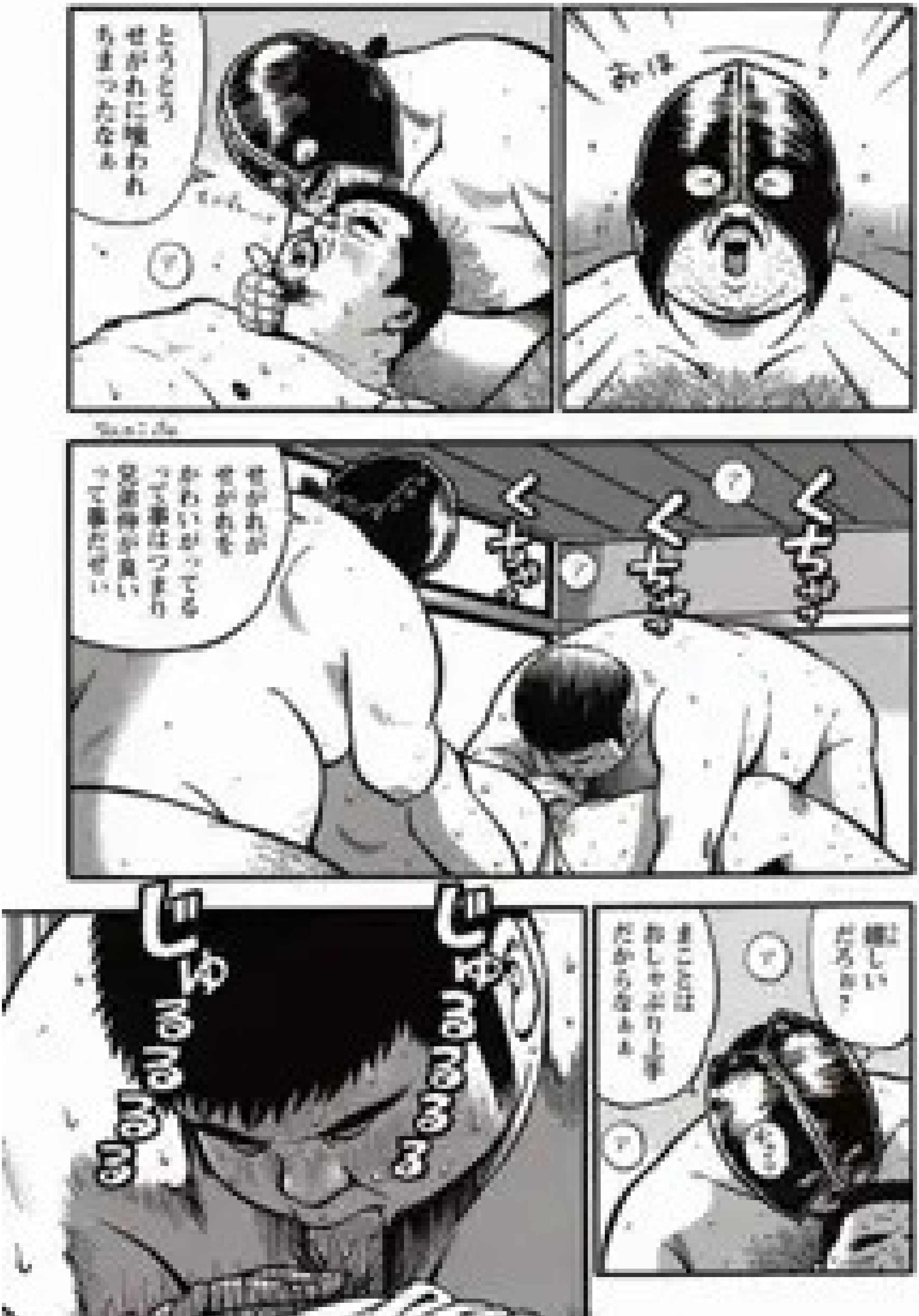

どうにでも
料理してくれ
あ
がしっ

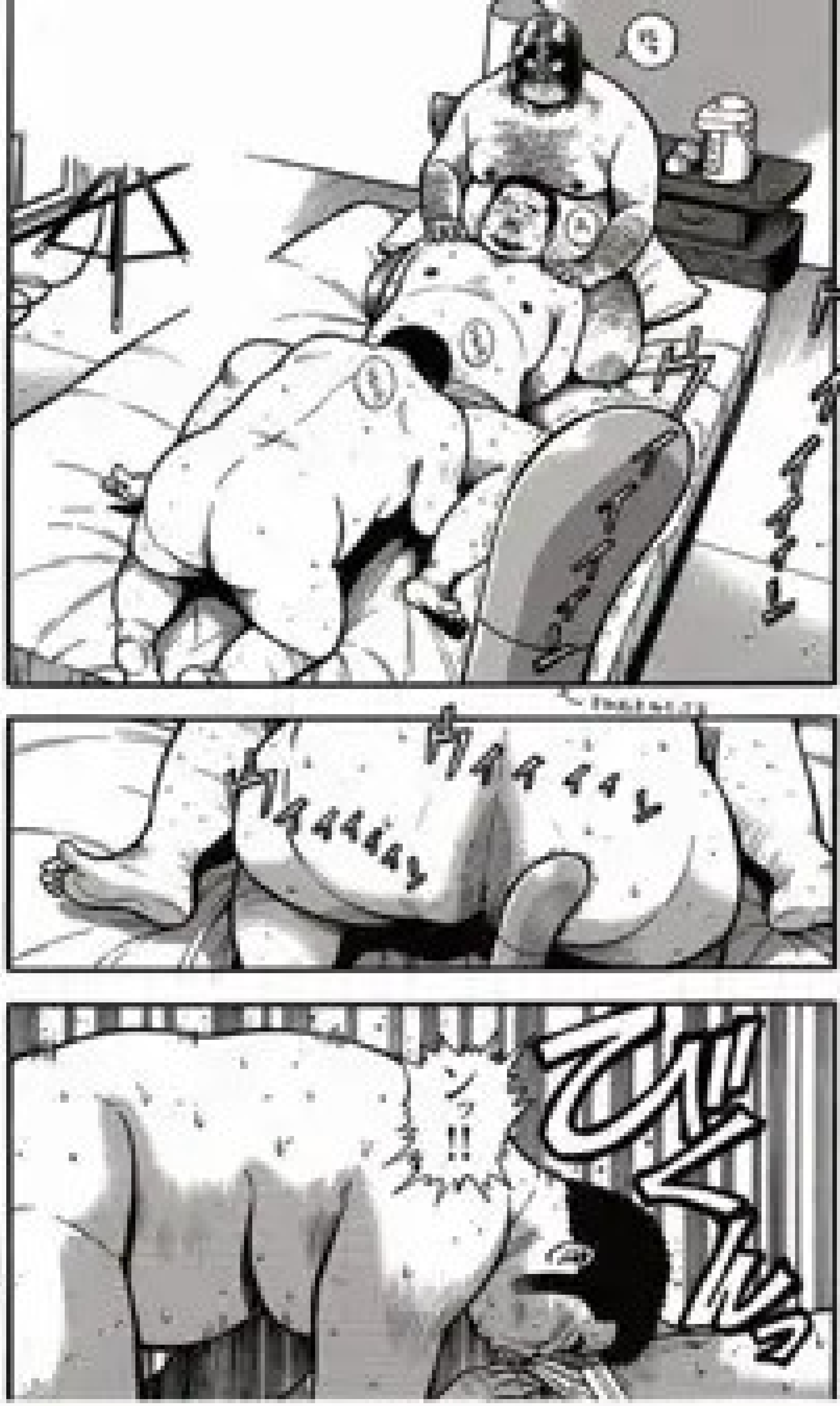

あっ
あ

ぶるんっ

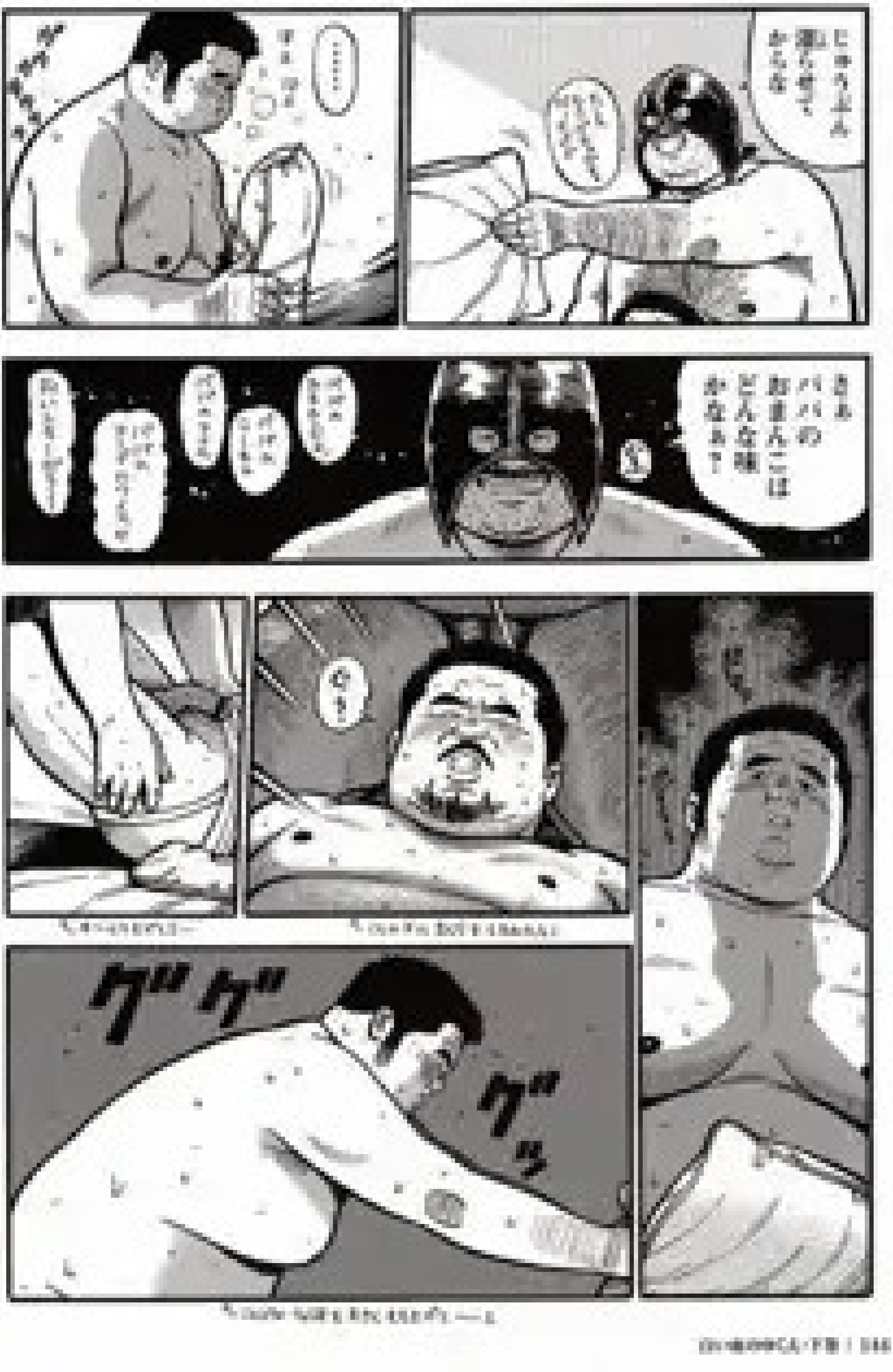

はあ
はあ

ぬるるるるるるる
あ…
あッ

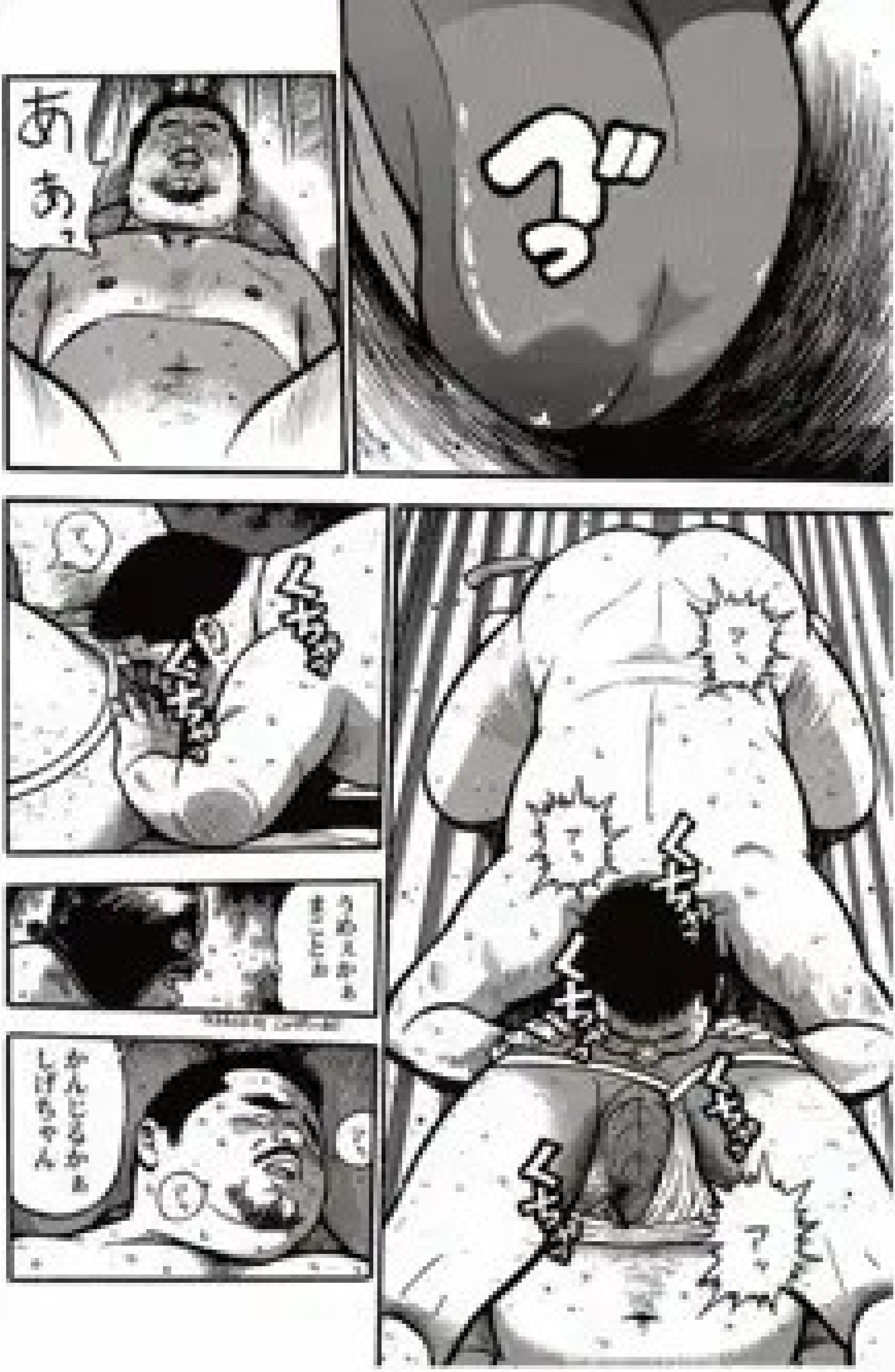

おほ
とうとう せがれに喰われ ちまったなぁ
せがれが せがれを かわいがってる って事はつまり 兄弟仲が良い って事だぜぃ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
嬉しい かスケ？
まことは おしゃぶり上手 だからなぁ
じゅるるるる
じゅるるるるっ

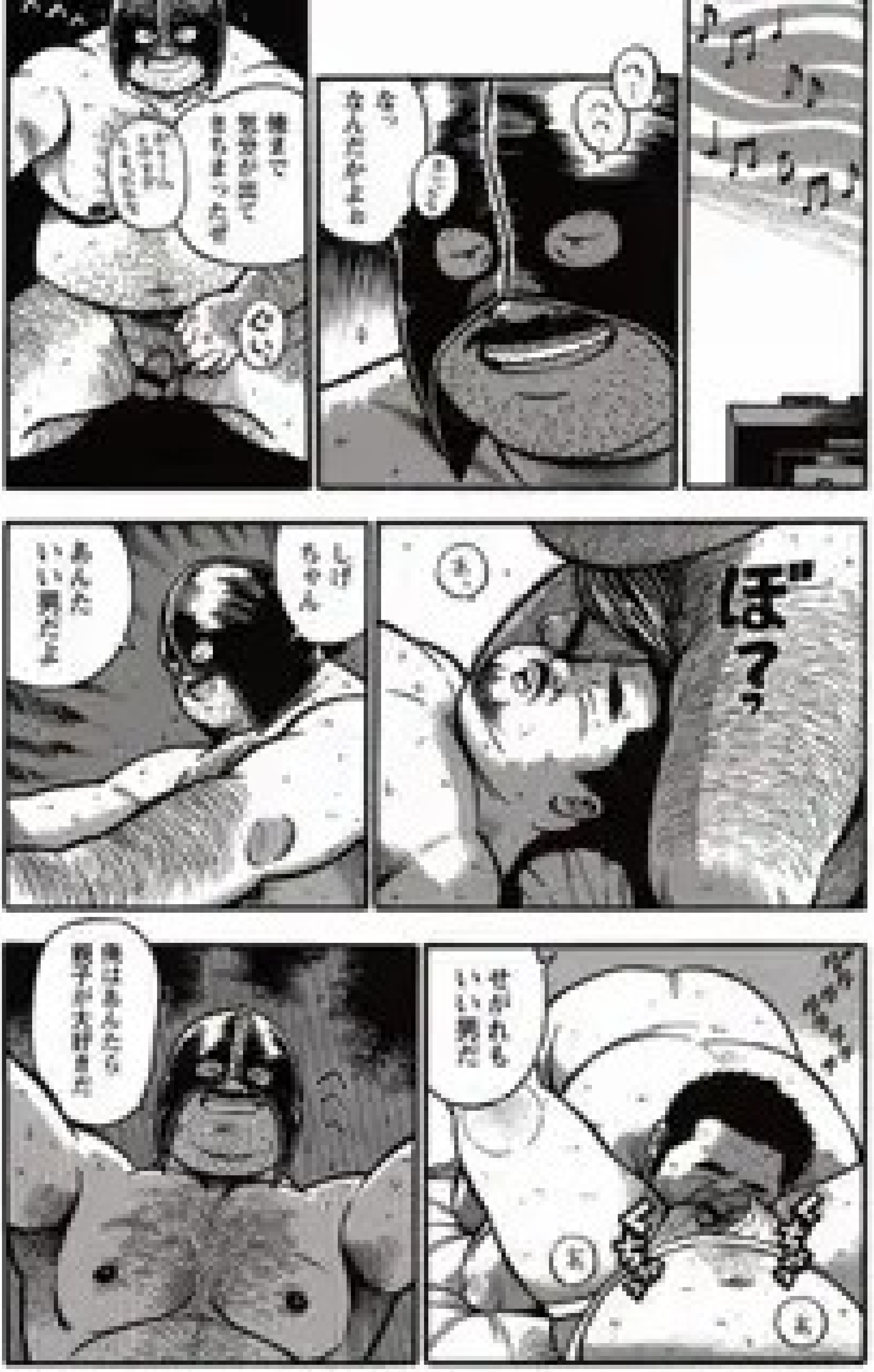

?
ガタ
ハァァァッ
ハァァァァッ
ンッ!!

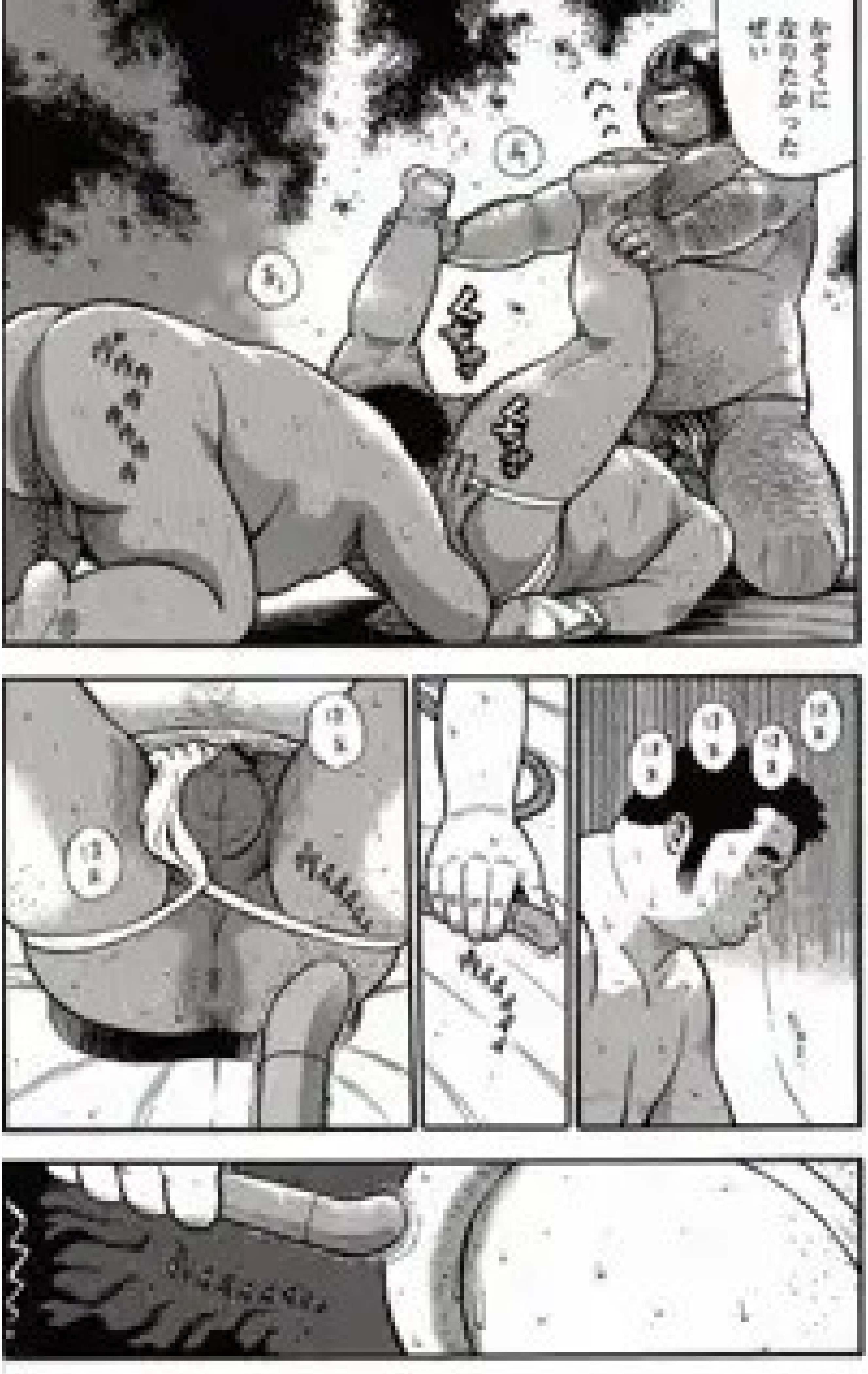
あ
……
まこと
もう片方のを使ってパパと繋がりな


じゅうぶん
濡らすから
な
さあ
パパの
おまんこは
どんな味
かなぁ?
グッ
グッ
グッ
グッ

?
グイッ


ぐっ
ああっ
うめえかあ
まことお
かんじるかあ
しげちゃん


？
へ…
あっ…
な、なんだかよぉ
俺まで気分が出てきちまったぜ
しげちゃん
あんたいい男だよ
ん…
ぼ〜っ
せがれもいい男だ
俺はあんたの親子が大好きだ
ん
ん


あ
あ

第二十六話

The 26th story

ドビュ
あぁぁ
ドビューッ
ルルルルルルルルン
ドクン
イイイイ
ああ
こりこりこり

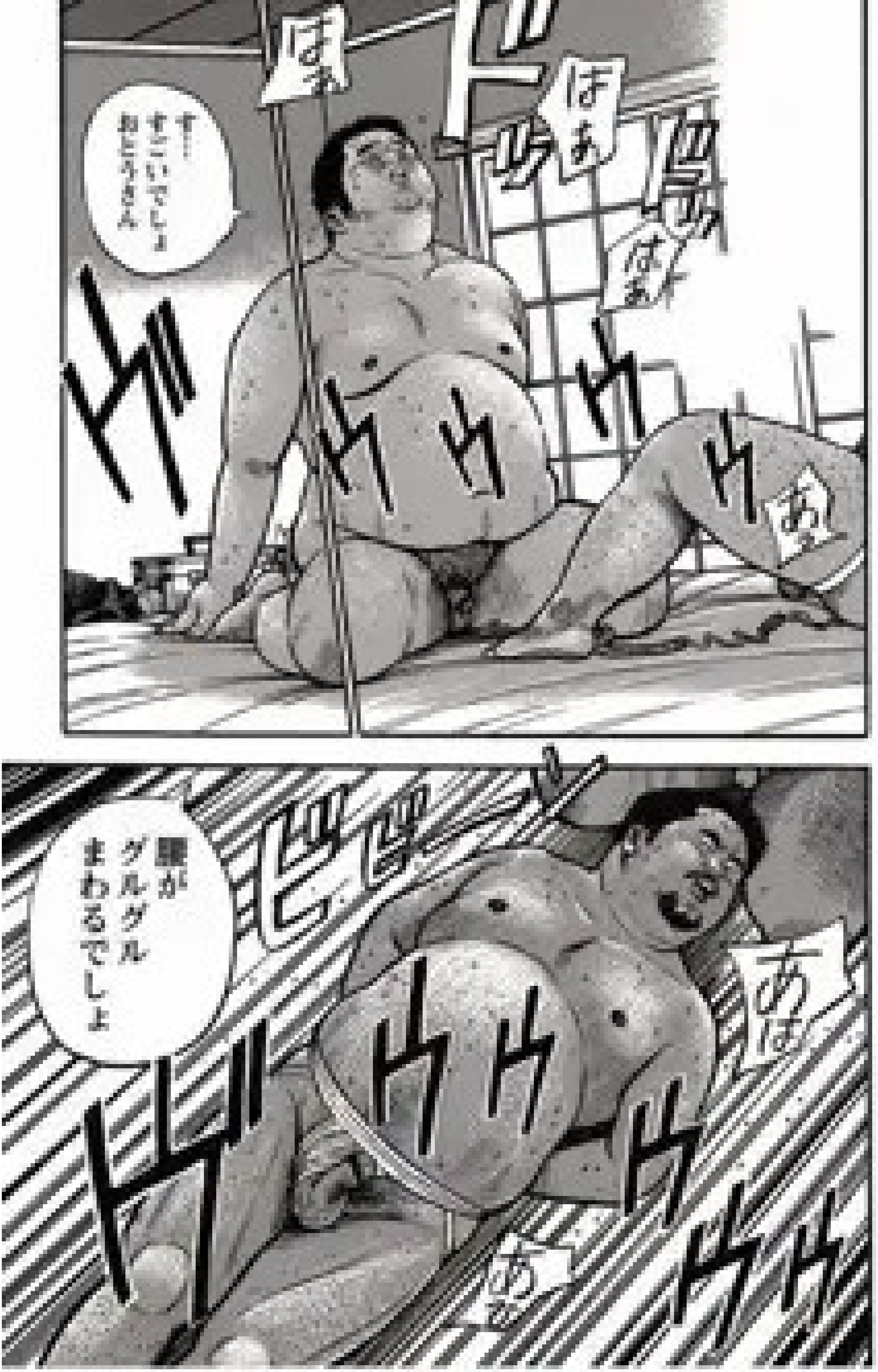
ぐりゅ
ぐりゅ
ん
ん
ガガガガガガ
ぐりゅ
ぐりゅ
ん
ドッ
あ
ドッ
あっ

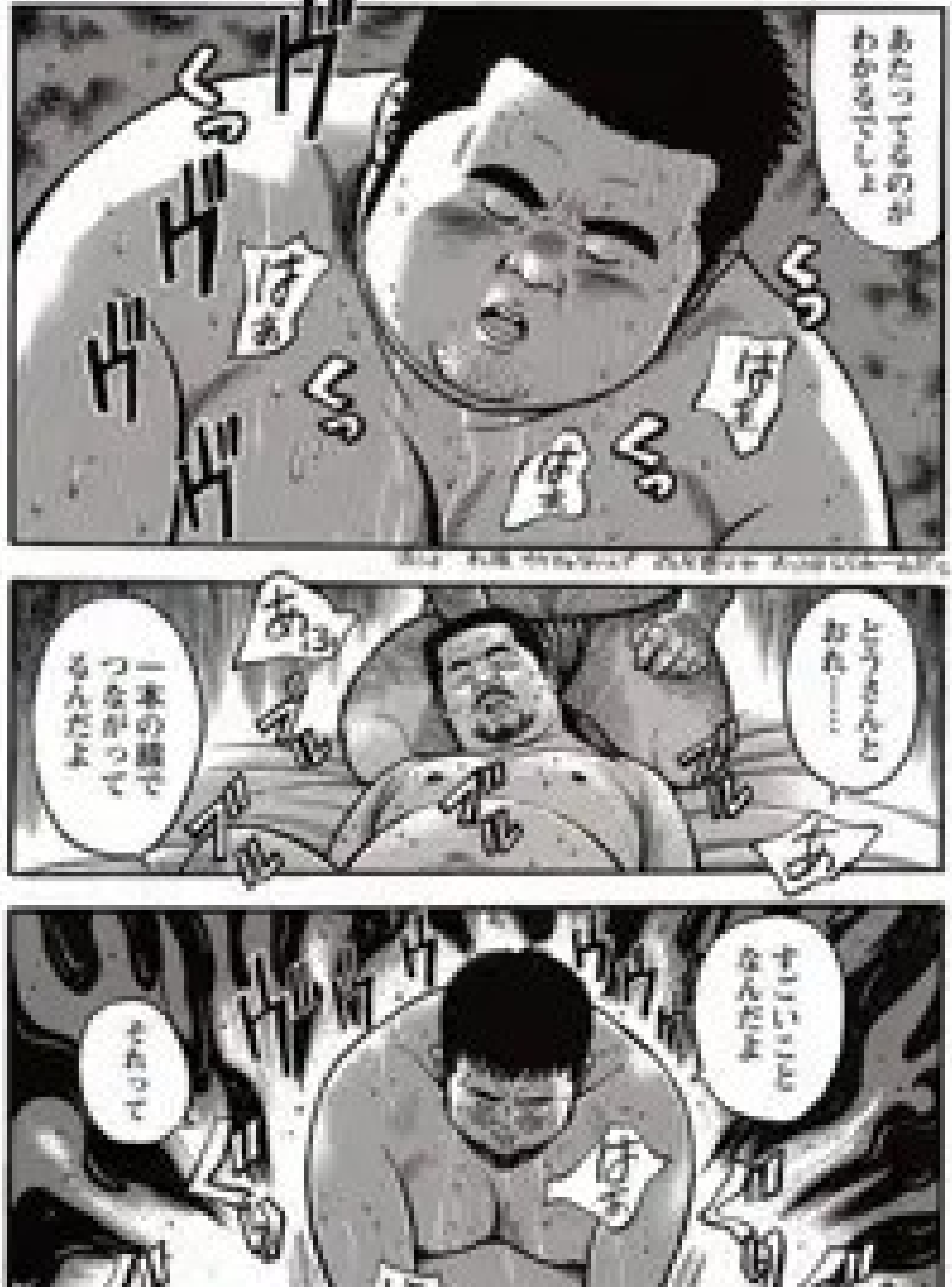
ドッ
あ
ん

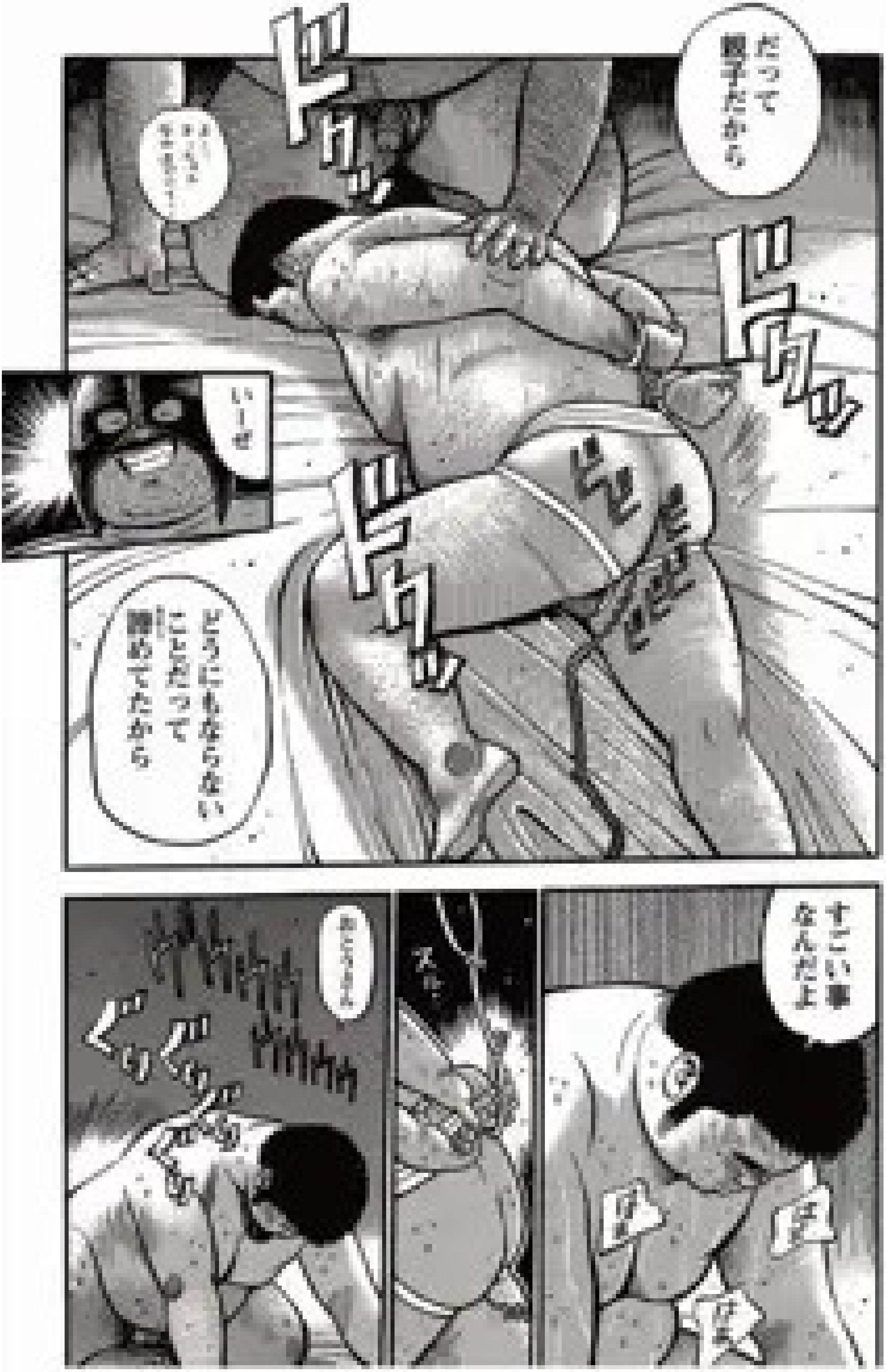
あ
ぐり
あ
ぐり
ドサ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
ぐり
ぐり
ッ
ッ
ぺたん

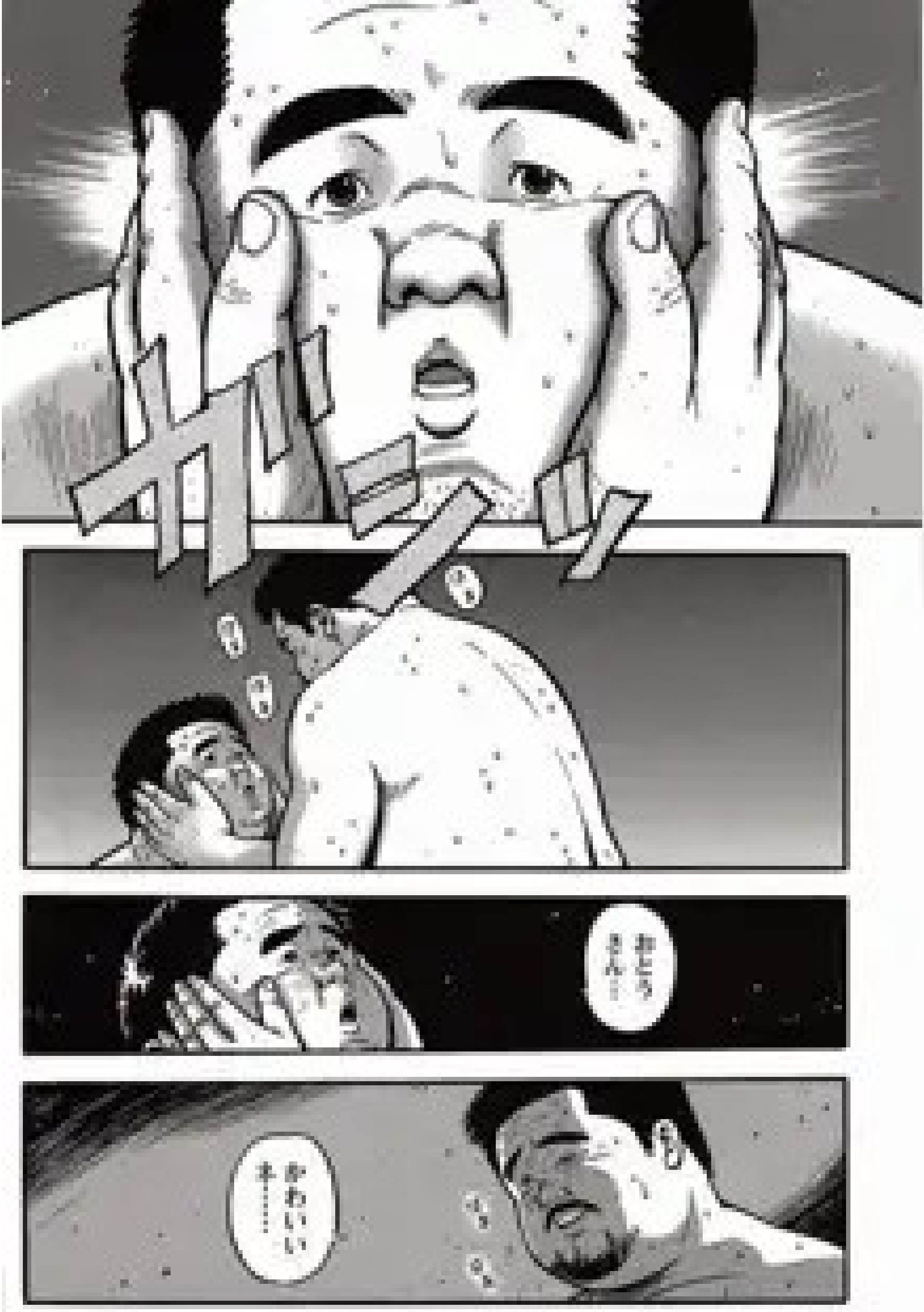
はぁ
あぁ
ぐり
ぐり
ぐり
ぐり
ぐり

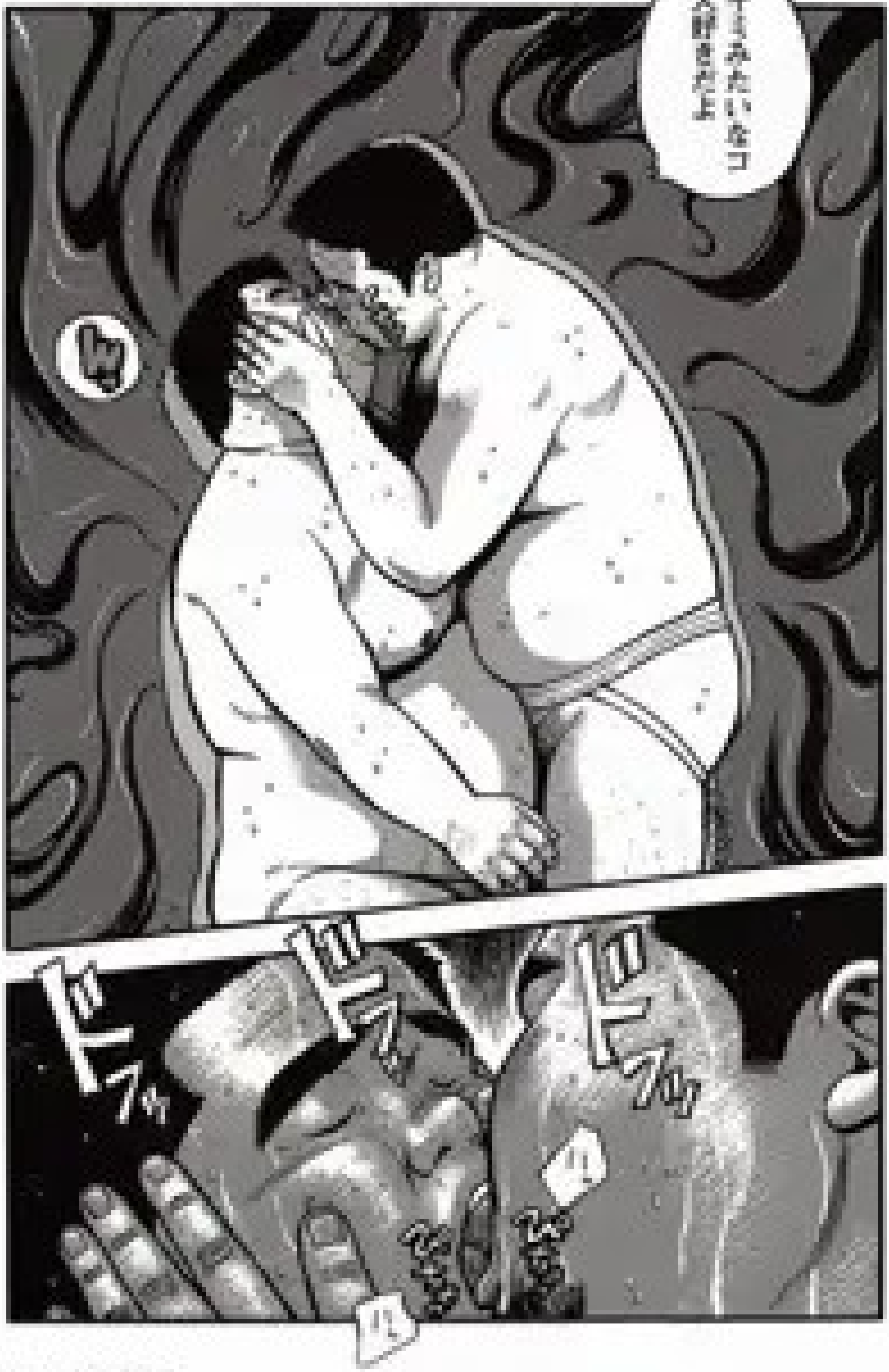
あっ
ビィィィィッ
ヴヴヴ
ヴヴヴ
ヴィィ
あっ
ビビビビ
あはっ
ビビビビ
あっ
ヴヴヴヴ
ぐぃっ
ぐぃっ
ヴィィ
あっ


ぼぉ
はあ
す…すごいでしょおじさん
ドッ
あ
ビュ ビュ
頭がグルグルまわるでしょ
あは
ドッ
あ


あたってる のが
わかるでしょ
ぐっ
ぱすっ
ぐっ
ぱすっ
ぐっ
ぱすっ
ぐっ
ズ
ズ
ズ
ズ
とうさんと
おれ…！！
あっ
一本の線で
つながって
るんだよ
あっ
すごいことなんだよ
それって
ぱすっ
ぱすっ
ぐりっ
ぐりっ
ぐりっ
ぐりっ

だって
親子だから
ドクッ
ドククッ
い～ぞ
ドクッ
どうにもならない
ことだって
諦めてたから
すごい事
なんだよ
ズル…
ぐりぐり

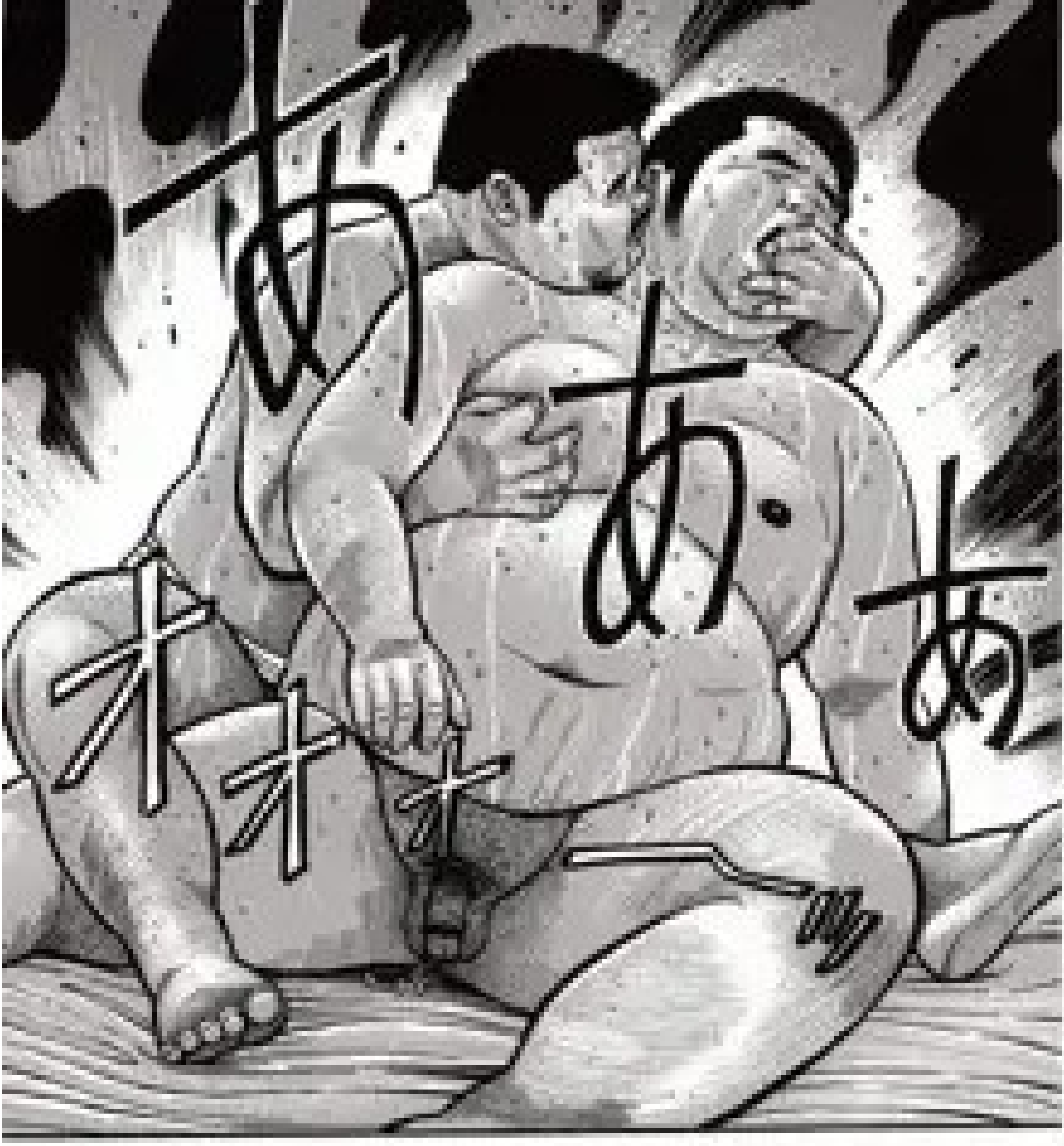

ガシッ
おとうさん……
かわいいネ……


キミみたいなコ
大好きだよ
ん
ドクッ
ドクッ
ドクッ

んふぅ
んふぅ
んふぅ

おっ!!
ずぢゅ
ぐぐぐ
ぐぽっ
れろ

ビビビビビ
ぐり
ぐり
ぐり


あああ
あ
ギギギ

あは

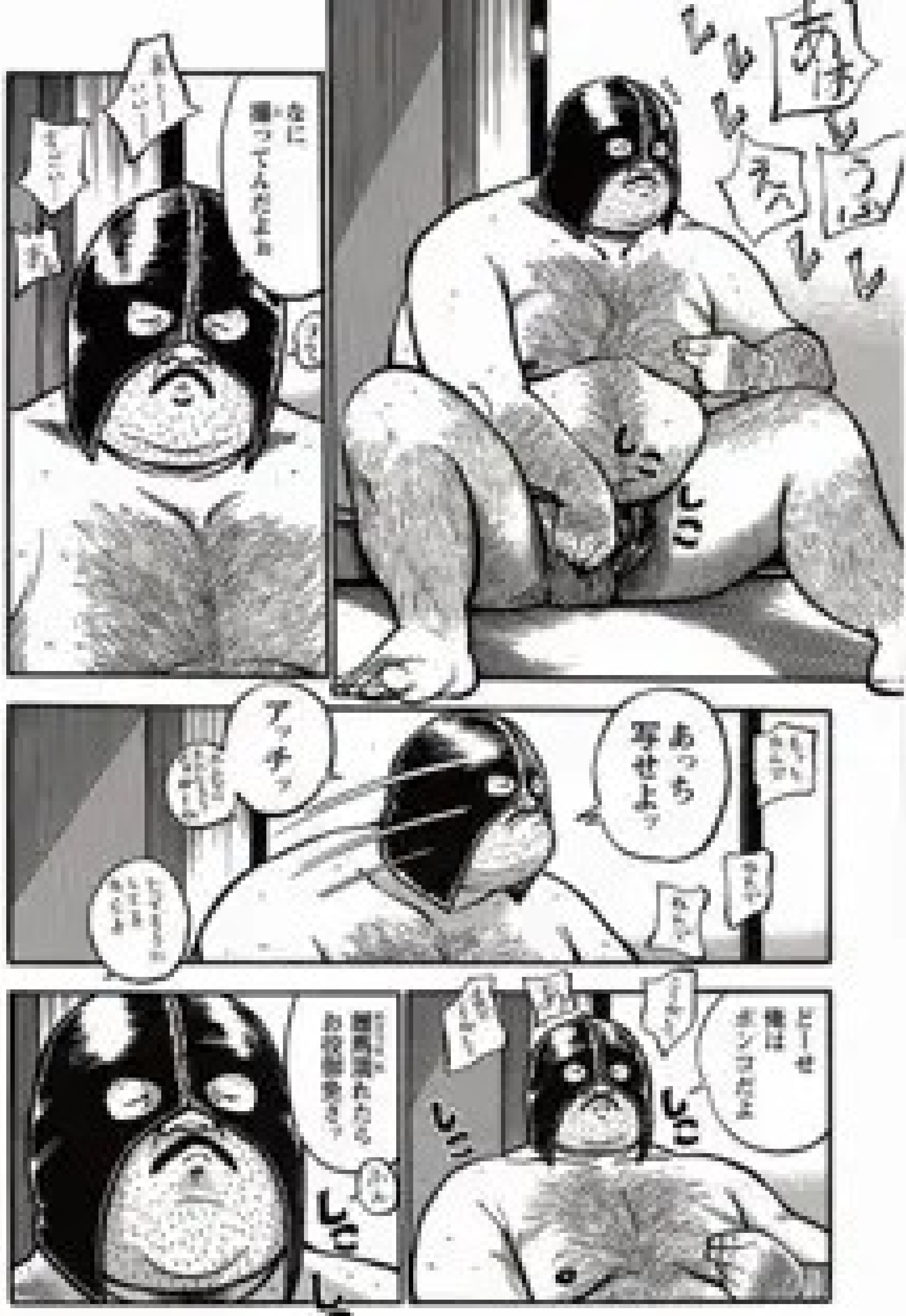
第二十七話

The 27th story

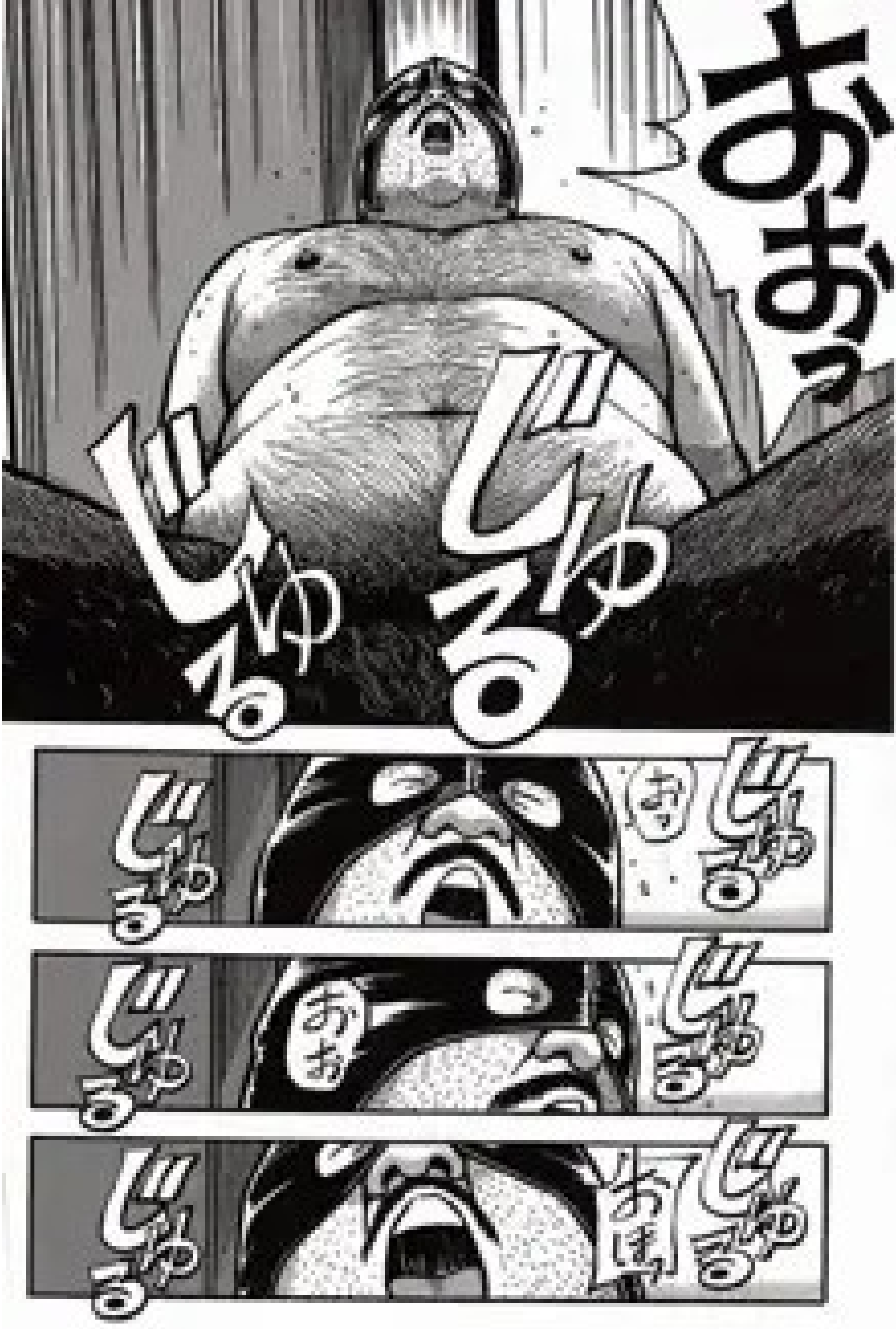
ぐるん
ぐるん
あっ
あっ
あっ
ぐるん
しししし
しし
あっ
あっ
おほっ
ムギュ
ムギュ

あひ

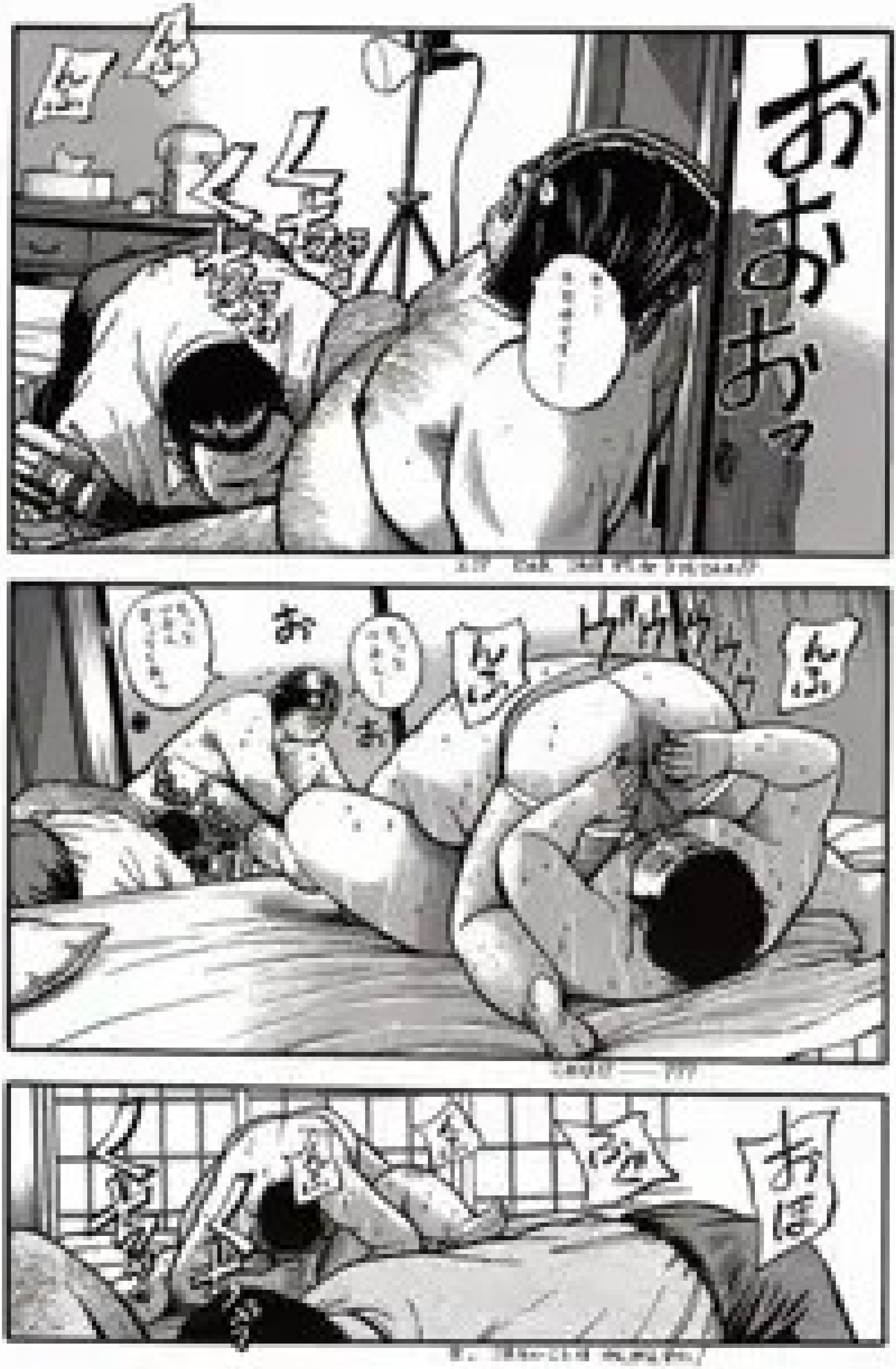
あッ


あほぉぉぉ
えっぇぇぇ
しこ
なに
撮ってんだよぉ
あっち
写せよっ
アッチッ
ど～せ
俺は
しこ
しこ
しこ
しこ

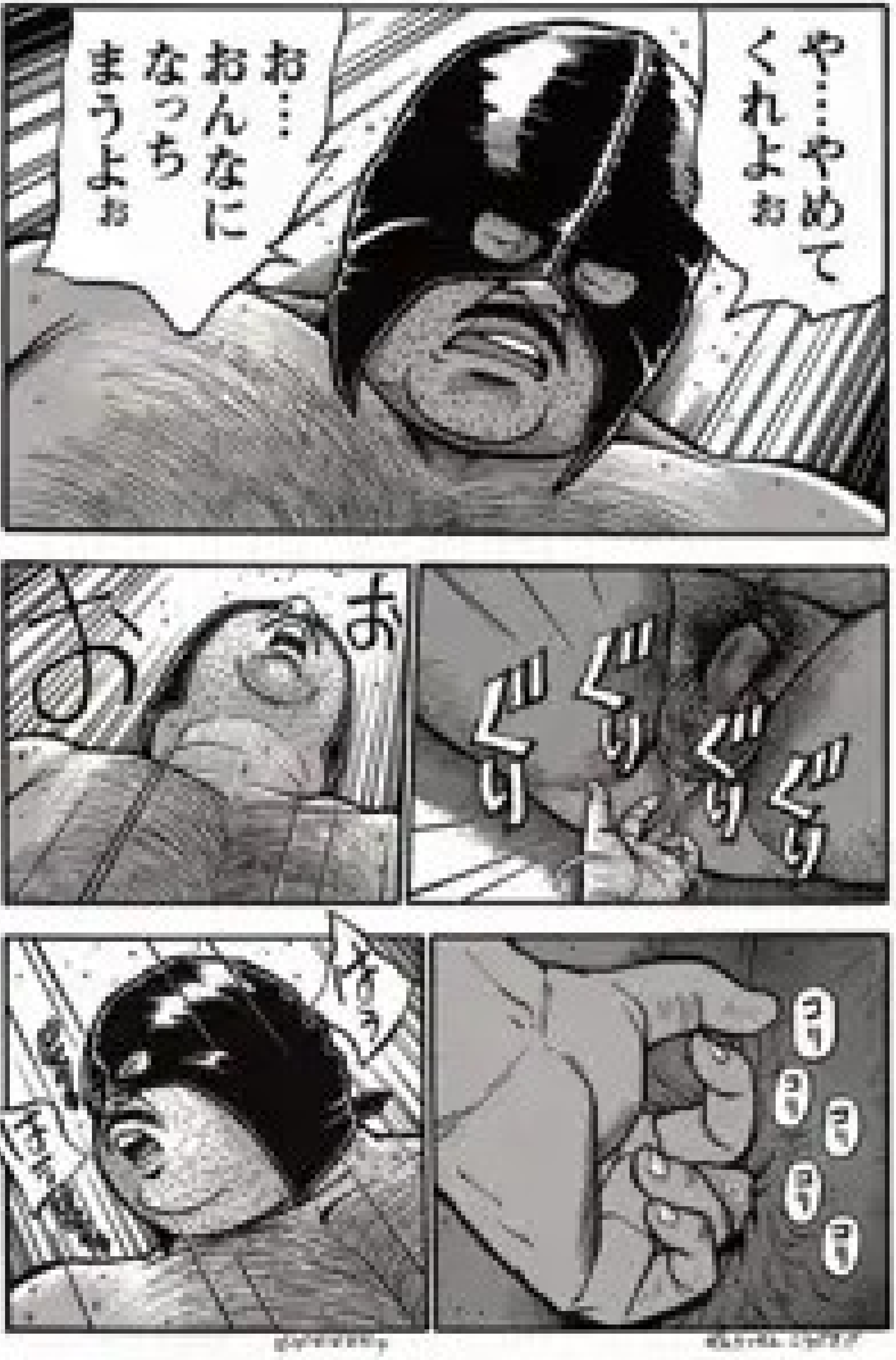
いいよな～～～ぁ
しこ
しこ
しこ
しこ
オレも
一回ぐらいでいいよ
なーーーぁ
ゲイ
わっ
おいっ
何やって
んのよっ
おっ
おっ
あはん
今日は
オレがメイン
じゃねえのかよ
コラ
コラッ
俺は
おまえが
好きなんだよ


おおっ
じゅる
じゅる
じゅる
おっ
じゅる
じゅる
おお
じゅる
じゅる
おほっ
じゅる

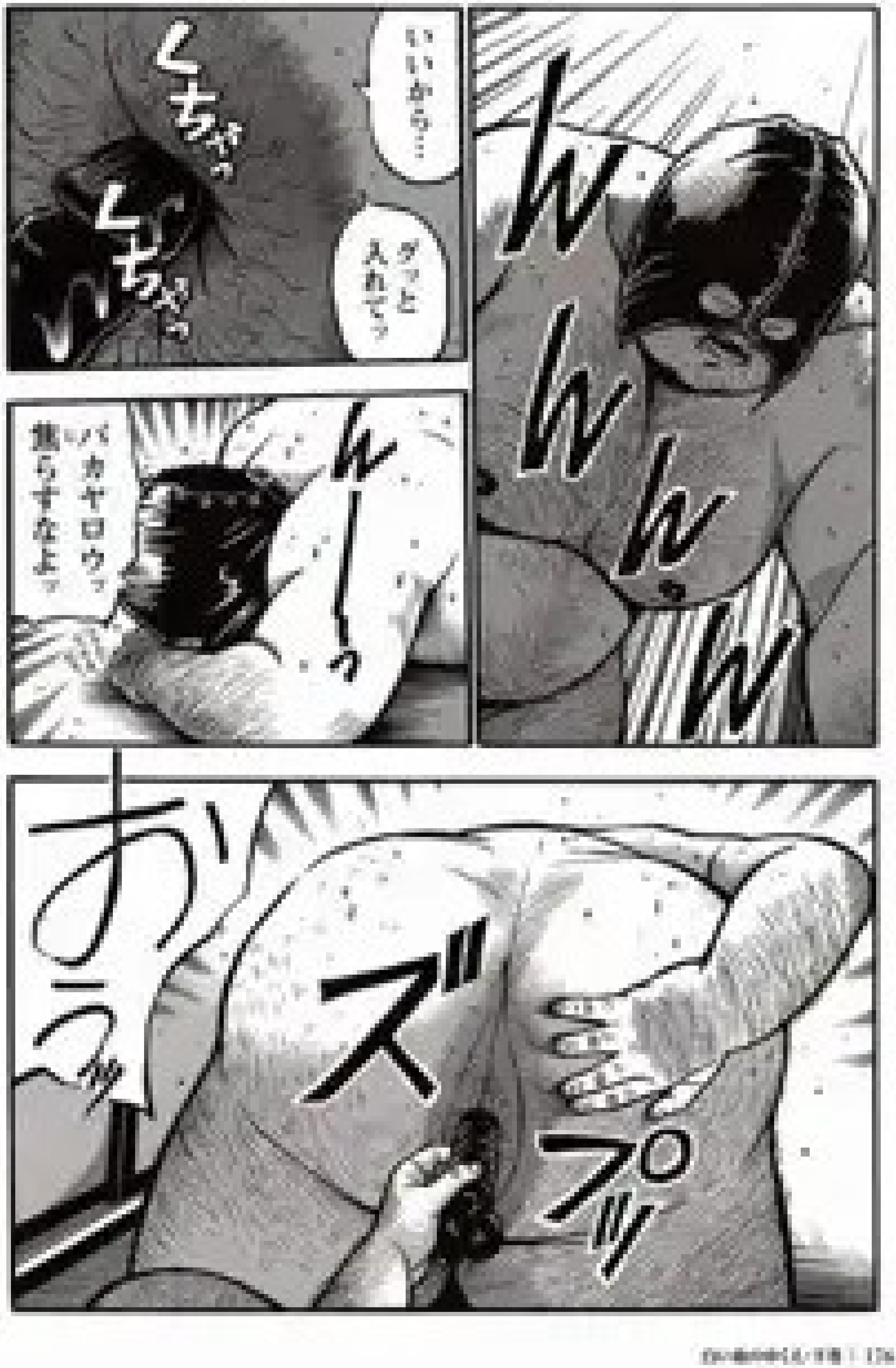
じゅるる
お…
じゅる
べろぉ
す…すご…
レレレレレ
ぐぽっ ぐぽっ
ムギュ ムギュ

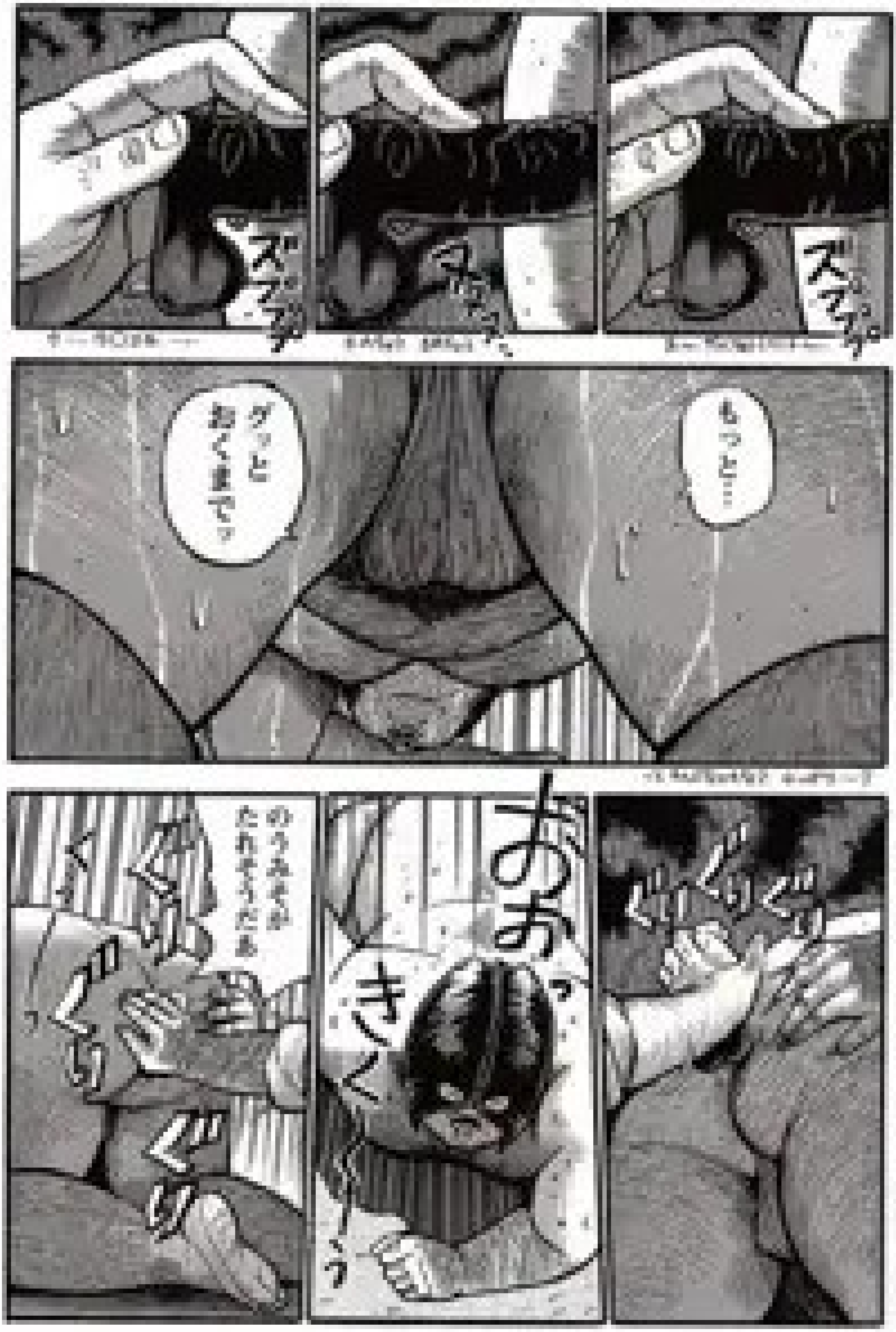

おおおっ
お
お
おぼ

あぁ
わぁ
あぁ
やっ！
やめろよお
おぉ
あぁ
い…！
入れられたく
なっちまうだろ…


や…やめてくれよぉ
お…おんなになっちまうよぉ
おぉ
ぐりぐりぐりぐりぐりぐり
コリコリコリコリコリ

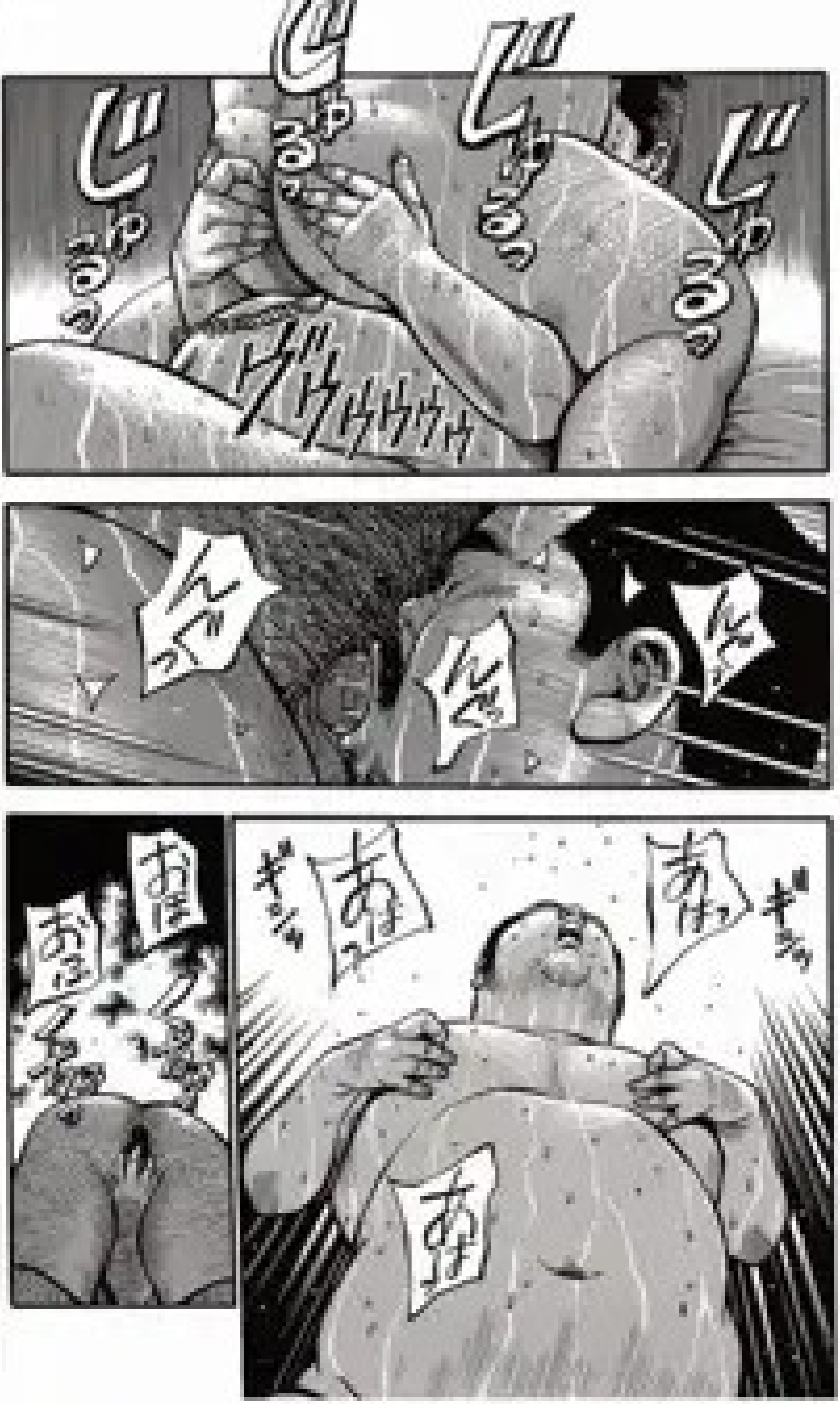
はぁ
はぁ
はぁ
オレにも入れてくれぇ
グッとくるやつ入れてくれぇッ
がまんできねぇよ
ココロがせつねぇよぉ


んんんんんんっ
いいから…っ
グッと入れてっ
くちっ
くちっ
んーーっ
ぐっ
バカヤロウっ
焦らすなよっ
おーーっ
ズ
プッ


ズプッ
ヌプッ
ズプッ
もっと…
グッと
おくまでッ
ぐりっ
ぐりっ
おおっ
きく…っ
のうみそが
たれそうだぁ
ぐりっ
ぐりっ
ぐりっ

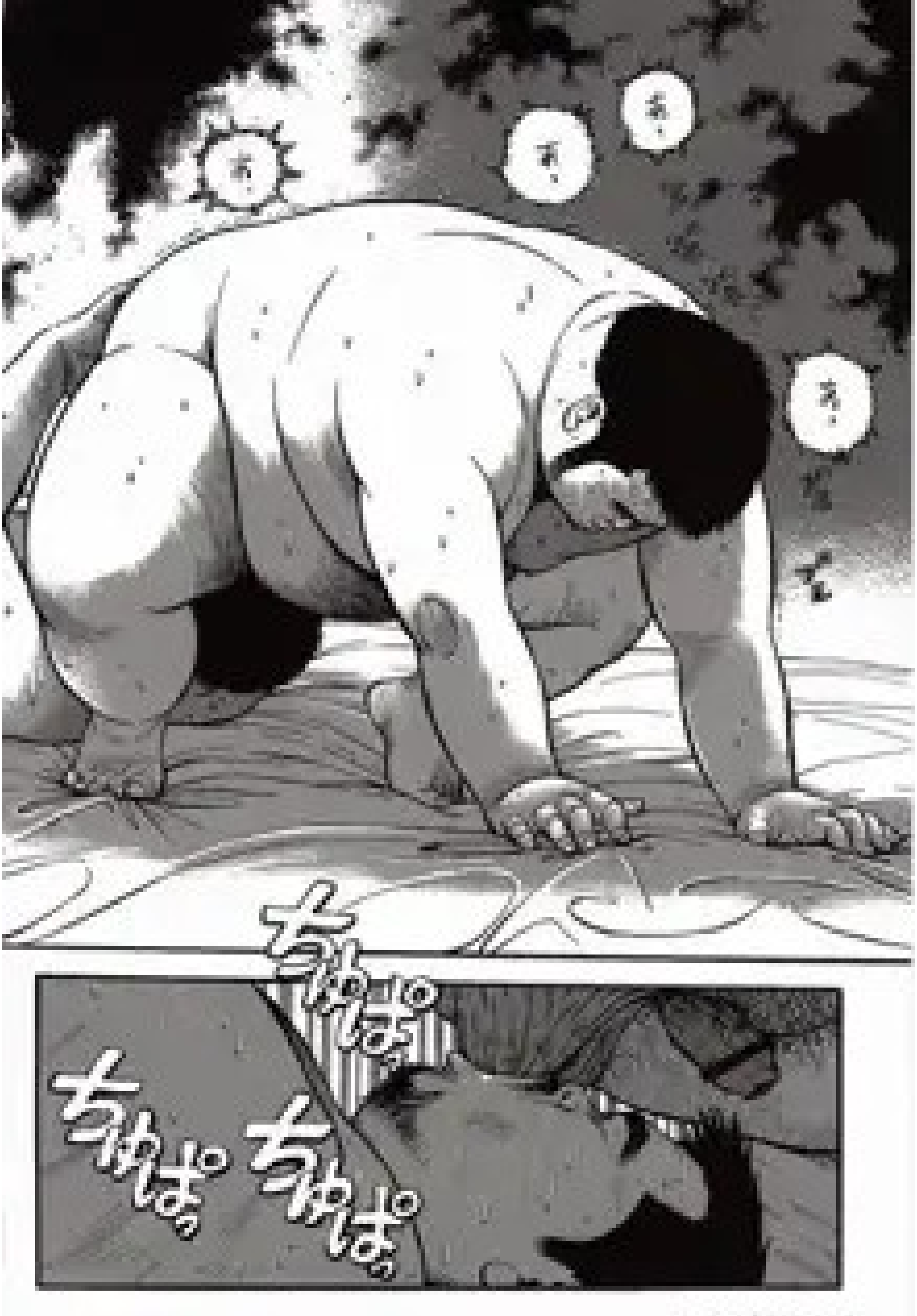
ドクン
あはっ♪
ドクン
あはっ♪
ビクッ
ビクッ
ドク ドク ドク ドク

あはっ
ドッ
♪
♪♪
ドドドド
おおおおっ
くちゅ
♪
くちゅ


じゅるっ
じゅるっ
じゅる
じゅるっ
ドゲゲゲゲゲ
んぐっ
んぐっ
んぐっ
あはっ
ギュッ
あぁ
ギュッ
あぁ
おほ
おぉ

第二十八話

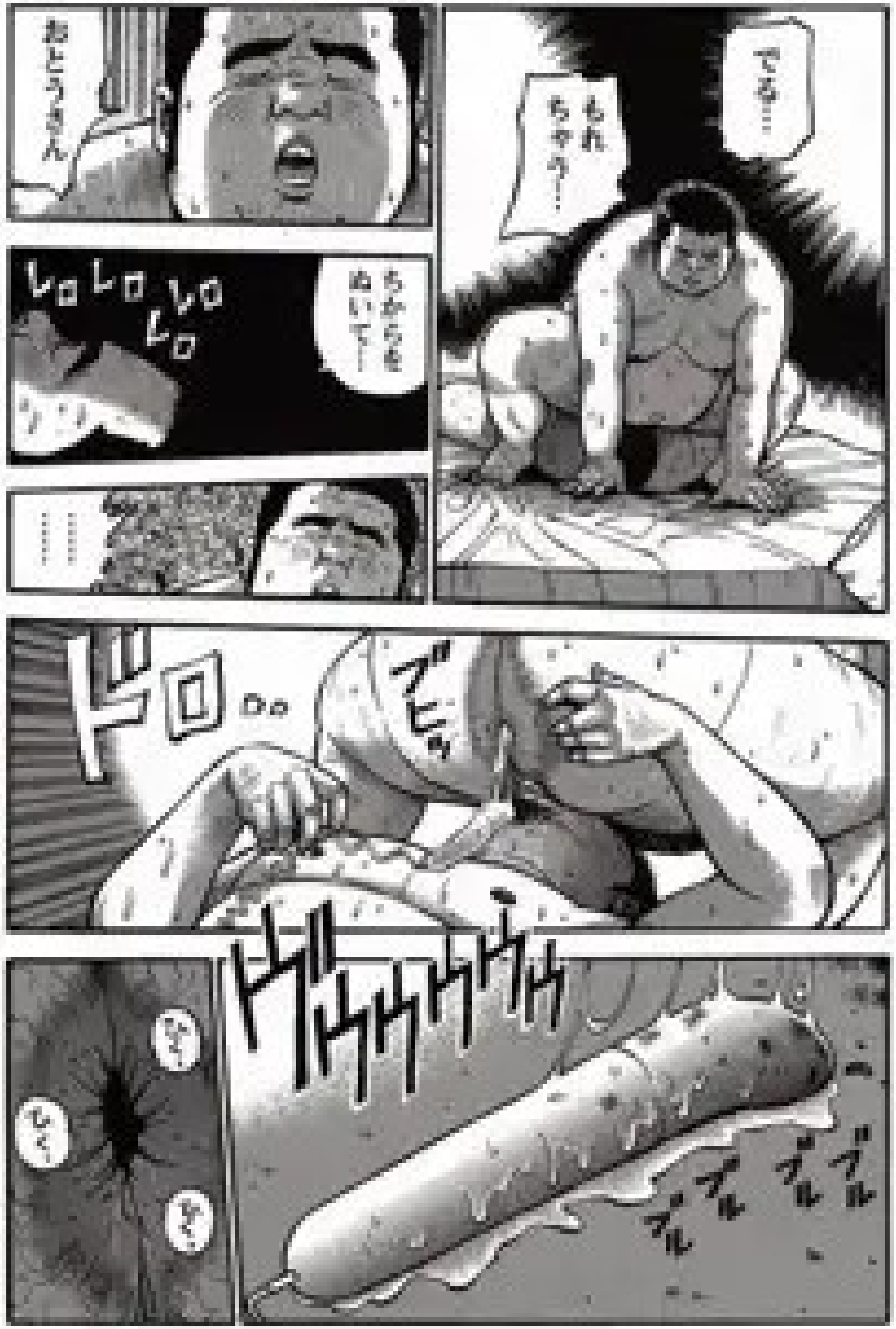
The 28th story

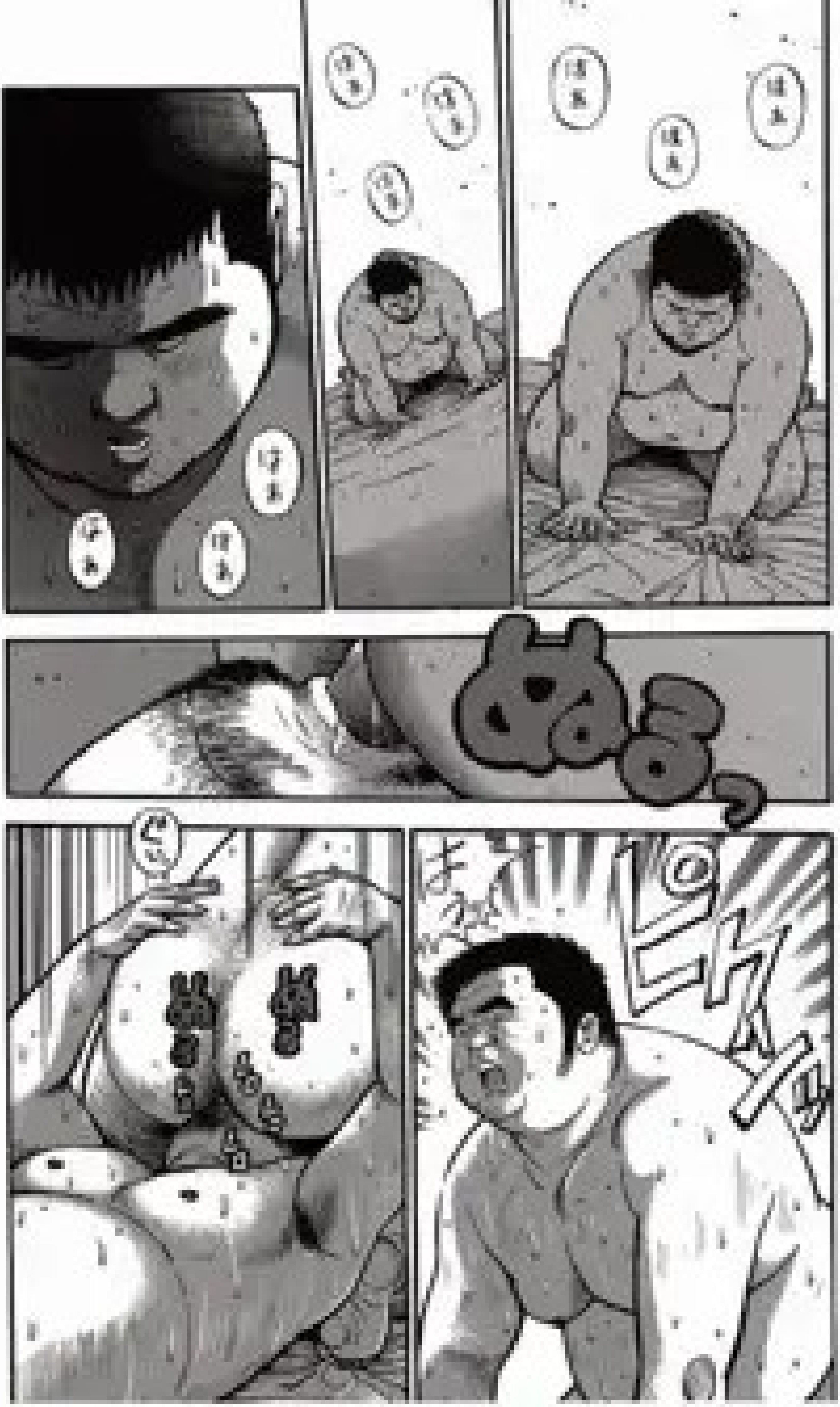

ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ

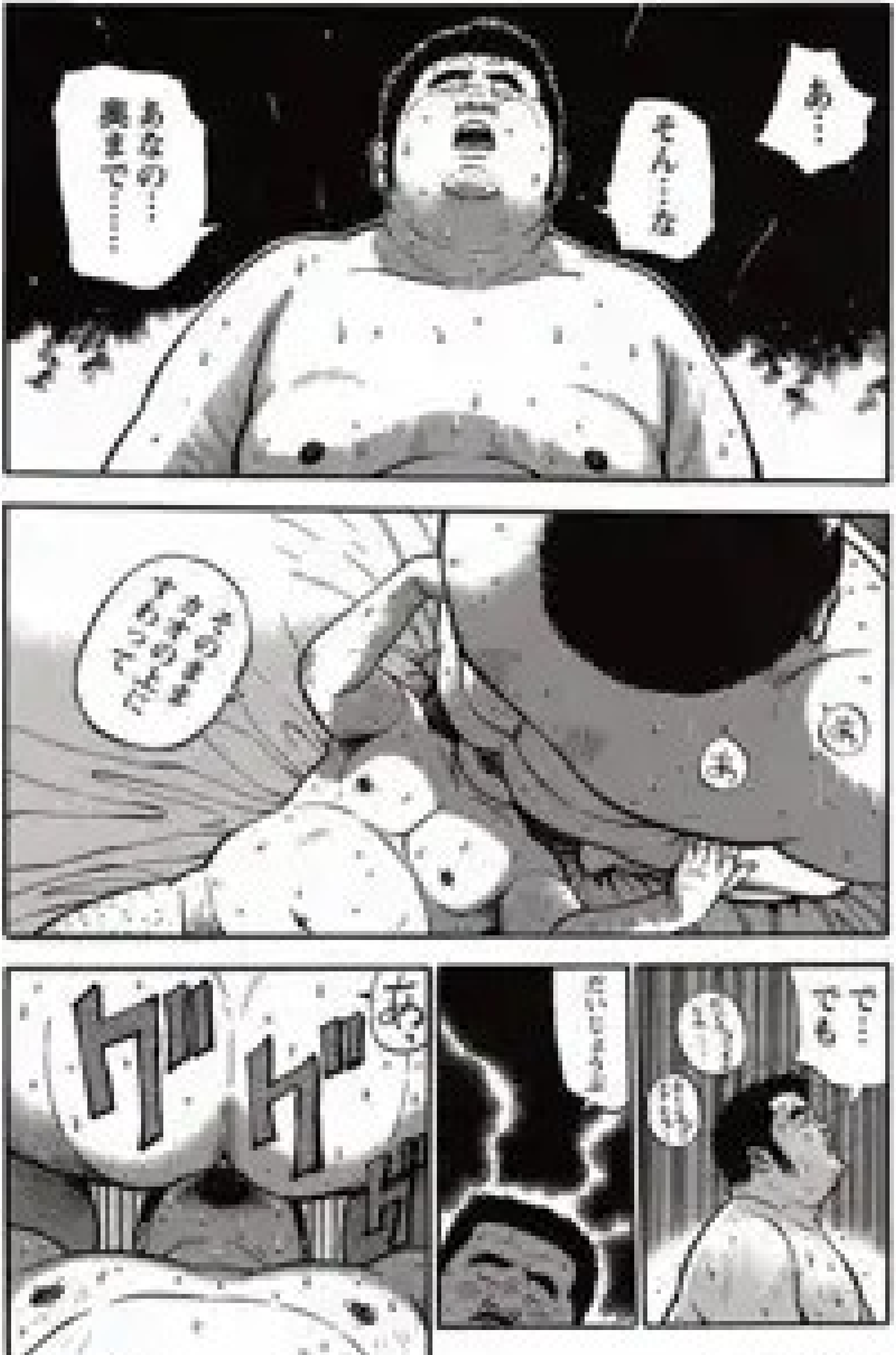
あぁ
んんんんん
るぅぅぅぅ
ぬるる ぬるる ぬるる
ぬるる ぬるる ぬるる
あっ
はっ
レロ
レロ
レロ
レロ

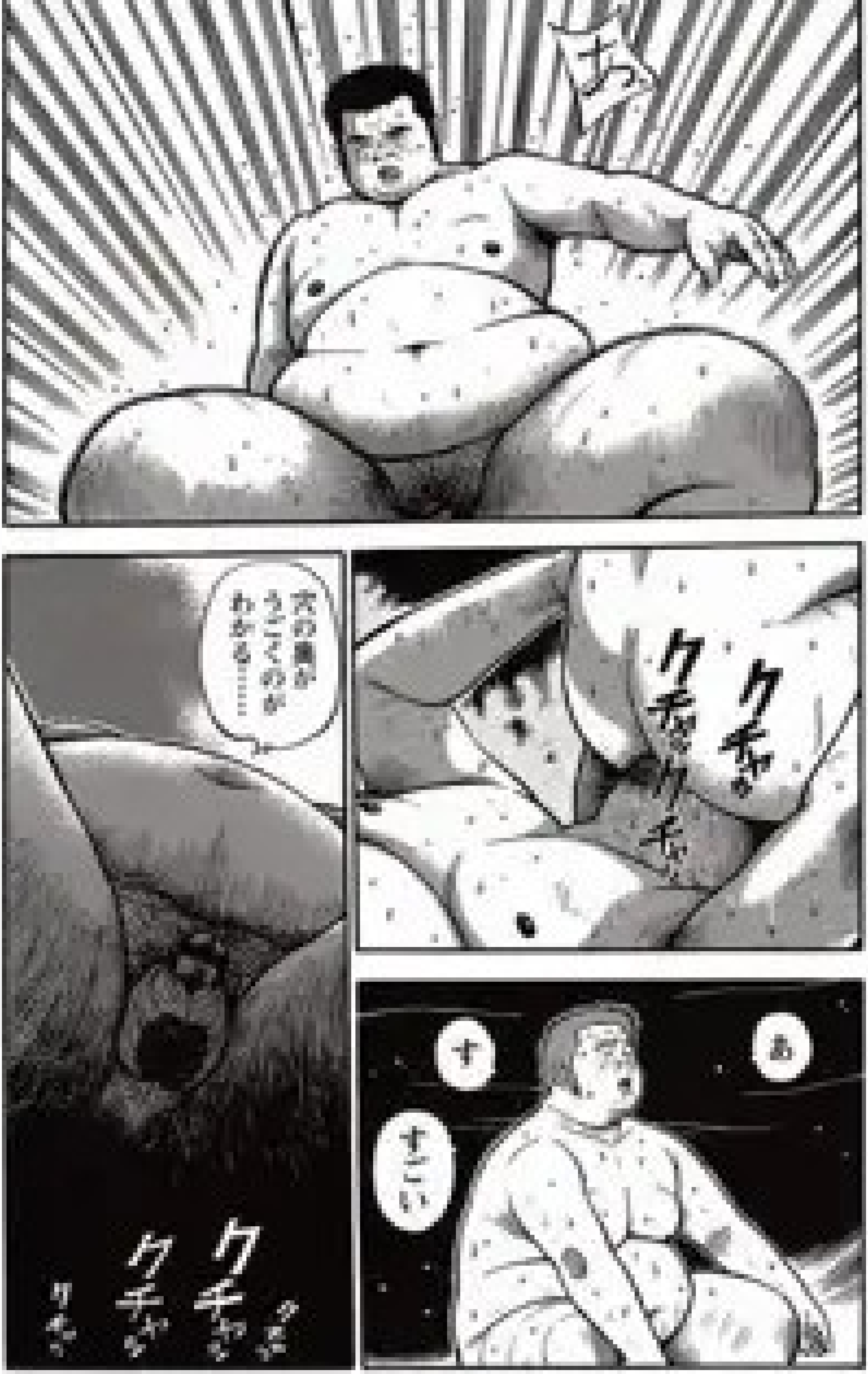
ピー
あっ
キュッ
だめっ
ぬかないで

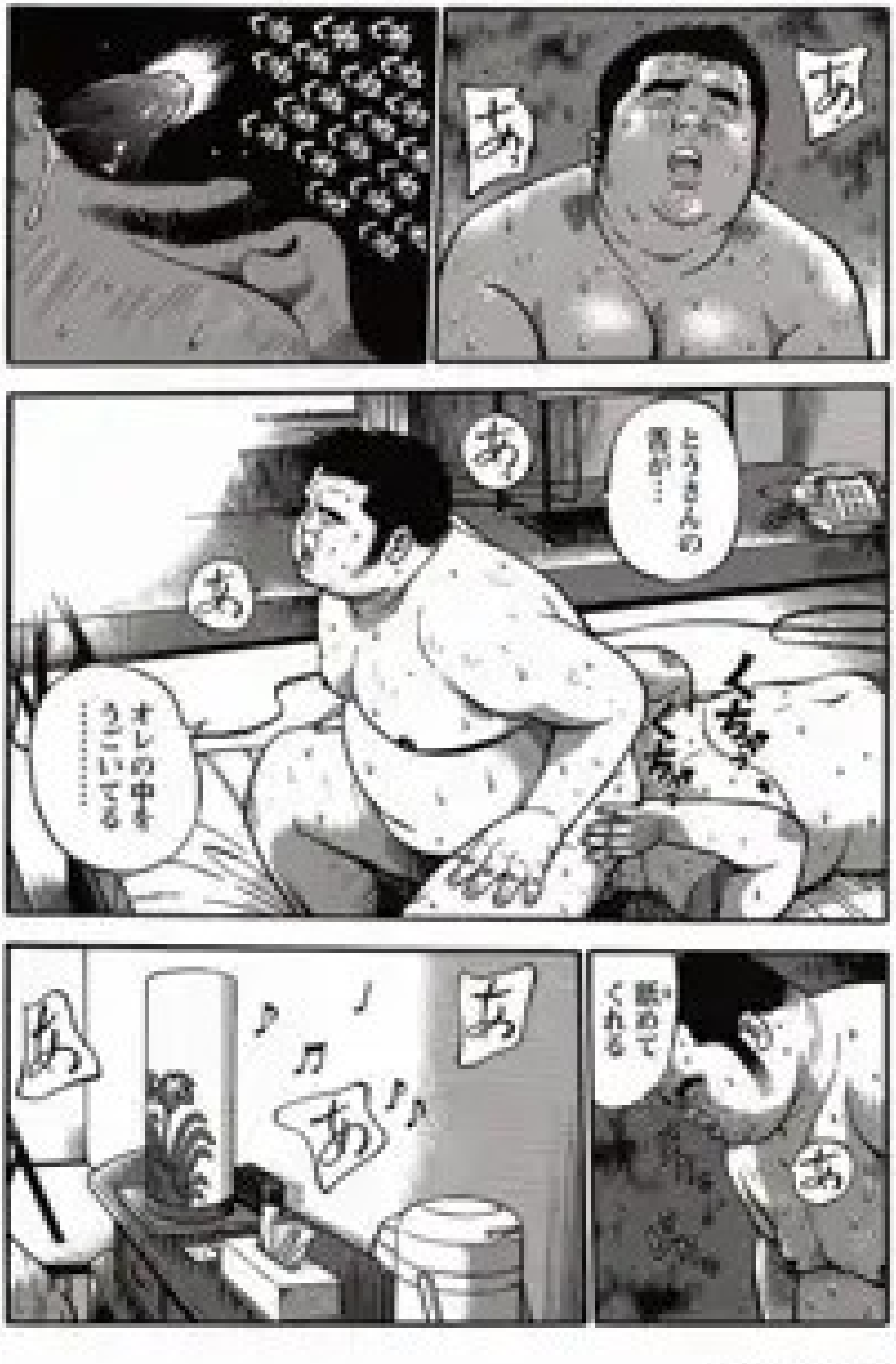
レロ
レロ
レロ
レロ
ヌヌッ
だめだよ
いま ぬいたら…
ヌヌヌ
ダメっ
はずかしいよ

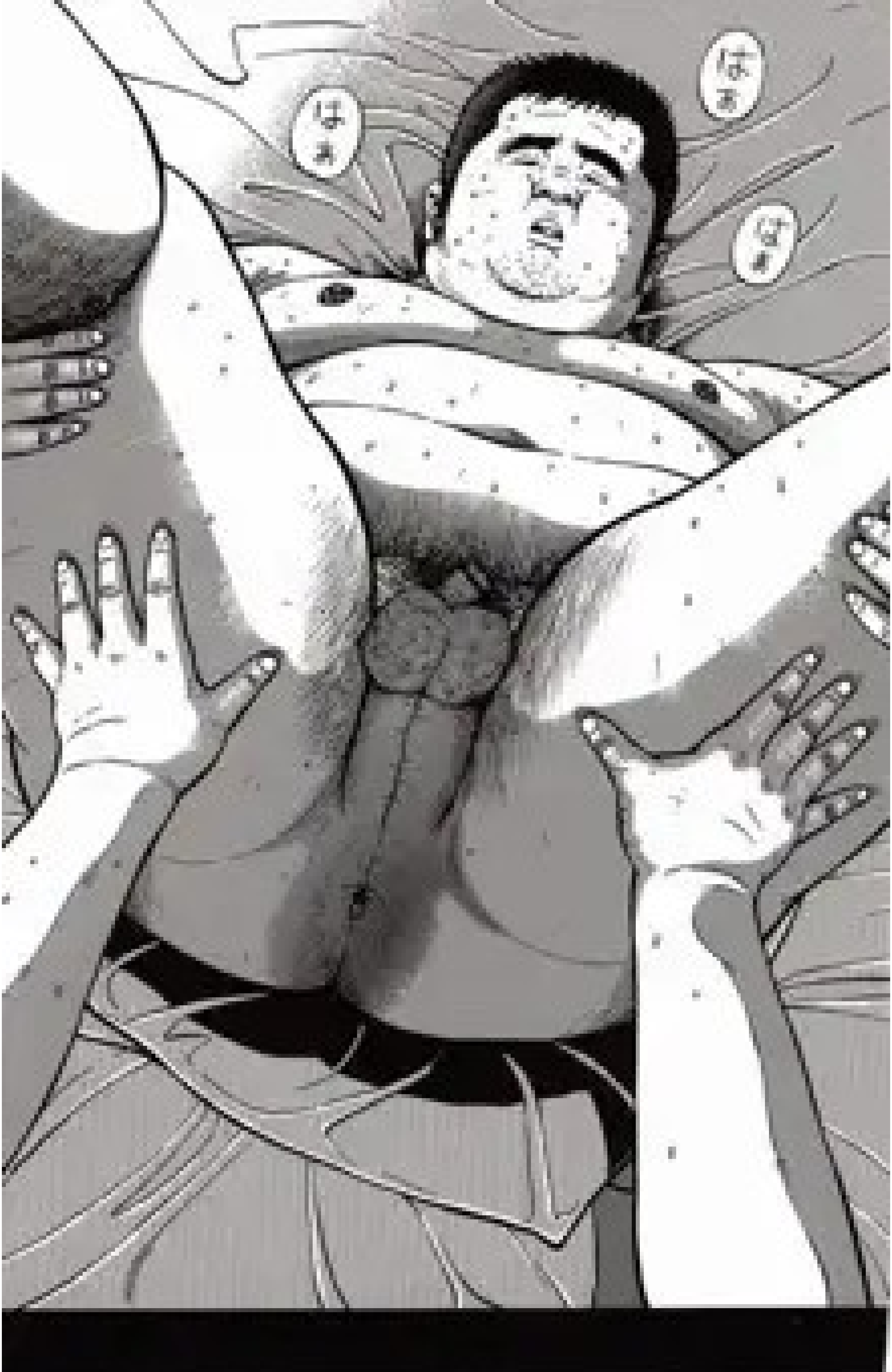

でる…
もれちゃう…
おとうさん
ちからをぬいて…
レロレロレロレロ
……
ドロ…
ブピュ
ドゥルルルルルル
ひく
ひく
ひく
ブルブルブルブル

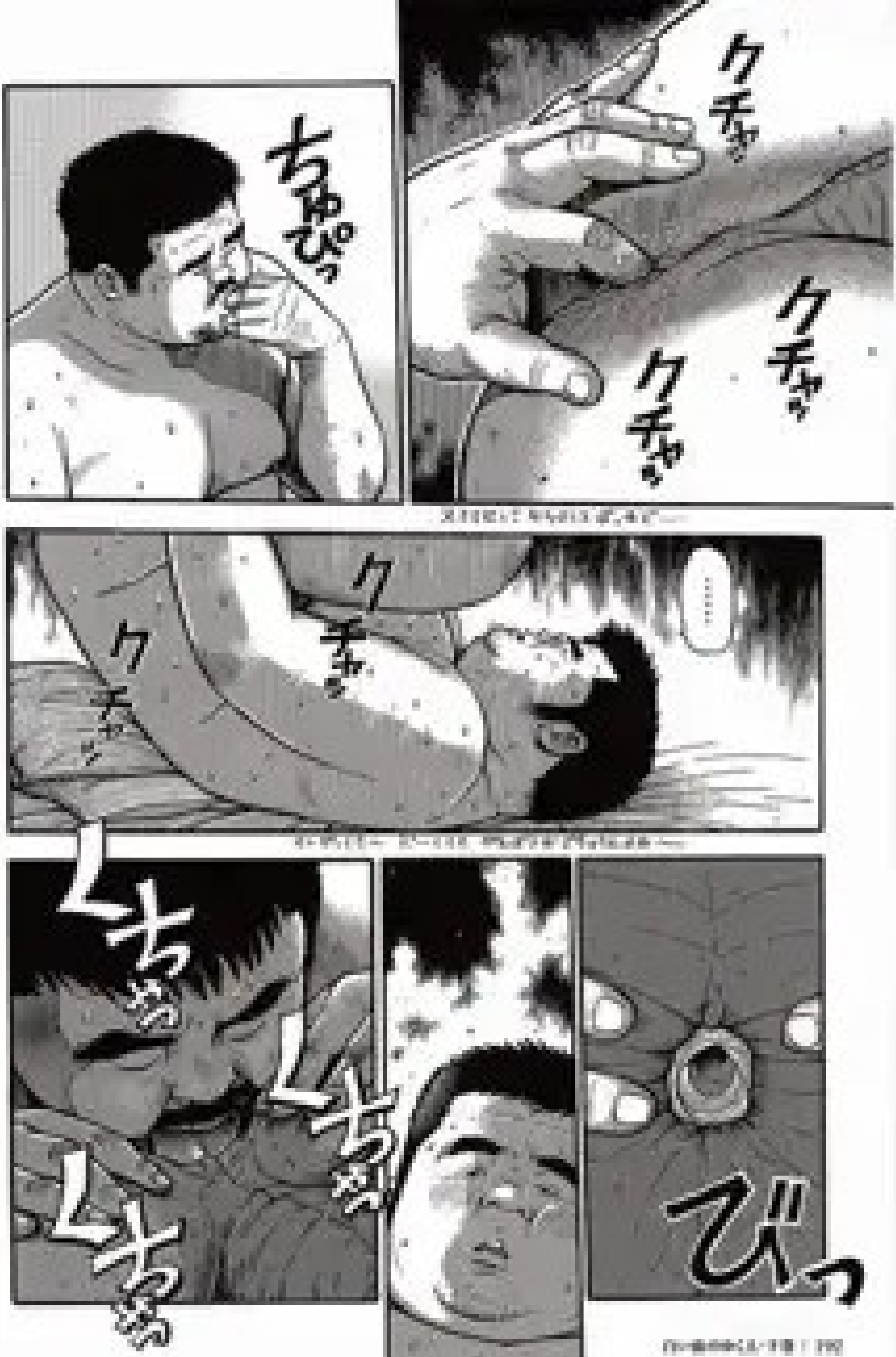

はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
ぬるっ


あ…
そん…な
あなの…
奥まで……
で…でも
あっ
ドッ
ドッ

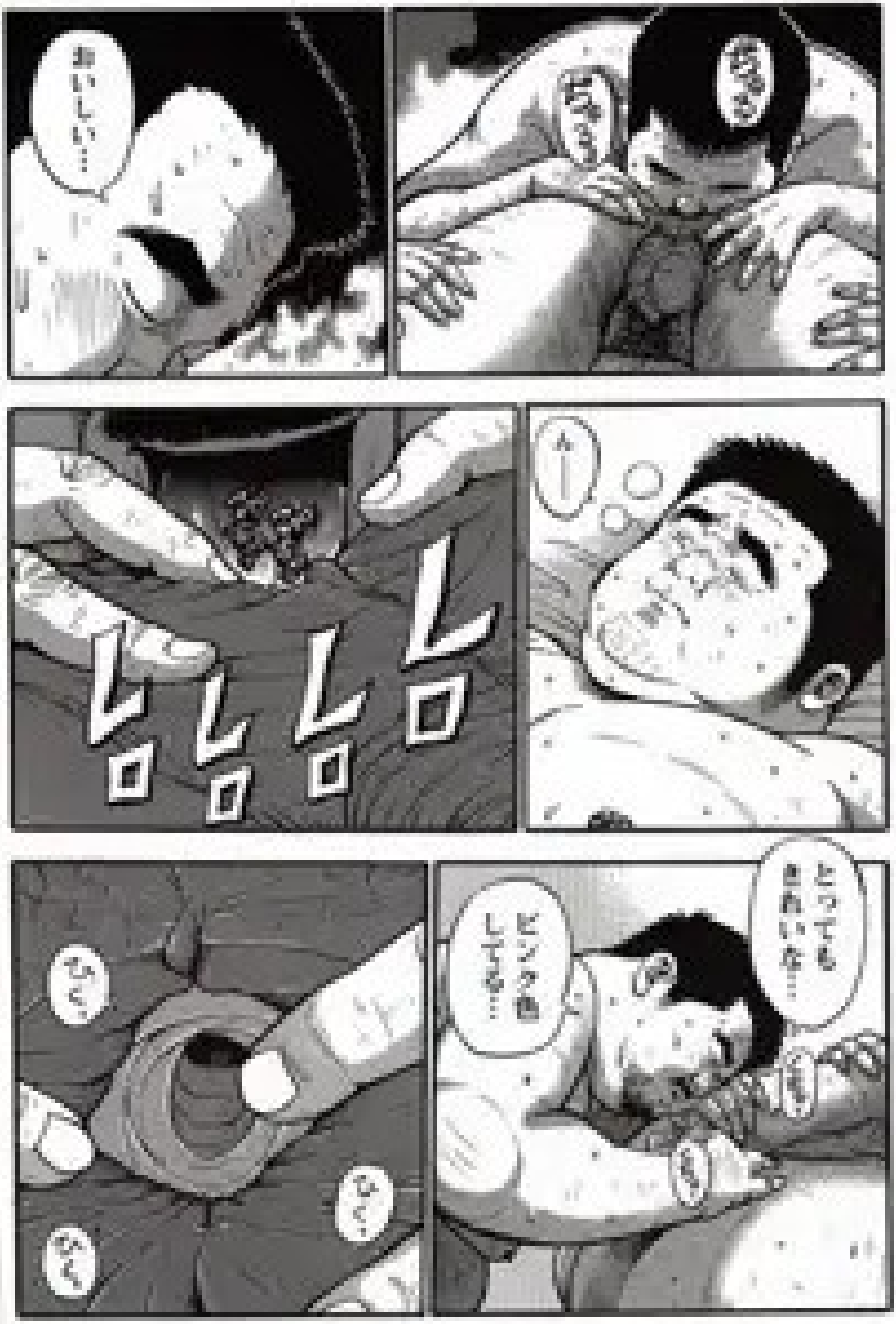

クチャ
クチャクチャ
あ
す
すごい
穴の奥が
うごくのが
わかる……
クチャ
クチャ
クチャ
クチャ
リチャ

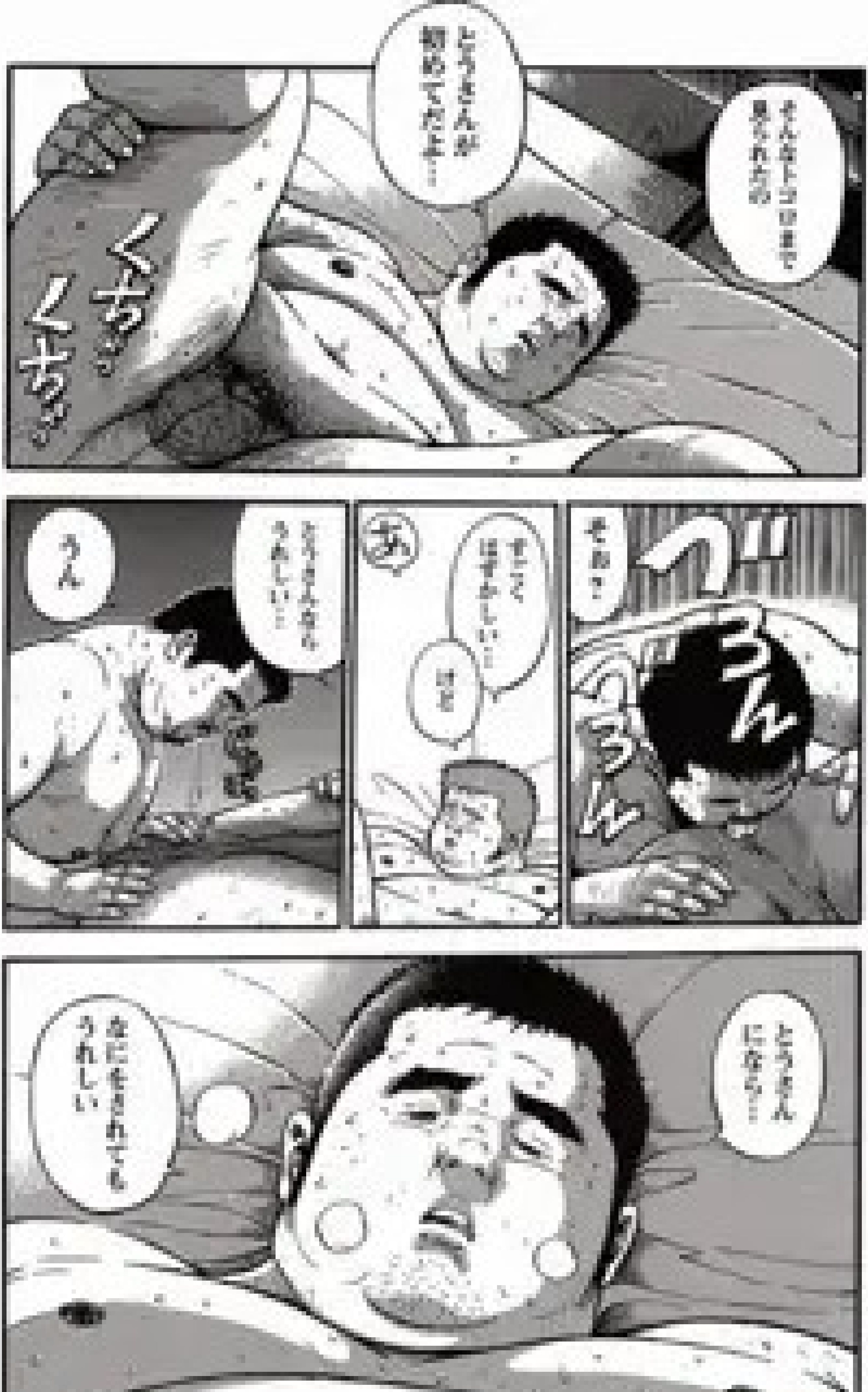
ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ
あっ
あっ
とうさんの男が…
あっ
あっ
くちゅ くちゅ
オレの中をうごいてる……
締めてくれる
あっ
あっ
あっ
あっ
♪ ♪ ♪ ♪ ♪

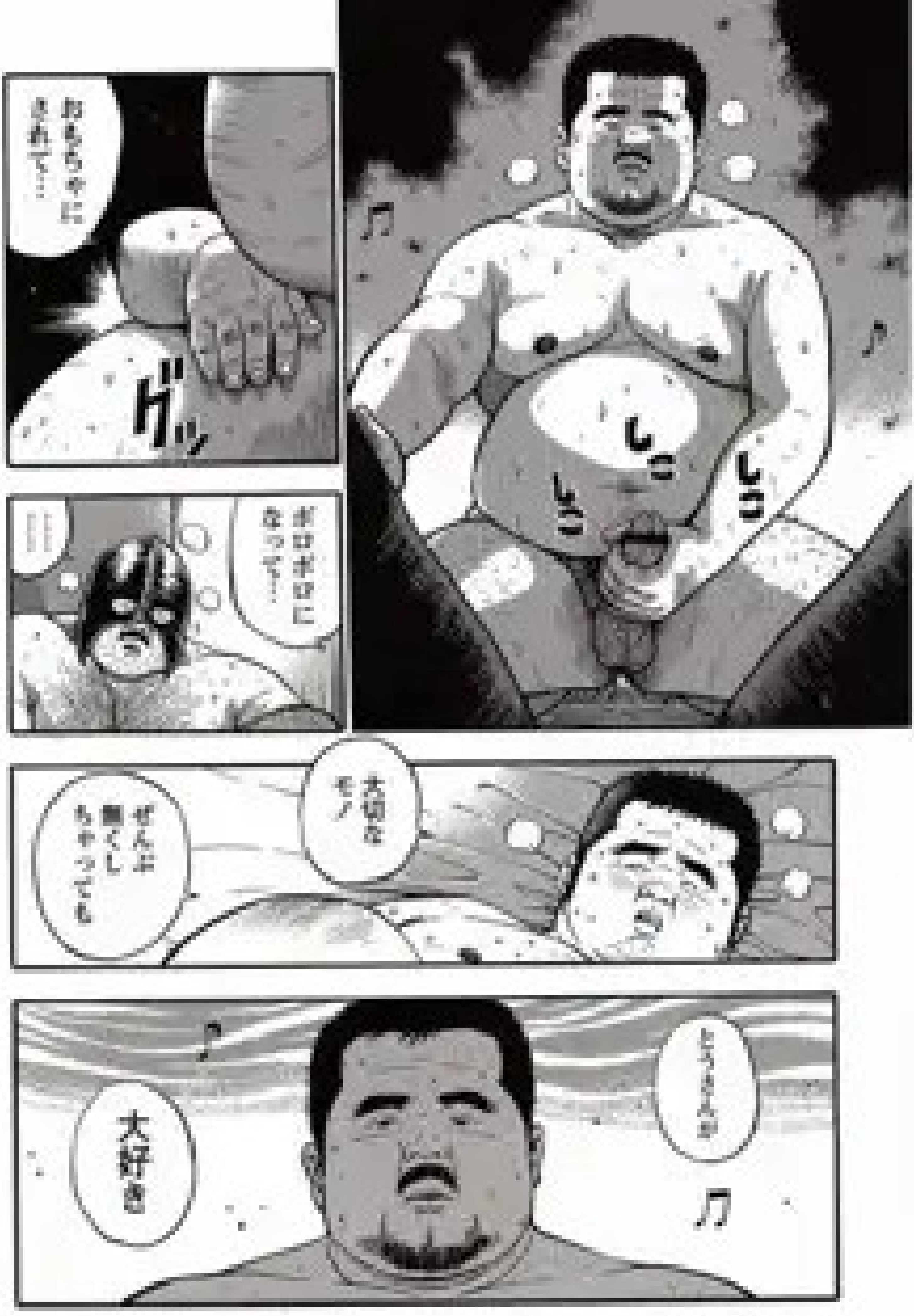

はぁ
はぁ
はぁ


クチャッ
クチャッ
クチャッ
ちゅぴっ
……
クチャッ
クチャッ
ぴっ
ムちゅ
ムちゅ
ムちゅ

くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ

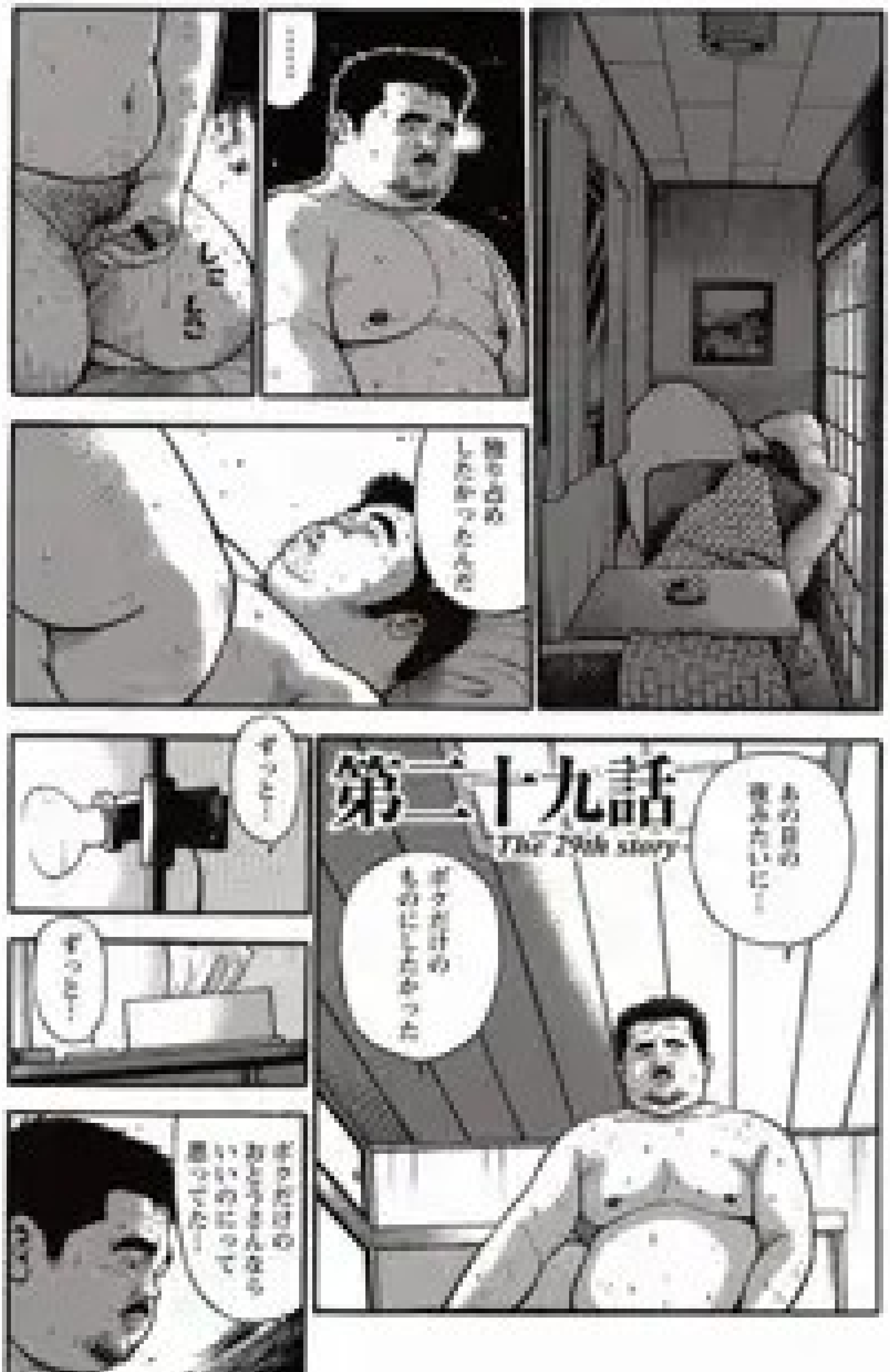

おいしい…？
ん……
レロ
レロ
レロ
レロ
とってもきれいな…
ピンク色してる…
ひくっ
ひくっ
ひくっ

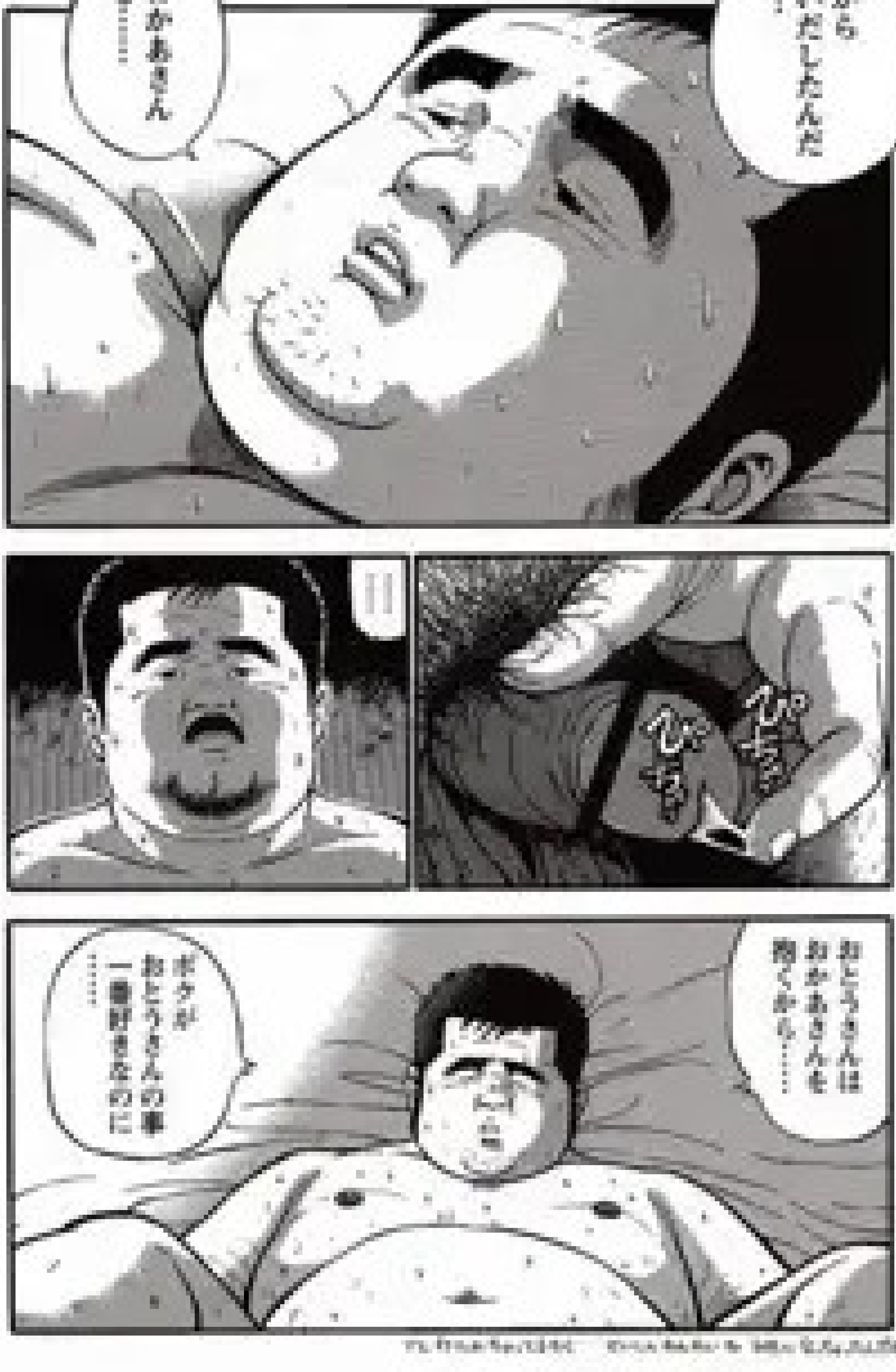

そんなトコロまで
見られたの
とうさんが
初めてだよ…
くちゅ
くちゅ
そおっ
すっごく
恥ずかしいよ…
けど
あ
とうさんなら
うれしい…
うん
とうさん
になら…
なにをされても
うれしい

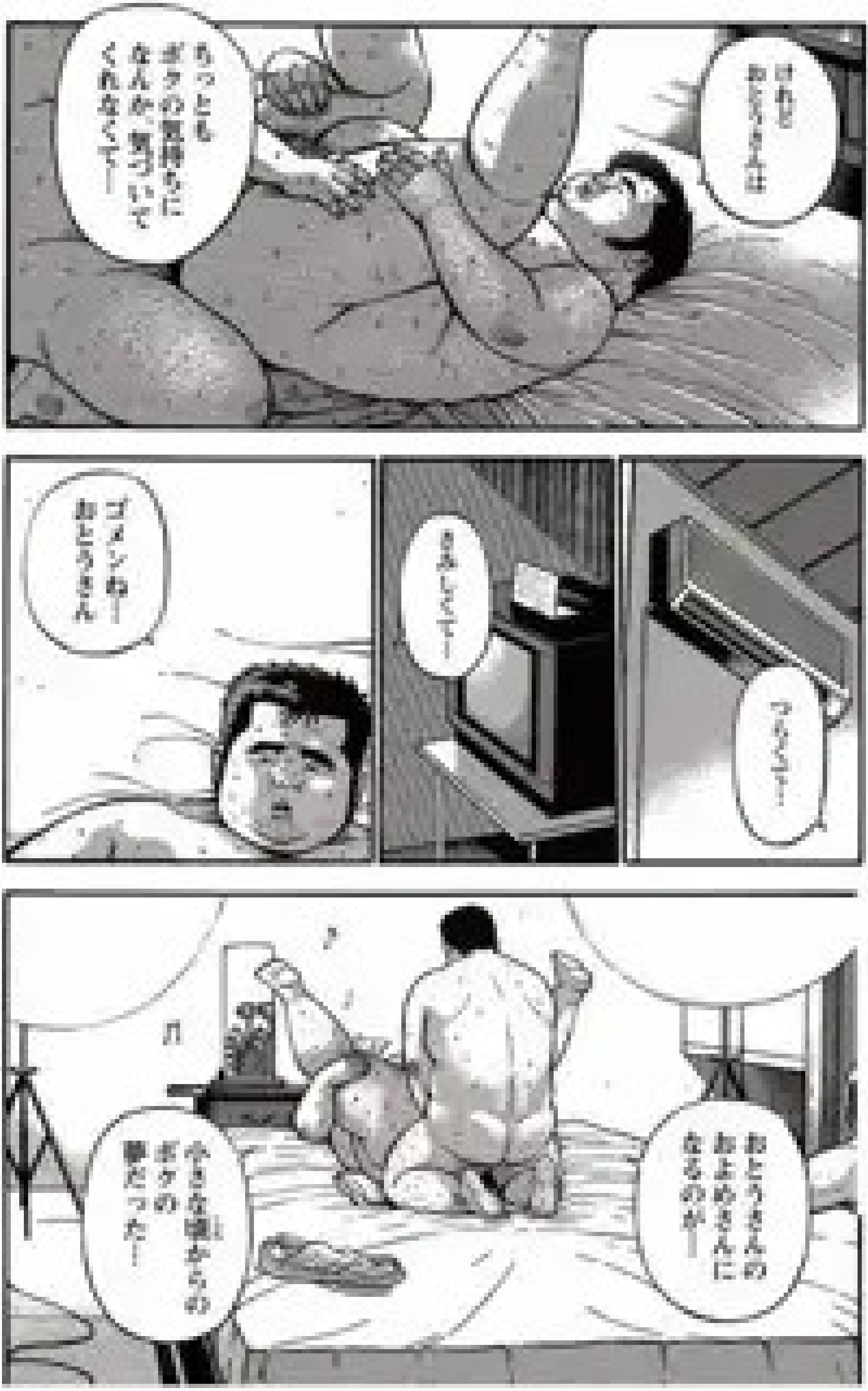

しこ
しこ
しこ
おもちゃに
されて…
ギュッ
ボロボロに
なって…！
……！
大切な
モノ
ぜんぶ
無くし
ちゃっても
とうさんが
大好き

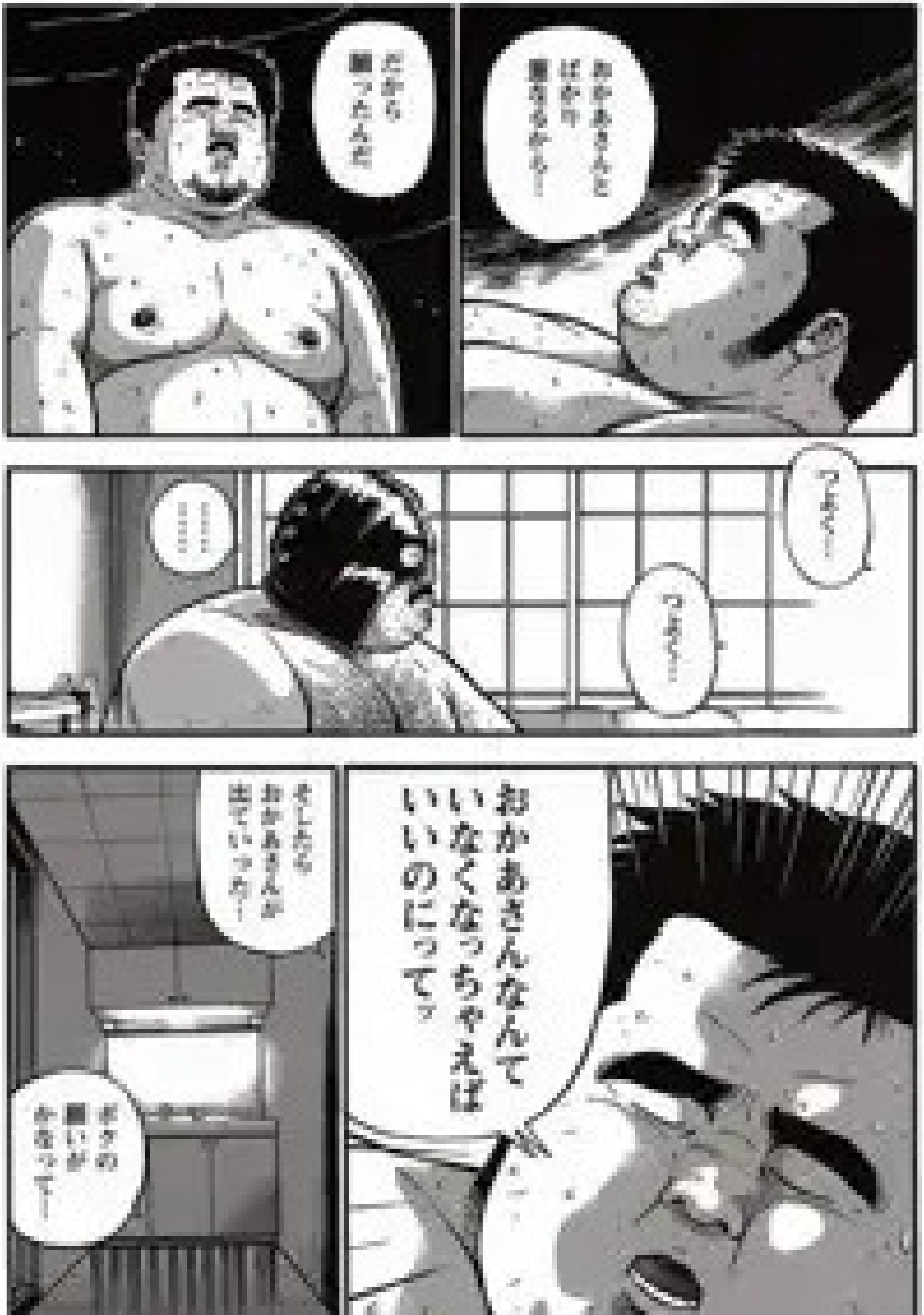
第二十九話

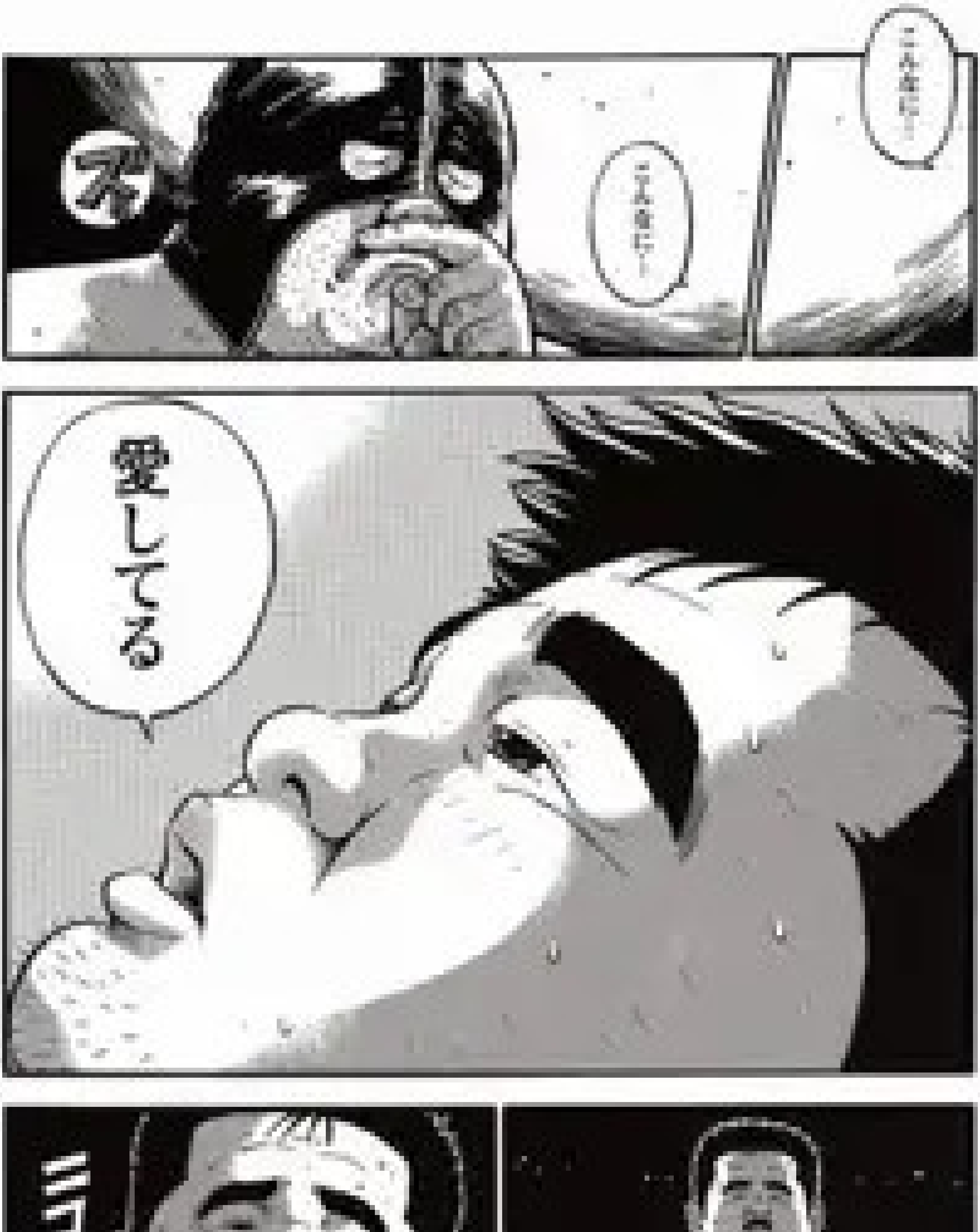
The 29th story

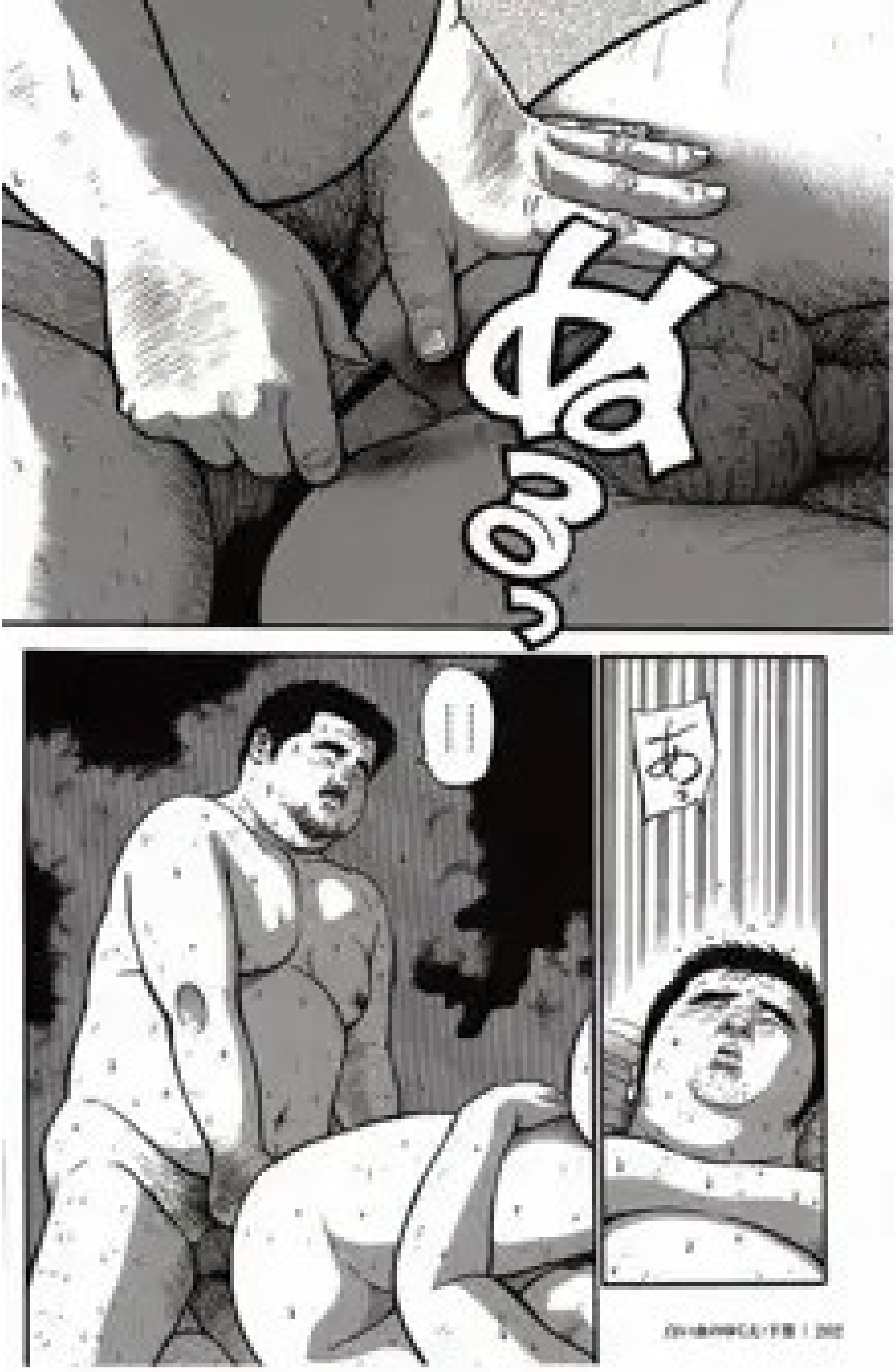

……
独り占め
したかったんだ
あの日の
豊太みたいに…
ボクだけの
ものにしたかった
ずっと…
ずっと…
ボクだけの
お父さんなら
いいのにって
思ってた…

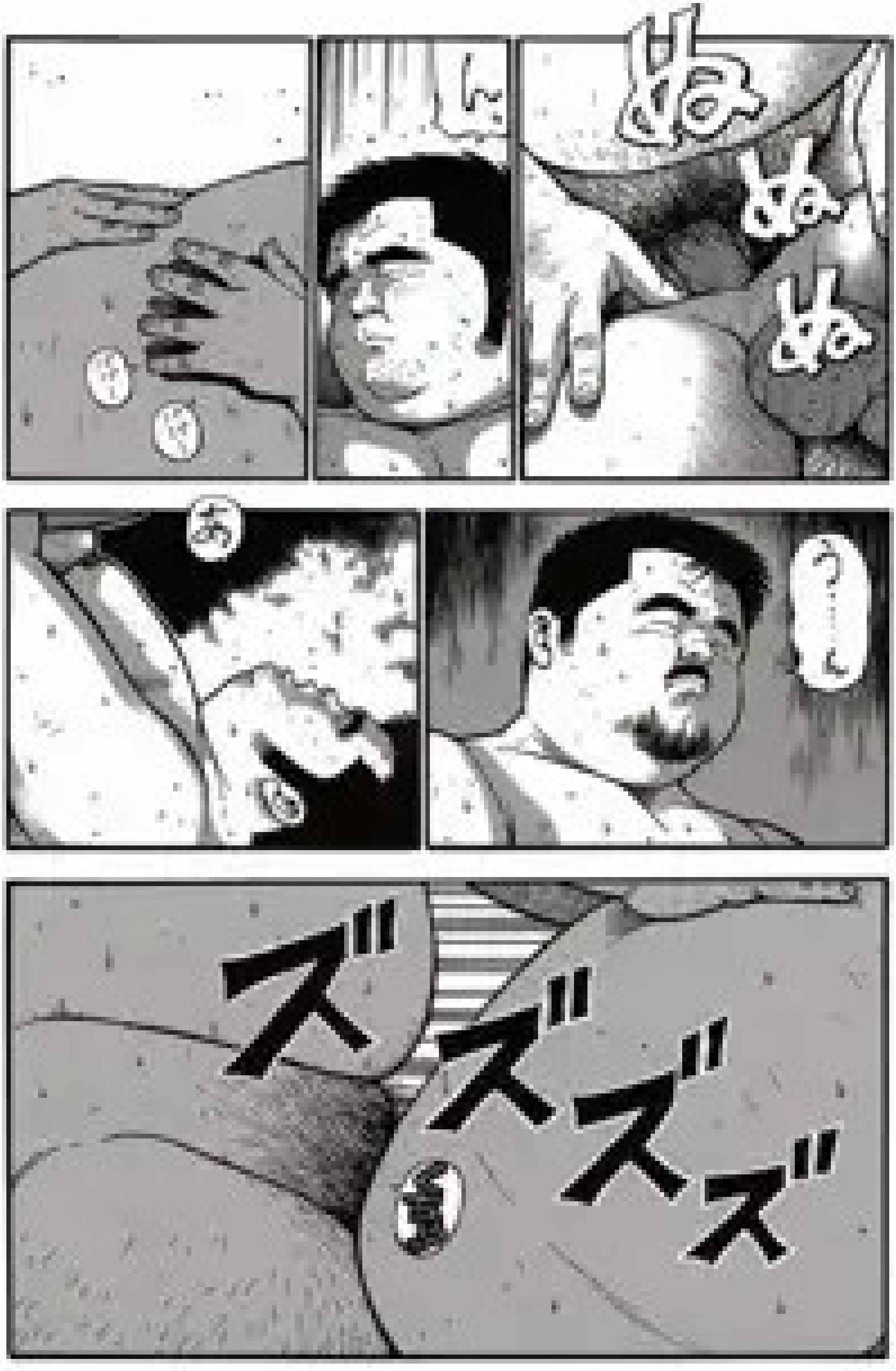

だから
おいだしたんだ……
おかあさん
を……
!!
おとうさんは
おかあさんを
抱くから……
ボクが
おとうさんの事
一番好きなのに
……


けれど
おとうさんは
ちっとも
ボクの気持ちに
なんか、気づいて
くれなくて―
フウゥー…
ホントにー
ゴメンねー
おとうさん
おとうさんの
およめさんに
なるのが―
小さな頃からの
ボクの
夢だった―

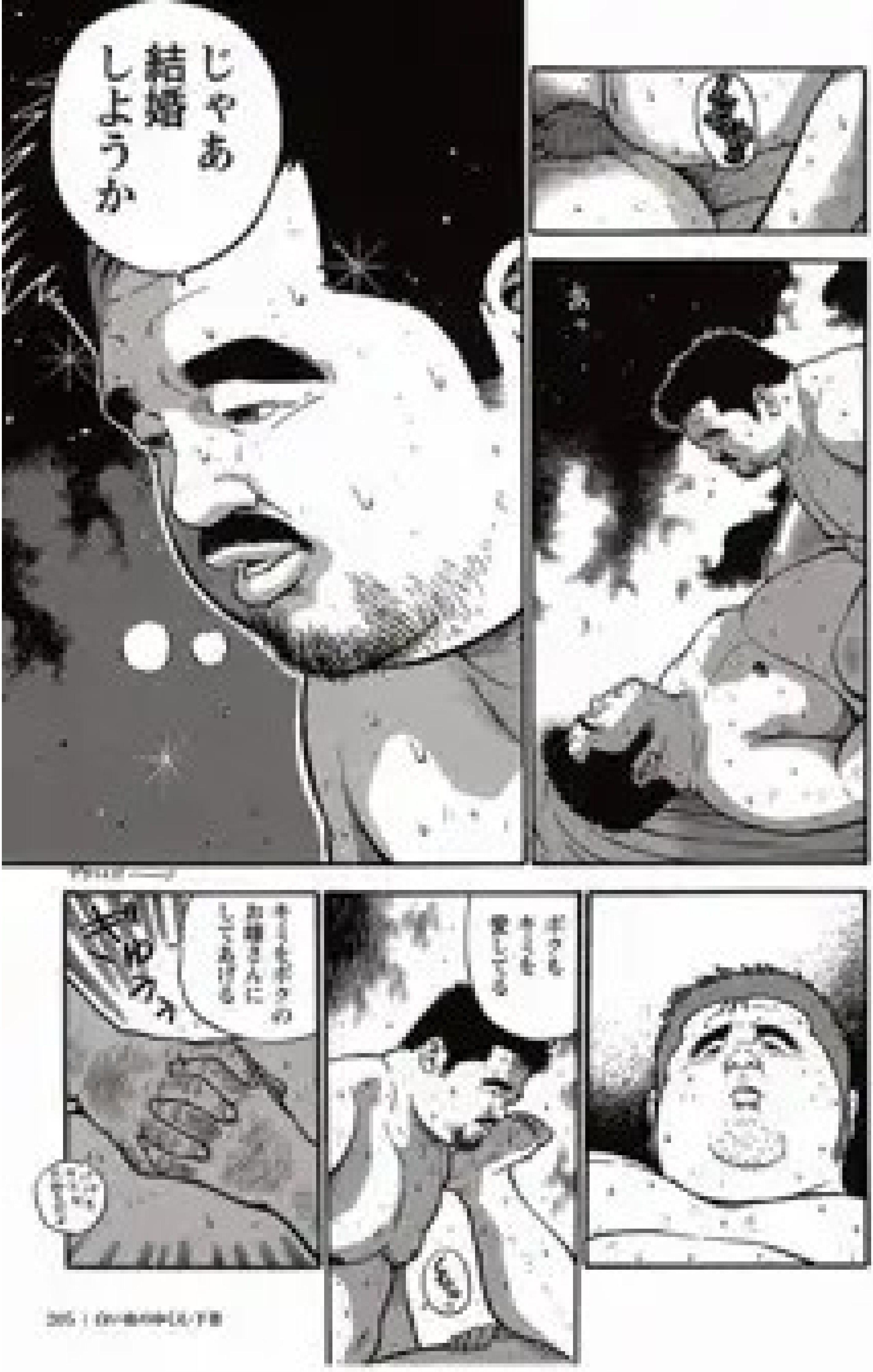

おかあさんと
ばかり
遊ぶからっ…
だから
嫌ったんだ
つまり…
つまり…
……
……
おかあさんなんて
いなくなっちゃえば
いいのにって
そしたら
おかあさんが
出ていっちゃ…
ボクの
願いが
かなってー

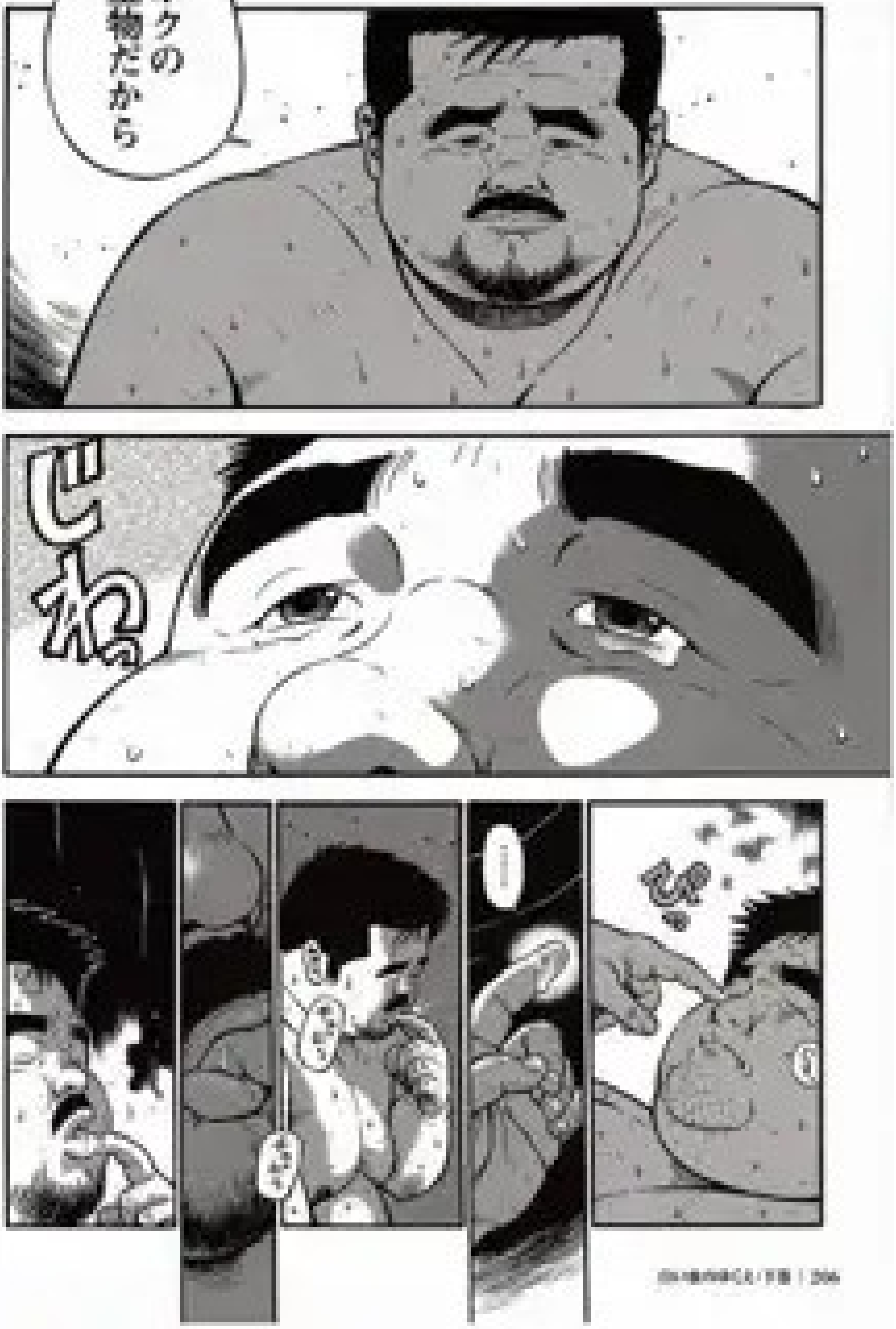

こんなに…
こんなに…
愛してる
ニコッ

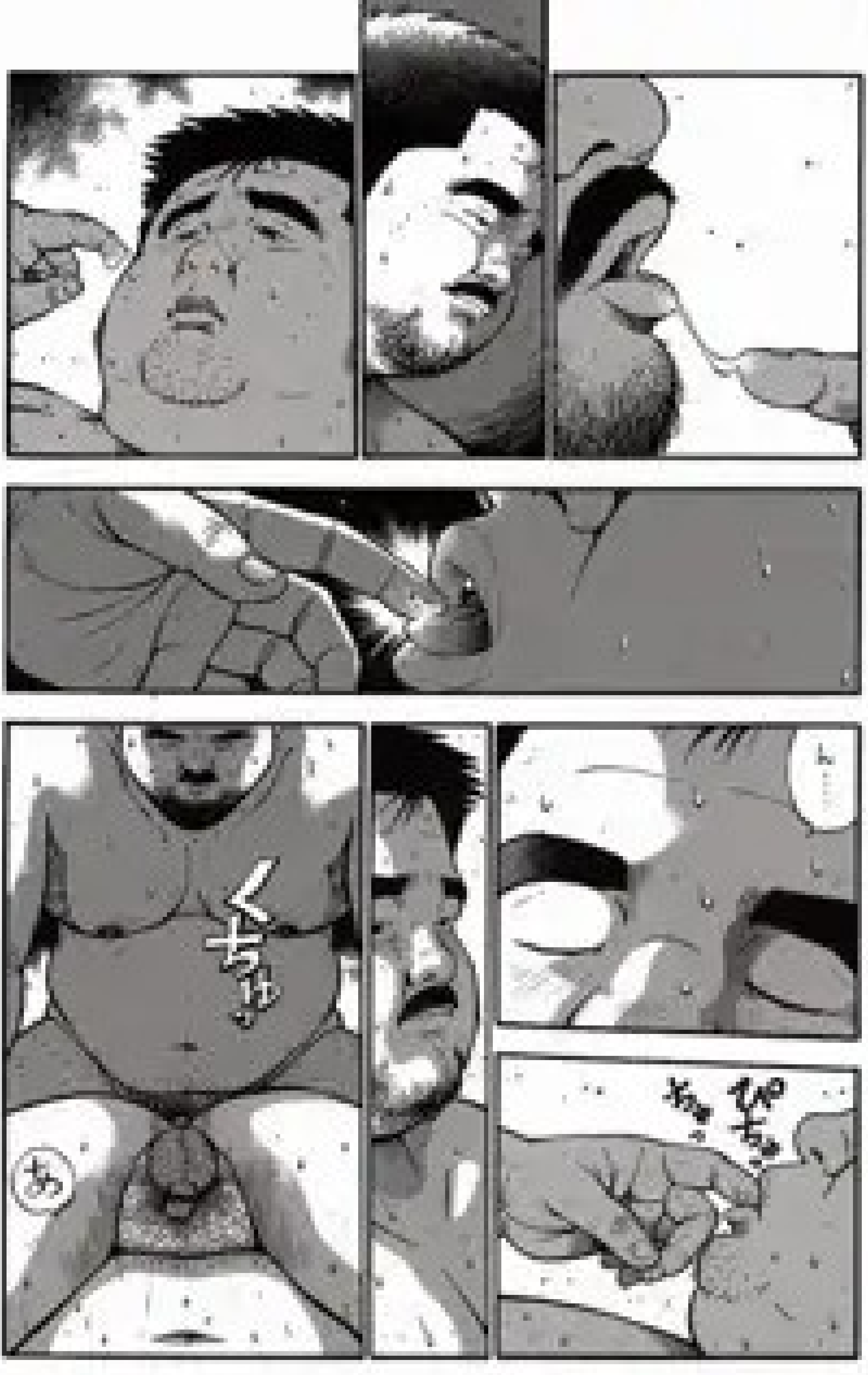

ぬるるっ
……
あっ


は
ぬ
ぬ
ん
う……ん
あ
ズズズズ

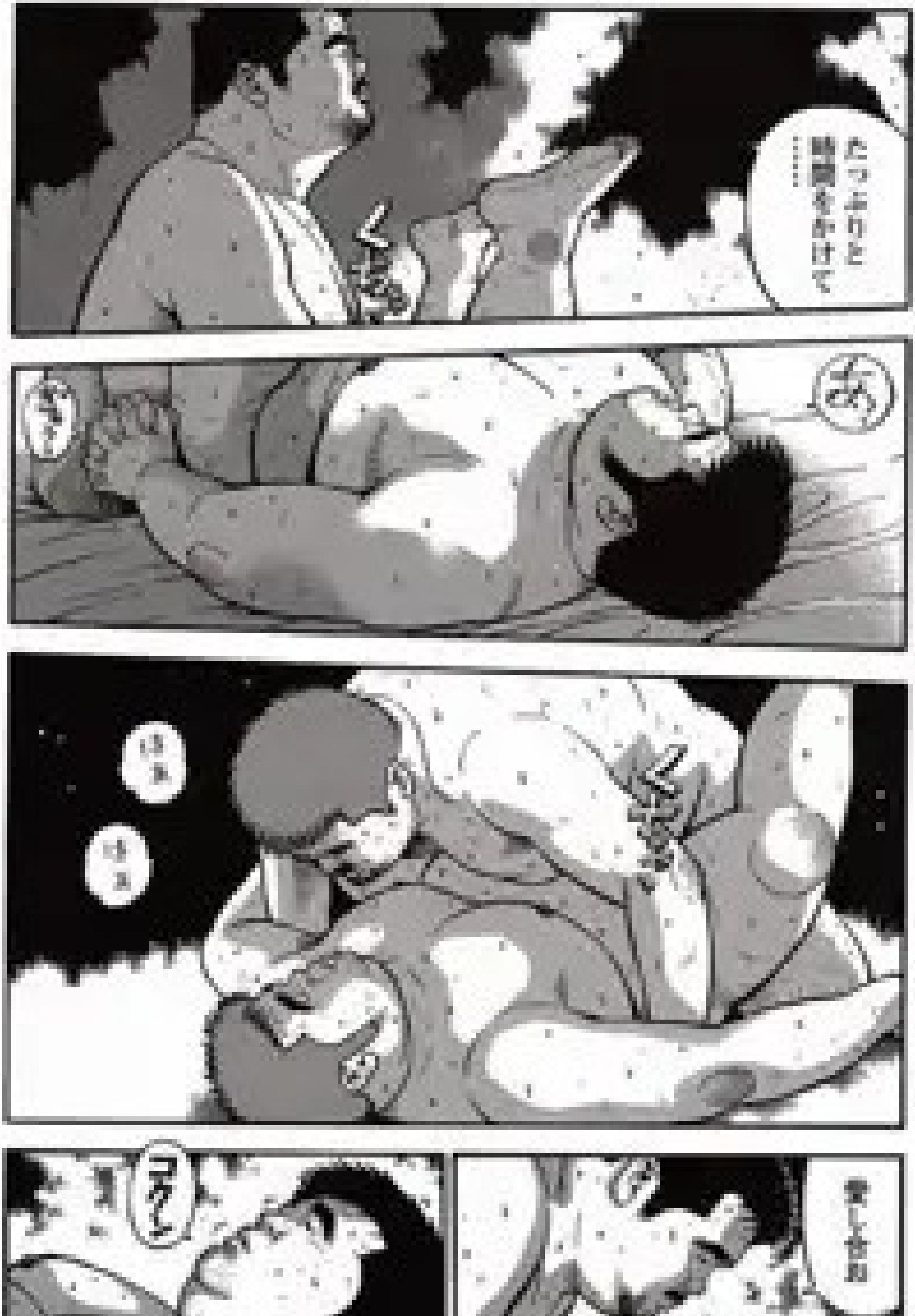
あはっ
グプ
グプ
グプ
ギュッ
あ
あ

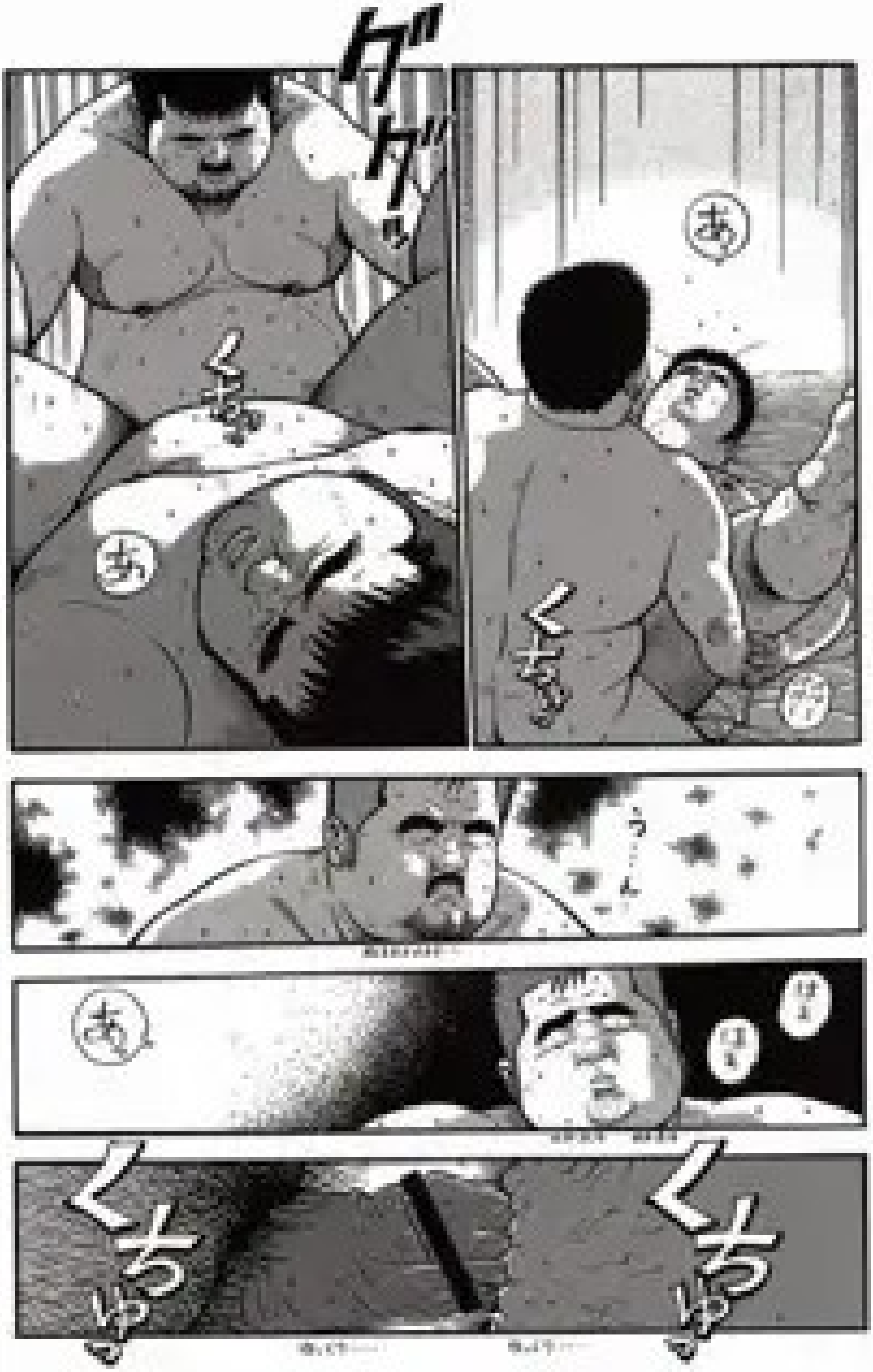

じゃあ
結婚
しようか
あ…
ボクも
キミを
愛してる
キミをボクの
お嫁さんに
してあげる

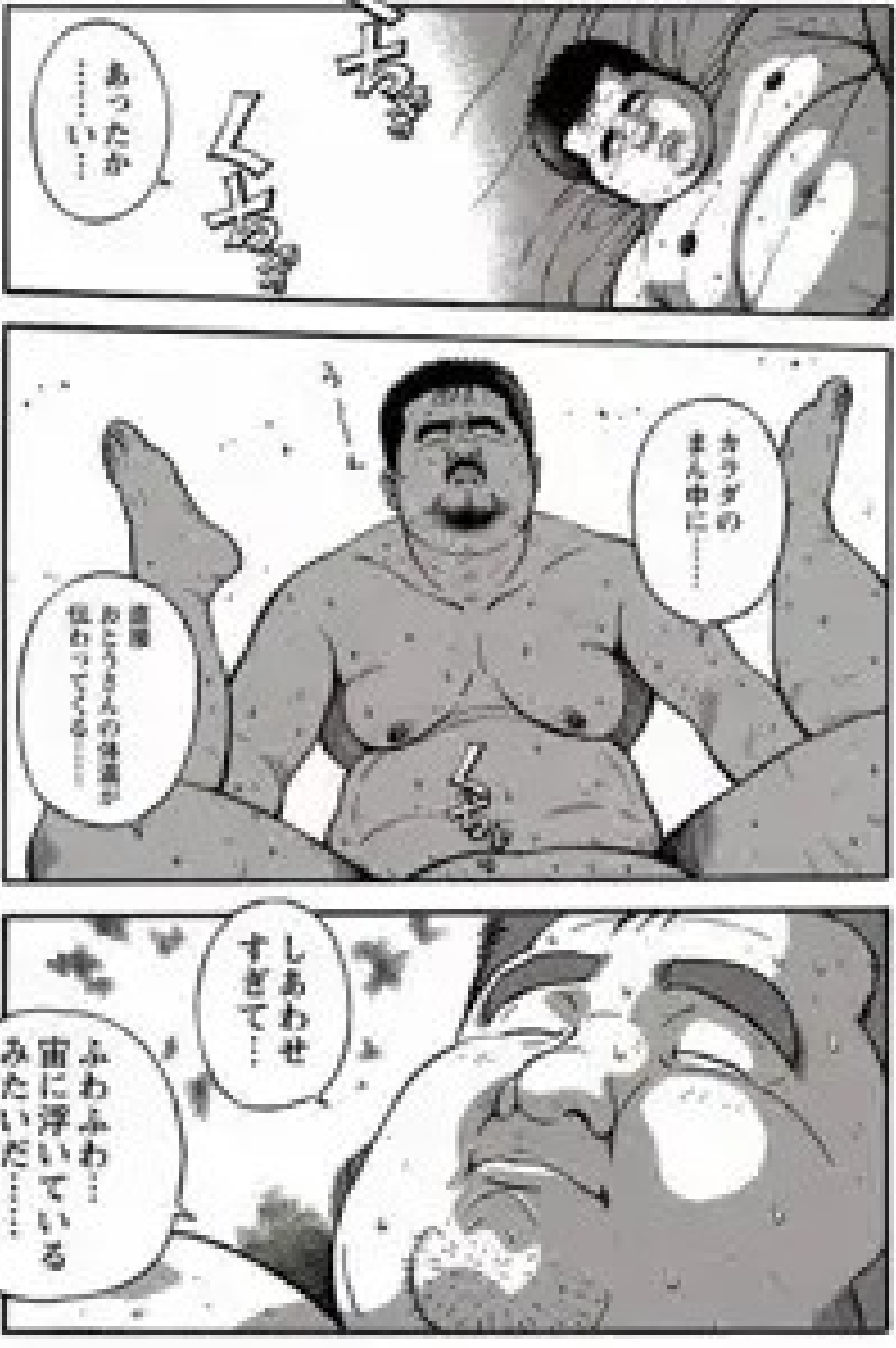

ボクの宝物だから
じわっ
……

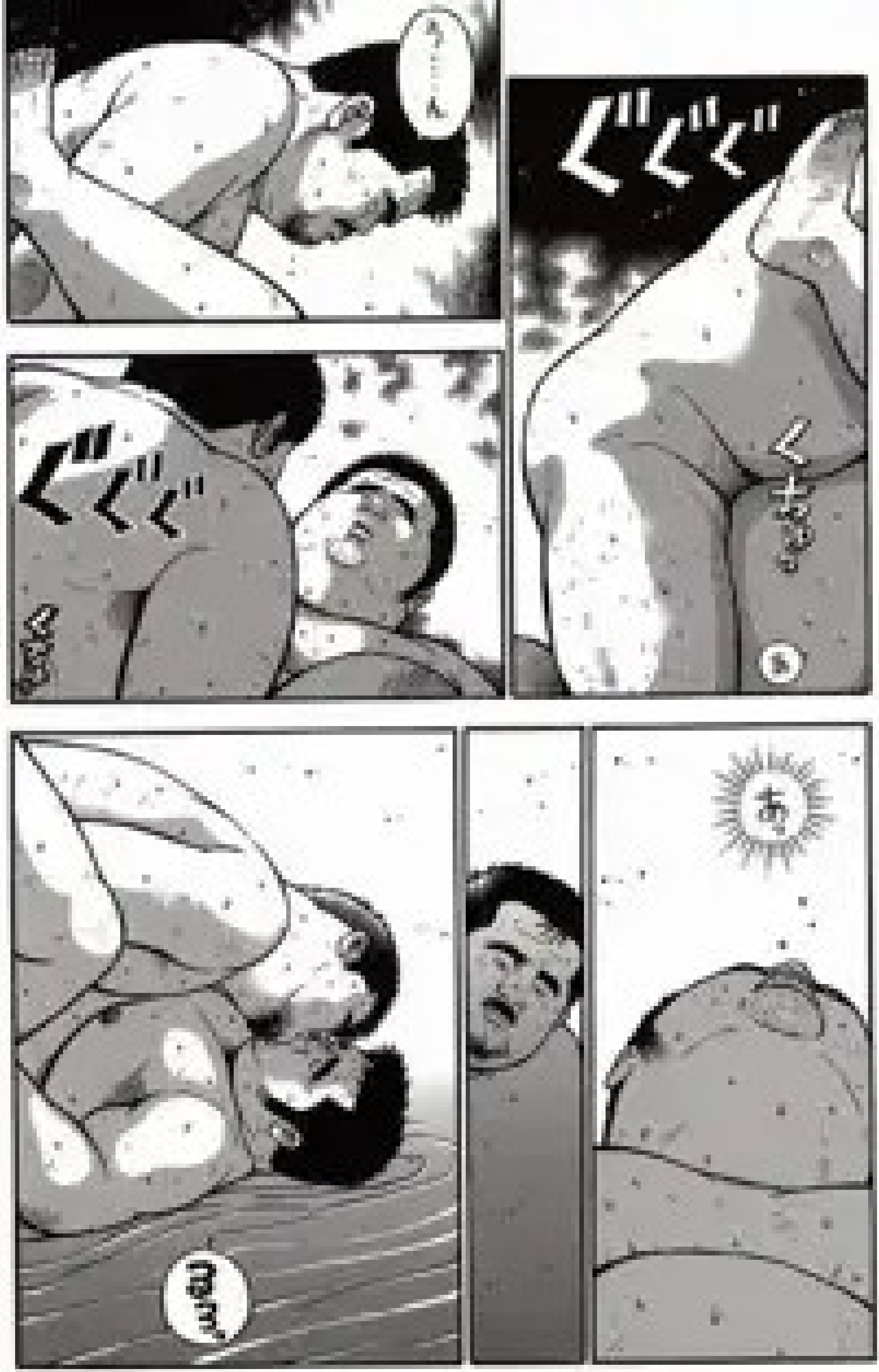

ん……
くちゅ…
あ
ぬちゅ
ぬぷ

あ
ゆっくりたのしもー
ゆっくり…
あ
ゆっくり〜
あ


たっぷりと
時間をかけて
……
あ
はぁ
はぁ


ググッ
あ
くちゅ
あ
くちゅ
う〜ん
はぁ
はぁ
あ
くちゅ
くちゅ

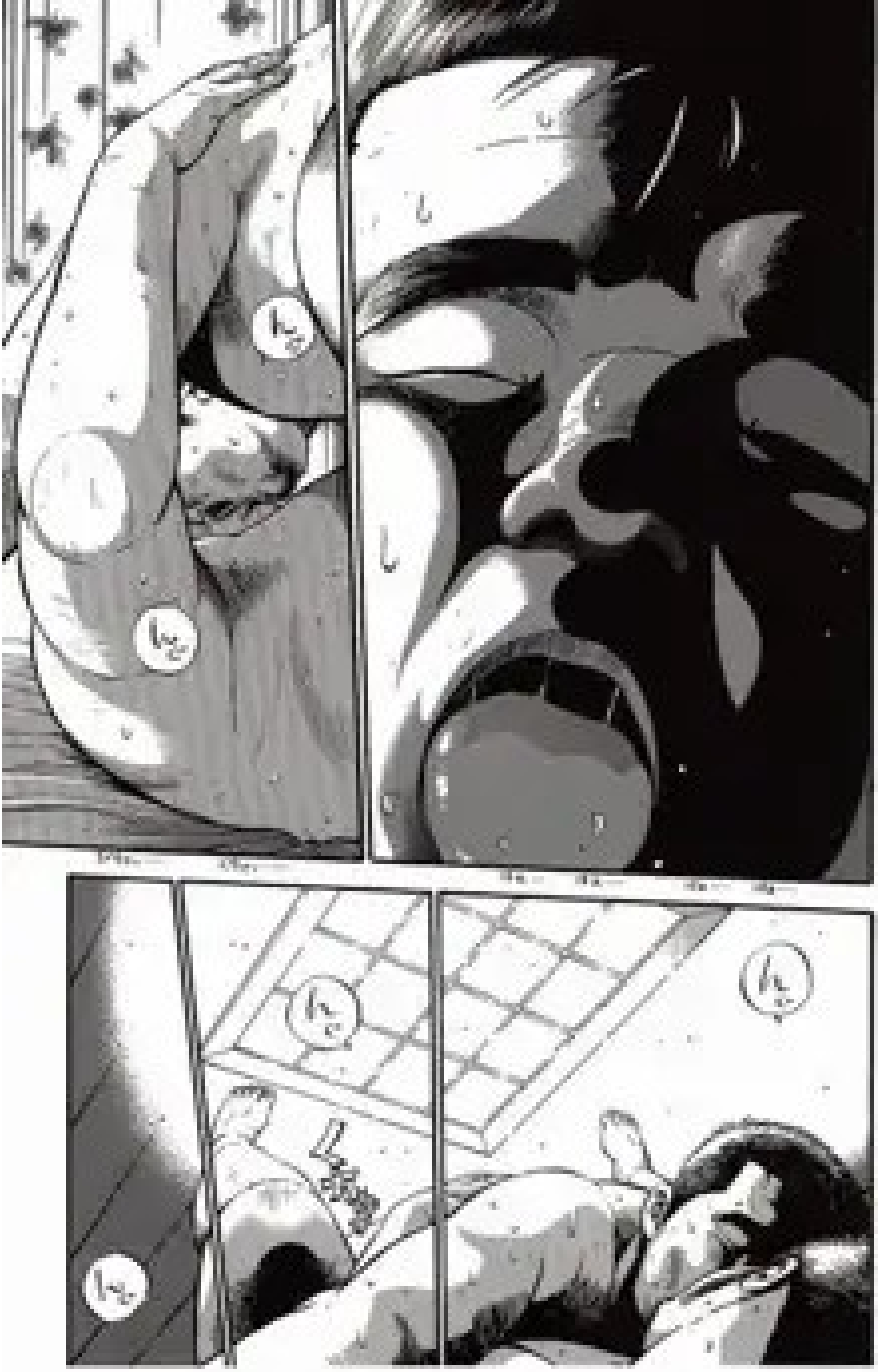

あったか……い……
カラダのまん中に……
おとうさんの体温が伝わってくる……
しあわせすぎて…
ふわふわ…宙に浮いているみたいだ……


ぐ"ぐ"ぐ"
う……ん
ぐ"ぐ"ぐ"
あ
あ

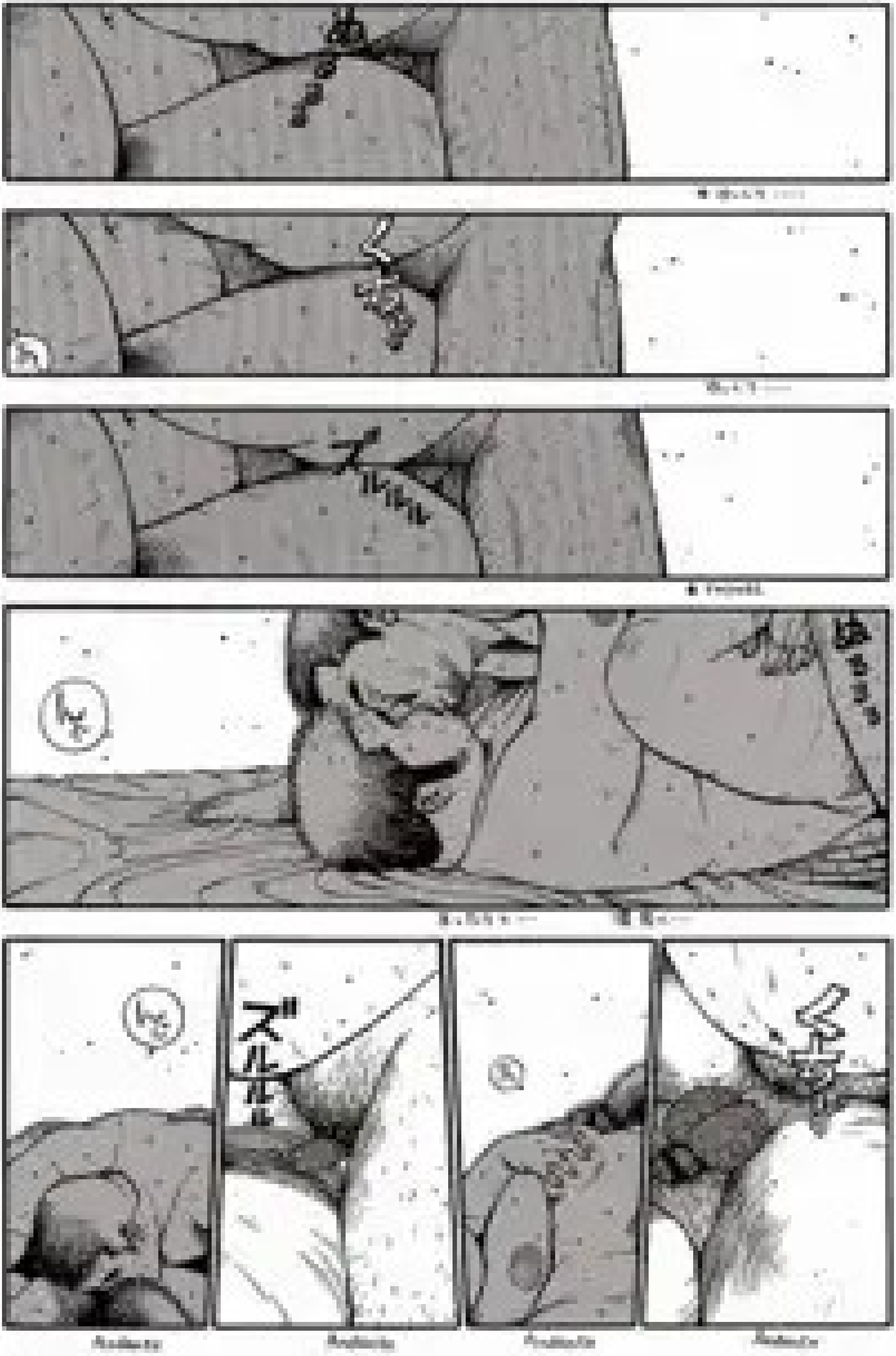
第三十話

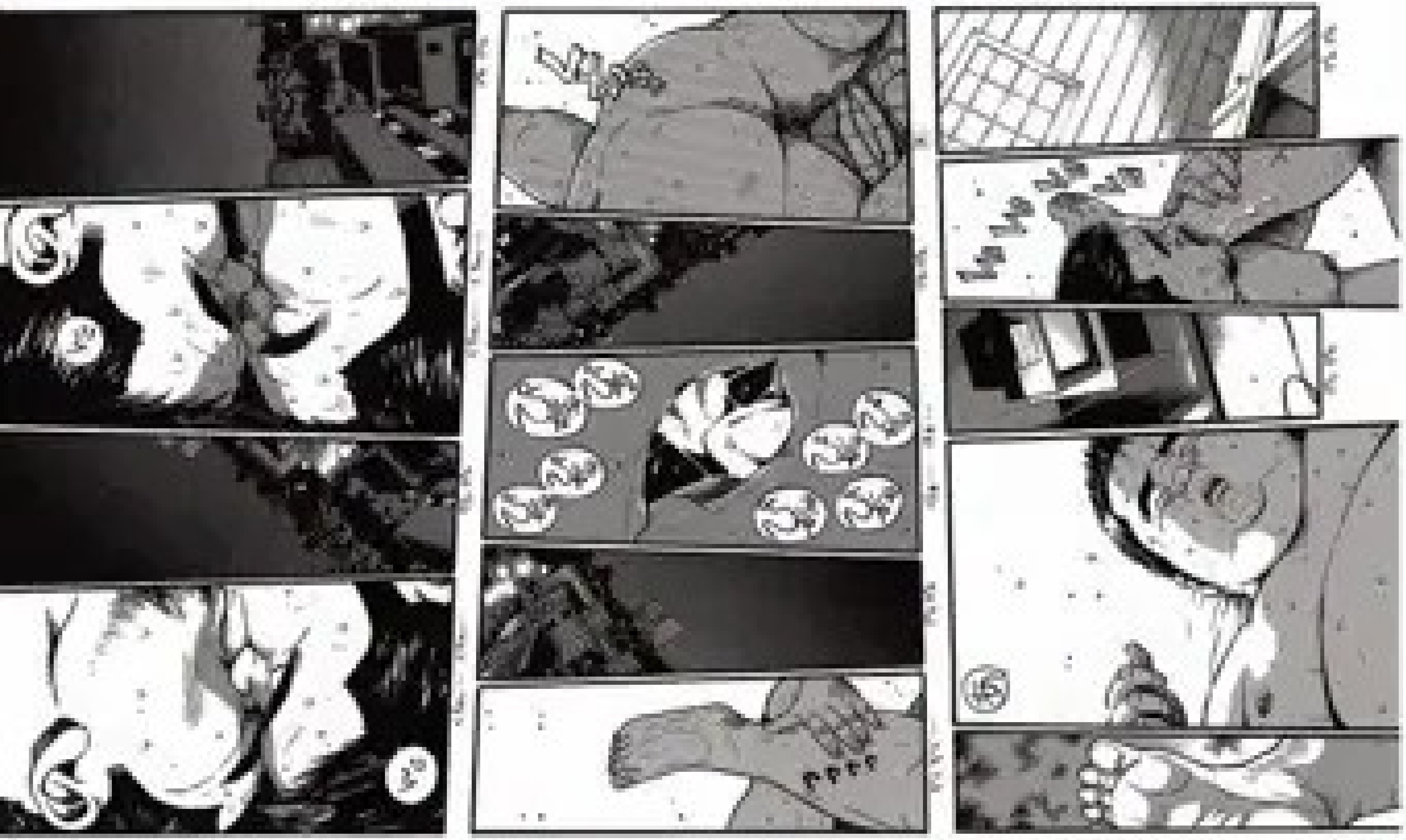
The 30th story

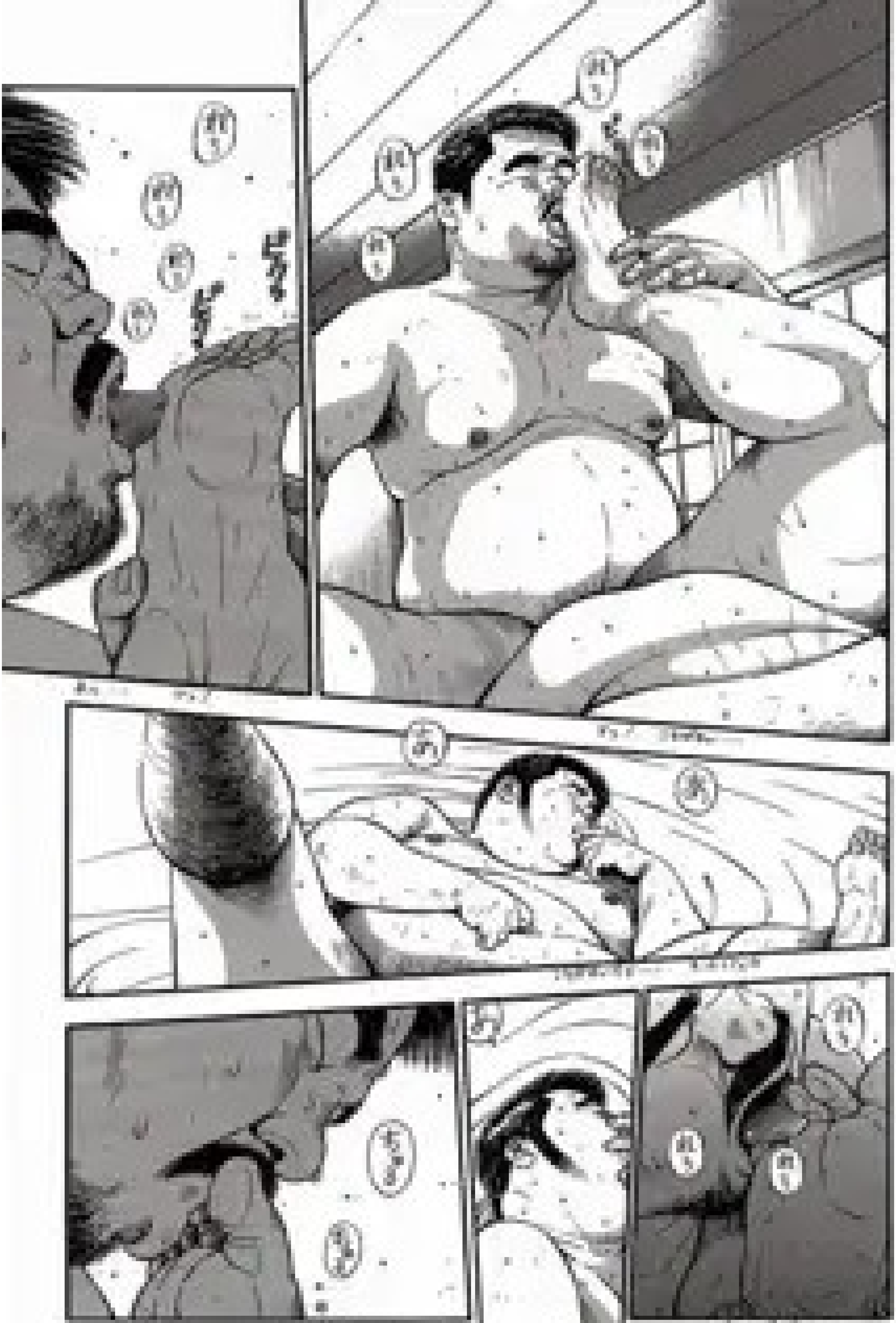
ん
ん
ぢゅぽ
ぢゅぽ
ちゅぷ
ズズッ

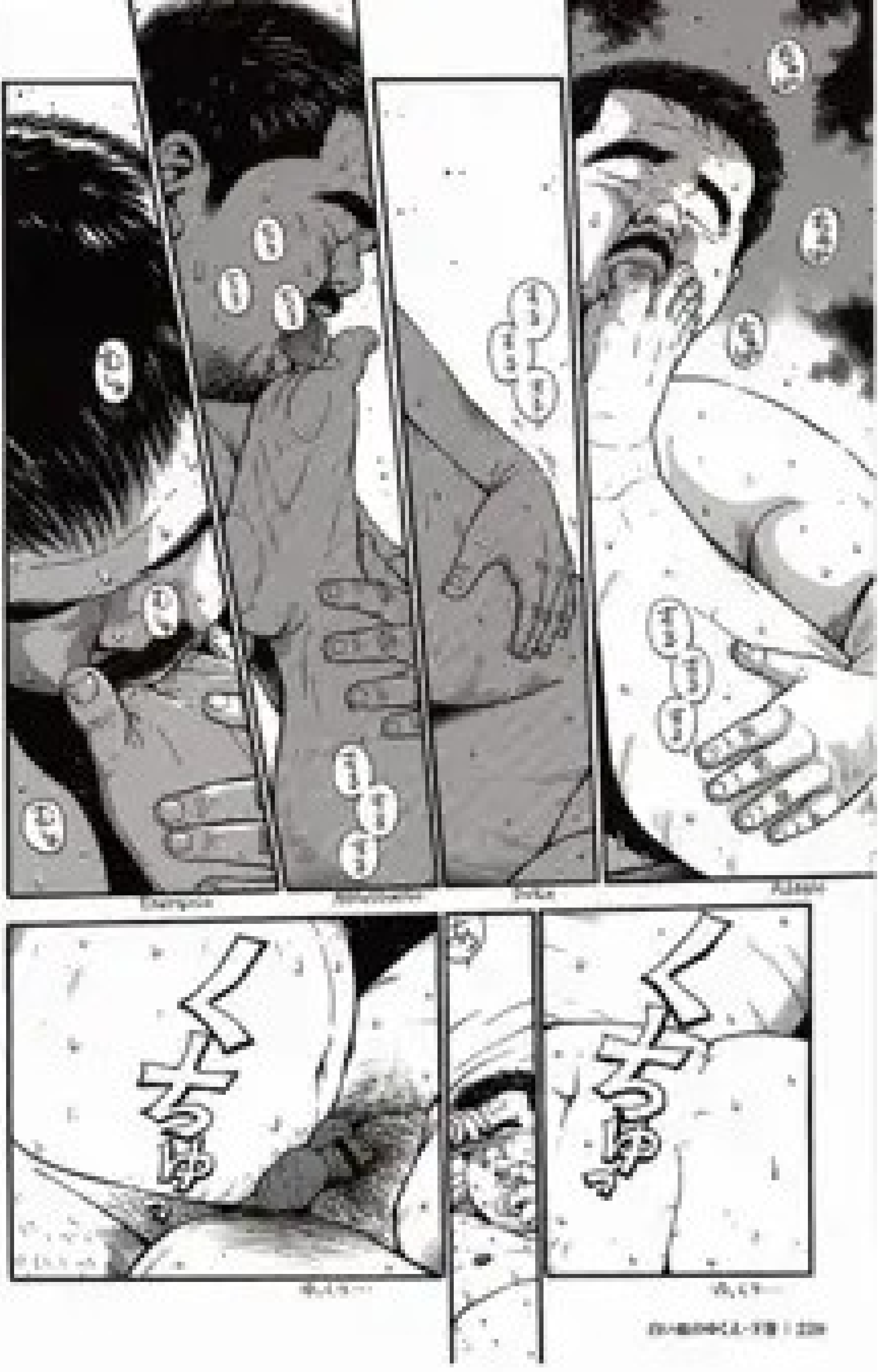

んっ
んっ
んっ
んっ
んっ

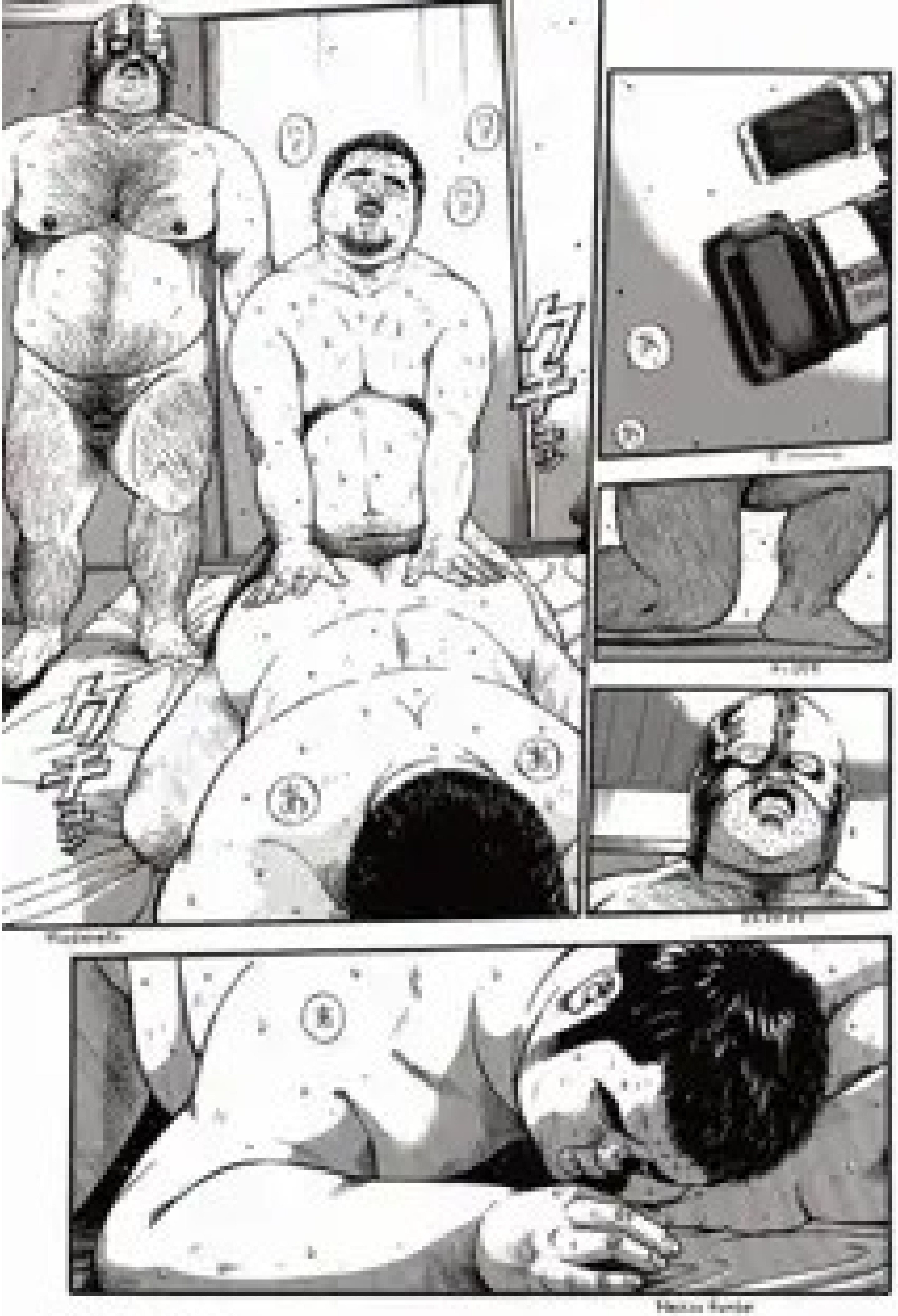
んっ
んっ
んっ
あ

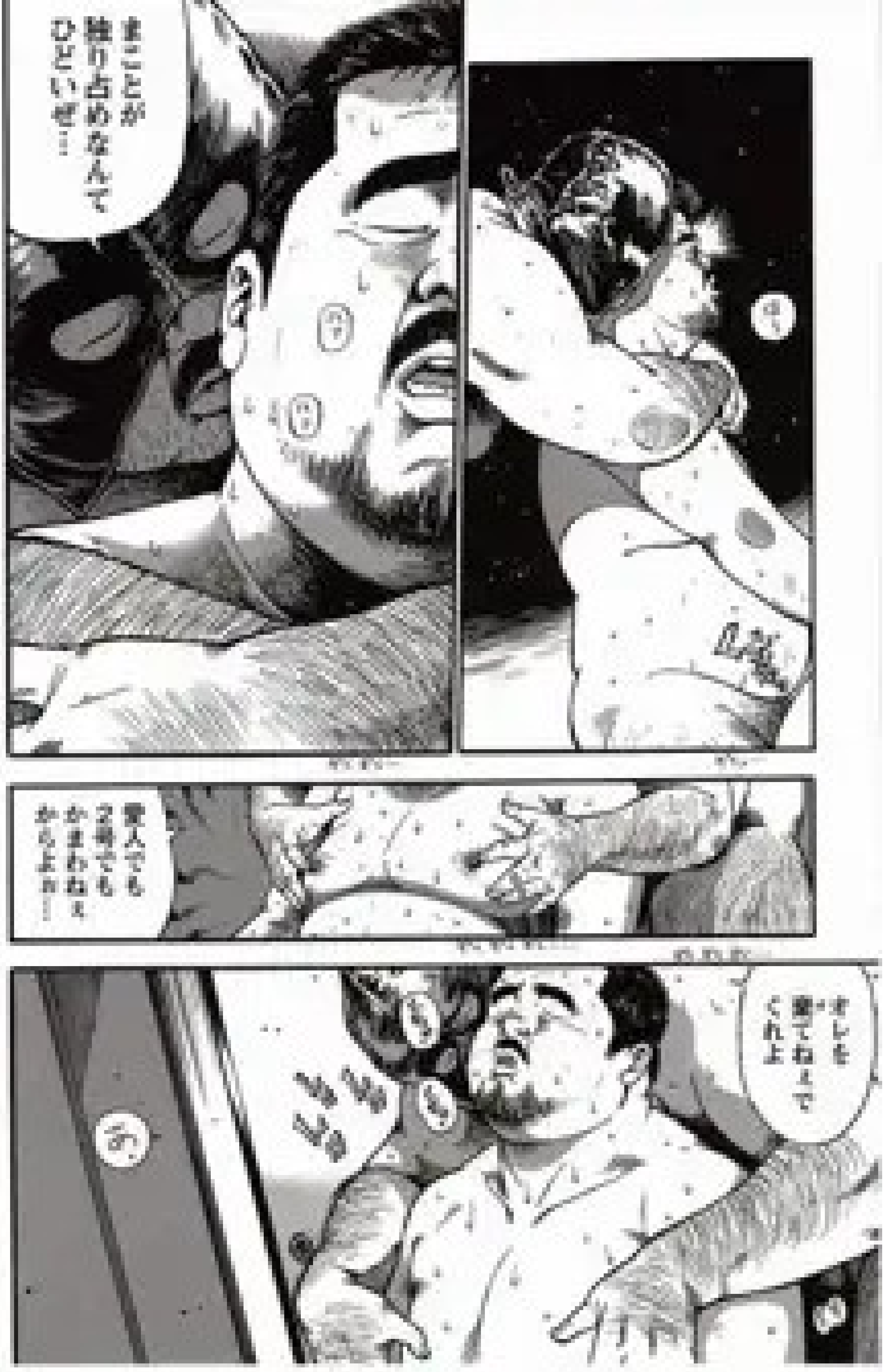

ズルル




あ
あ
あ


くちゅ
くちゅ




まことが独り占めなんてひどいぜ…
愛人でも2号でもかまわねぇからよぉ…
オレも愛でねぇでくれよ
あ

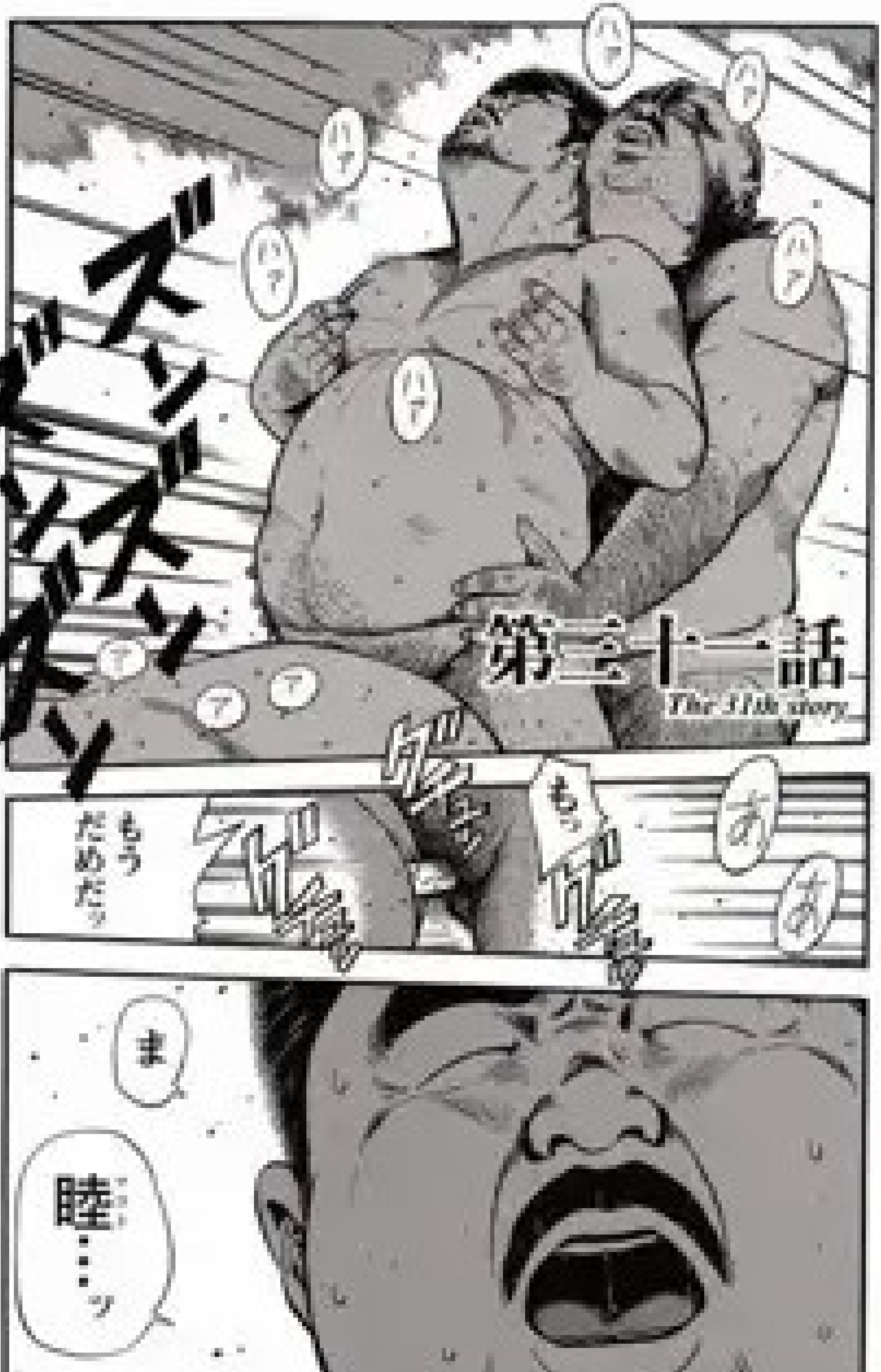
すーっ

あ
あ
あ

ズ
ズ

グチュッ
グチュッ
あ
あ
あ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ん
ん
ん
ん
ん
ん

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
あ
あ
あ
あ
あ
あ
お
も…もうダメだッ!!!
ドヂュ
ドヂュ



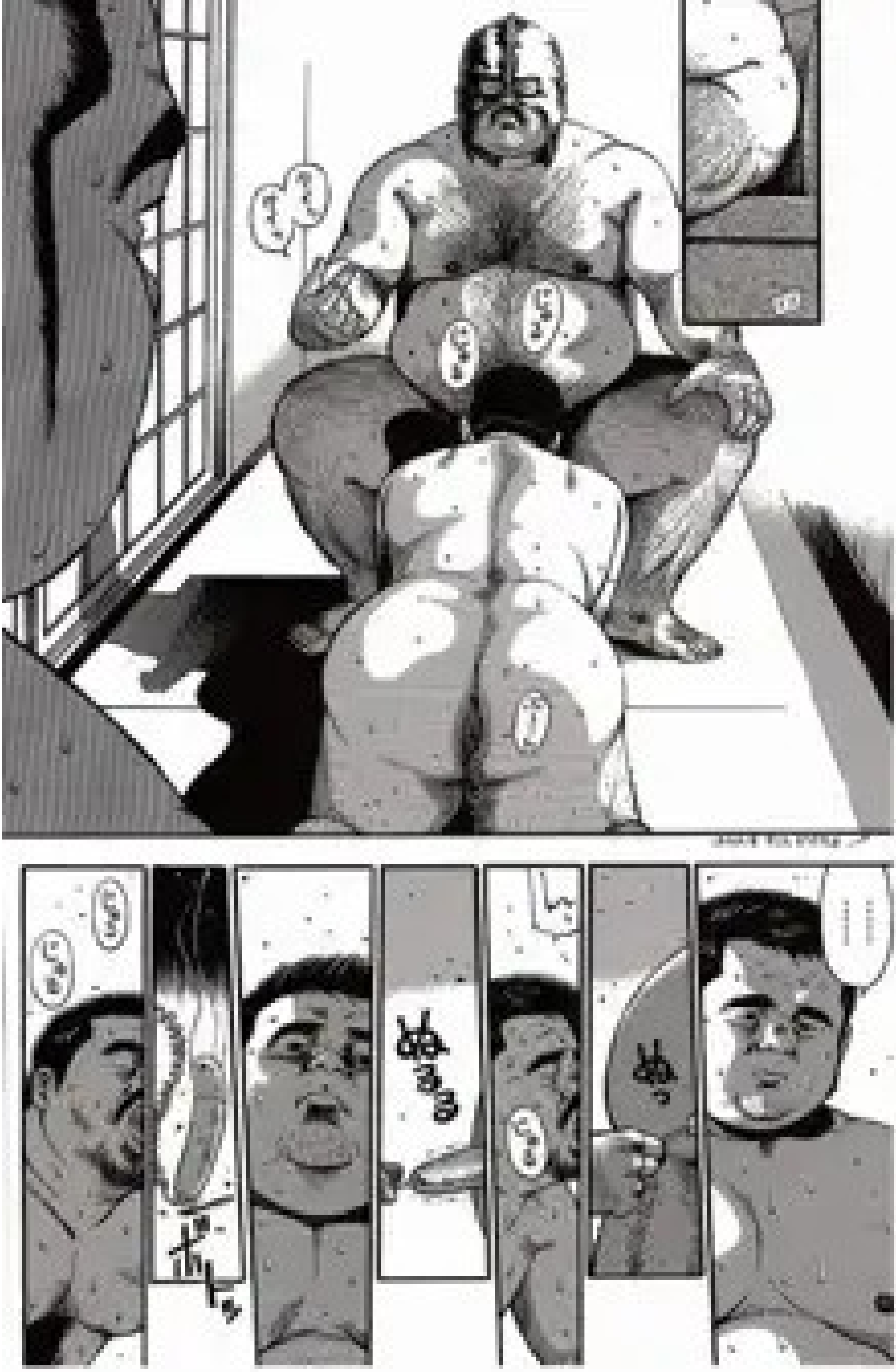
第三十一話

The 31th story

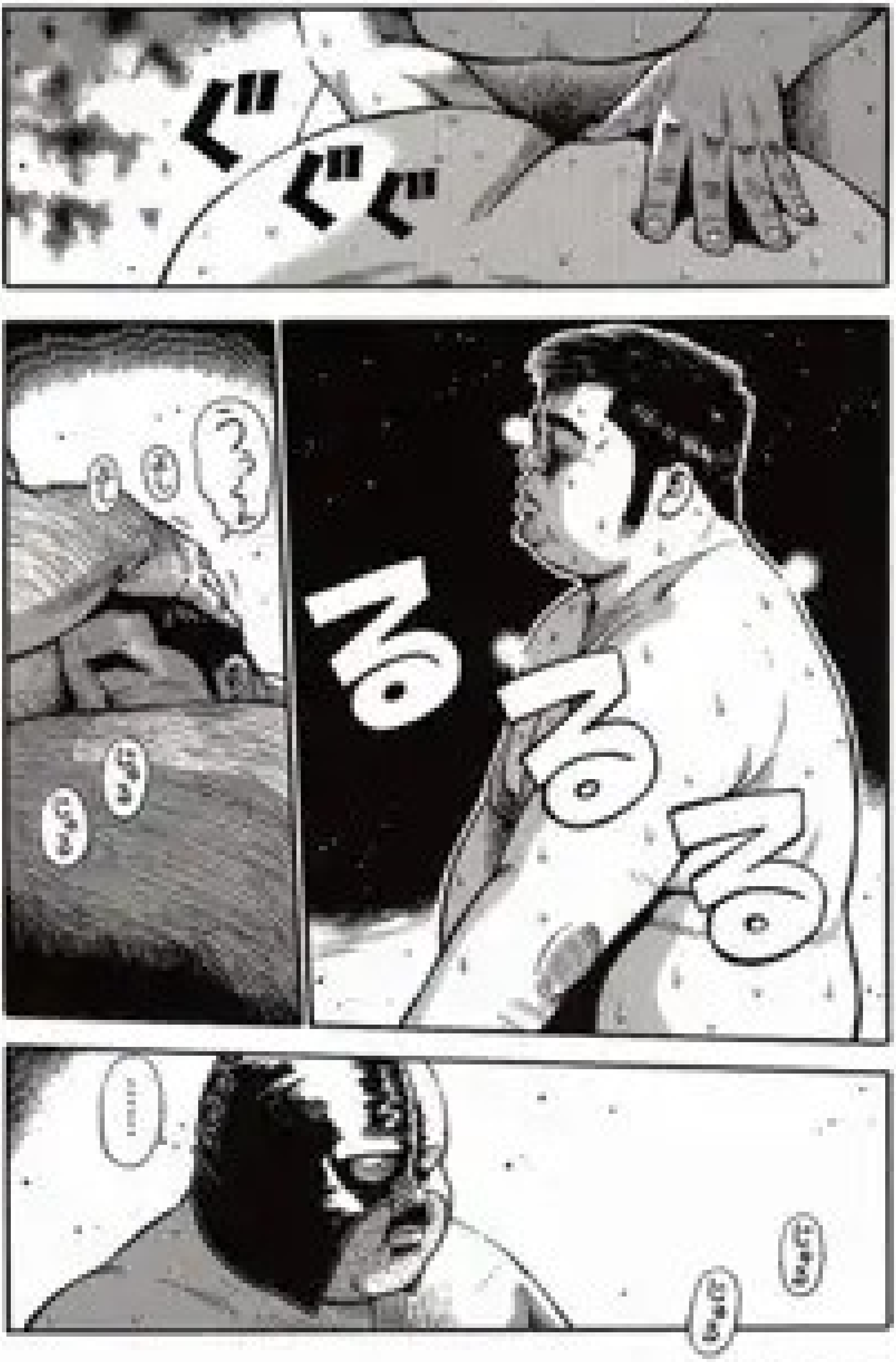
ハア
ハア
ハア
ハア
ハア
ハア
ズンズンズンッ
ズンズンッ
ア
ア
ア
おっ
おっ
もっ
もうだめだッ
ま
睦…ッ

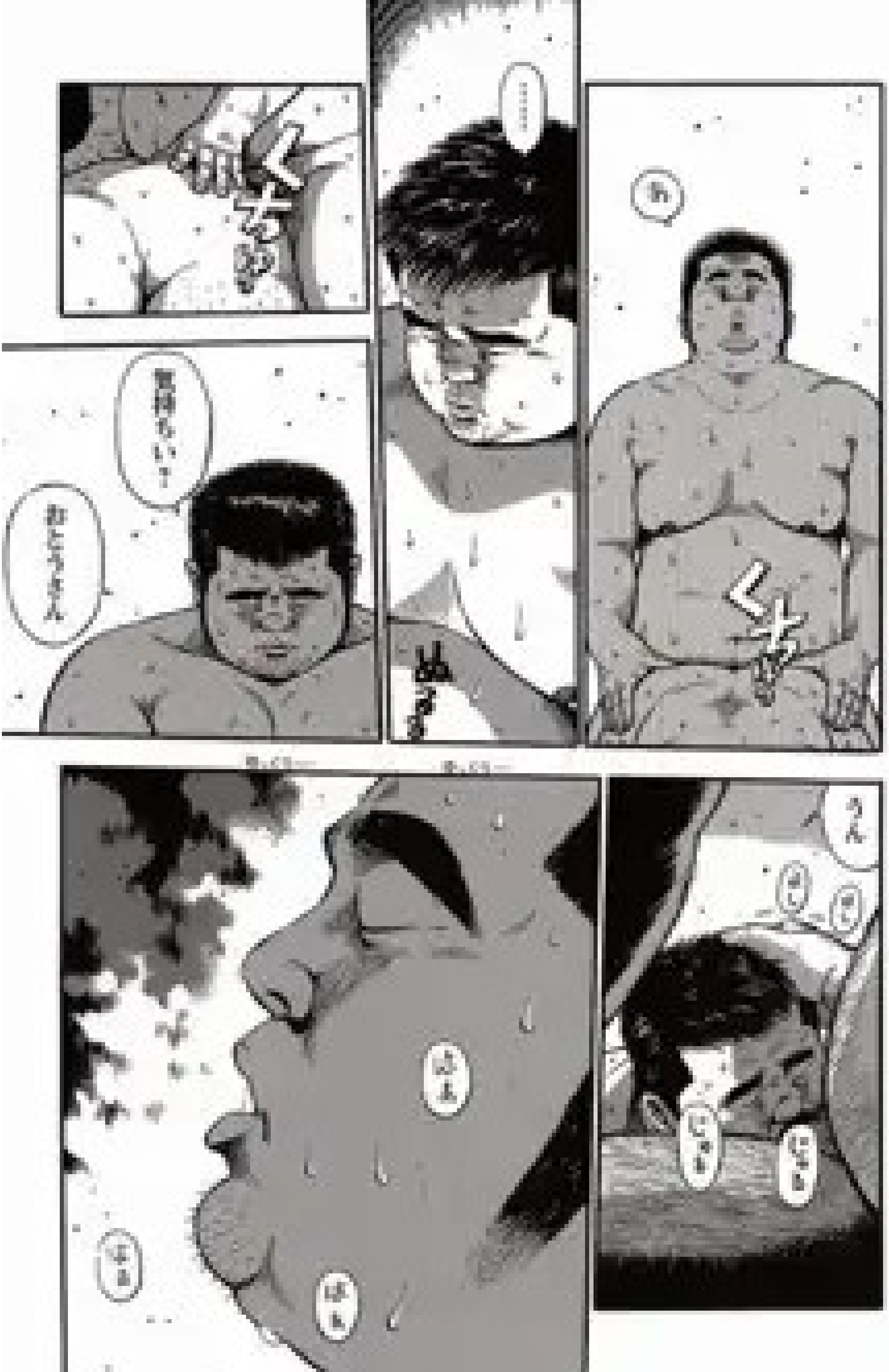
中に出してッ
ぬかずに
ボクの中に出して…ッ
おとうさんの白い血を…ボクの身体に流してッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
…りん…

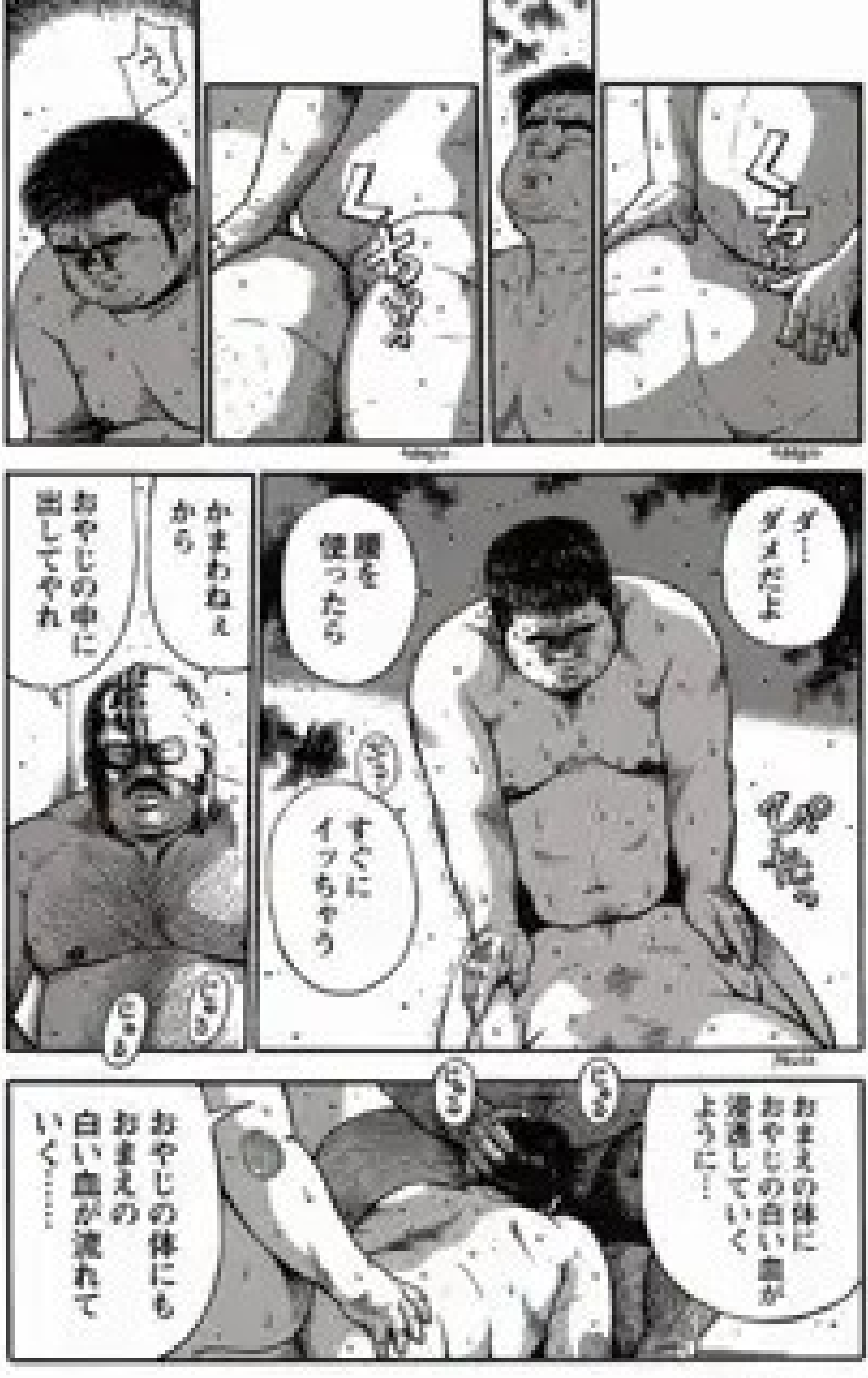
う…
ううっ…
ウッ
あ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

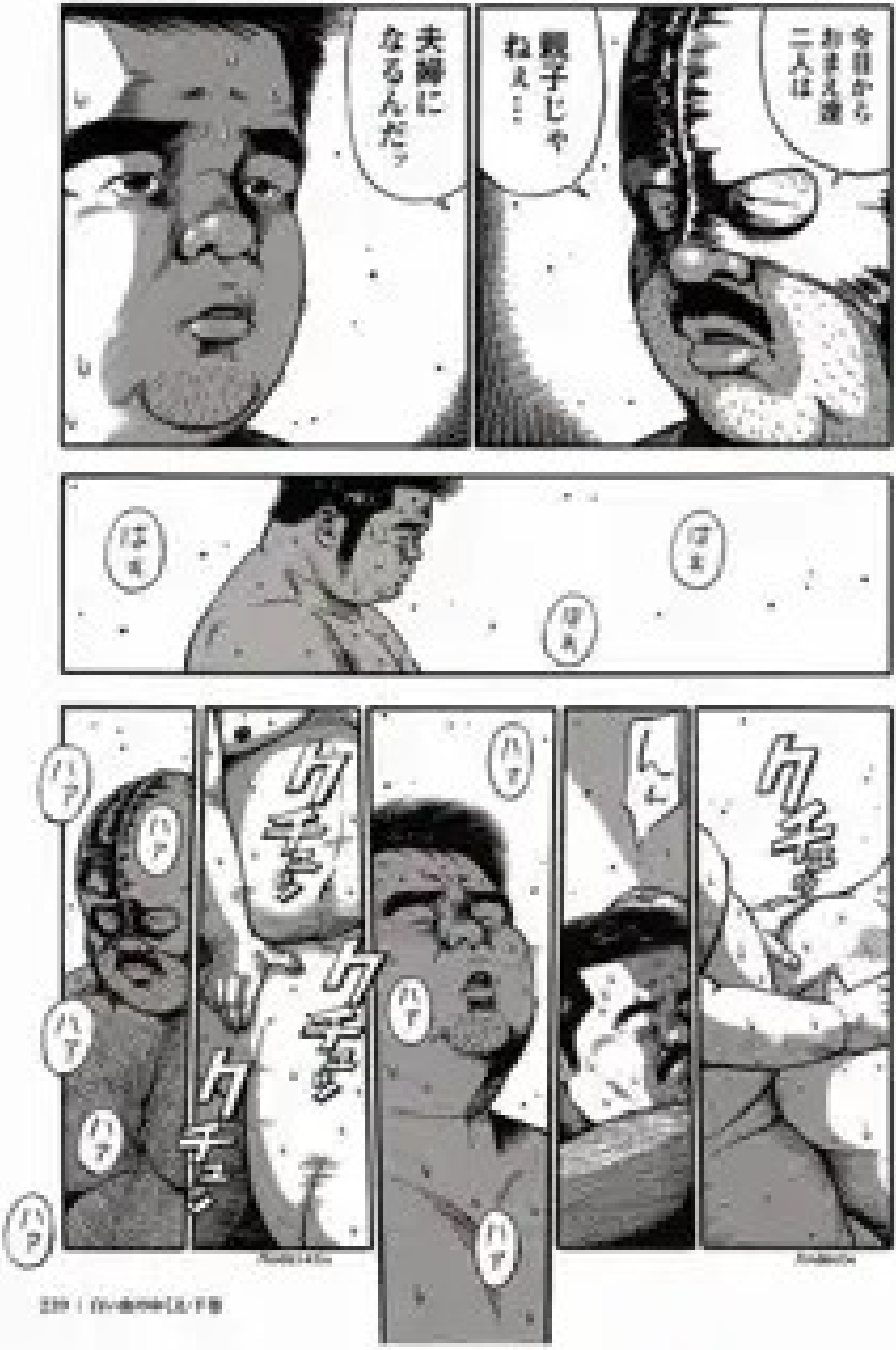

？？
……
ぬっ
し
ぬるる
ボトッ

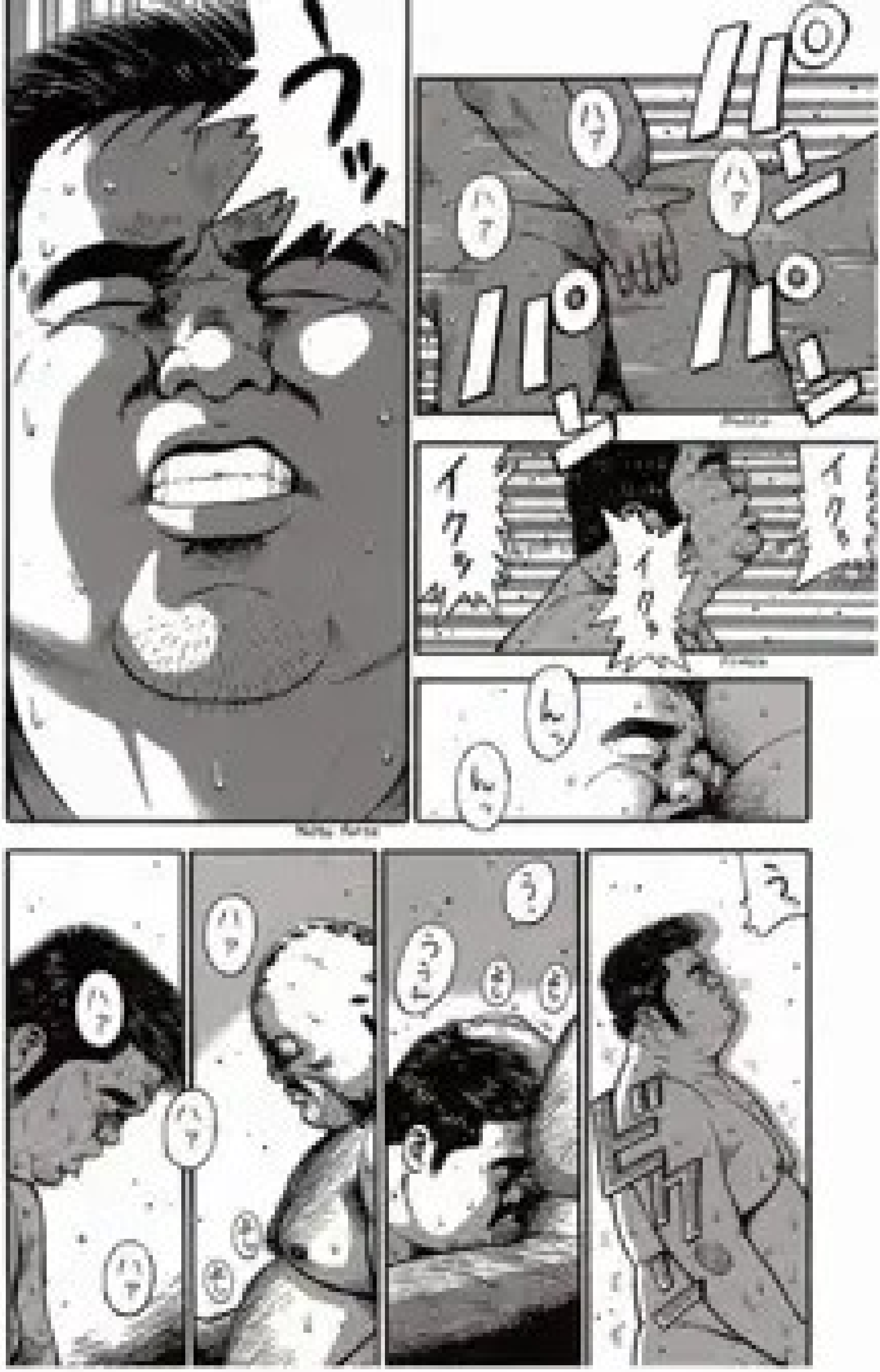
べろ…
ぬるるるるっ
うう～っ
入れるよ

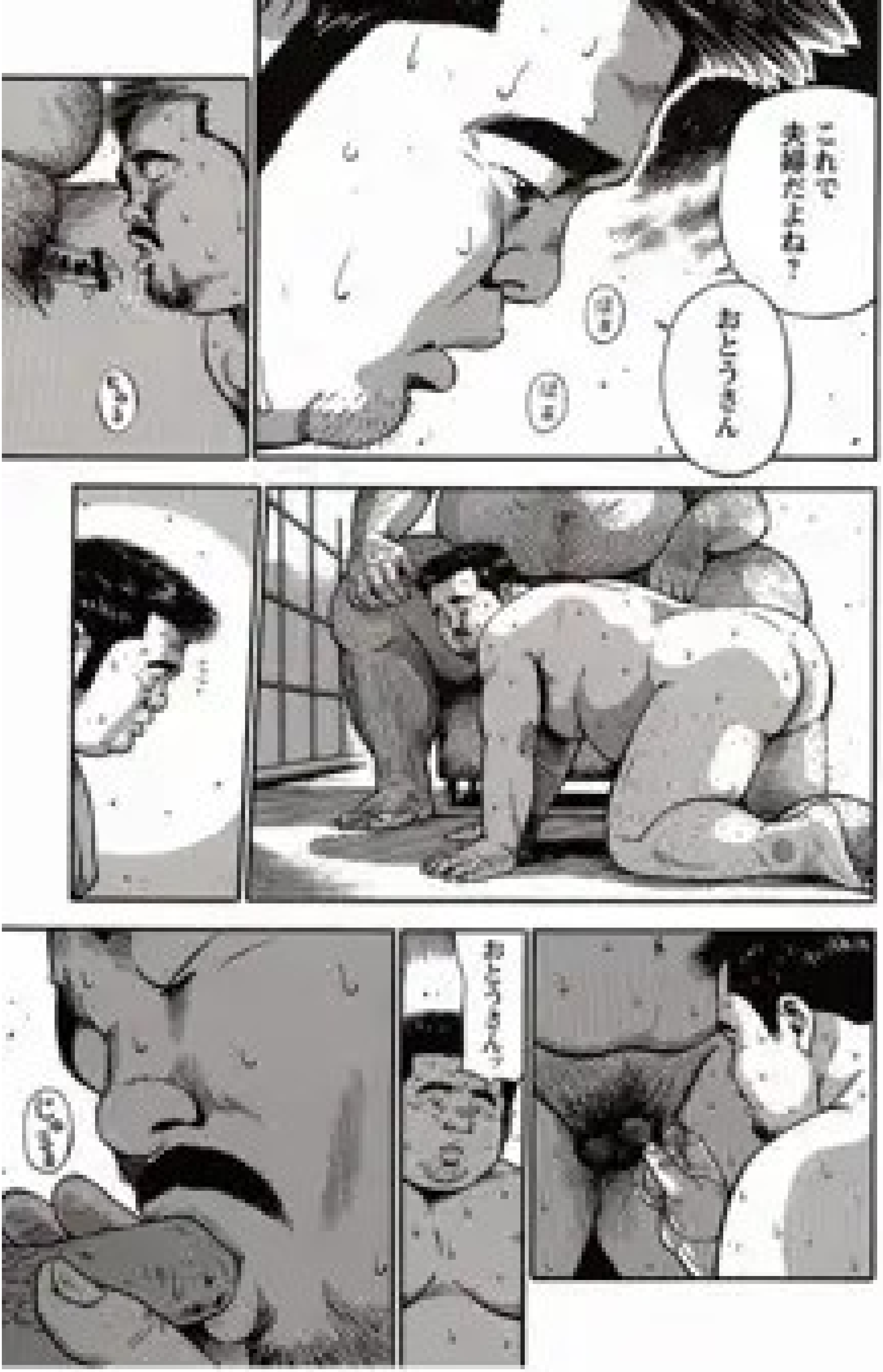

ぐ"
ぐ"ぐ"

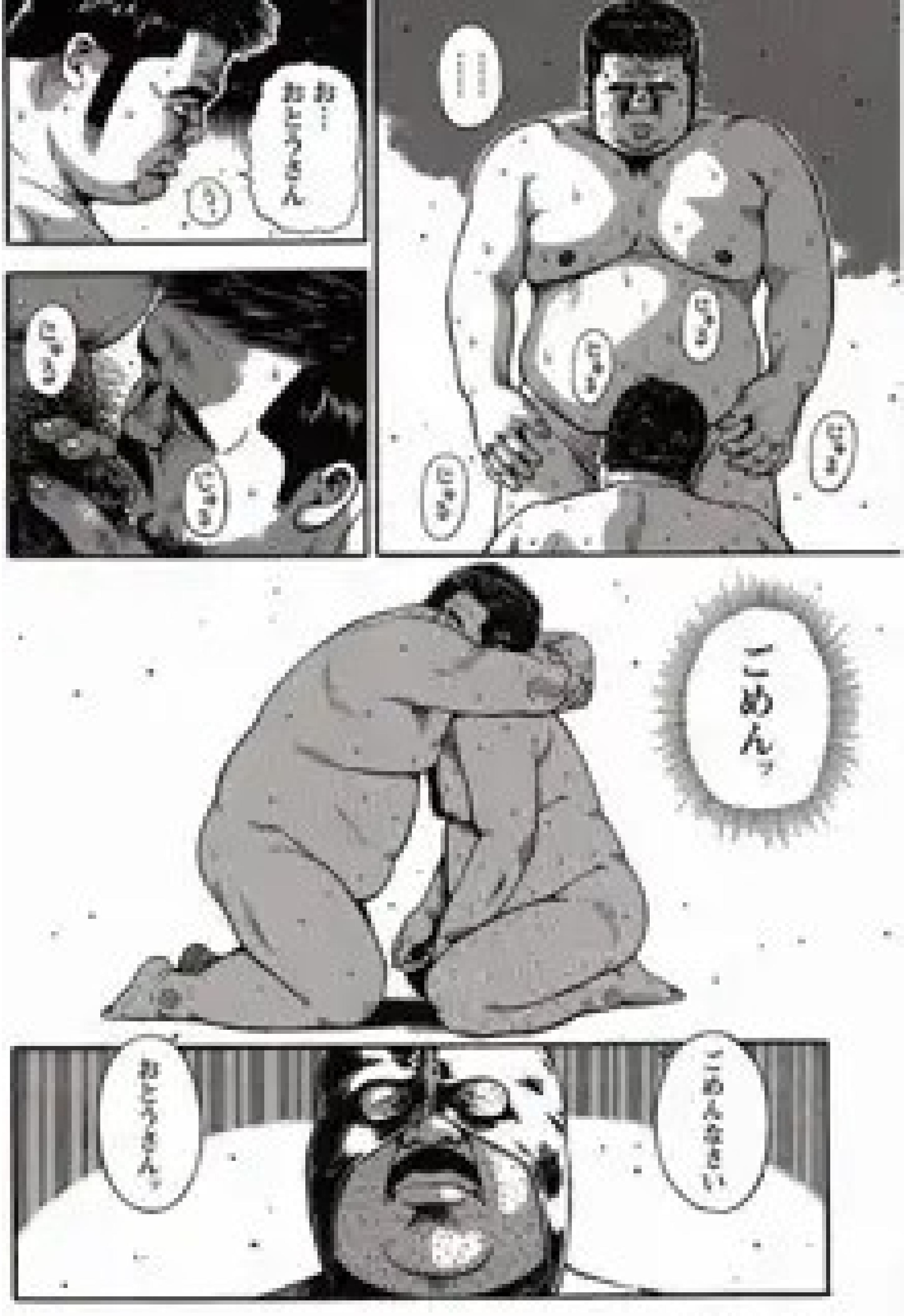
あ
くちゅ
……
くちゅ
気持ちいい？
おとうさん
うん
はぁ
はぁ
はぁ

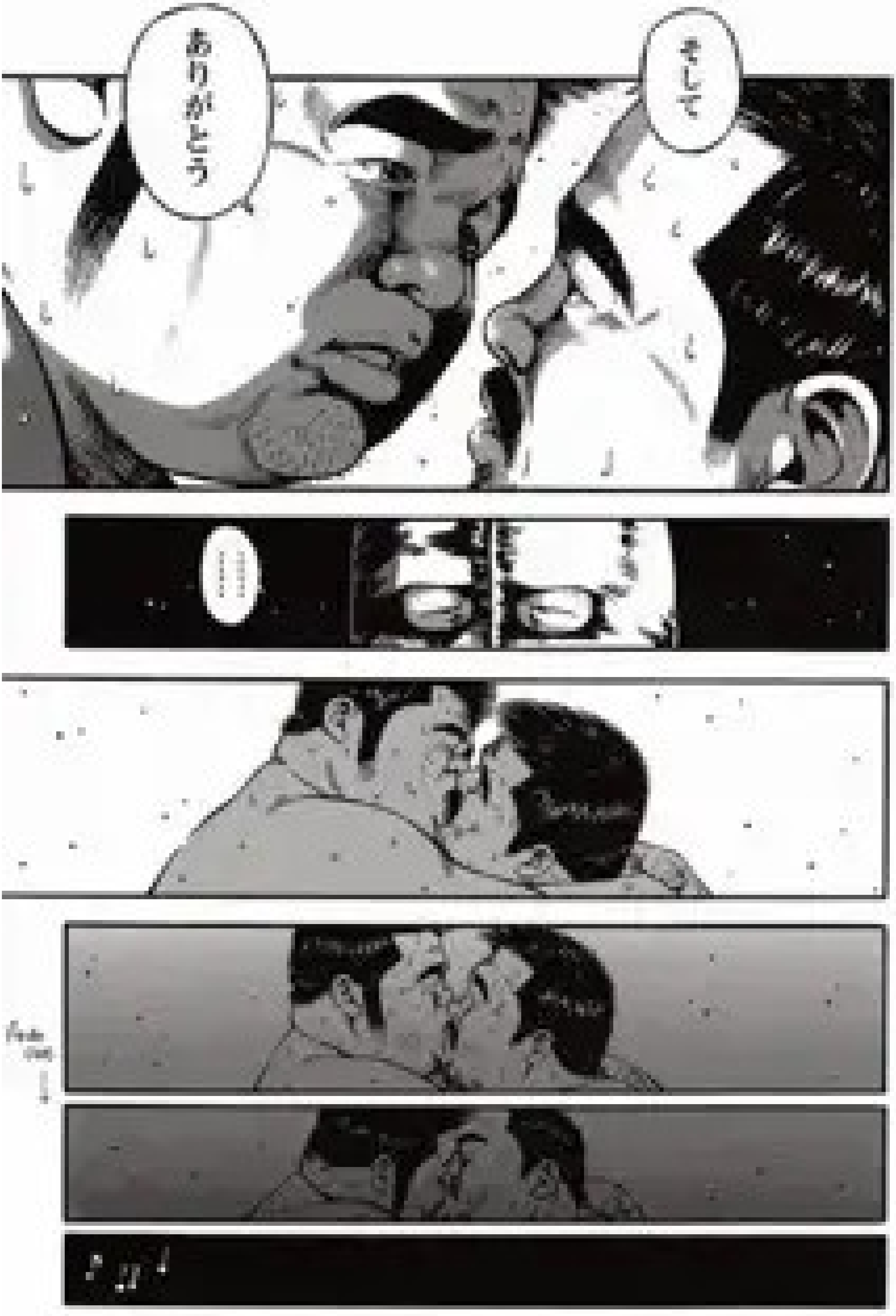

ダ…ダメだよ
腰を使ったら
すぐにイッちゃう
かまわねぇから
おやじの中に出してやれ
おまえの体におやじの白い血が浸透していくように…！
おやじの体にもおまえの白い血が流れていく……

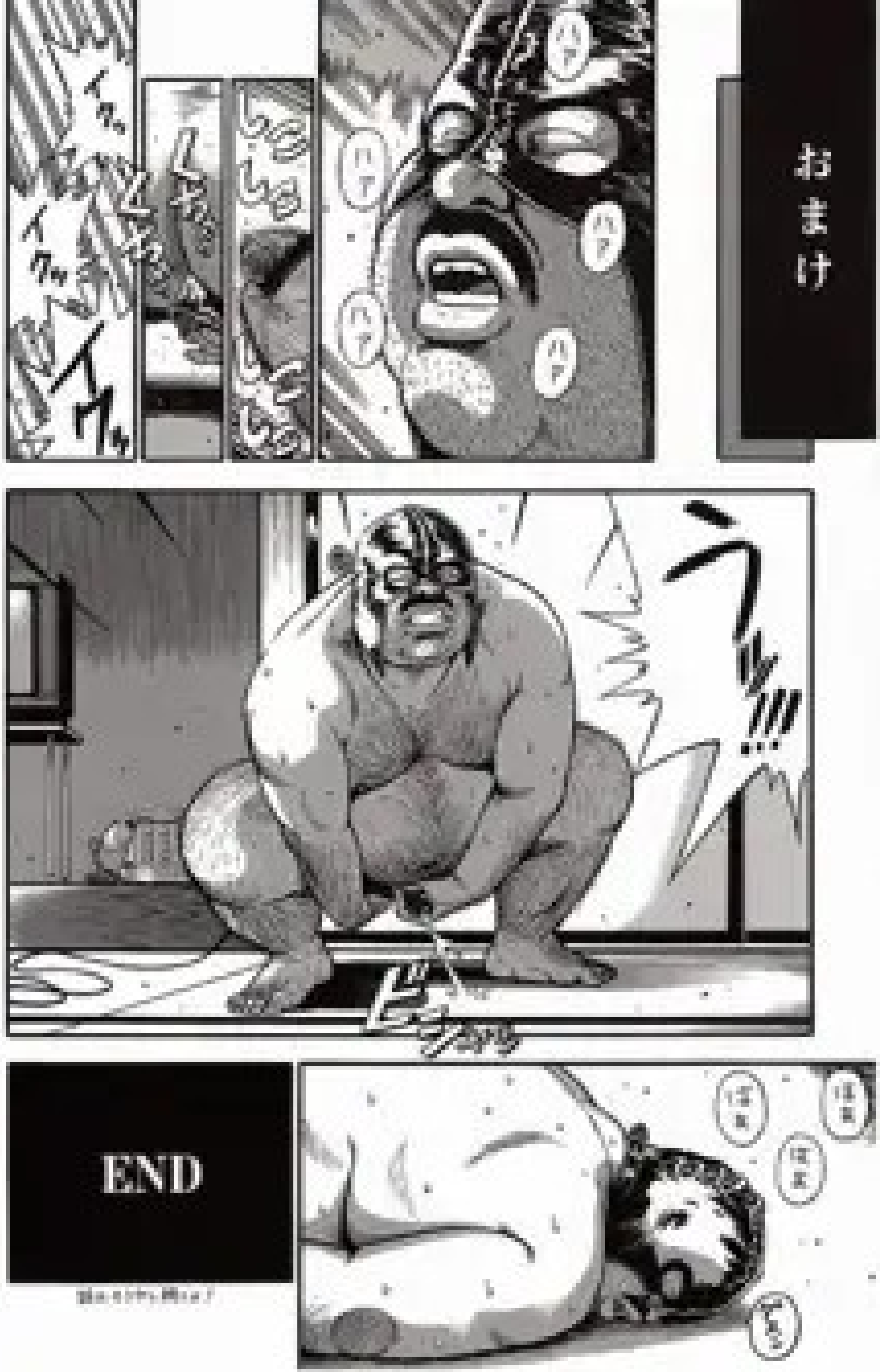

今日から
おまえ達
二人は
親子じゃ
ねえ…
夫婦に
なるんだっ
ぽぁ
ぽぁ
ぽぁ
クチュ
んっ
ハァ
ハァ
ハァ
クチュ
クチュ
クチュ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

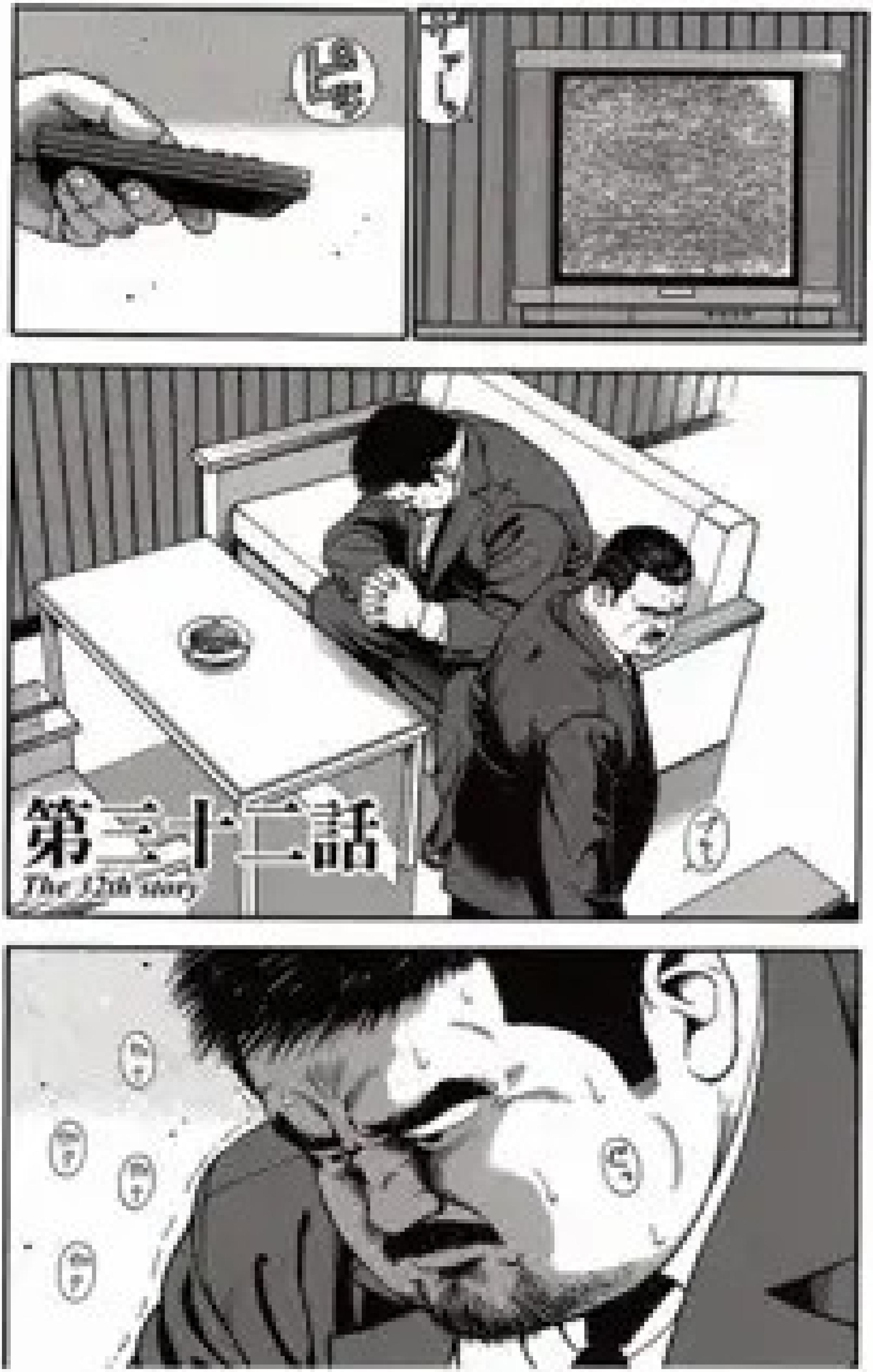

パ
ハァ
パ
ハァ
パ
ハァ
パ
うっ
イクッ
イクッ
イクッ
んっ
んっ
うっ
う
うっ
んっ
んっ
ハァ
ハァ
んっ
んっ
ハァ
ハァ


これで夫婦だよね？
おとうさん
はぁ
はぁ
んふ
おとうさんっ
じゅぽ


……
お……
おとうさん
う
ごめんっ
ごめんなさい
おとうさんっ

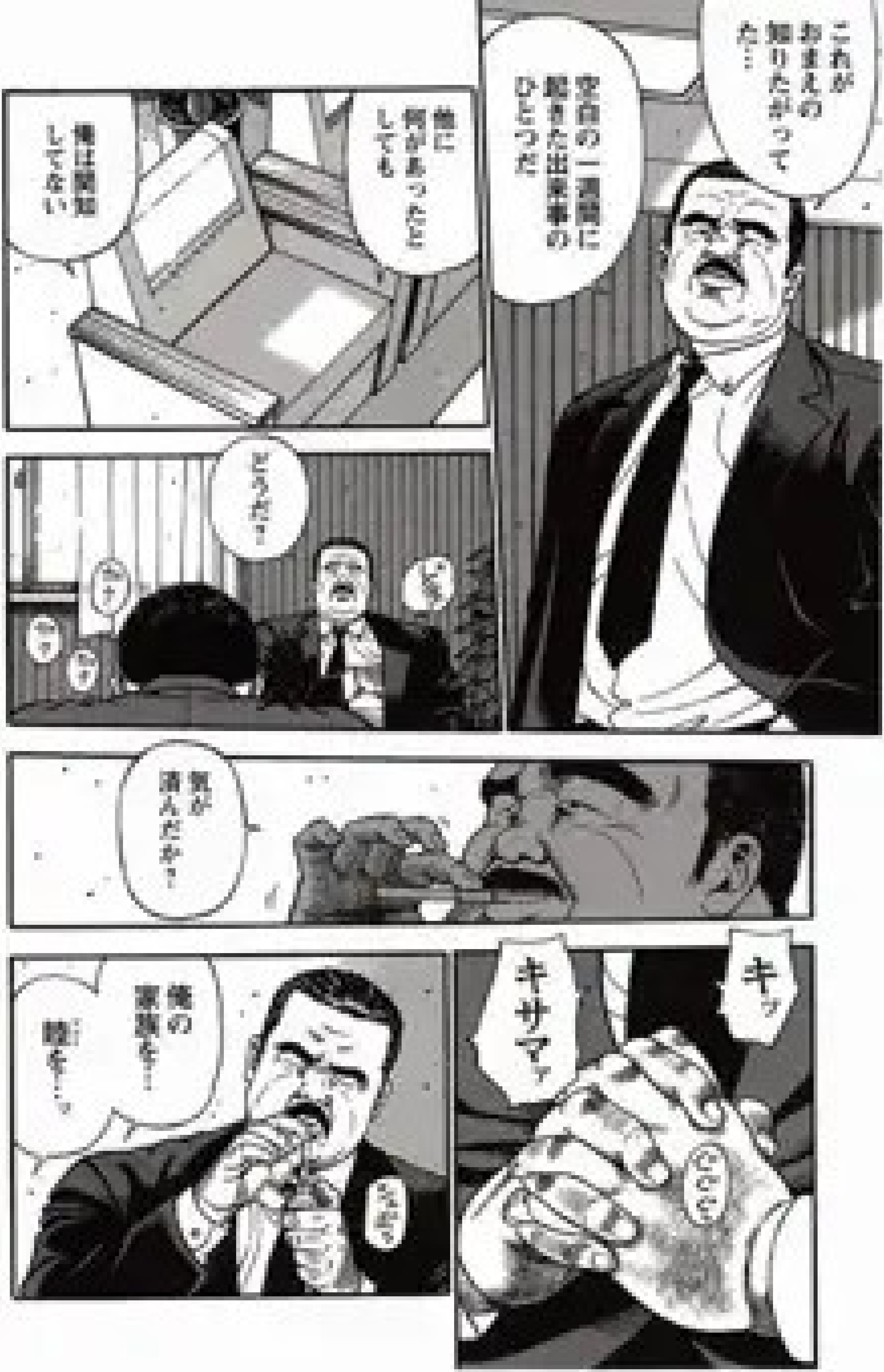

そして
ありがとう
……
Fade Out

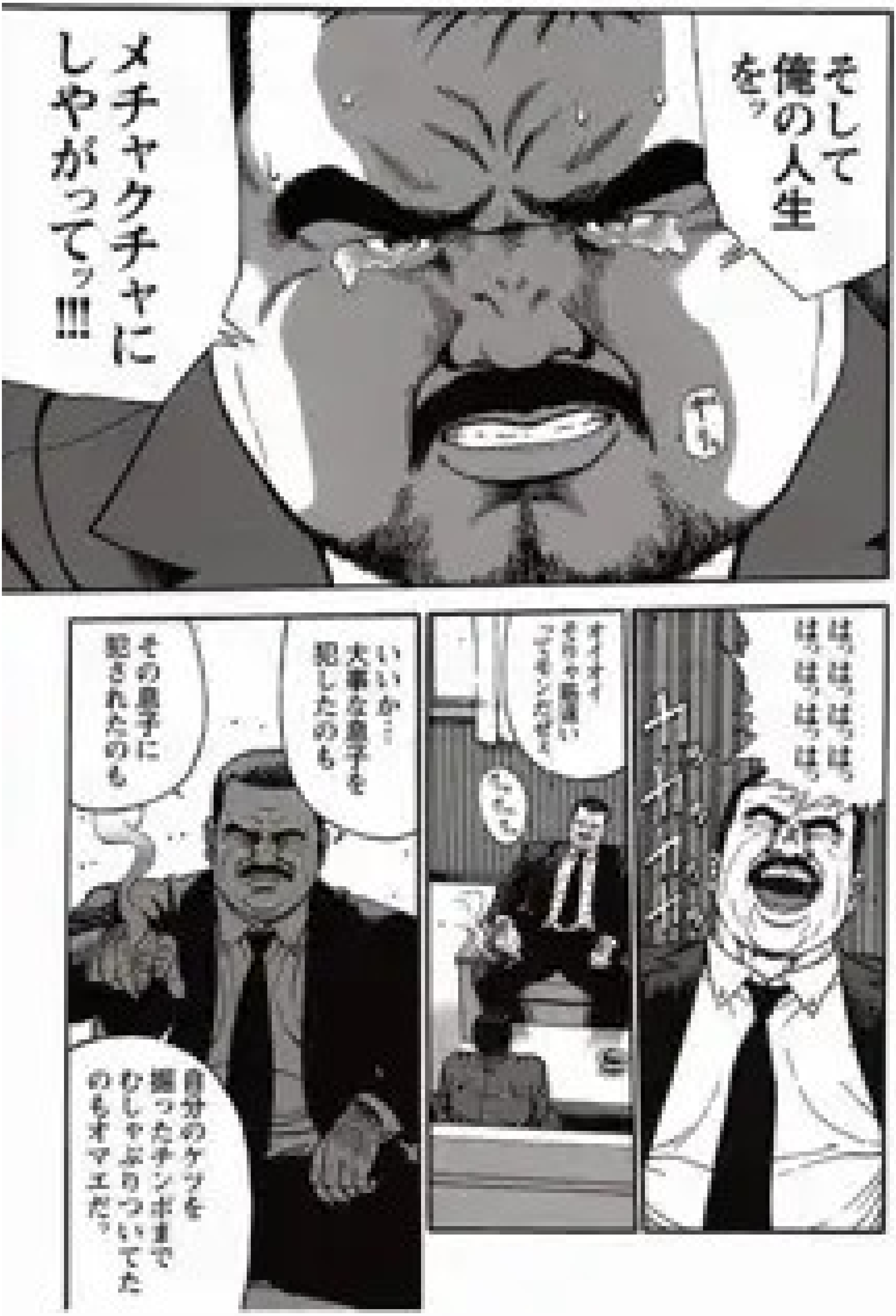

おまけ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
イクッ
イクッ
イクッ
イク
うッ!!!
ドピュ
END

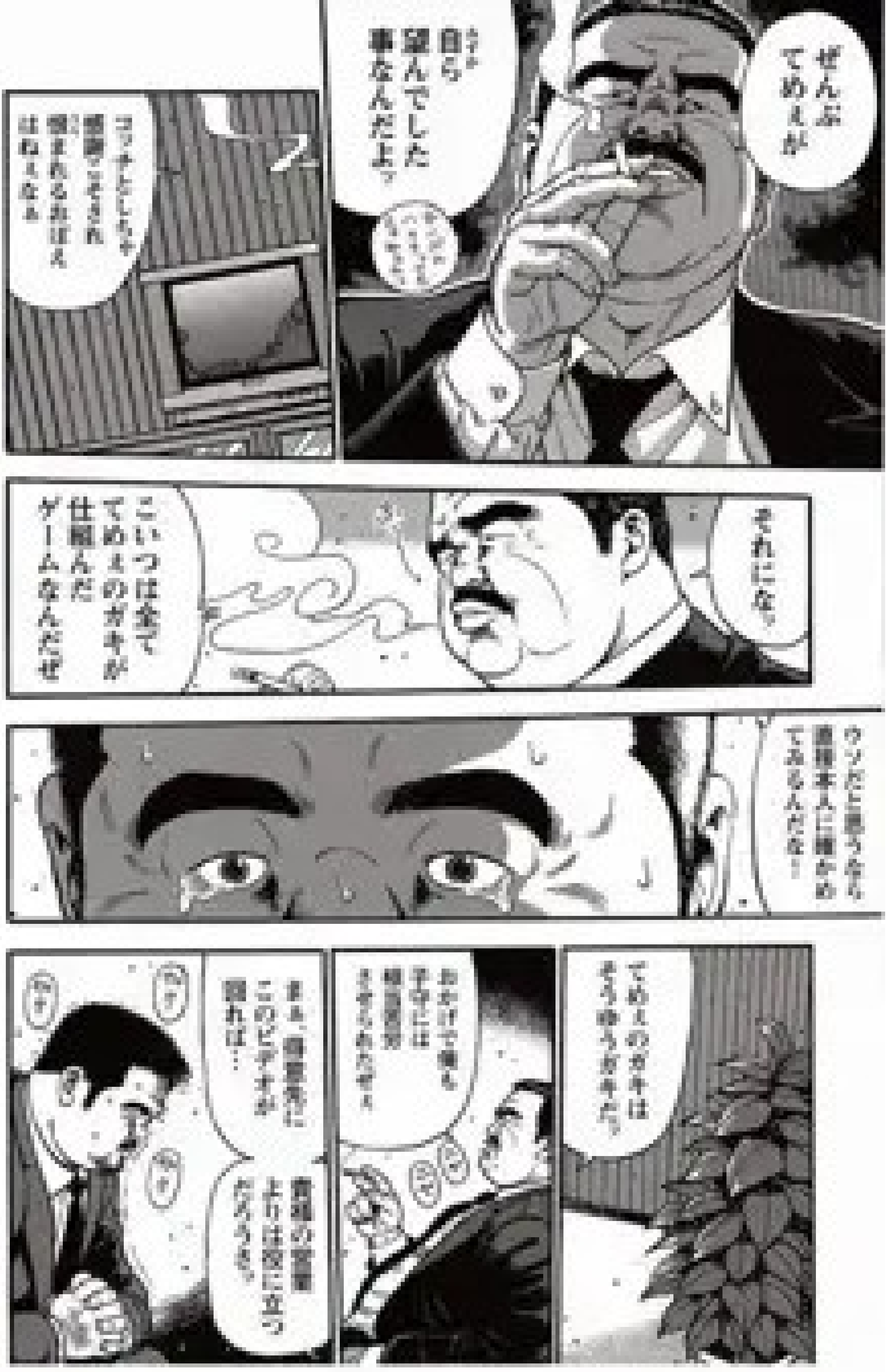


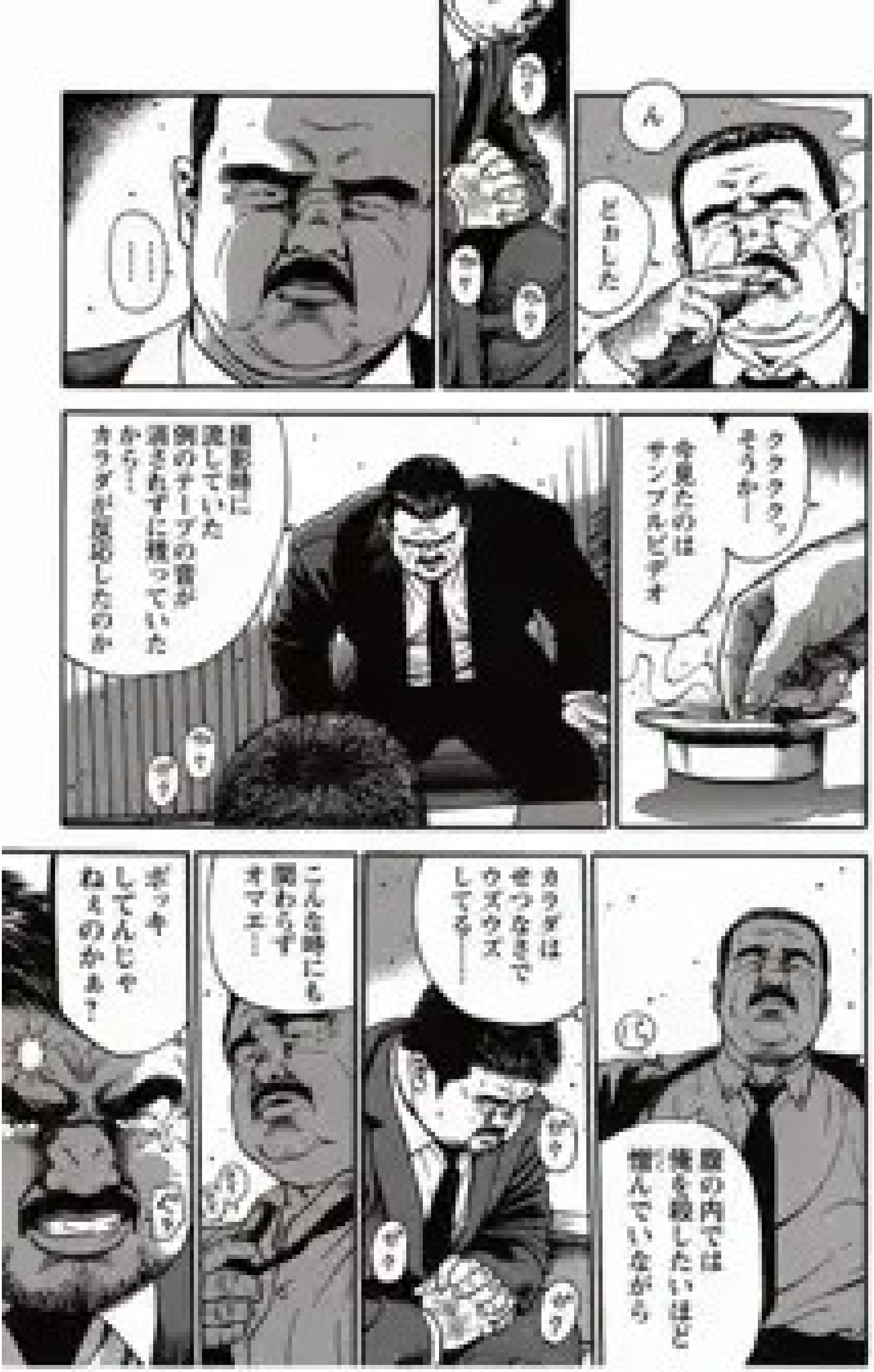
第三十二話

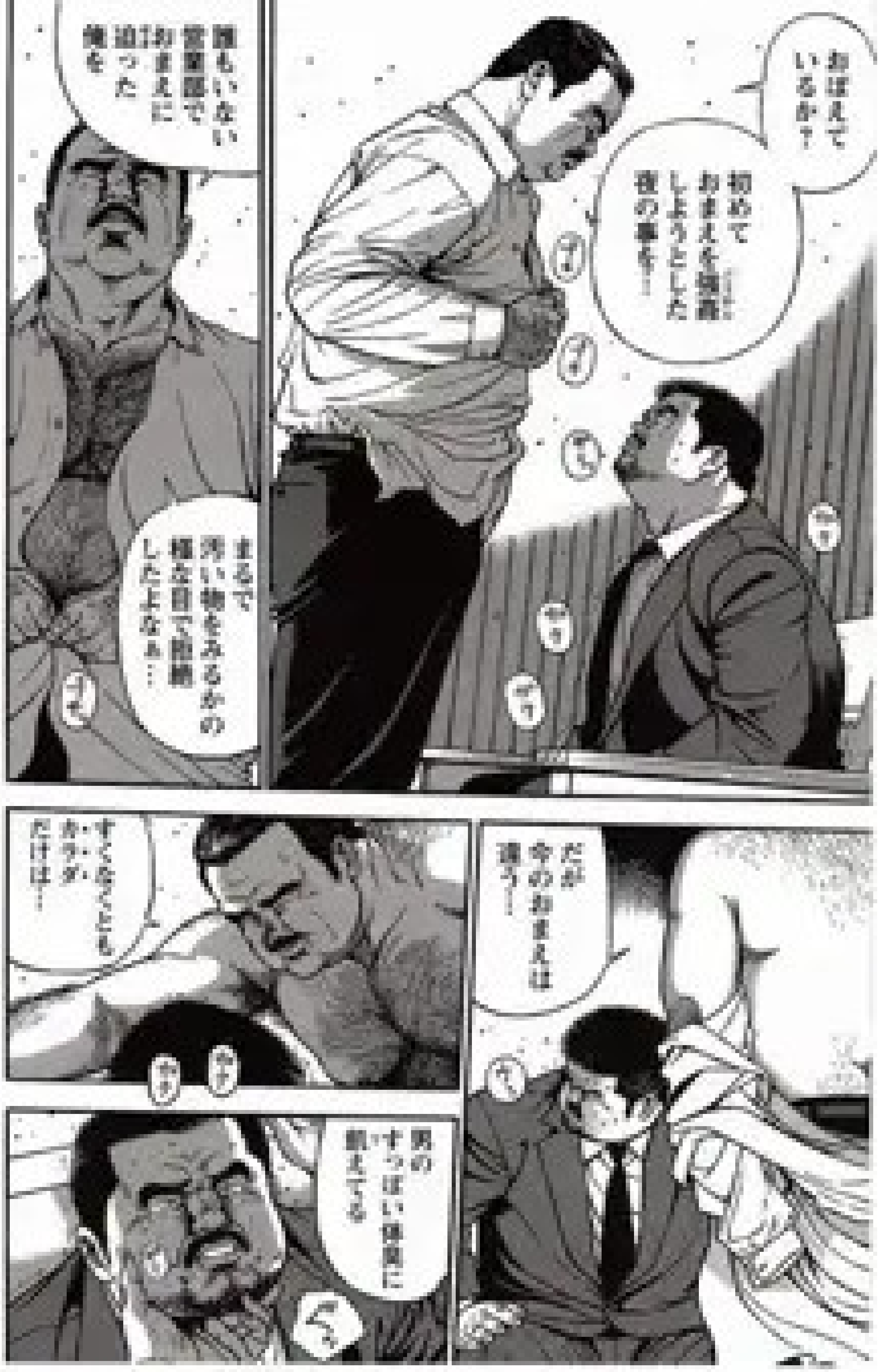
The 12th story

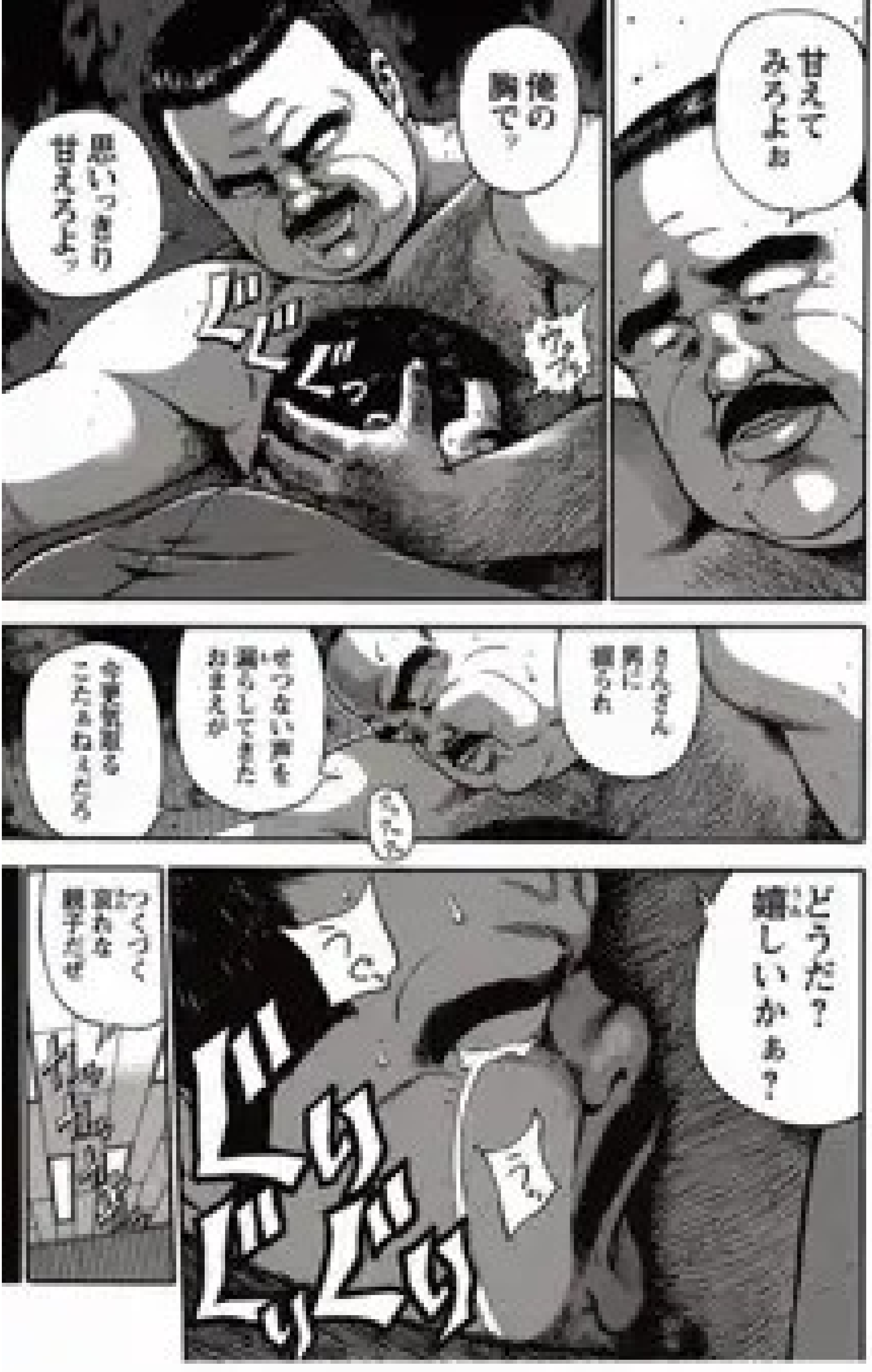

これが
おまえの
知りたがってた…
空白の一週間に
起きた出来事の
ひとつだ
他に
何があったと
しても
俺は関知
してない
どうだ？
気が
済んだか？
キッ
キサマァ
俺の
家族を…
娘を…ッ


そして俺の人生をッ
メチャクチャにしやがってッ!!!
はっはっはっ、はっはっはっ
オヤオヤそりゃ勘違いってモンだぜ
いいか…大事な息子を犯したのも
その息子に犯されたのも
自分のケツを掘ったチンポまでむしゃぶりついてたのもオマエだッ

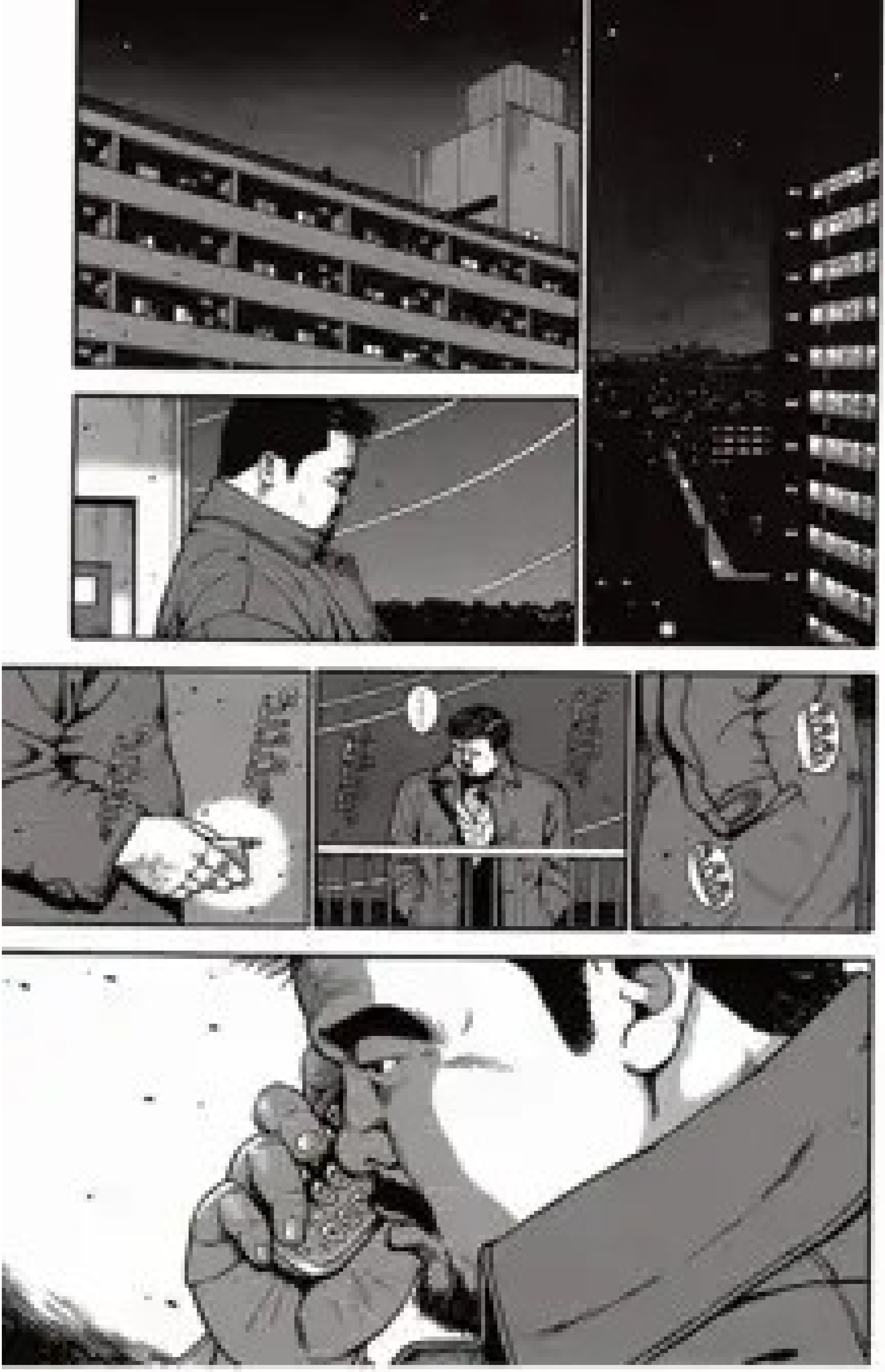

ぜんぶ
てめぇが
自ら
望んでした
事なんだよ？
コッチとしちゃ
感謝こそされ
恨まれるおぼえは
ねぇなぁ
それにな？
こいつは全て
てめぇのガキが
仕組んだ
ゲームなんだぜ
ウソだと思うなら
直接本人に確かめ
てみるんだな…
てめぇのガキは
もう帰ったか？
おかげで俺も
今年には
警視総監
まちがいなしだぜぇ
まぁ、警察官に
このビデオが
漏れれば…
貴様の警察
人生は確実に終わり
だろうな

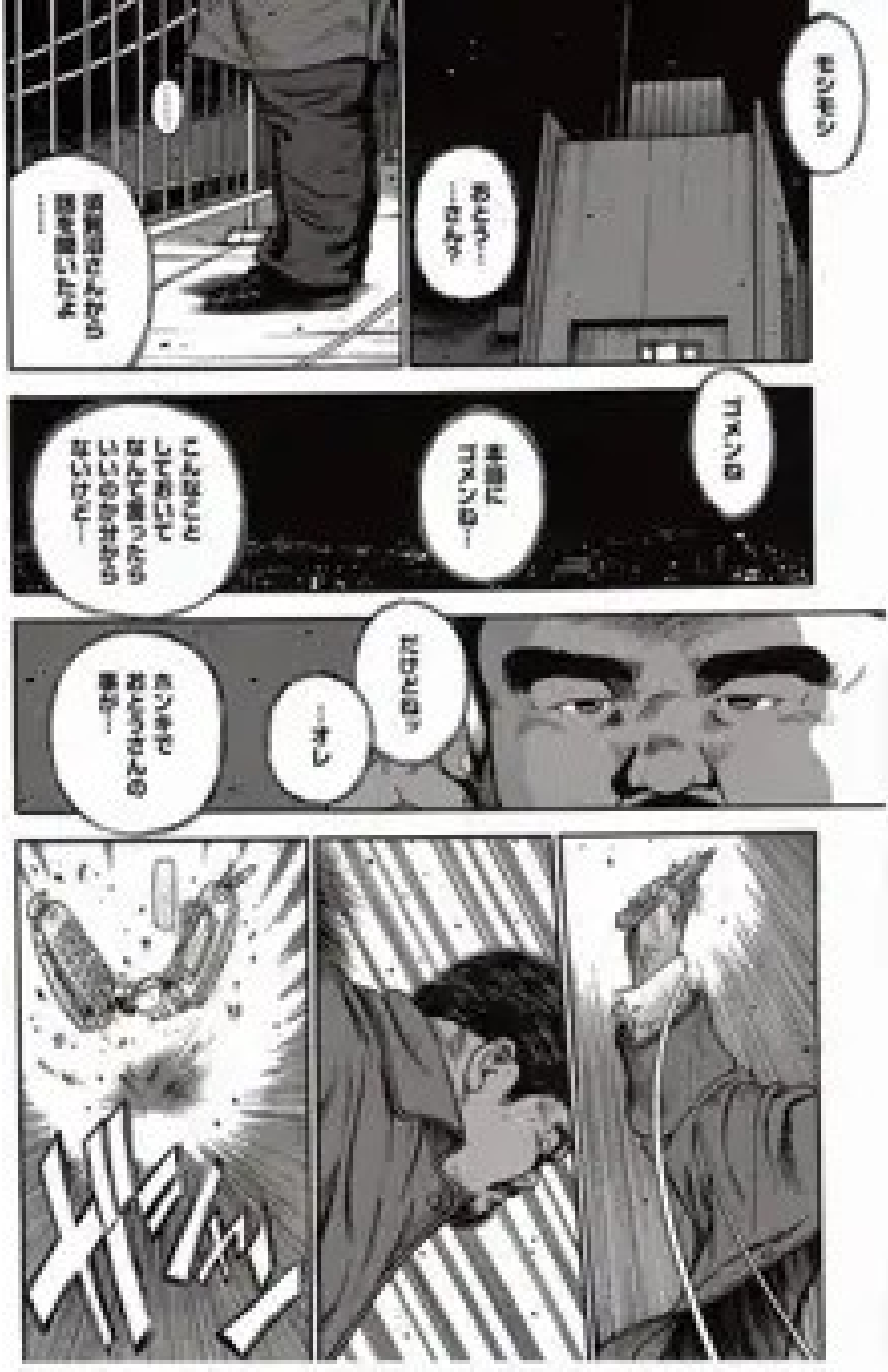

ん
どうした
……
クククッ そうか—
今見たのは サンプルビデオ
撮影時に 流していた 例のテープの音が 消されずに残っていた から… カラダが反応したのか
頭の内では 俺を殺したいほど 憎んでいながら
く
カラダは せつなさで ウズウズ してる——
こんな時にも 関わらず オマエ…
ボッキ してんじゃ ねぇのかぁ？

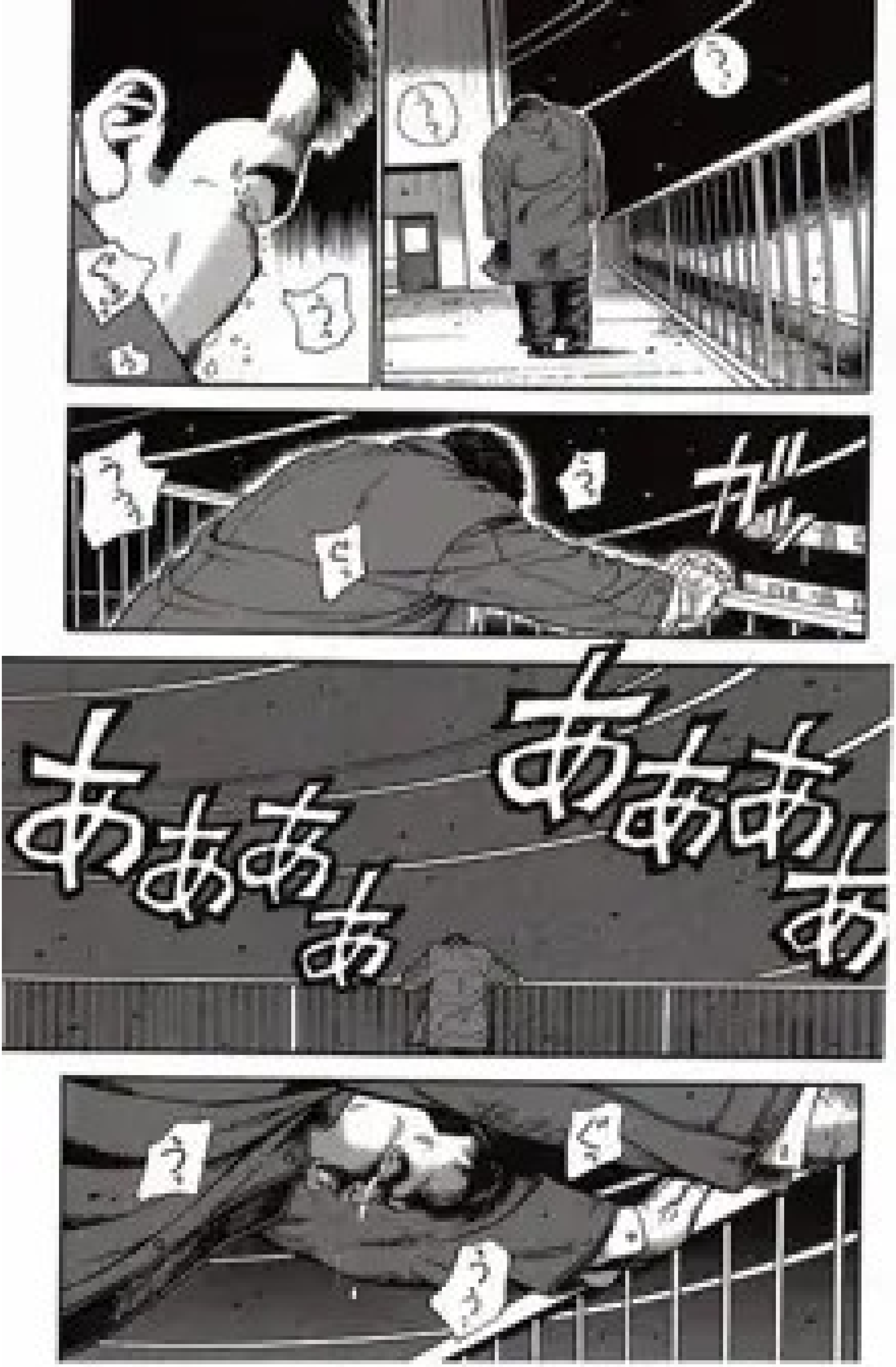

おぼえているか？
初めておまえを強姦しようとした夜の事を…！
ズイ
ズイ
ズイ
ドキ
ドキ
ドキ
誰もいない営業部でおまえに迫った俺を
まるで汚い物をみるかの様な目で拒絶したよなぁ…
ズイ
だが今のおまえは違う…！
ドキ
すくなくとも…カラダだけは…！
ドキ
ドキ
男のすっぱい刺激に飢えてる
ぐっ

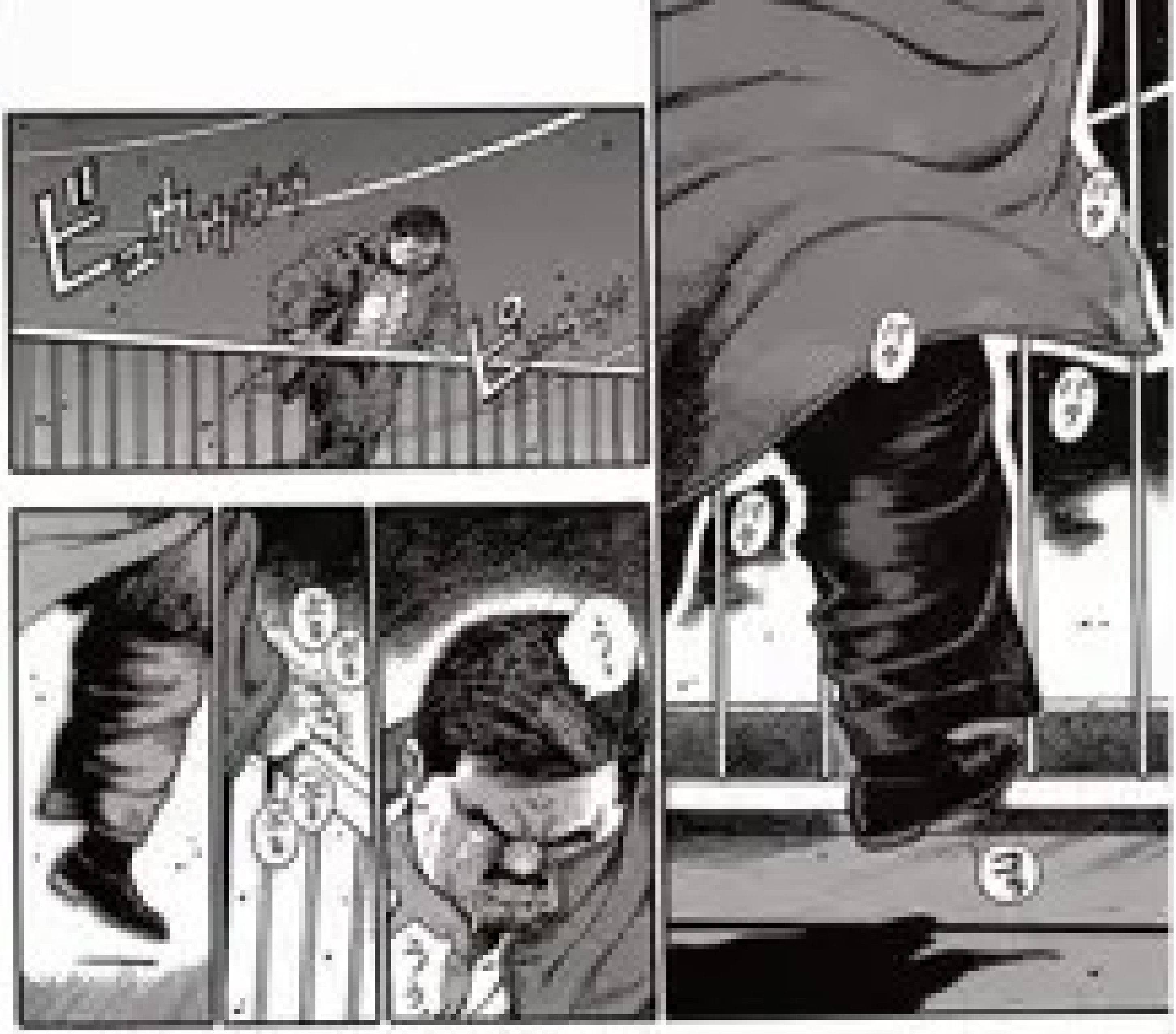

甘えて みろよぉ
俺の 胸でッ
思いっきり 甘えろよッ
ぐぐっ
ぐっ
さんざん 男に 嬲られ
せつない胸を 漏らしてきた おまえが
今更我慢を こたえねえだろ
どうだ？ 嬉しいかぁ？
うっ
うっ
ぐりぐりぐり
つくづく 哀れな 親子だぜ

STUDIO

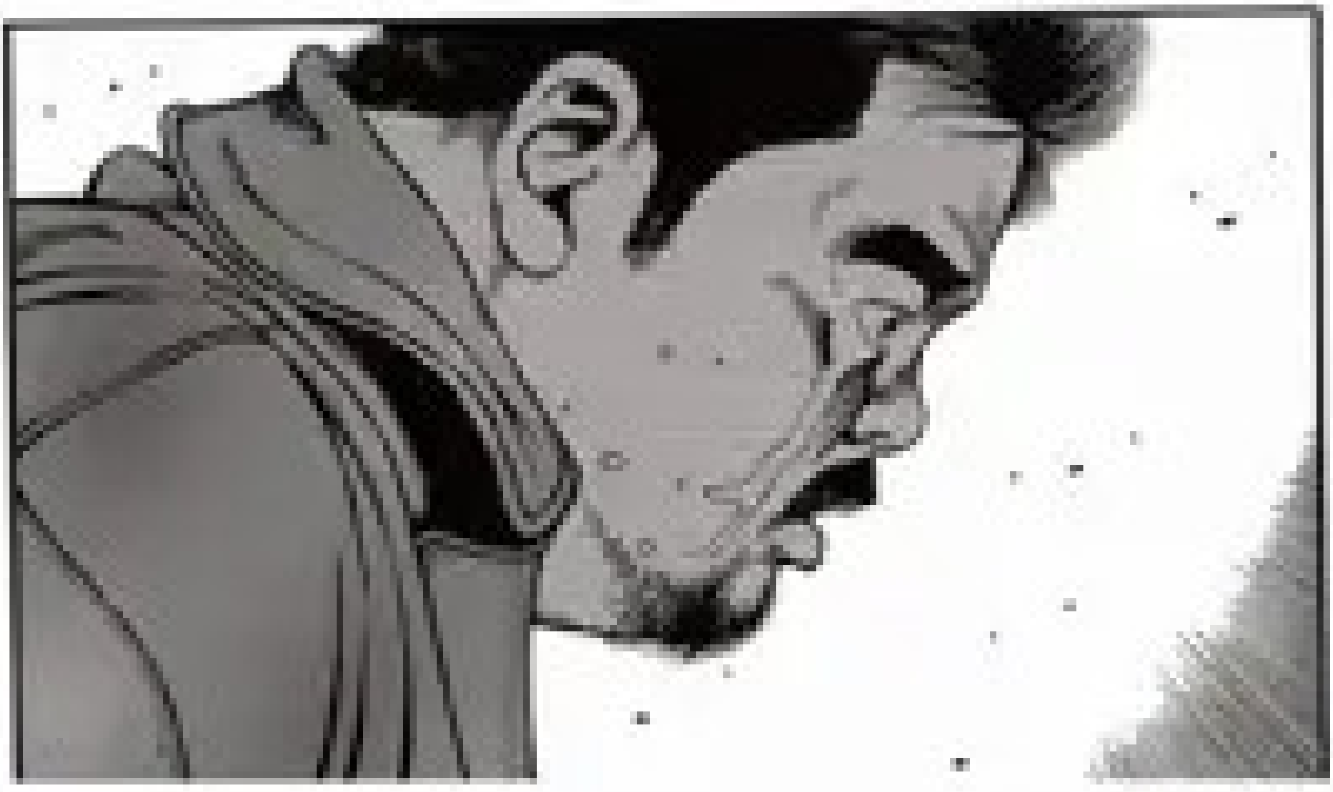


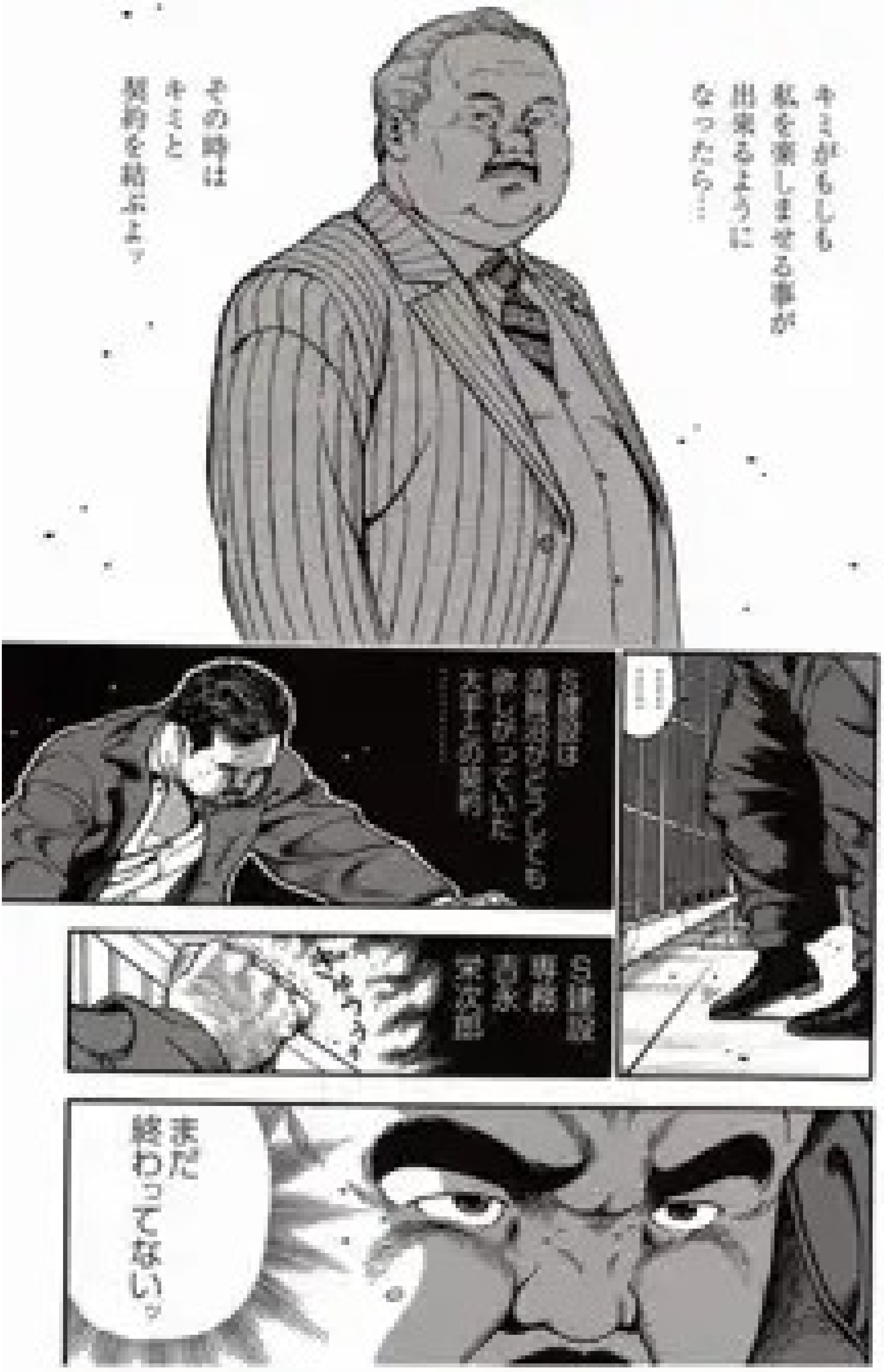

そうそう
おとう—
—さん
……
[illegible]さんから
話を聞いたよ
ゴメンね
本当に
ゴメンね—
こんなこと
しておいて
なんて言ったら
いいのか分から
ないけど—
だけどね
—オレ
ホンキで
おとうさんの
事を—
ズドン

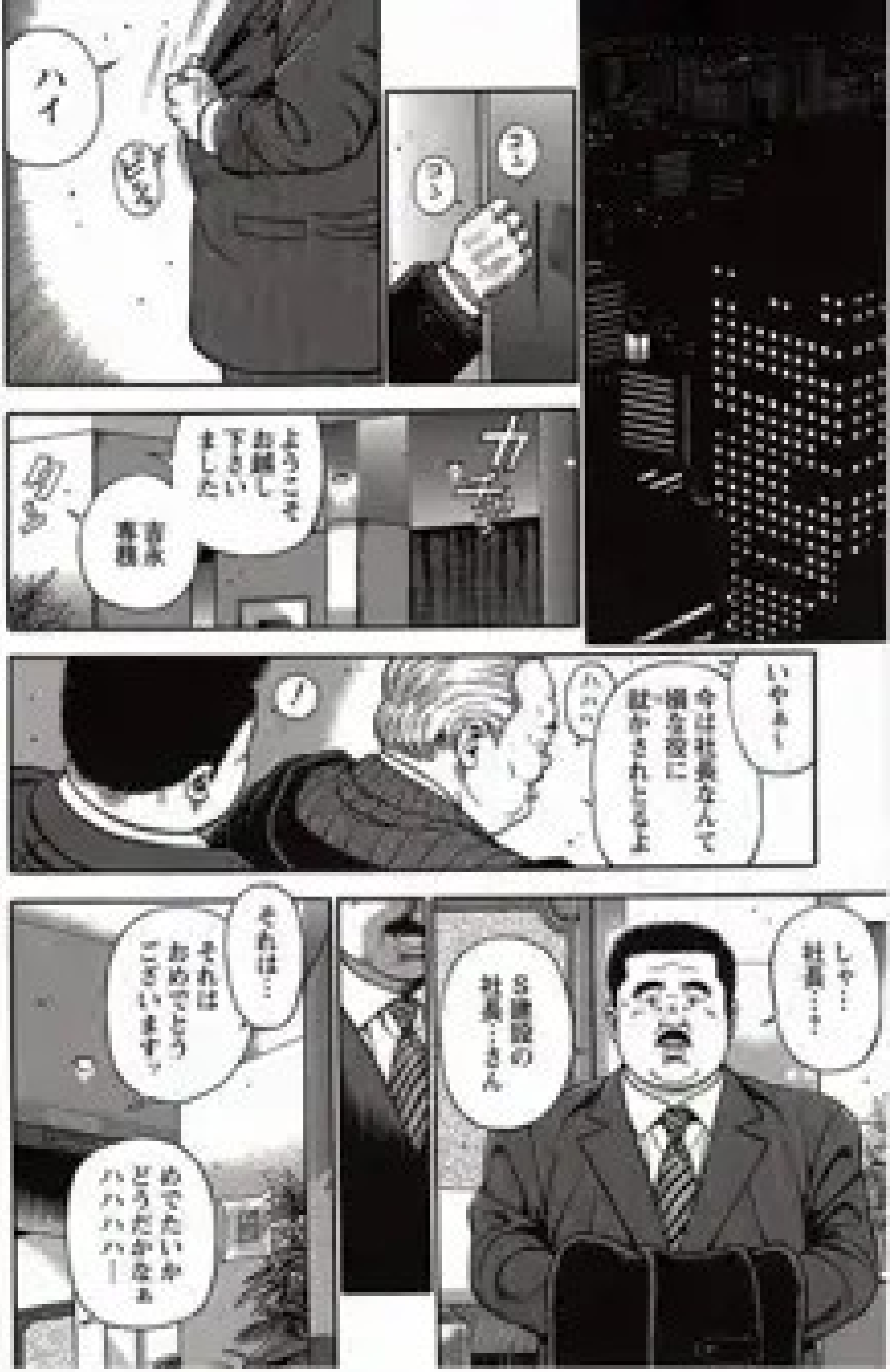

？
ガバッ
ああああ
ああああ

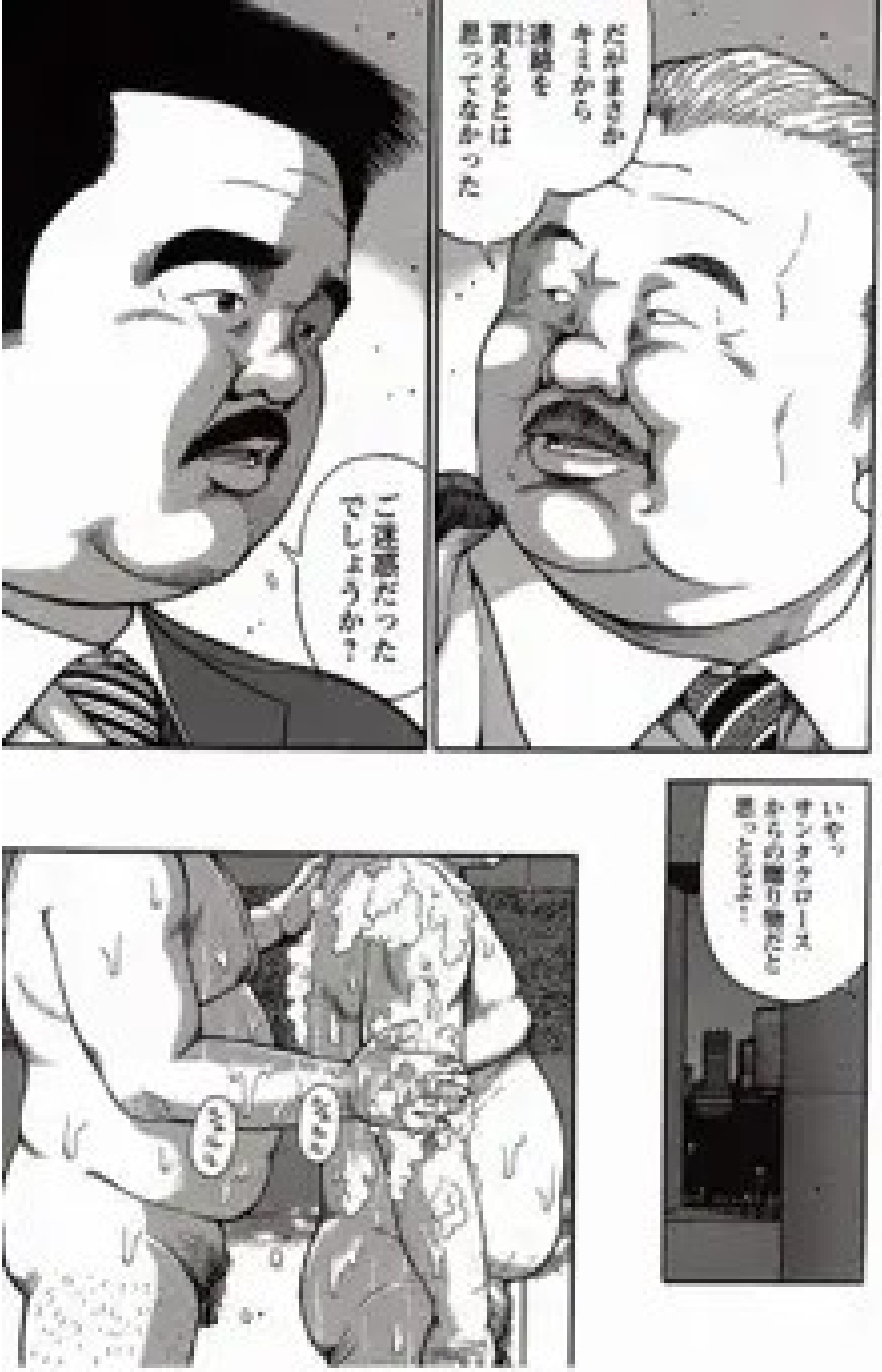


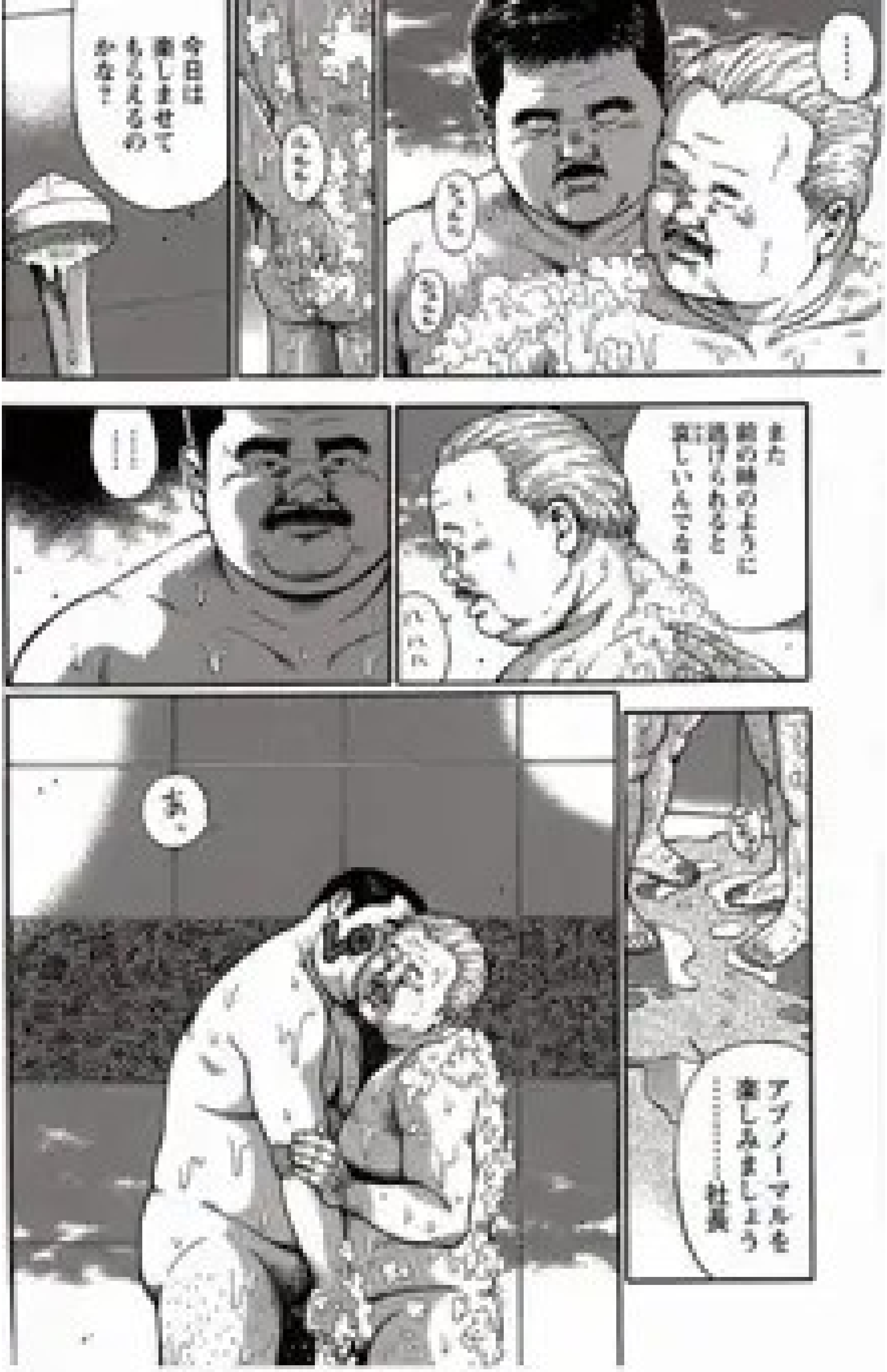
がんばりなさい

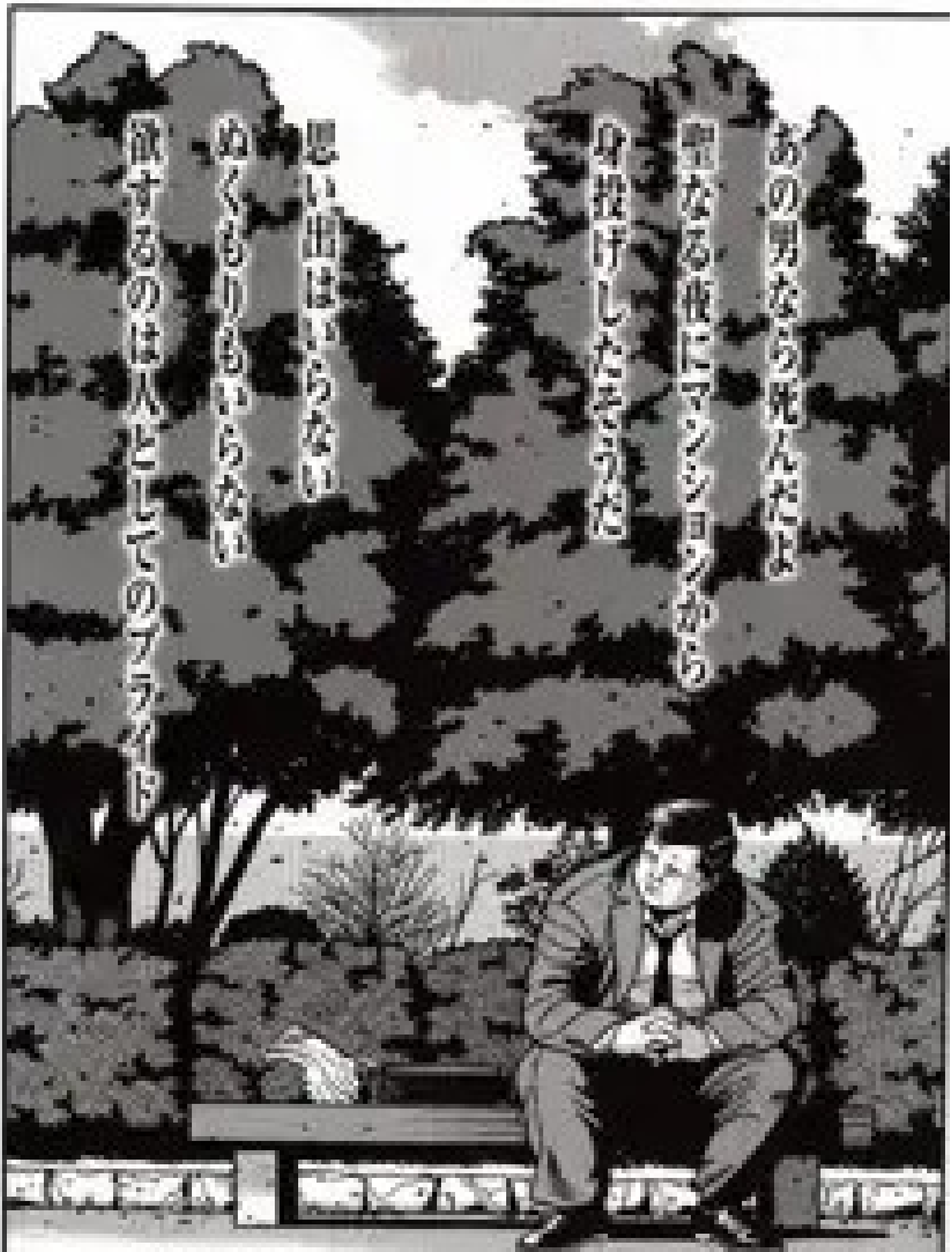



キミがもしも
私を楽しませる事が
出来るように
なったら…
その時は
キミと
契約を結ぶよッ
まだ
終わってないッ


コン
コン
ハイ
どうぞ
カ
ようこそお越し下さいました
いやぁ～
今は社長なんて損な役に就かされてるんですよ
ハハハ
!
いや…社長…？
S建設の社長…さん
それは…
それはおめでとうございます！
めでたいかどうだかなぁハハハハー！


だがまさか
キミから
連絡を
貰えるとは
思ってなかった
ご迷惑だった
でしょうか？
いや…
サンタクロース
からの贈り物だと
思ってるよ…

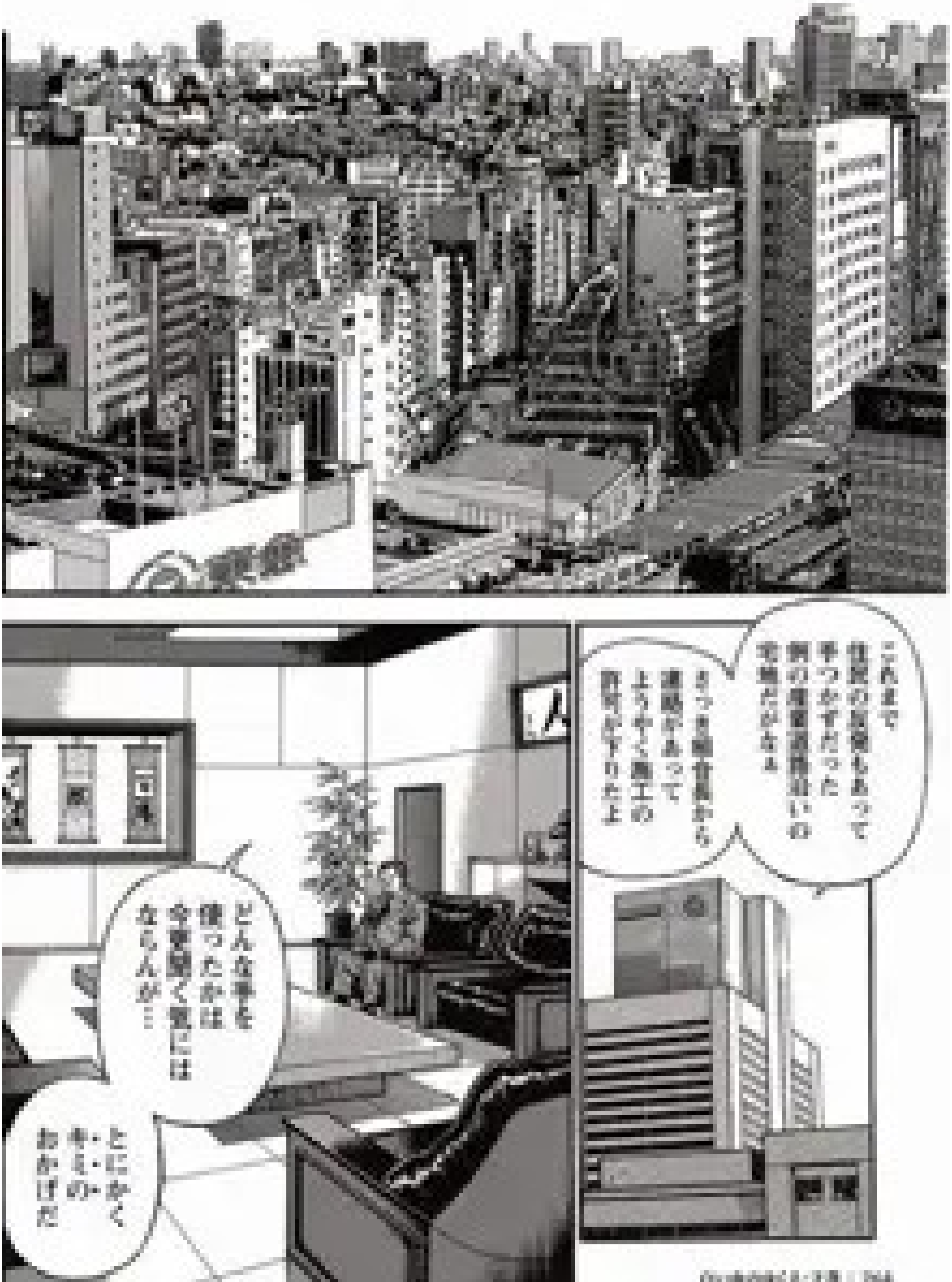

……
今日は楽しませてもらえるのかな？
また前の時のように縛られると嬉しいんでしょう
……!!
アブノーマルを楽しみましょう……社長
あ…

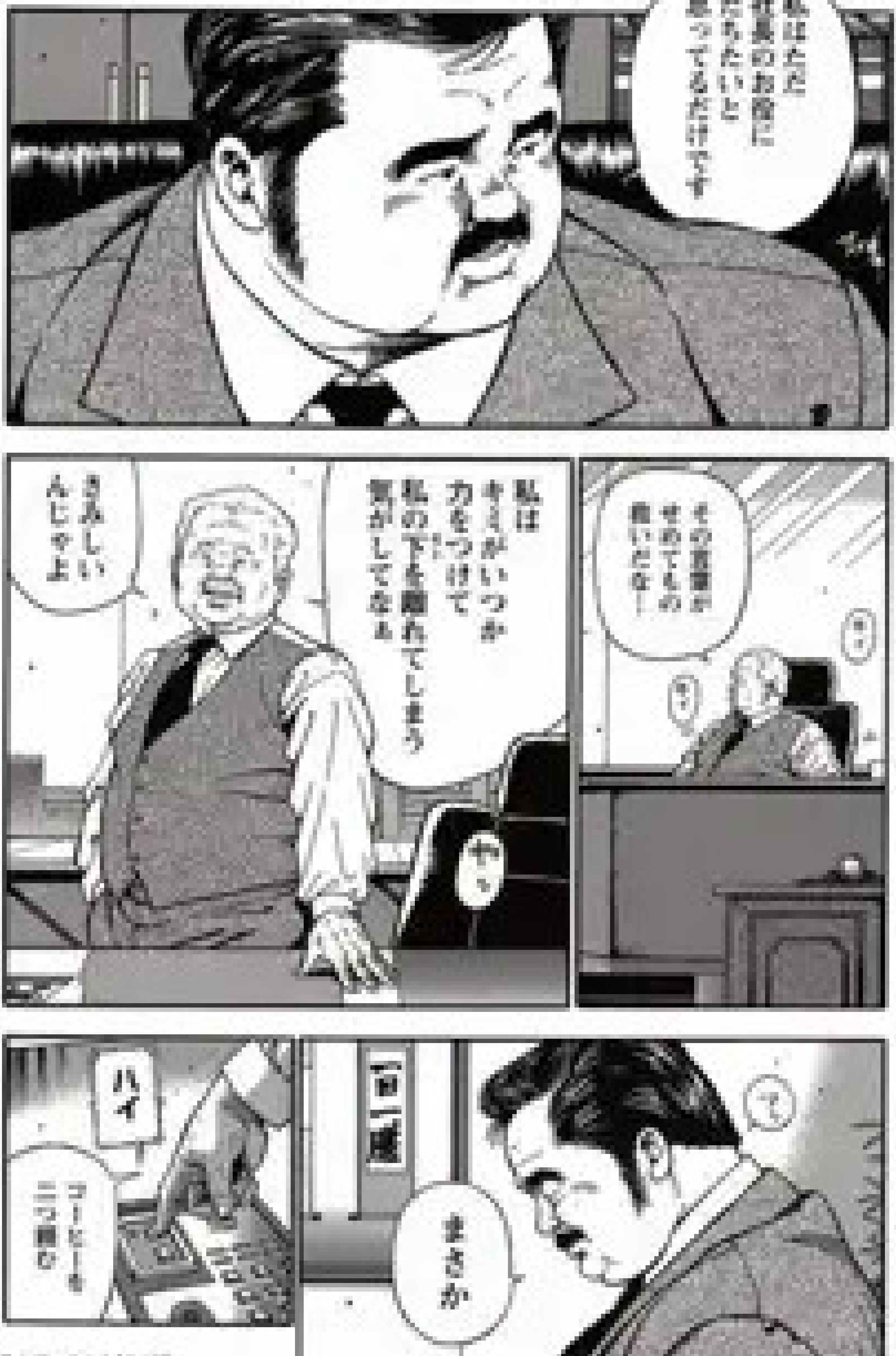

あの男なら死んだよ
聖なる夜にマンションから
身投げしたそうだ
思い出はいらない
ぬくもりもいらない
欲するのは人としてのプライド

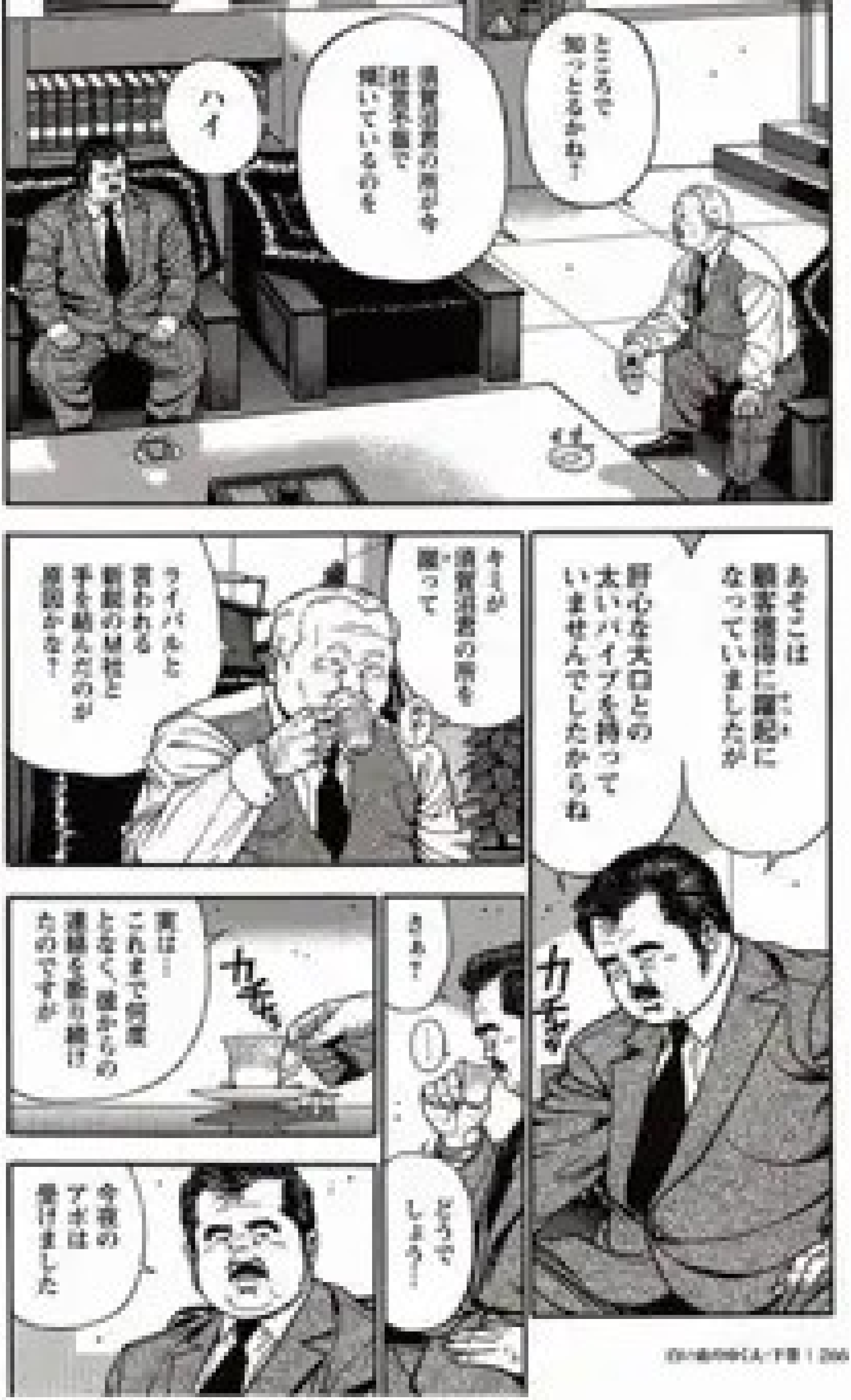
最終話

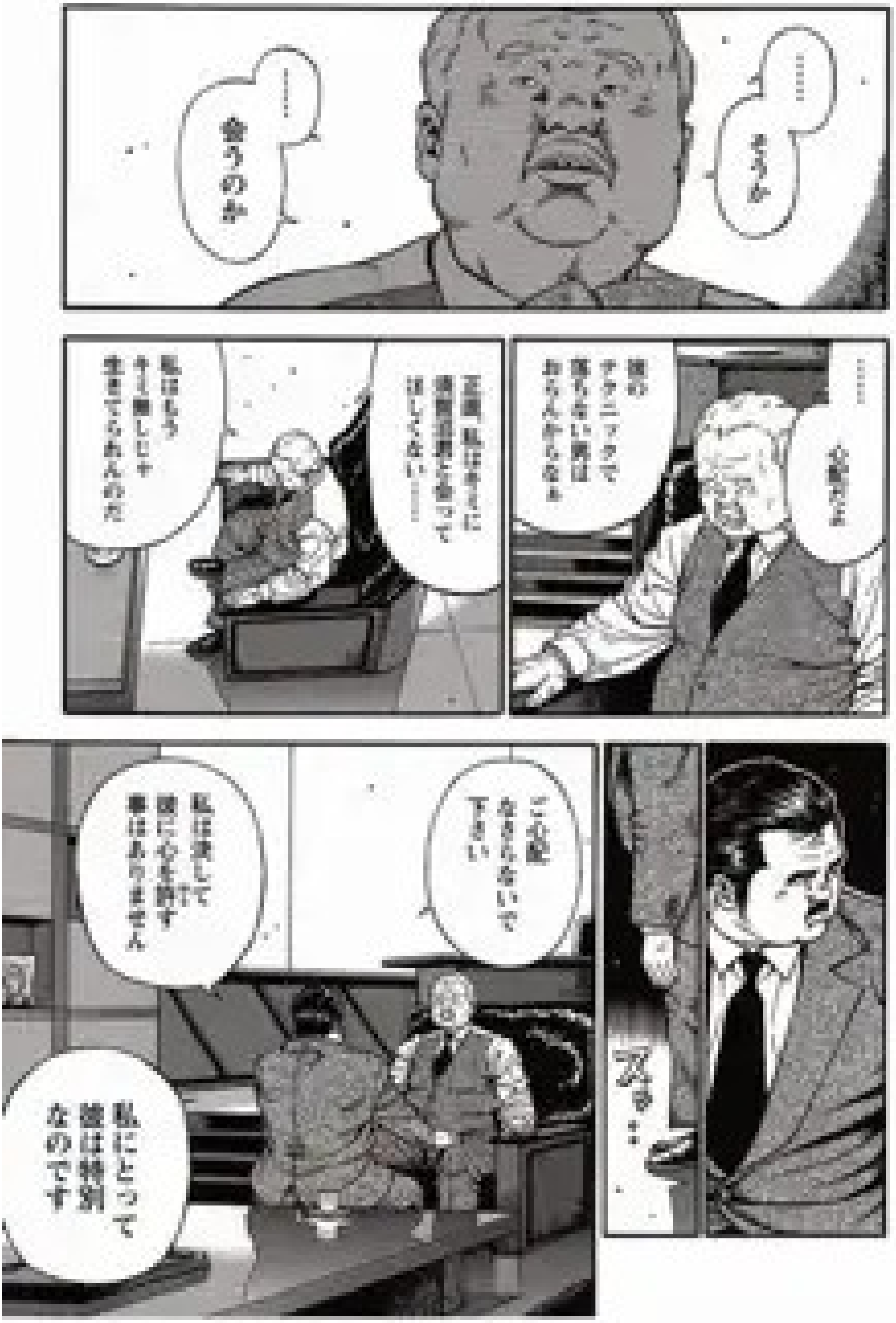
The final story

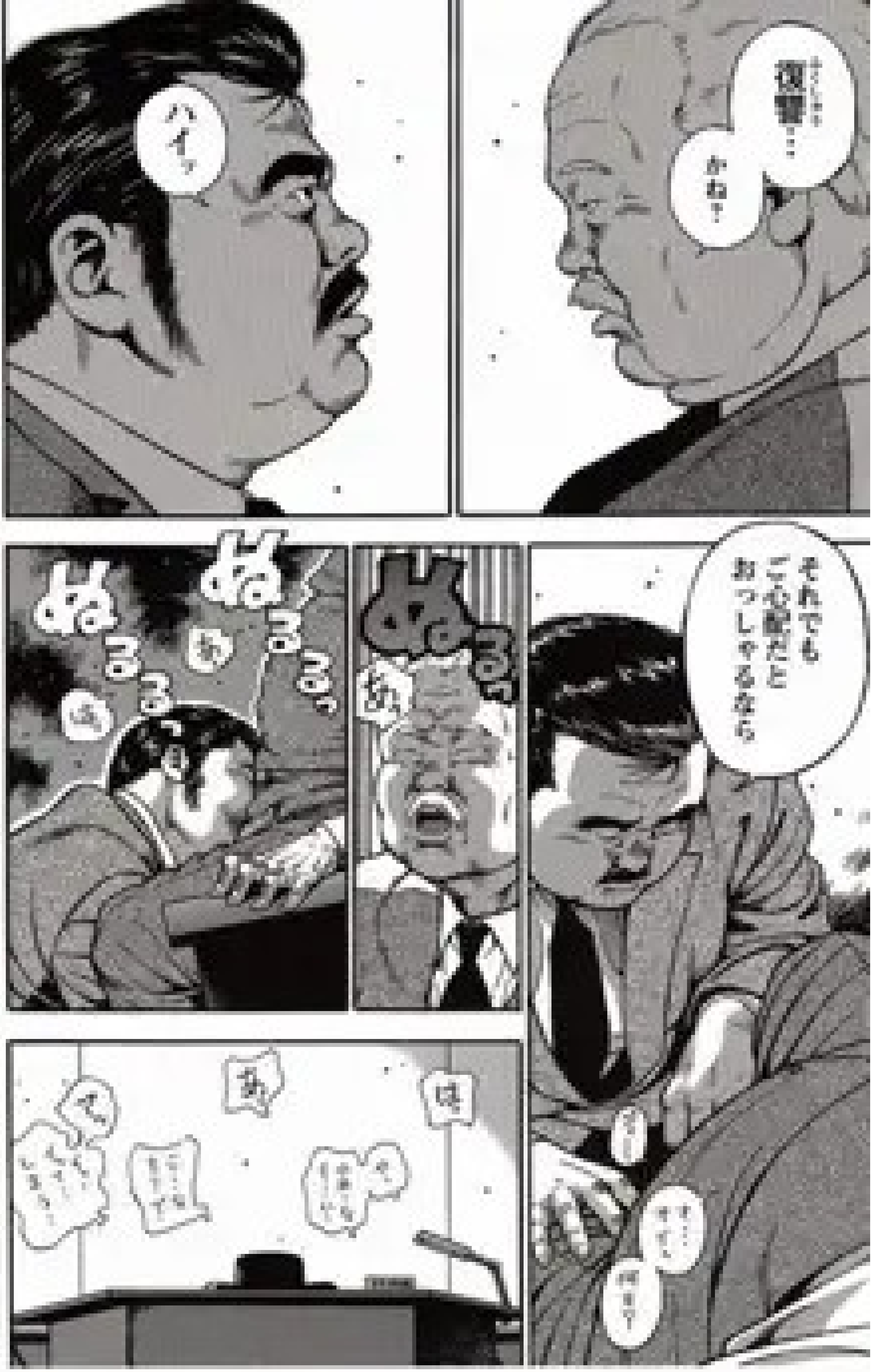
あれからおよそ5年の月日が流れた……

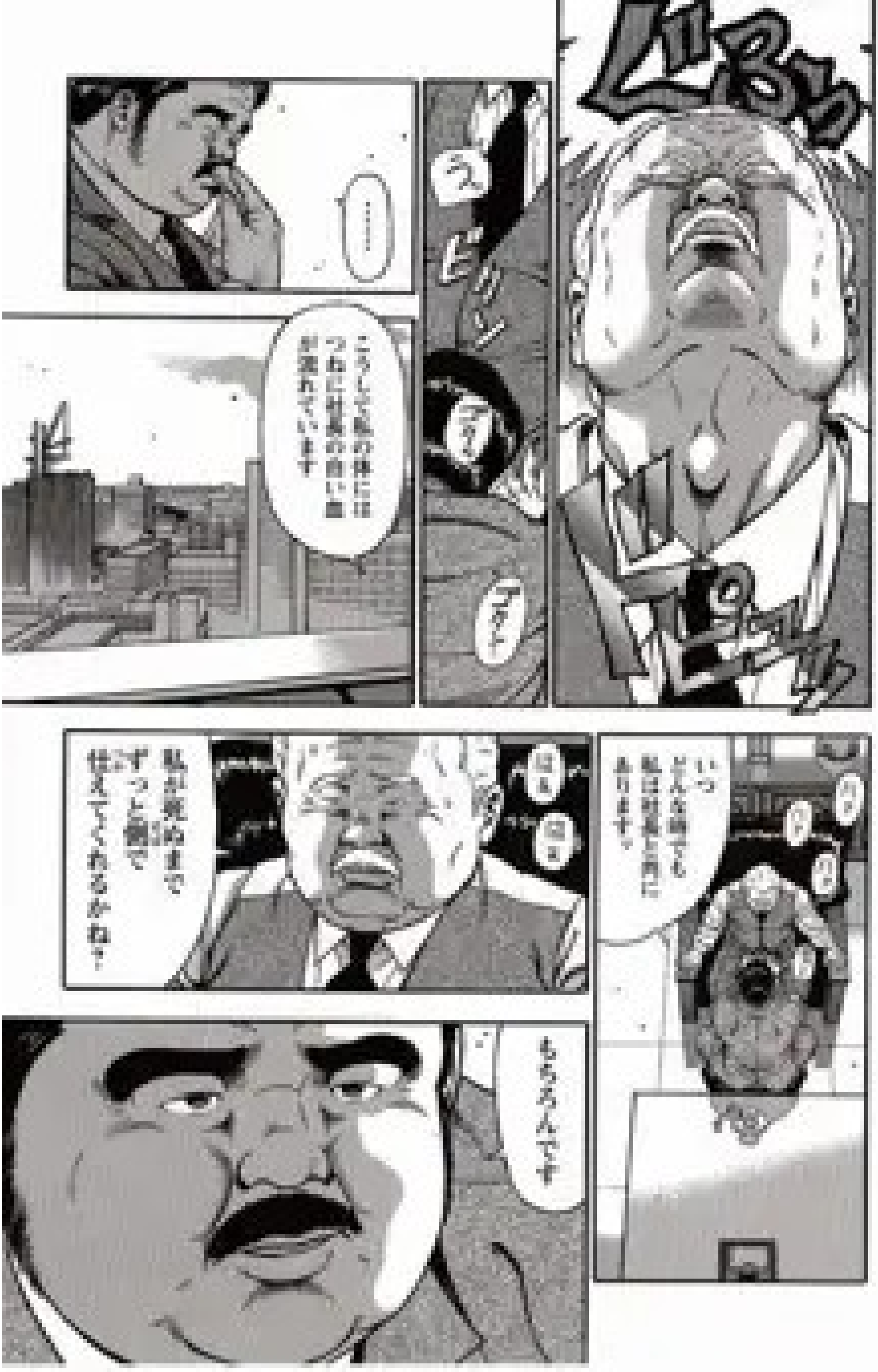

これまで
住民の反対もあって
手つかずだった
例の産業道路沿いの
空地だがなぁ
やっと建設省から
認可がおりて
ようやく着工の
目処がたったよ
どんな手を
使ったかは
今更聞く気には
なれんが…
とにかく
…キミの
おかげだ

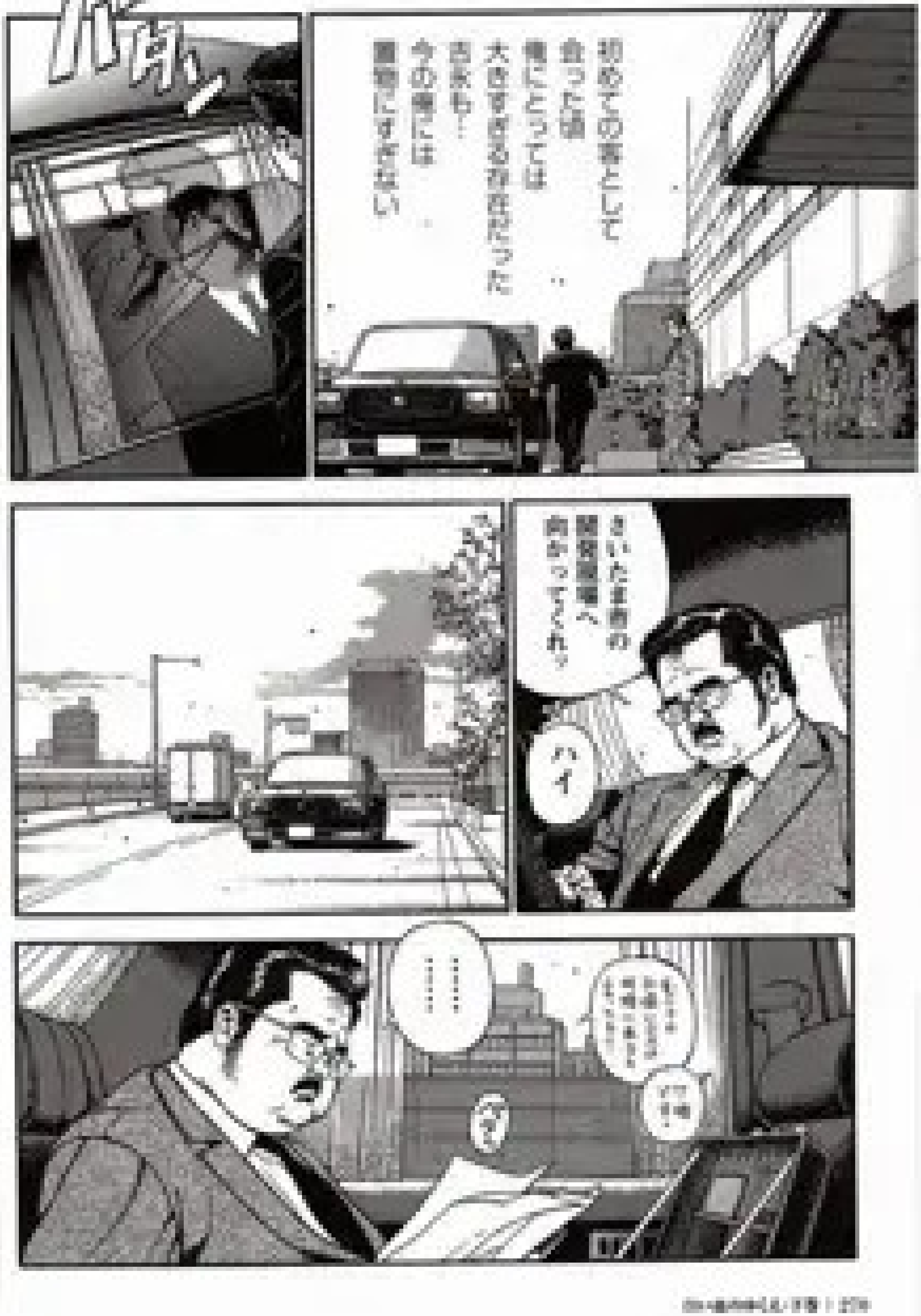

私はただ
社長のお役に
たちたいと
思ってるだけです
その言葉が
せめてもの
救いだな…
ギッ
ギッ
私は
キミがいつか
力をつけて
私の下を離れてしまう
気がしてなぁ
さみしい
んじゃよ
ギッ
で
まさか
ハイ
コーヒーを
二つ頼む

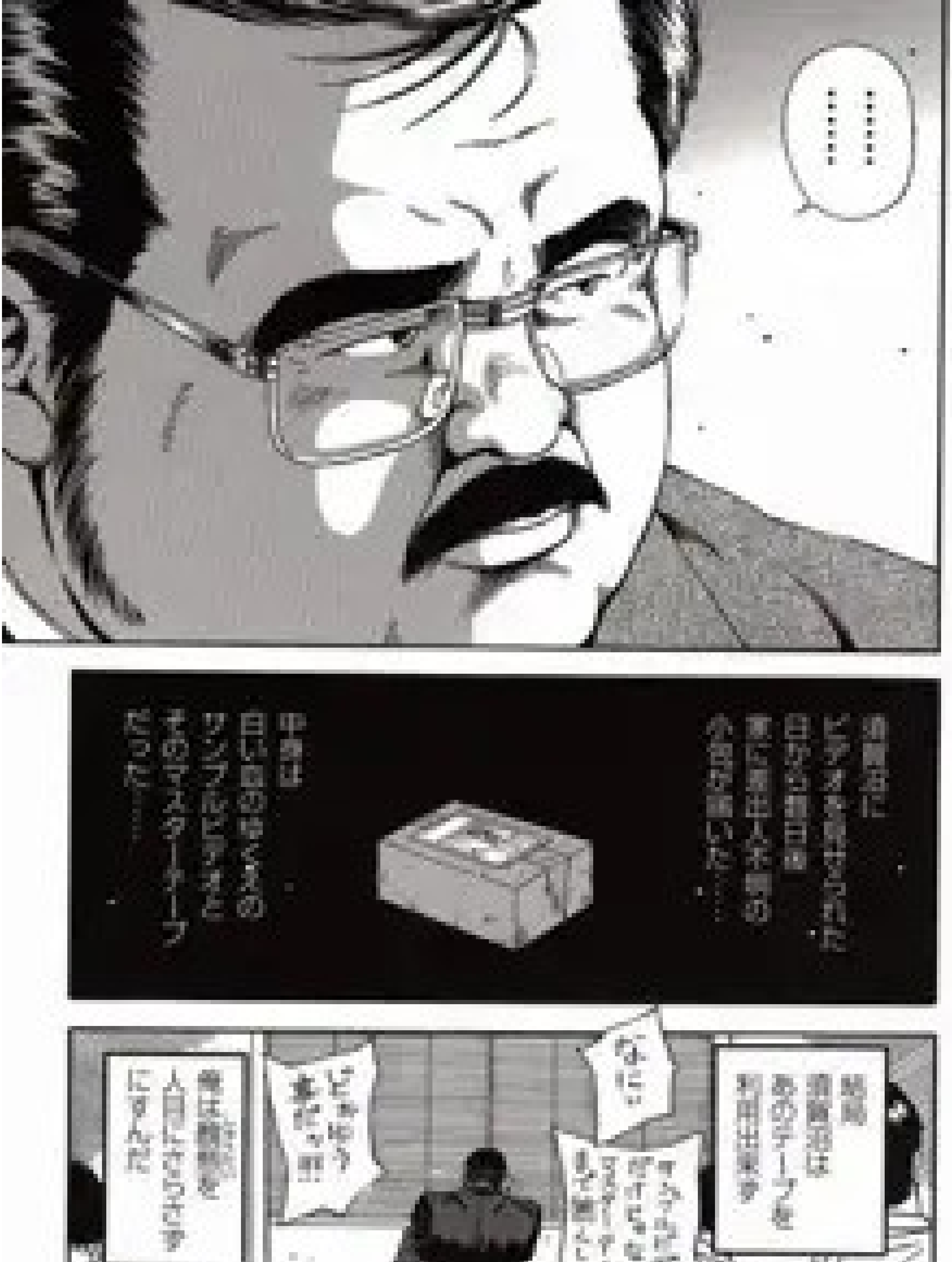

ところで知っとるかね？
須賀沼派の面々を財前大臣で掴いているのを
ハイ
あそこは朝倉派閥に疎遠になっていましたが肝心な大口との太いパイプを持っていませんでしたからね
そうか須賀沼派の票を握って
ライバルと言われる前田の秘書と手を組んだのが原因かな？
カチャ
さあ？
！
実は…これまで何度となく、我々からの連絡を取り続けたのですが
カチャ
どうでしょう…
今夜のアポは受けました

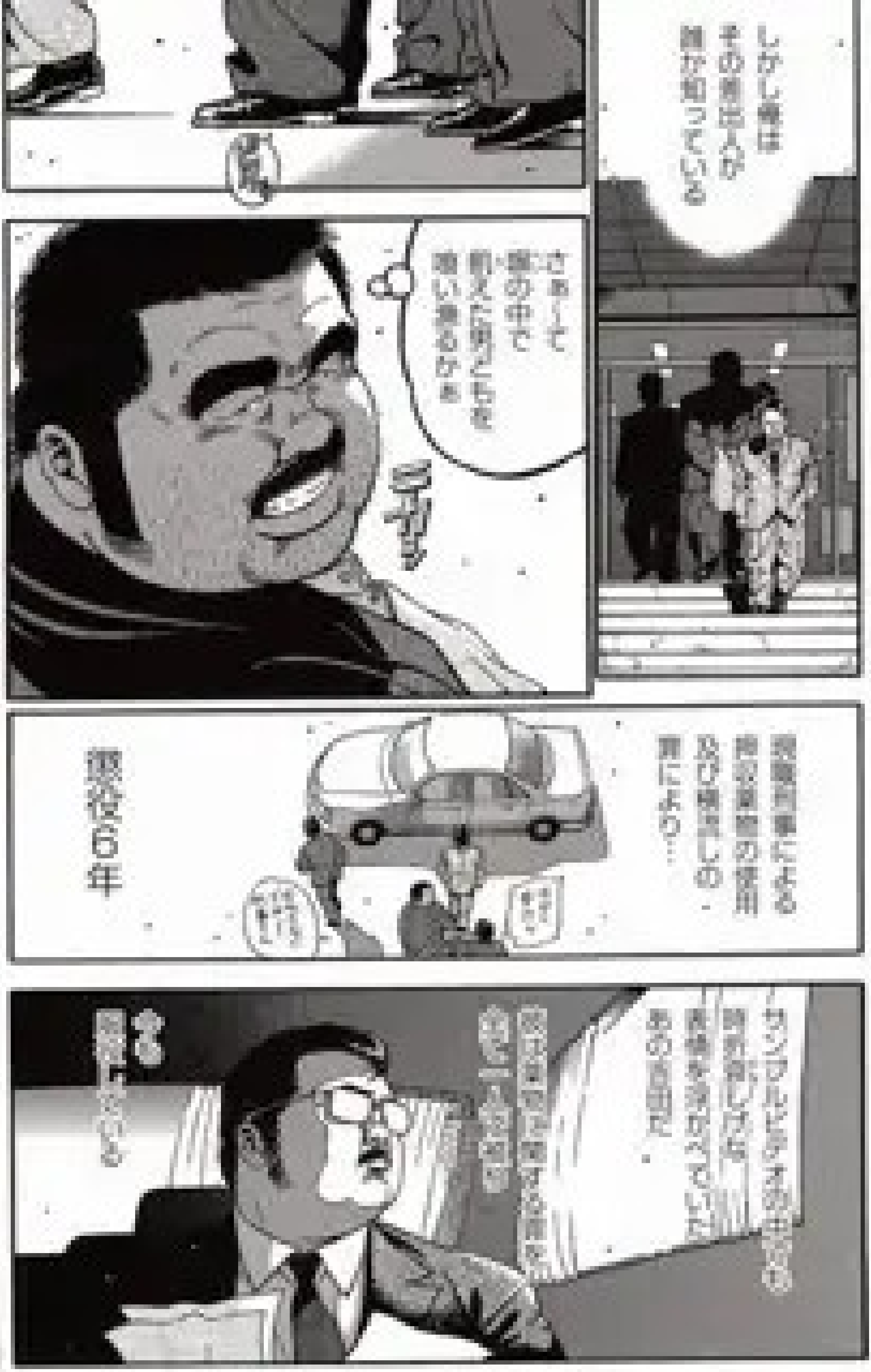

……
そうか
……
会うのか
……
心配なんよ
彼の テクニックで 落ちない男は おらんからなぁ
玉岡 私はそれに 過剰反応を起こして 欲しくない……
私はもう 今1度しか 生きてられんのだ
ズッ…
ご心配 なさらないで 下さい
私は決して 彼に心を許す 事はありません
私にとって 彼は特別 なのです

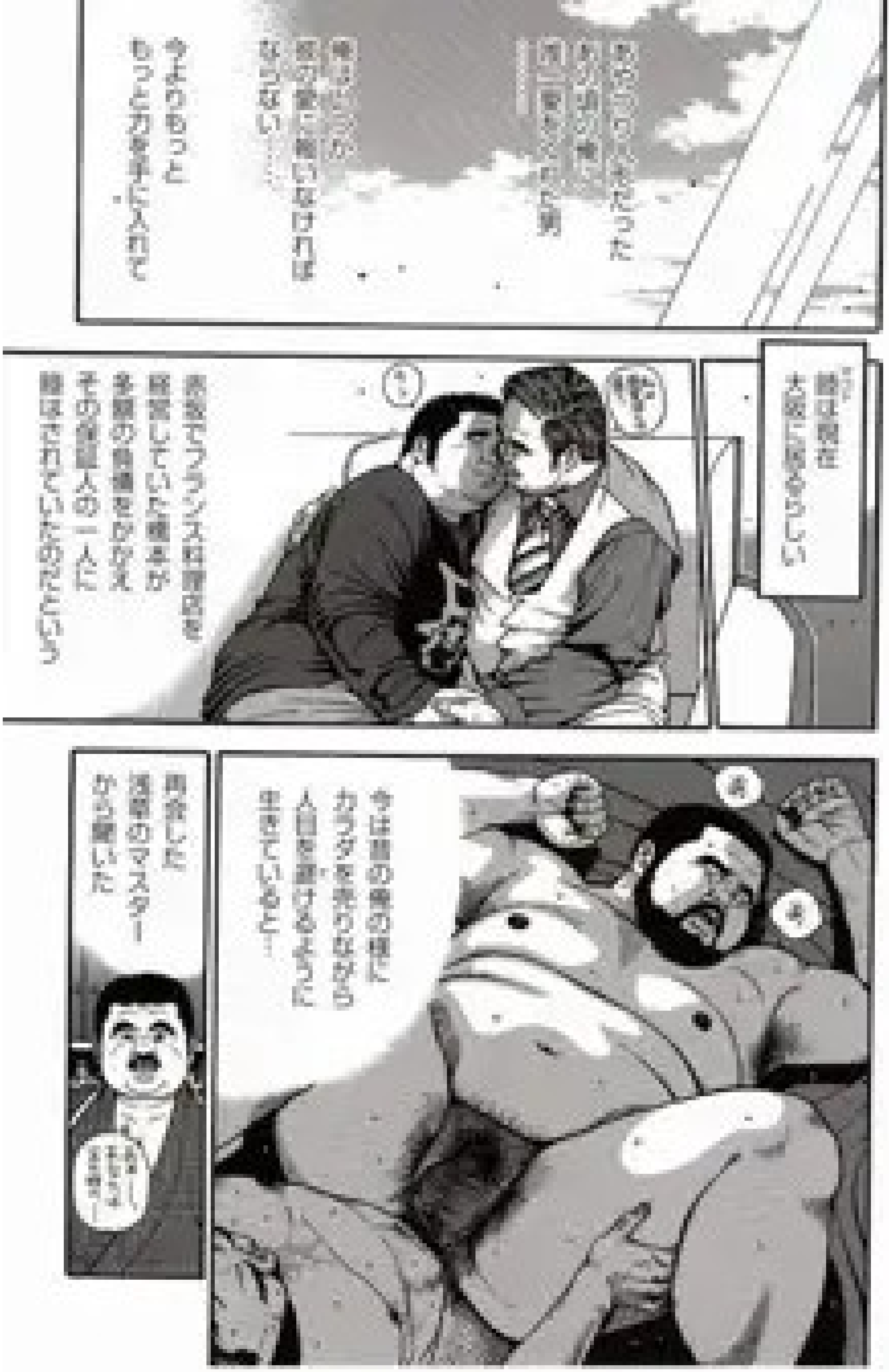

復讐…
かね？
ハイッ
それでも ご心配だと おっしゃるなら
ぬるるる
あ
ぬるる
あ
ぬるる
あ
ほ

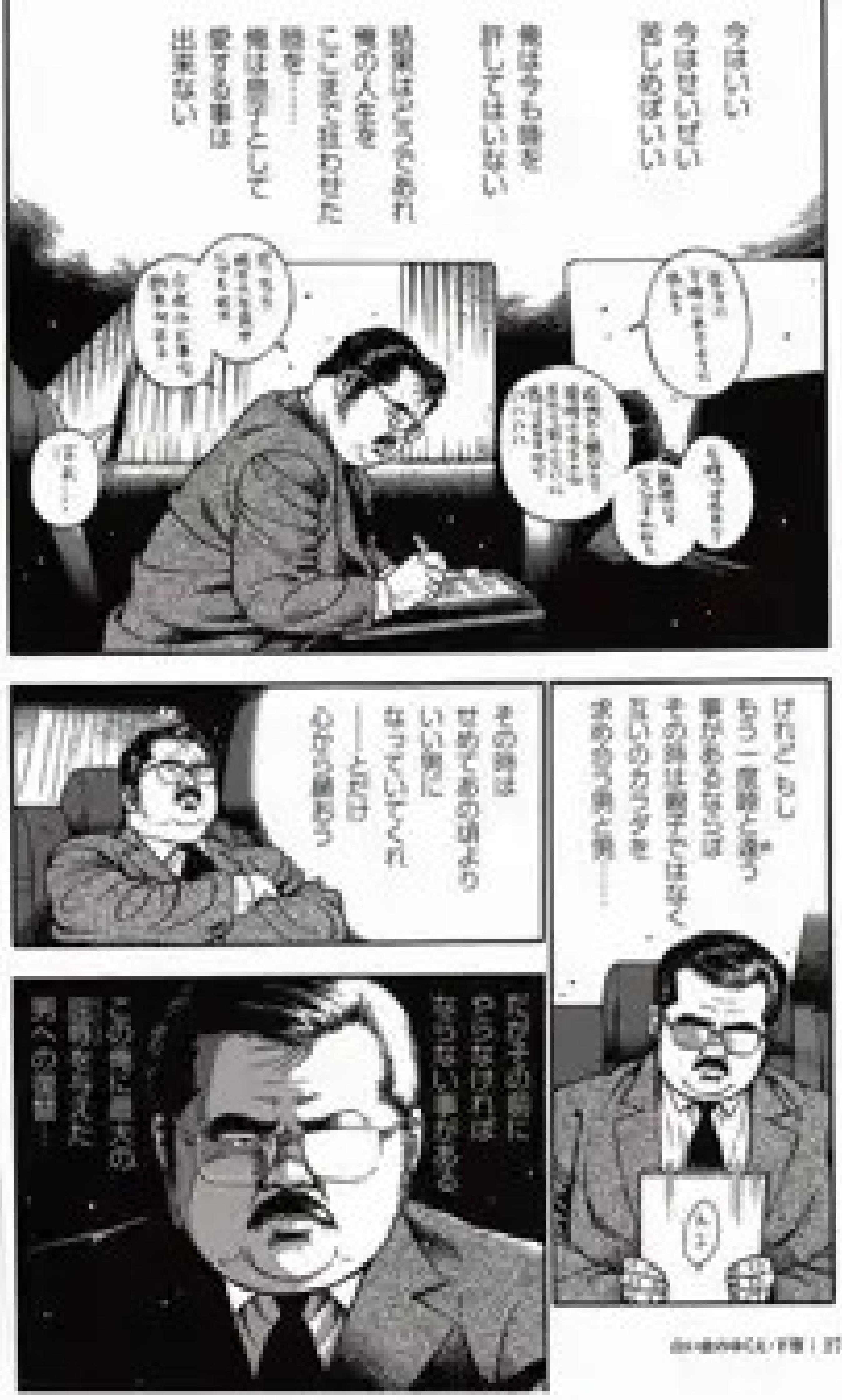

ムクッ
うっ
ビクン
ハァ
ハァ
……
こうして私の体には
つねに社長の血と脂
が流れています
ハァ
ハァ
ハァ
いつ
どんな時でも
私は社長と共に
あります
はあ
はあ
私が死ぬまで
ずっと側で
仕えてくれるかね？
もちろんです
…

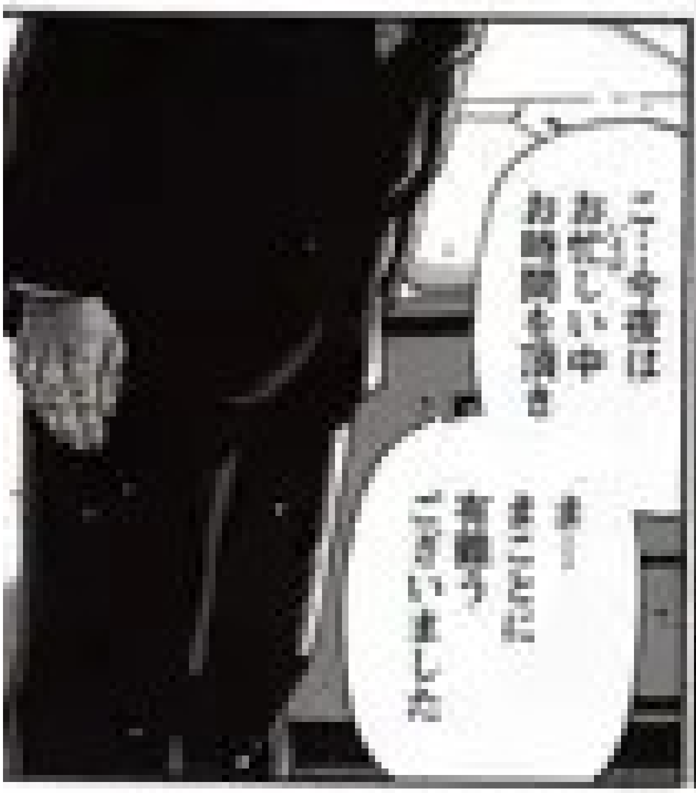

初めての客として
会った頃
俺にとっては
大き過ぎる存在だった
お客も…
今の俺には
置物にすぎない
バタン
さいたま市の
製麺問屋へ
向かってくれッ
ハイ
……

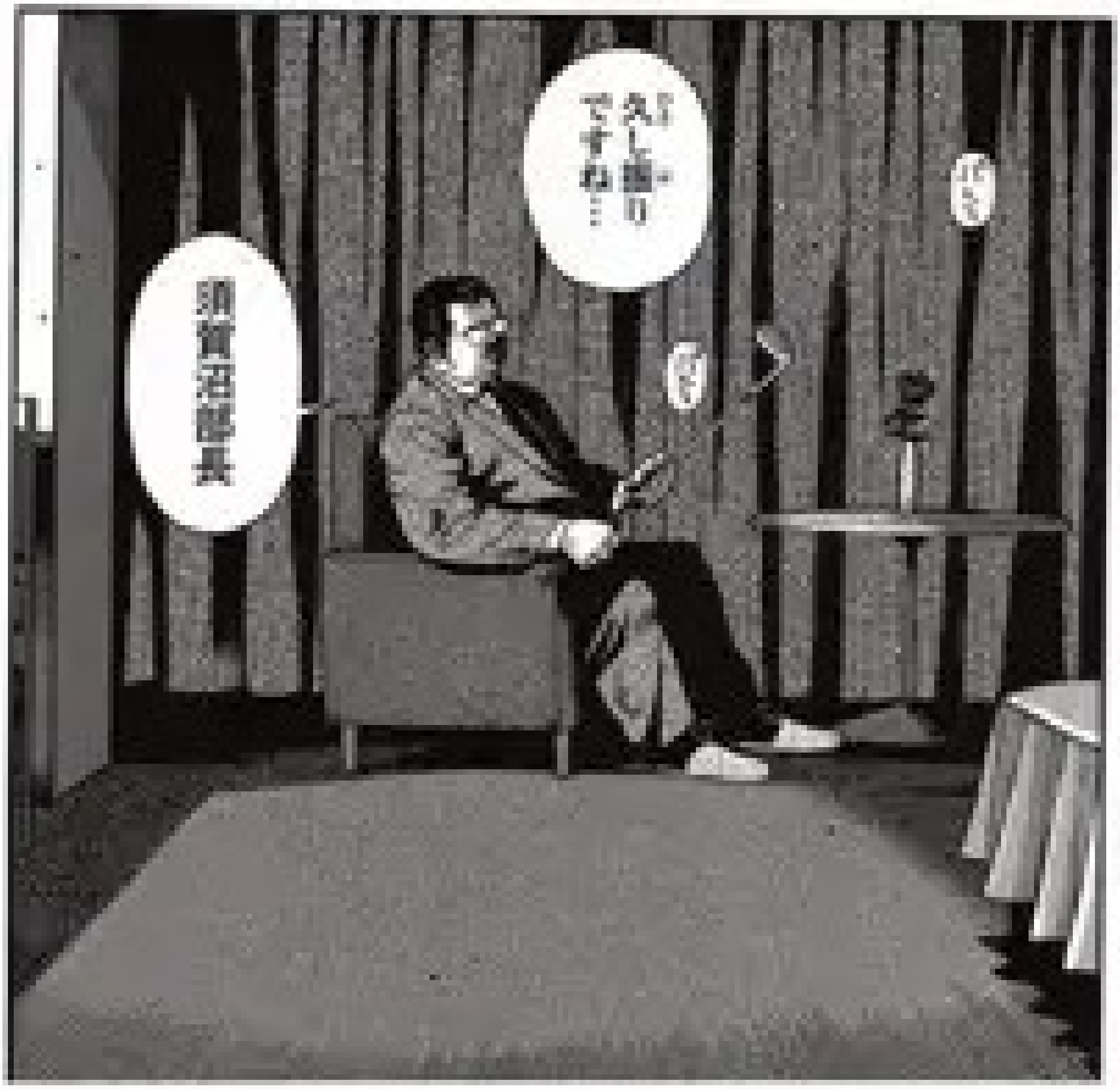

……
……
須賀治に
ビデオを見せられた
日から数日後
東に差出人不明の
小包が届いた……
中身は
白い巨塔のゆくえの
サンプルビデオと
そのマスターテープ
だった……
結局
須賀治は
あのテープを
利用出来ず
なに!
すぐさま
何ごともなく
マスターテープ
まで届くなんて!?
どういう
事だっ!!
俺は醜態を
人目にさらさず
にすんだ

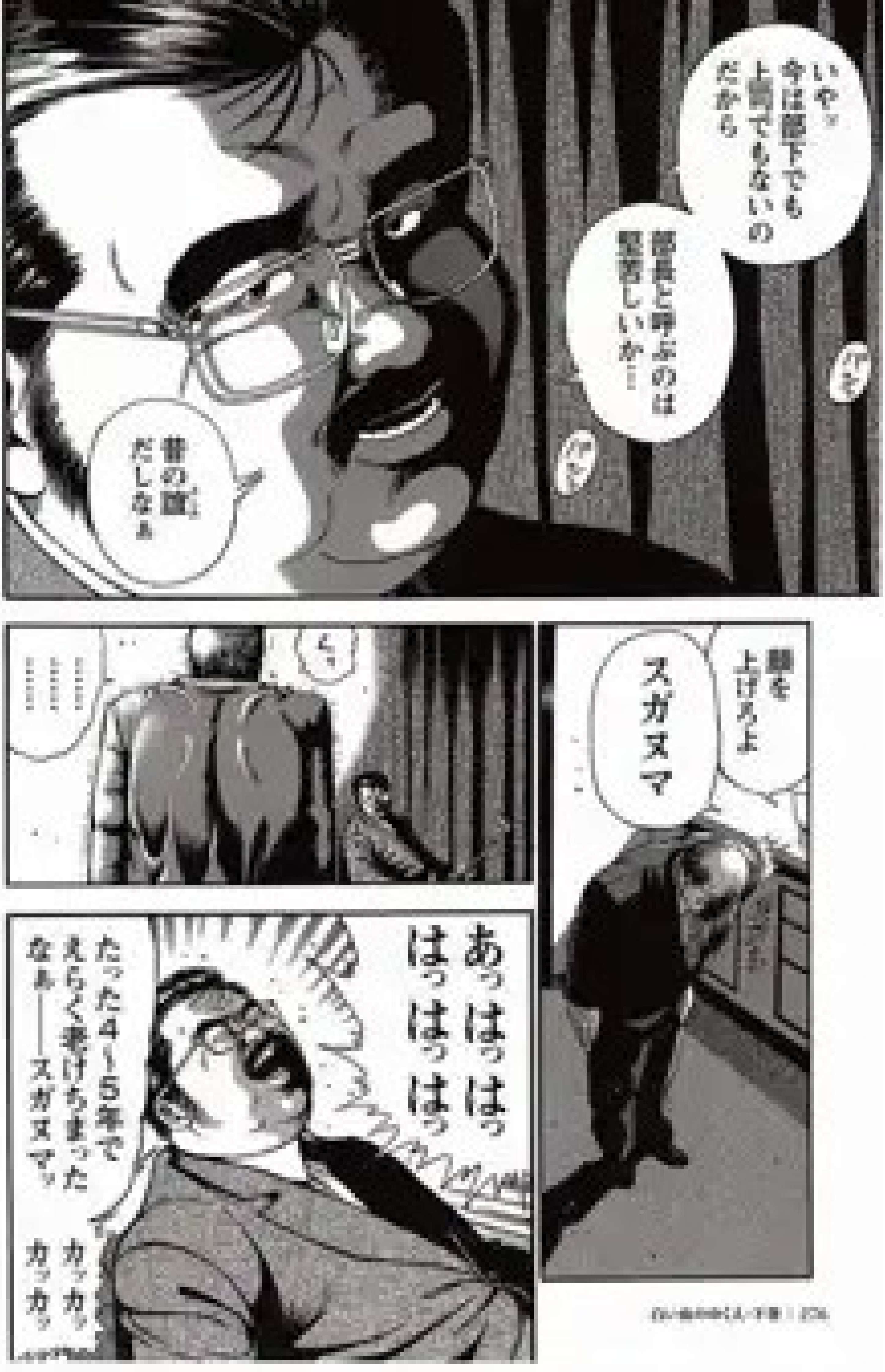

しかし俺は
その[illegible]が
誰か知っている
さぁーて
塀の中で
飢えた男たちを
喰い漁るかぁ
ニヤリ
[illegible]刑事による
押収麻薬の横領
及び横流しの
罪により…
懲役6年
[illegible]
[illegible]
今も
服役している

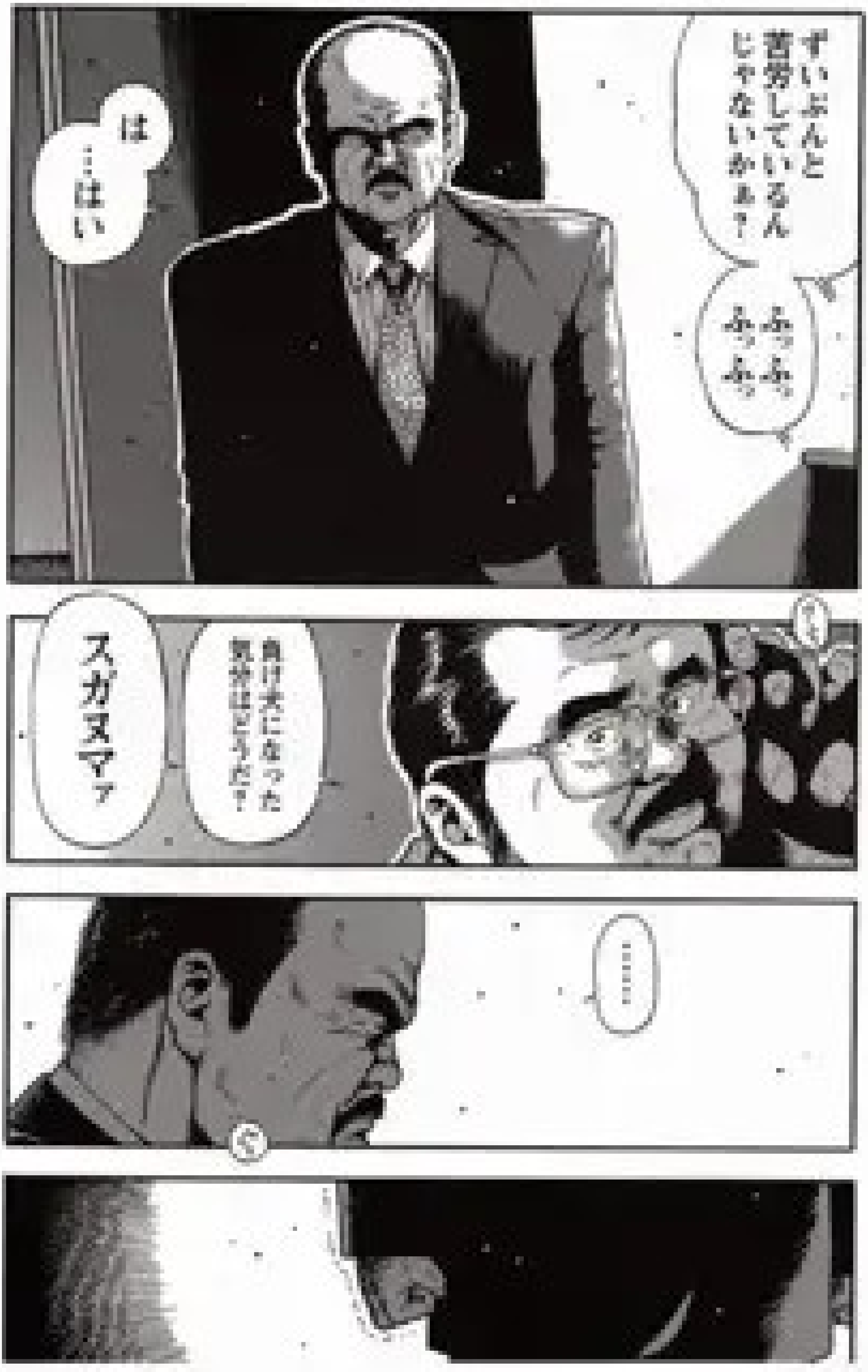

[illegible]だった
[illegible]
[illegible]な男
俺がこの
家の皆に報いなければ
ならない……
今よりもっと
もっと力を手に入れて
静夫は今
大阪に居るらしい
静…
ん
赤坂でフランス料理店を
経営していた暁夫が
多額の負債をかかえ
その保証人の一人に
静夫はされていたのだという
今は男の男の様に
カラダを売りながら
人目を避けるように
生きていると…
再会した
浅草のマスター
から聞いた
[illegible]

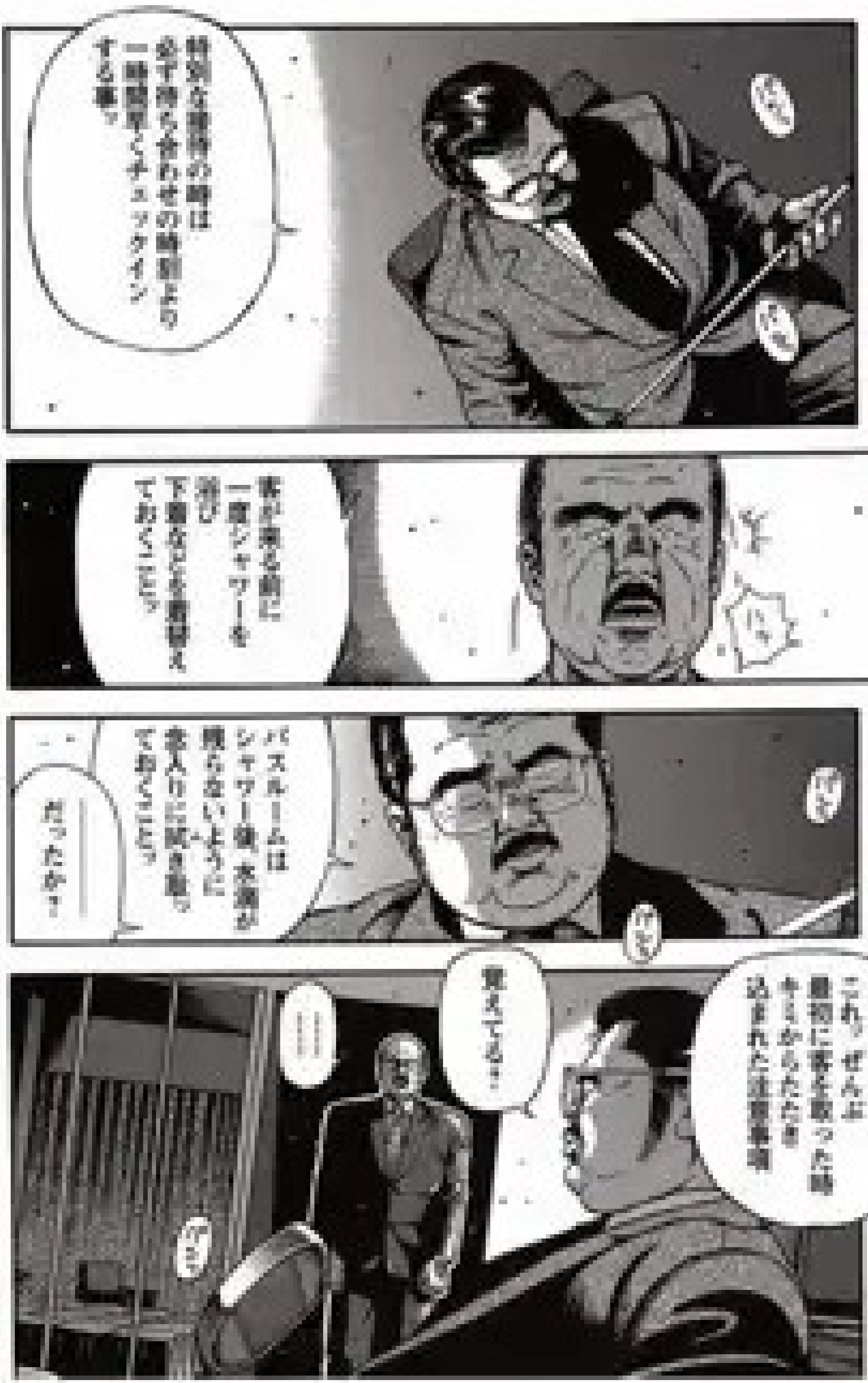

今はいい
今はせいぜい
楽しめばいい
俺は今も君を
許してはいない
結果はどうであれ
俺の人生を
ここまで狂わせた
君を……
俺は親子として
愛する事は
出来ない
けれどもし
もう一度君と会う
事があるならば
その時は親子ではなく
互いの力を
求め合う男と男……
その時は
せめてあの頃より
いい男に
なっていてくれ
——と今は
心から願う
だがその時に
ならなければ
わからない事がある

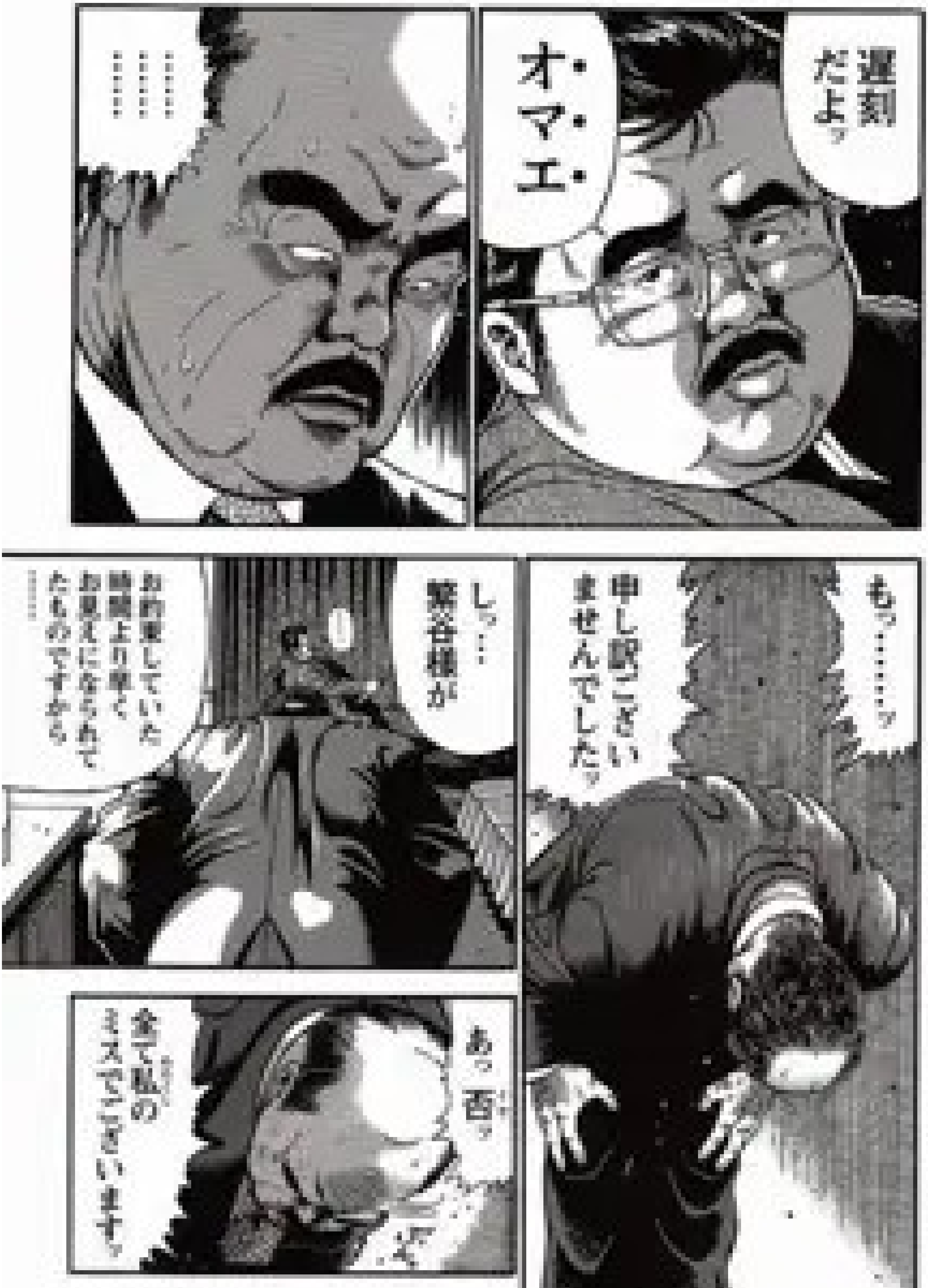

こ…今夜は
お忙しい中
お時間を頂き
あ…
まことに
有難う
ございました

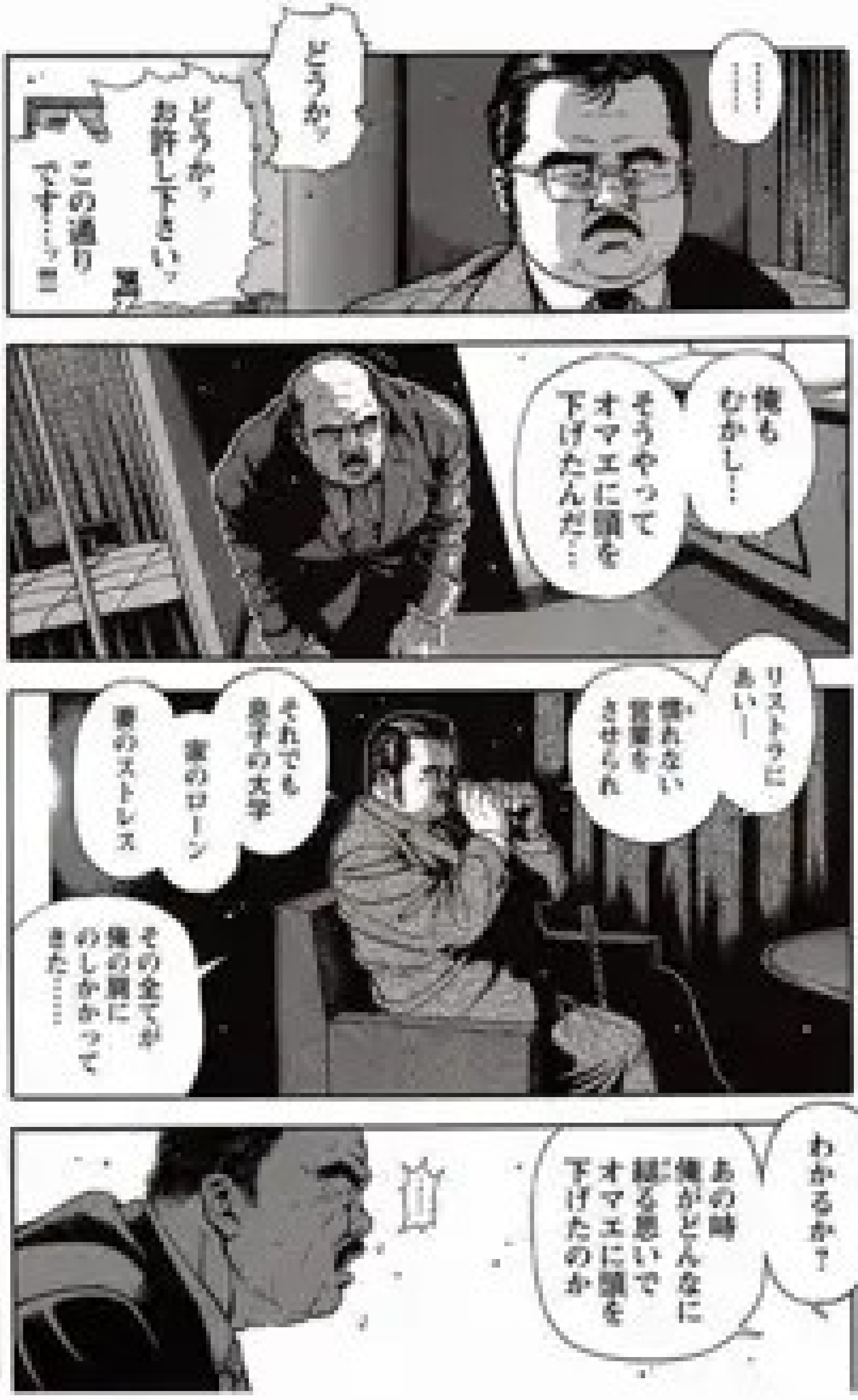

お…久し振り
ですね…
須賀沼部長

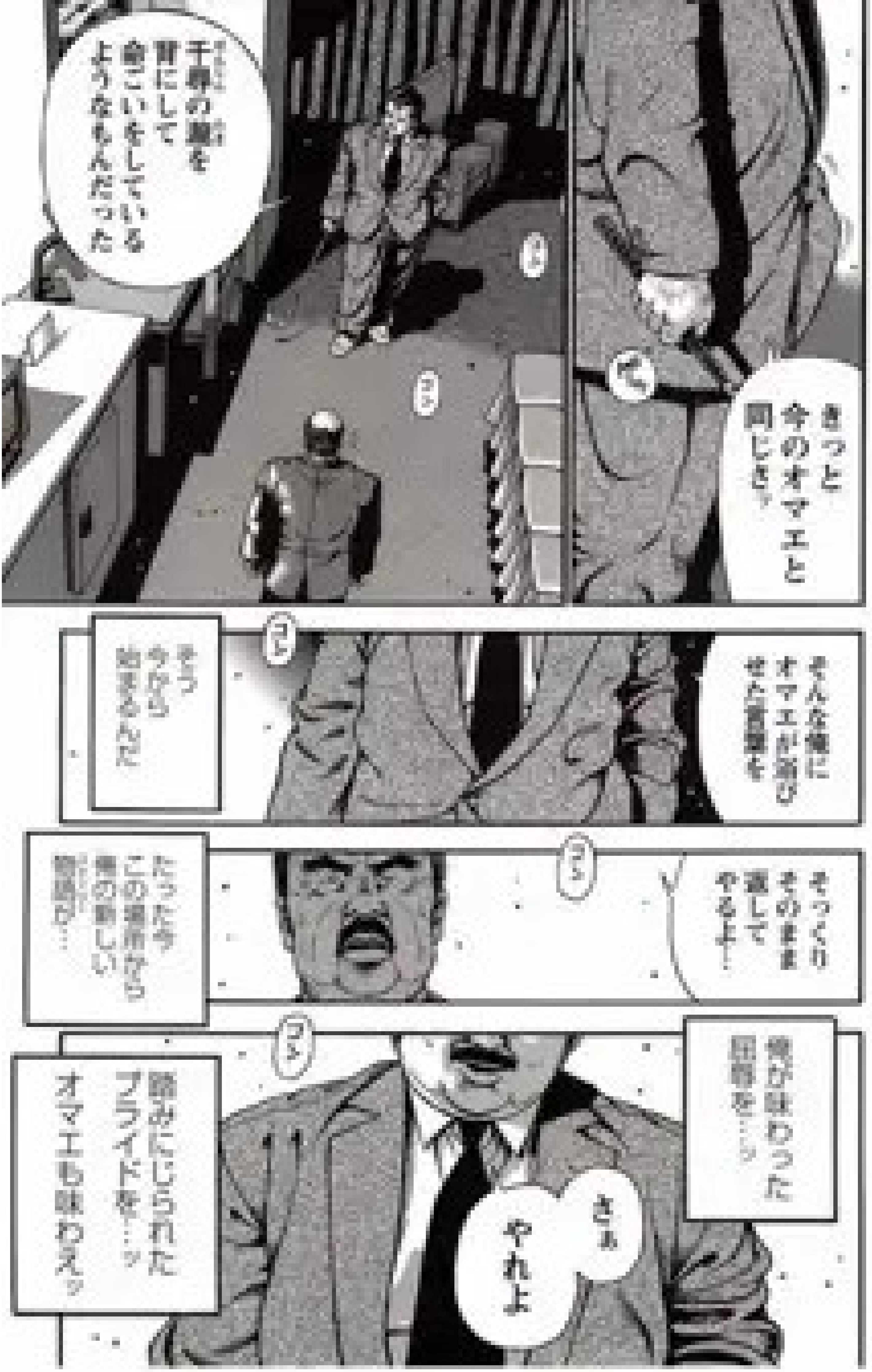

いやッ 今は部下でも 上司でもないの だから
部長と呼ぶのは 堅苦しいか…
昔の話 だしなぁ
顔を 上げろよ
スガヌマ
く…
……
あっはっは はっはっはっ
たった4～5年で えらく老けちまった なぁ──スガヌマッ
カッカッ
カッカッ

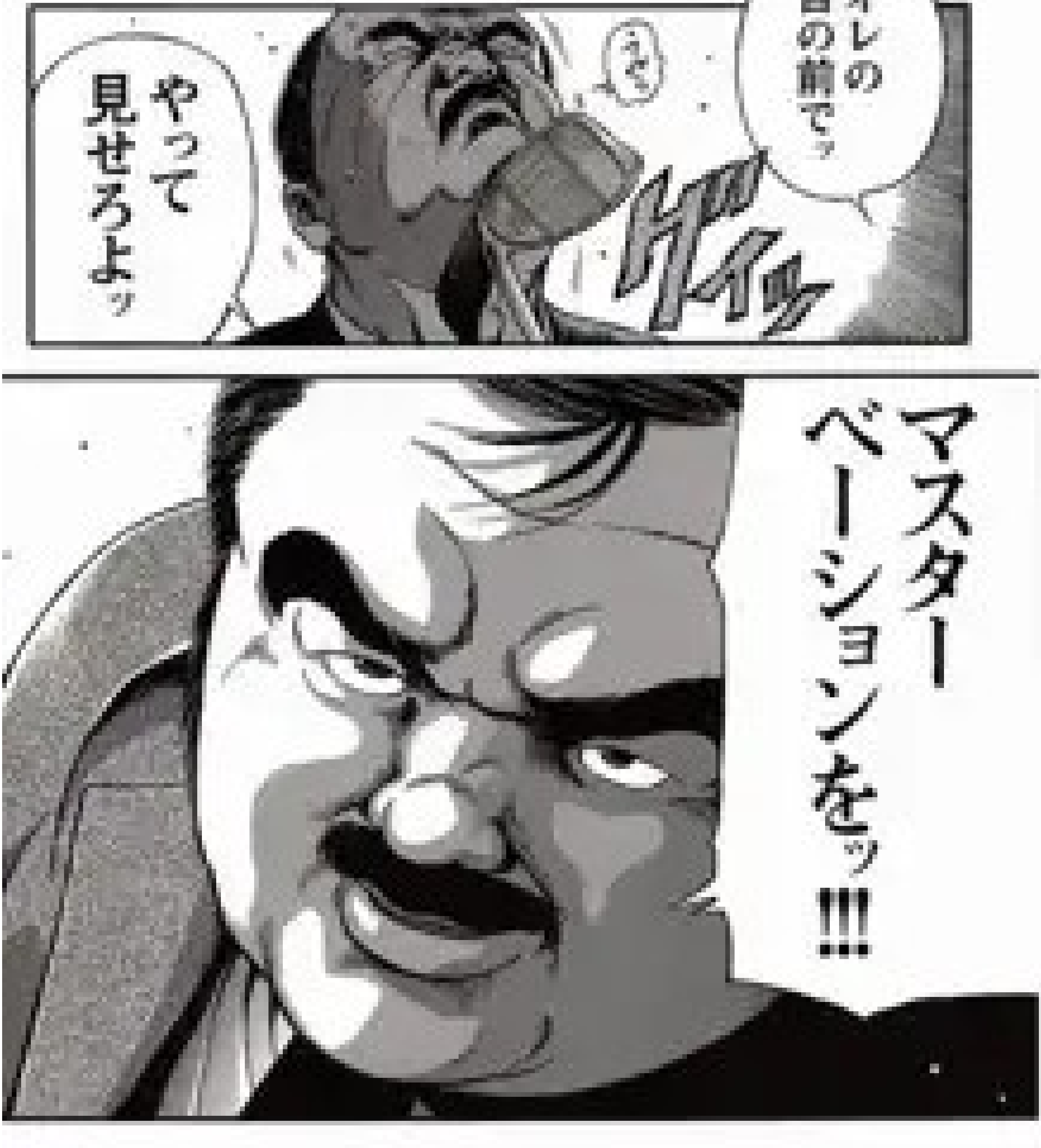

ずいぶんと苦労しているんじゃないかぁ？
ふっふっふっ
は……はい
負け犬になった気分はどうだ？
スガヌマァ
……


特別な接待の時は必ず待ち合わせの時刻よりの一時間早くチェックインする事ッ
客が来る前に一度シャワーを浴び下着なども着替えておくこと？
バスルームはシャワー後、水滴が残らないように念入りに拭き取っておくこと？
……だったかな？
これっぜんぶ最初に客を取った時キミからたたき込まれた注意事項
覚えてるか？
……


遅刻だよっ
オ・マ・エ・
………………
もっ……っ
申し訳ございませんでしたっ
しっ…紫谷様が
お約束していた時間より早くお見えになられてたものですから……
あっ 否っ
全て私のミスでございますっ


……
どうかッ
どうかッ お許し下さいッ
この通りです…ッ!!
俺もむかし…
そうやってオマエに頭を下げたんだ…
リストラにあい―
慣れない営業をさせられ
それでも息子の大学 家のローン 妻のストレス
その全てが俺の肩にのしかかってきた……
わかるか？
あの時俺がどんなに縋る思いでオマエに頭を下げたのか
…!


きっと
今のオマエと
同じさッ
千尋の崖を
背にして
命ごいをしている
ようなもんだった
そんな俺に
オマエが浴び
せた言葉を
そう
今から
始まるんだ
そっくり
そのまま
返して
やるよ・・・
たった今
この場所から
俺の新しい
物語が・・・
俺が味わった
屈辱を・・・ッ
さあ
やれよ
踏みにじられた
プライドを・・・ッ
オマエも味わえッ


オレの目の前でッ
うそ
やって見せろよッ
マスターベーションをッ!!!

完

長い間　[illegible]　を支えてくれた[illegible]に心から感謝します　くじら